

「第3次熊本市環境総合計画」に関する
市民アンケート調査報告書

【令和2年度(2020年度)版】

A decorative graphic consisting of several blue spheres of varying sizes, each with horizontal lines, arranged in a diagonal line from the bottom left to the top right. Below the spheres are three horizontal blue bars of equal length, stacked vertically.

～未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市～

令和3年(2021年)6月
熊 本 市

目 次

1	調査概要	1
2	アンケート調査結果 令和2年度(2020年度)	2
(1)	回答者の内訳	2
(2)	調査結果	6
■	「熊本市の環境目標（基本計画）」について（その1）	6
問1.	熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。（1つだけ）	6
問2.	熊本市の中心市街地に緑が多いと感じますか。（1つだけ）	8
問3.	熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感じますか。（1つだけ）	10
■	「ひとづくりプロジェクト」について	12
問4.	環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。（1つだけ）	12
問5.	この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。（1つだけ）	14
問5-1.	（問5. で「参加した」と答えられた方）どのような環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。（複数回答可）	16
問5-2.	（問5. で「参加した」と答えられた方）参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動（活動）はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。（1つだけ）	18
問5-3.	（問5. で「参加していない」と答えられた方）参加しなかった理由は何ですか。（複数回答可）	20
問6.	今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。（複数回答可）	22
問7.	どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。（複数回答可）	24

問 8. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取組を行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)	26
■「まちづくりプロジェクト」について	30
問 9. (緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など) 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ)	30
問 10. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)	32
問 10-1. (問 10. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方) どのような団体の活動に参加していますか。(複数回答可)	34
問 10-2. (問 10. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方) 現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(複数回答可)	36
問 10-3. (問 10. で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と答えられた方) 今後、どのような団体の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)	38
問 10-4. (問 10. で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と答えられた方) 今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。(複数回答可)	40
問 10-5. (問 10. で「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」と答えられた方) 参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)	42
問 11. どのような条件が整えば、より多くの方がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答)	44
問 12. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)	48
問 13. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(複数回答可)	50
問 14. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。(複数回答可)	52

■「ごみ問題への関心と地域におけるごみ出しマナー」について	54
問15. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。(1つだけ)	54
問16. スマートフォン・タブレット向けの「熊本市ごみ分別アプリ」を知っていますか。(1つだけ)	56
問16-1. (問16. で「既に利用している」又は「知っているが利用はしていない」と答えられた方)「熊本市ごみ分別アプリ」をどこで知りましたか。(複数回答可)	58
■「プラスチック問題」について	60
問17. 海洋プラスチック問題を知っていますか。(1つだけ)	60
問18. プラスチックごみの削減に取り組んでいますか。(1つだけ)	62
問19. スーパーやコンビニ等での買い物の際に袋を利用する場合、どの袋を使用していますか。(1つだけ)	64
問20. レジ袋の代わりとして指定収集袋(ごみ袋)を購入したいと思いませんか。(1つだけ)	66
問20-1. (問20. で「購入したいと思わない」と答えられた方)購入したいと思わない理由を教えてください。(複数回答可)	68
■「食品ロス」について	70
問21. 「食品ロス」について知っていますか。(1つだけ)	70
問21-1. (問21. で「言葉も内容も知っている」又は「言葉は知っているが、内容はよく知らない」と答えられた方)「食品ロス」を知ったきっかけは何ですか。(複数回答可)	72
問22. 食品ロス削減について、取り組んでいることはありますか。(1つだけ)	74
■「資源物の持ち去り」について	76
問23. この1年でごみステーションから資源物等を持ち去る行為を目撃しましたか。(1つだけ)	76
問23-1. (問23. で「11回以上目撃したことがある」又は「1~10回程度目撃したことがある」と答えられた方)この1年以内で、持ち去	

り行為を目撃する回数が増えたと感じますか。(1つだけ)	78
問24. 持ち去り行為を防ぐために市が作成した「持ち去り禁止意思表示テ ープ」を使用したいと思いませんか。(1つだけ)	80
問25. 持ち去り行為を防ぐためにはどのような対策が有効であると思いま すか。ご提言、ご意見がございましたらお聞かせください。(1つだけ)	82
■「リサイクルの推進」について	86
問26. 近年、熊本市の家庭ごみのリサイクル率は横ばい傾向にあります。 リサイクルを推進するために、分別品目数を増やすことについてどう思 われますか。(1つだけ)	86
■「受動喫煙防止」について	88
問27. 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ(加熱式)」 は、従来のたばこと同様に規制する必要があると考えますか。(1つだけ) ...	88
■「地球温暖化対策」について	90
問28. 地球温暖化対策に積極的に取り組みべきと考えていますか。(1つ だけ)	90
問29. 地球温暖化対策として実際に取り組んでいるものはありますか。(複 数回答可)	92
問30. 熊本市では、近隣市町村とともに「2050年温室効果ガス排出実質ゼ ロ」を目指すことを宣言していることを知っていますか。(1つだけ)	94
■「COOL CHOICE」について	96
問31. 「COOL CHOICE」について知っていますか。(1つだけ)	96
問31-1. (問31. で「言葉も意味も知っている」又は「言葉は知って いるが、意味はよく知らない」と答えられた方)「COOL CHOI CE」を知ったきっかけは何ですか。(複数回答可)	98
問31-2. (問31. で「言葉も意味も知っている」又は「言葉は知って いるが、意味はよく知らない」と答えられた方)「COOL CHOI CE」を実践している、または実践していない理由を教えてください。 (複数回答可)	100

■「ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」について	102
問32. 「ZEH」について知っていますか。（1つだけ）	102
問33. 「ZEH」について具体的にどのようなことが知りたいですか。（複数回答可）	104
■「SDGs」について	106
問34. 「SDGs」について知っていますか。（1つだけ）	106
問34-1.（問34. で「よく知っている」又は「少しは知っている」と答えられた方）言葉を知ったきっかけは何ですか。（複数回答可）	108
問35. SDGsの17の目標のうち、大切だと思う項目は何ですか。（複数回答可）	110
問36. SDGsの17の目標のうち、あなたが貢献できると思う項目は何ですか。（複数回答可）	111
問37. SDGsの17の目標のうち、熊本市として取り組むべきだと思う項目は何ですか。（複数回答可）	112
問38. SDGsに関して、ご提言、ご意見がございましたらお聞かせください。	113
問39. 「フェアトレード」について知っていますか。（1つだけ）	118
■「ラムサール条約」について	120
問40. 「ラムサール条約」について知っていますか。（1つだけ）	120
問41. 日本には52か所（2020年12月時点）のラムサール条約の登録湿地があります。登録湿地について知っていますか。（1つだけ）	122
問42. 江津湖（・上江津湖水系）は「日本の重要湿地」に選定されています。「湿地」と聞いて江津湖が思い浮かびますか。（1つだけ）	124
問43. 江津湖をラムサール条約の登録湿地として申請することについて、どう思いますか。（1つだけ）	126

問 4 4. 2018 年からラムサール条約の湿地自治体認証制度が始まっています。熊本市が湿地自治体として認証申請することについて、どう思いますか。(1つだけ)	128
■「熊本市の環境目標(基本計画)」について(その2)	130
問 4 5. 熊本市の良好な環境(生活・自然環境全般)が守られていると感じますか。(1つだけ)	130
問 4 5-1. (問 4 5. で「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「全く感じない」と答えられた方) どちらともいえない、あまり感じない、全く感じないと思われる理由は何ですか。(複数回答可)	132
■「熊本市内の環境問題」について	135
問 4 6. 現在の熊本市内の環境の現状について、問題と思われることについて(10項目)から選んでください。(1つだけ)	135
問 4 7. あなたが問 4 6. で回答されたことについて、どのような課題や問題があると思われますか。ご自身のお考えを具体的に記入してください。 ...	138
1「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」についての意見	138
2「地下水の状況(水質や量)」についての意見	140
3「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」についての意見	146
4「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」についての意見	153
5「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」についての意見	156
6「大気の状態」についての意見	158
7「河川など水辺の美しさ・清潔さ」についての意見	159
8「生活環境の快適さ(騒音や振動、悪臭などが無い)」についての意見	160
9「環境に配慮した道路、歩道などの整備」についての意見	163
10 環境について学ぶ機会や情報を得る機会についての意見	173
11 その他	176
3 参考資料(調査票)	179

1 調査概要

■調査目的

平成 23 年(2011 年)3 月に策定した第 3 次熊本市環境総合計画では、「未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市」を目指すべき都市像として掲げ、それを実現するために共通して取り組む事項として「環境教育によるひとつづくり」、「協働によるまちづくり」を重点協働プロジェクトとして位置づけている。また、本計画では、プロジェクトの実施状況や進捗状況を、市民意識調査等により毎年度点検評価し、その結果を計画実施体制等に反映し、着実な推進を図ることとしている。

本調査は、市民の日頃の環境保全行動・活動の取組状況や、それに対するニーズなどを調査し、熊本市の環境目標の認知度や重点協働プロジェクトの進捗状況の把握、新たに実施する施策の方向性を検討する資料とするため実施したものである。また、設問 1、2、4、45 においては、これまで熊本市第 6 次総合計画で調査されてきた設問を、引き続き本調査にて継続したものとなっている。

■調査対象

市民：3,000 人（住民基本台帳より満 20 歳以上 89 歳以下の市民を無作為抽出）

■調査方法

アンケート調査票の郵送配布、郵送もしくはインターネットによる回答

■調査期間

令和 3 年(2021 年)2 月上旬から令和 3 年(2021 年)3 月 31 日まで

■回答受付期間

郵送	令和 3 年(2021 年)2 月 8 日から	
	令和 3 年(2021 年)4 月 15 日まで	962 件
インターネット	令和 3 年(2021 年)2 月 5 日から	
	令和 3 年(2021 年)4 月 19 日まで	261 件

■回収数（回収率）

1,223 人（40.77%）

■留意事項

単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の回収数を 100%としている。なお、回答率は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも 100%にならない場合がある。

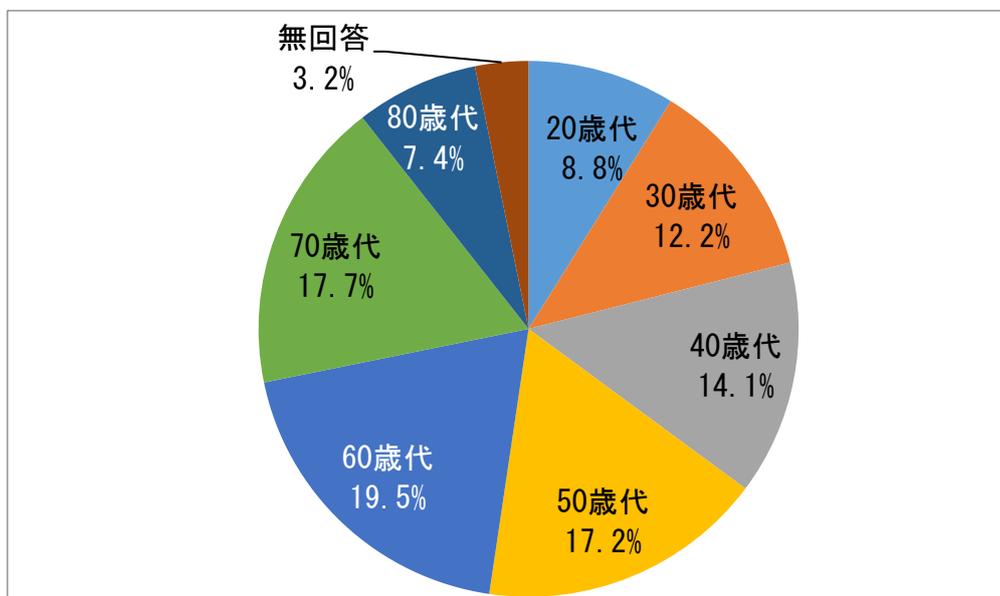
複数回答となる質問の集計については、項目別に回収数に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。したがって、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は 100%を超える場合がある。

なお、提言や意見については誹謗中傷などを除いて掲載している。

2 アンケート調査結果 令和2年度(2020年度)

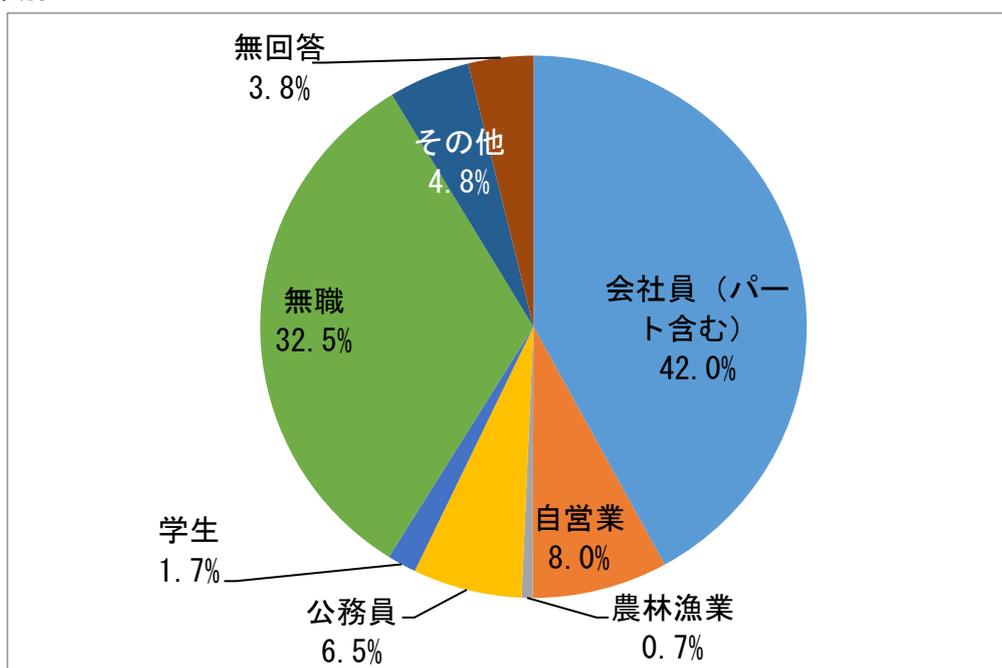
(1) 回答者の内訳

年齢別



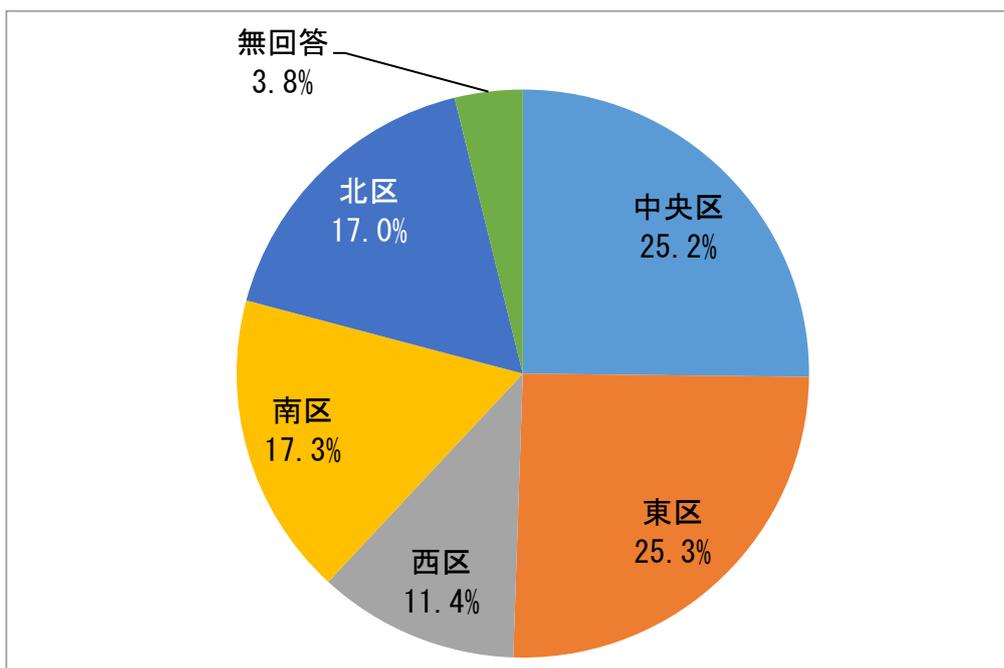
年齢別	回答数 (人)	発送数 (人)	発送数に対する回答割合 (%)
20歳代	108	388	27.8
30歳代	149	439	33.9
40歳代	173	534	32.4
50歳代	210	479	43.8
60歳代	238	478	49.8
70歳代	216	431	50.1
80歳代	90	251	35.9
無回答	39	—	—
計	1,223	3,000	40.77

職業別



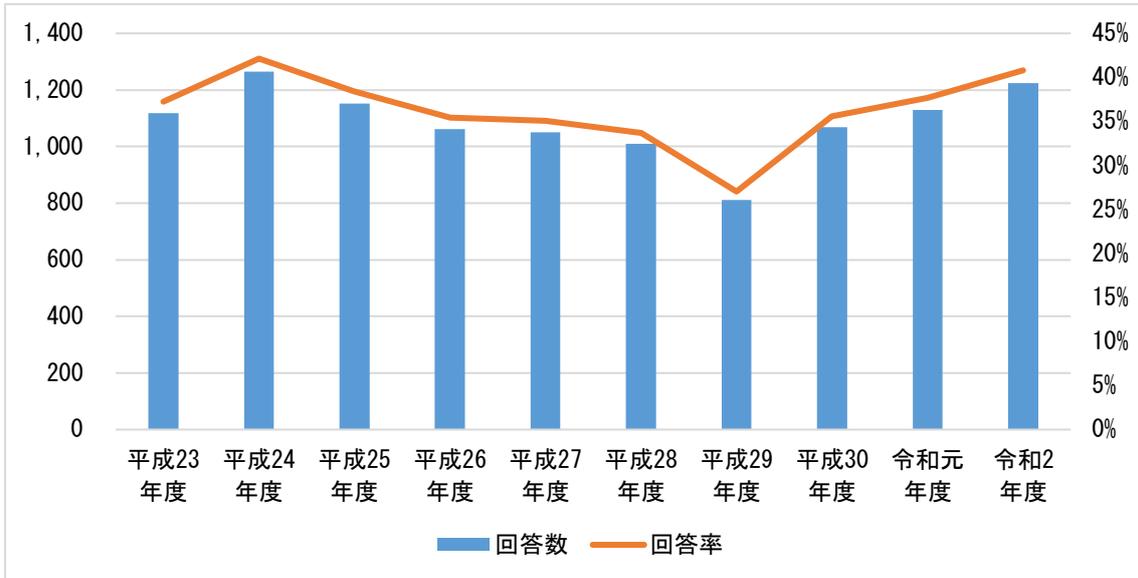
職業	回答数(人)	割合 (%)
会社員	514	42.0
自営業	98	8.0
農林漁業	8	0.7
公務員	79	6.5
学生	21	1.7
無職	397	32.5
その他	59	4.8
無回答	47	3.8
合計	1,223	100.0

回答者の居住区



区	回答数 (人)	発送数 (人)	発送数に対する回答割合 (%)
中央区	308	745	41.3
東区	310	769	40.3
西区	139	377	36.9
南区	211	529	39.9
北区	208	580	35.9
無回答	47	—	—
合計	1,223	3,000	40.8

これまでの回答数と回答率の推移



年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
回答数 (人)	1,117	1,264	1,152	1,062	1,051	1,010	811	1,068	1,130	1,223
回答率 (%)	37.23	42.13	38.40	35.40	35.03	33.67	27.03	35.60	37.67	40.77

備考 平成30年度からインターネットによる回答を開始している。

(2) 調査結果

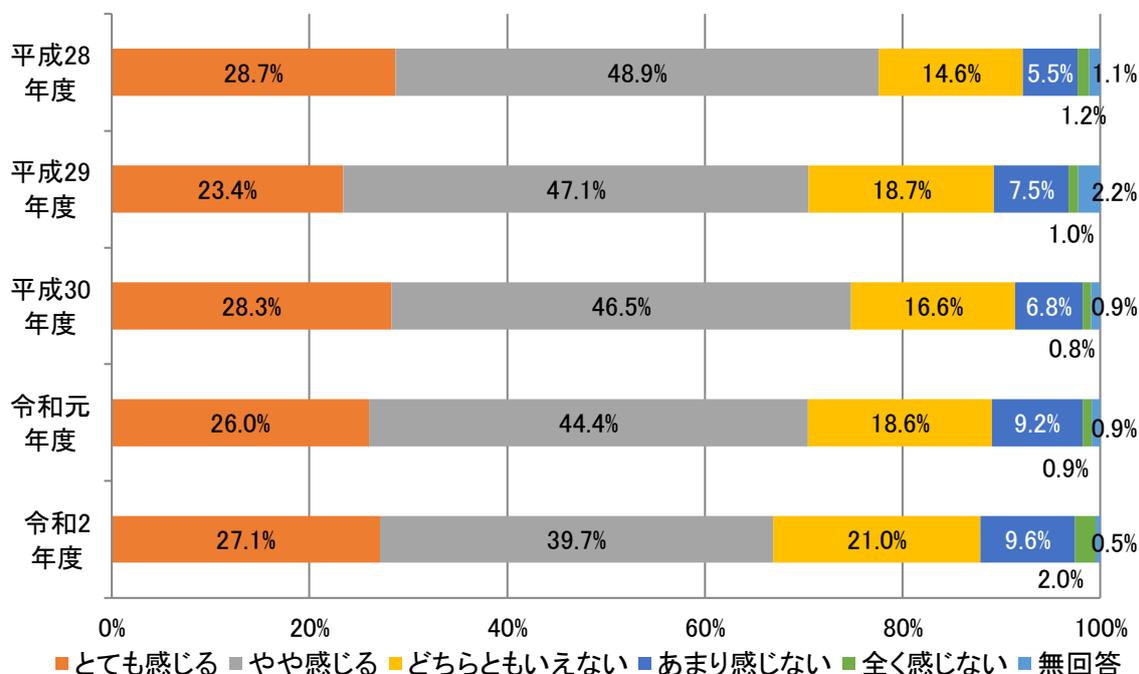
■「熊本市の環境目標（基本計画）」について（その1）

問1. 熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。（1つだけ）

「やや感じる」が39.7%と最も高く、次いで「とても感じる」が27.1%、「どちらともいえない」が21.0%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は66.8%で、前回調査と比較すると3.6ポイント減少している。

過去5年間の推移では、「とても感じる」または「やや感じる」と回答した割合は平成28年度の77.6%から減少傾向にある。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は80歳代が81.1%と最も高く、次いで70歳代（77.8%）、60歳代（68.5%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は無職が72.8%と最も高く、次いで自営業と学生（71.4%）、公務員（64.5%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は中央区が69.5%と最も高く、次いで東区（69.1%）、北区（66.3%）となっている。

■属性別回答

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,223	27.1%	39.7%	21.0%	9.6%	2.0%	0.5%
年齢別							
20歳代	108	24.1%	34.3%	31.5%	7.4%	2.8%	—
30歳代	149	16.1%	33.6%	29.5%	16.1%	4.7%	—
40歳代	173	20.2%	42.8%	24.9%	11.0%	1.2%	—
50歳代	210	20.0%	46.2%	21.0%	9.5%	2.9%	0.5%
60歳代	238	30.3%	38.2%	19.3%	10.9%	1.3%	—
70歳代	216	38.4%	39.4%	15.7%	5.6%	—	0.9%
80歳代	90	42.2%	38.9%	8.9%	5.6%	3.3%	1.1%
職業別							
会社員	514	21.2%	39.5%	26.1%	10.3%	2.9%	—
自営業	98	30.6%	40.8%	20.4%	5.1%	1.0%	2.0%
農林漁業	8	12.5%	50.0%	25.0%	12.5%	—	—
公務員	79	21.5%	43.0%	19.0%	13.9%	2.5%	—
学生	21	33.3%	38.1%	28.6%	—	—	—
無職	397	34.3%	38.5%	16.6%	9.1%	1.3%	0.3%
その他	59	22.0%	42.4%	18.6%	13.6%	1.7%	1.7%
地区別							
中央区	308	28.6%	40.9%	19.8%	8.4%	1.6%	0.6%
東区	310	31.0%	38.1%	19.4%	10.6%	0.6%	0.3%
西区	139	25.9%	39.6%	26.6%	5.0%	2.9%	—
南区	211	21.8%	39.3%	25.1%	10.4%	3.3%	—
北区	208	25.0%	41.3%	18.8%	11.5%	2.9%	0.5%

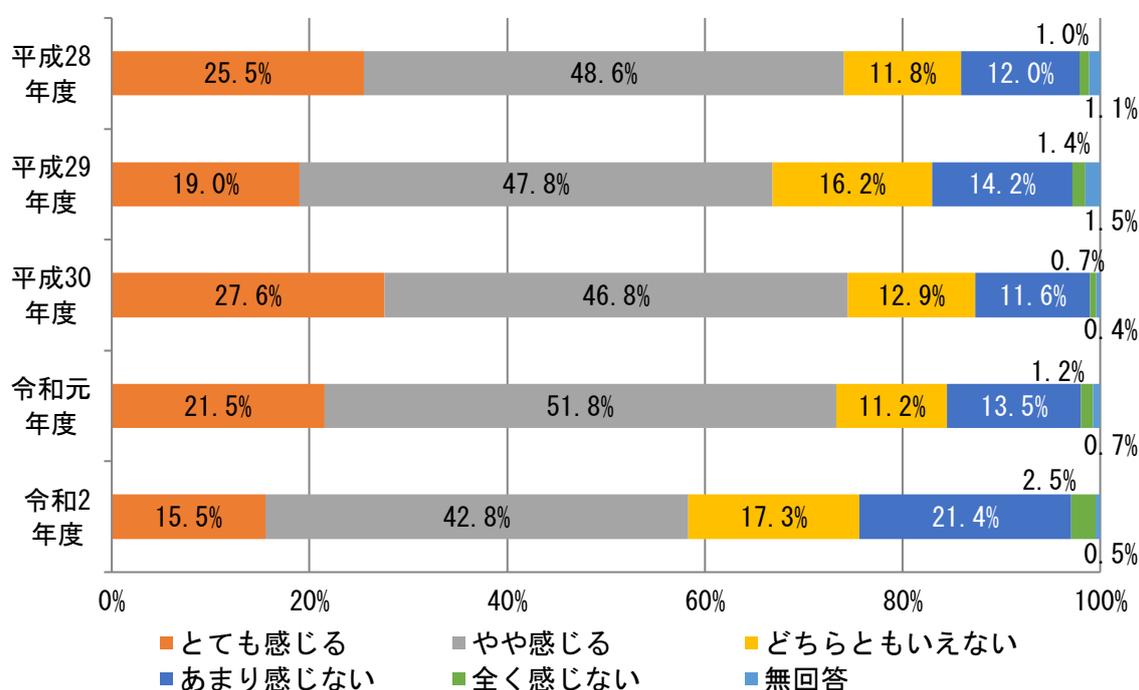
問2. 熊本市の中心市街地に緑が多いと感じますか。(1つだけ)

令和2年度より「熊本市の街なかに緑が多いと感じますか」との設問を修正したものである。

「やや感じる」が42.8%と最も高く、次いで「あまり感じない」が21.4%、「どちらともいえない」が17.3%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は58.3%で、前回調査と比較すると15.0ポイント減少している。

設問が修正されているので単純比較はできないが、「とても感じる」または「やや感じる」と回答した割合は過去5年間で最も低い割合となった。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は70歳代が69.0%と最も高く、次いで80歳代（64.4%）、60歳代（60.5%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は自営業が63.3%と最も高く、次いで農林漁業（62.5%）、無職（61.4%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が63.3%と最も高く、次いで東区（61.6%）、南区（59.7%）となっている。

■属性別回答

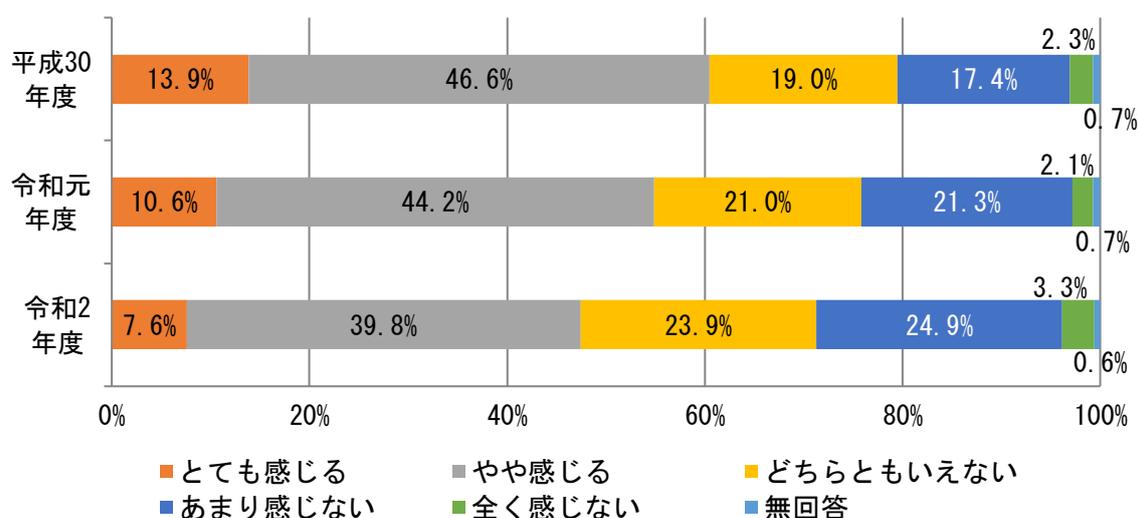
	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,223	15.5%	42.8%	17.3%	21.4%	2.5%	0.5%
年齢別							
20歳代	108	9.3%	40.7%	17.6%	31.5%	0.9%	—
30歳代	149	6.7%	38.9%	15.4%	35.6%	3.4%	—
40歳代	173	14.5%	39.9%	21.4%	21.4%	2.9%	—
50歳代	210	17.6%	41.0%	17.6%	19.5%	3.8%	0.5%
60歳代	238	18.9%	41.6%	18.5%	19.3%	1.7%	—
70歳代	216	17.6%	51.4%	12.0%	15.7%	2.3%	0.9%
80歳代	90	20.0%	44.4%	21.1%	12.2%	1.1%	1.1%
職業別							
会社員	514	13.8%	41.4%	17.5%	25.3%	1.9%	—
自営業	98	18.4%	44.9%	14.3%	16.3%	5.1%	1.0%
農林漁業	8	12.5%	50.0%	37.5%	—	—	—
公務員	79	11.4%	48.1%	15.2%	21.5%	3.8%	—
学生	21	14.3%	38.1%	19.0%	28.6%	—	—
無職	397	18.6%	42.8%	18.4%	17.6%	2.0%	0.5%
その他	59	10.2%	40.7%	15.3%	27.1%	5.1%	1.7%
地区別							
中央区	308	13.6%	39.6%	19.8%	24.0%	2.6%	0.3%
東区	310	15.8%	45.8%	15.8%	20.0%	2.3%	0.3%
西区	139	18.0%	45.3%	15.8%	17.3%	2.9%	0.7%
南区	211	16.1%	43.6%	14.2%	23.7%	2.4%	—
北区	208	15.4%	40.9%	20.7%	20.2%	2.4%	0.5%

問3. 熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感じますか。（1つだけ）

「やや感じる」が39.8%と最も高く、次いで「あまり感じない」が24.9%。「どちらともいえない」が23.9%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は47.4%で、前回調査と比較すると7.4ポイント減少している。

調査を開始した平成30年度以降、「とても感じる」と「やや感じる」は減少し、「どちらともいえない」と「あまり感じない」は増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は20歳代が63.8%と最も高く、次いで30歳代（52.3%）、40歳代（49.7%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は学生が71.5%と最も高く、次いで公務員（62.0%）、会社員（48.6%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は南区が49.8%と最も高く、次いで西区（48.9%）、中央区（48.7%）となっている。

■属性別回答

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,223	7.6%	39.8%	23.9%	24.9%	3.3%	0.6%
年齢別							
20歳代	108	15.7%	48.1%	15.7%	15.7%	4.6%	—
30歳代	149	8.7%	43.6%	19.5%	24.2%	4.0%	—
40歳代	173	9.8%	39.9%	25.4%	23.7%	1.2%	—
50歳代	210	3.8%	41.9%	21.9%	27.1%	4.8%	0.5%
60歳代	238	6.3%	38.2%	26.5%	27.3%	1.7%	—
70歳代	216	6.5%	36.1%	28.2%	25.5%	2.8%	0.9%
80歳代	90	7.8%	33.3%	25.6%	28.9%	3.3%	1.1%
職業別							
会社員	514	7.0%	41.6%	23.5%	24.9%	2.9%	—
自営業	98	8.2%	38.8%	21.4%	26.5%	4.1%	1.0%
農林漁業	8	—	12.5%	87.5%	—	—	—
公務員	79	11.4%	50.6%	11.4%	24.1%	2.5%	—
学生	21	28.6%	42.9%	19.0%	4.8%	4.8%	—
無職	397	6.8%	36.0%	27.2%	26.7%	2.8%	0.5%
その他	59	6.8%	39.0%	23.7%	23.7%	5.1%	1.7%
地区別							
中央区	308	8.1%	40.6%	22.4%	25.3%	3.2%	0.3%
東区	310	7.7%	38.7%	25.2%	25.8%	2.3%	0.3%
西区	139	7.2%	41.7%	20.1%	26.6%	3.6%	0.7%
南区	211	7.6%	42.2%	24.6%	23.7%	1.9%	—
北区	208	6.7%	37.0%	26.9%	24.5%	4.3%	0.5%

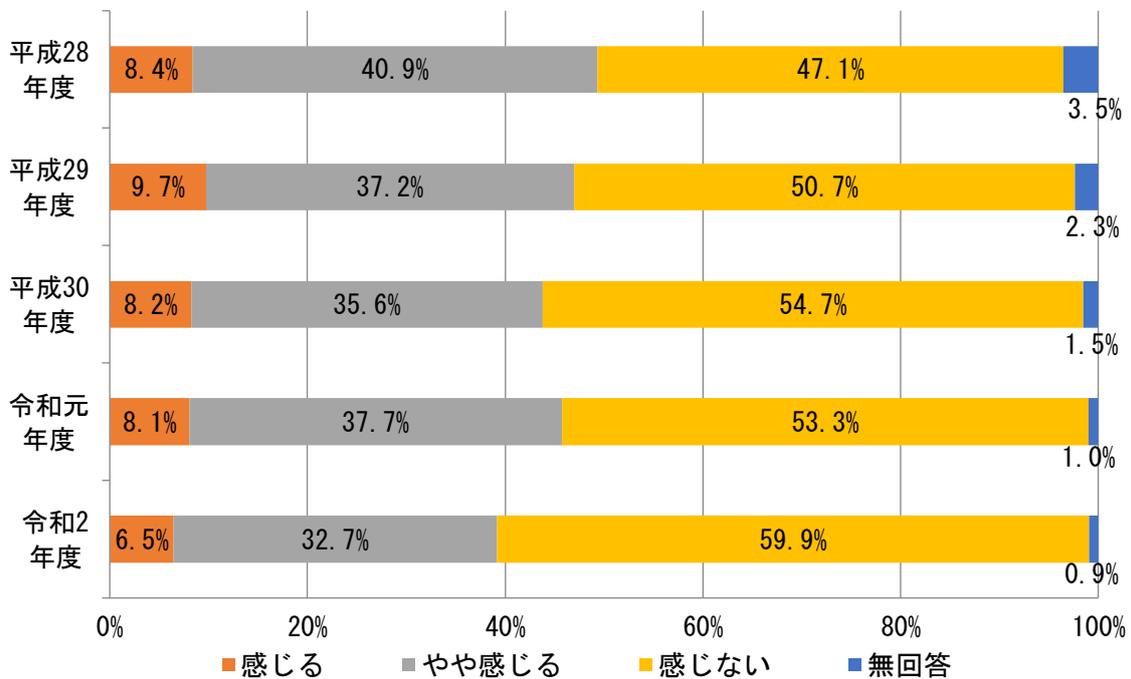
■ 「ひとづくりプロジェクト」について

問4. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。（1つだけ）

「感じない」が59.9%と最も高く、次いで「やや感じる」が32.7%、「感じる」が6.5%となっている。

前回調査と比較すると、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は39.2%で、6.6ポイント減少している。

過去5年間の推移では、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合が平成28年度の49.3%から減少傾向にある。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は60歳代が45.4%と最も高く、次いで80歳代（44.5%）、70歳代（42.6%）となっている。

職業別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は学生が47.6%と最も高く、次いで無職（43.3%）、公務員（43.0%）となっている。

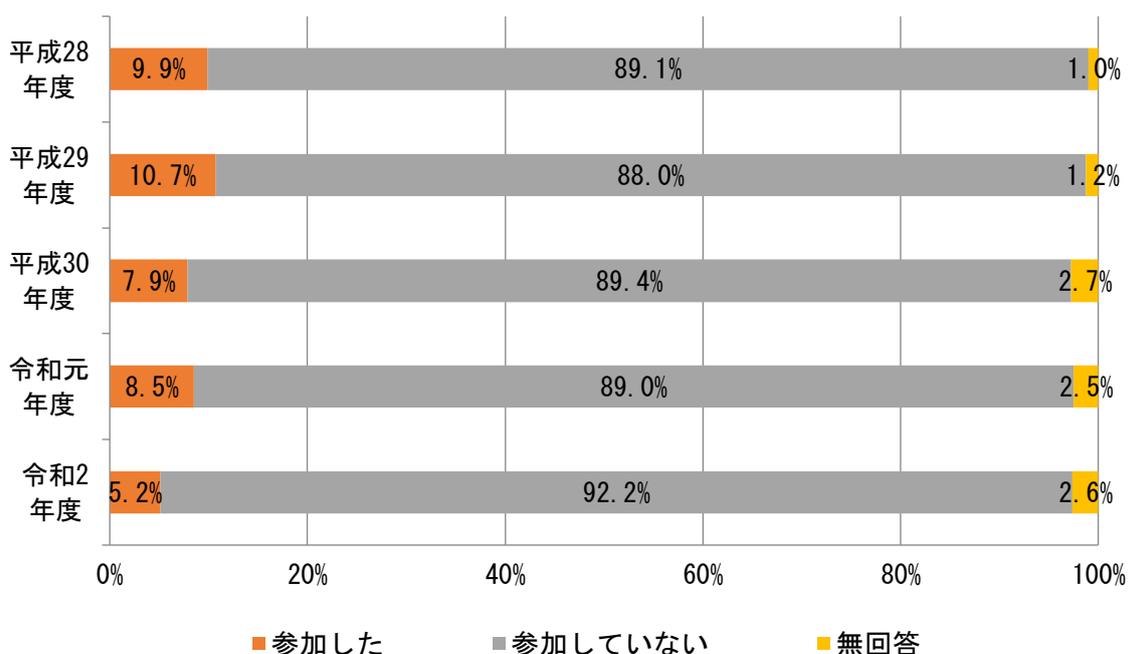
地区別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が42.5%と最も高く、次いで南区（41.7%）、北区（40.4%）となっている。

■属性別回答

	合計	感じる	やや感じる	感じない	無回答
全体	1,223	6.5%	32.7%	59.9%	0.9%
年齢別					
20歳代	108	5.6%	31.5%	63.0%	—
30歳代	149	5.4%	23.5%	71.1%	—
40歳代	173	8.7%	32.4%	58.4%	0.6%
50歳代	210	5.7%	29.0%	64.8%	0.5%
60歳代	238	8.4%	37.0%	54.2%	0.4%
70歳代	216	4.6%	38.0%	56.5%	0.9%
80歳代	90	8.9%	35.6%	51.1%	4.4%
職業別					
会社員	514	6.4%	28.6%	64.8%	0.2%
自営業	98	9.2%	32.7%	57.1%	1.0%
農林漁業	8	—	25.0%	75.0%	—
公務員	79	6.3%	36.7%	57.0%	—
学生	21	14.3%	33.3%	52.4%	—
無職	397	6.3%	37.0%	55.2%	1.5%
その他	59	5.1%	28.8%	64.4%	1.7%
地区別					
中央区	308	7.8%	29.5%	61.7%	1.0%
東区	310	7.1%	30.6%	61.9%	0.3%
西区	139	5.8%	36.7%	57.6%	—
南区	211	6.2%	35.5%	57.3%	0.9%
北区	208	5.3%	35.1%	58.2%	1.4%

問5. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(1つだけ)

「参加していない」が92.2%と「参加した」の5.2%を大きく上回っている。
前回調査と比較すると、「参加した」の割合は3.3ポイント減少している。
過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「参加した」は80歳代が11.1%と最も高く、次いで70歳代（6.9%）、60歳代（5.9%）となっている。

職業別：「参加した」は学生が19.0%と最も高く、次いで農林漁業（12.5%）、無職（6.8%）となっている。

地区別：「参加した」は北区が7.2%と最も高く、次いで南区（6.6%）、西区（5.8%）となっている。

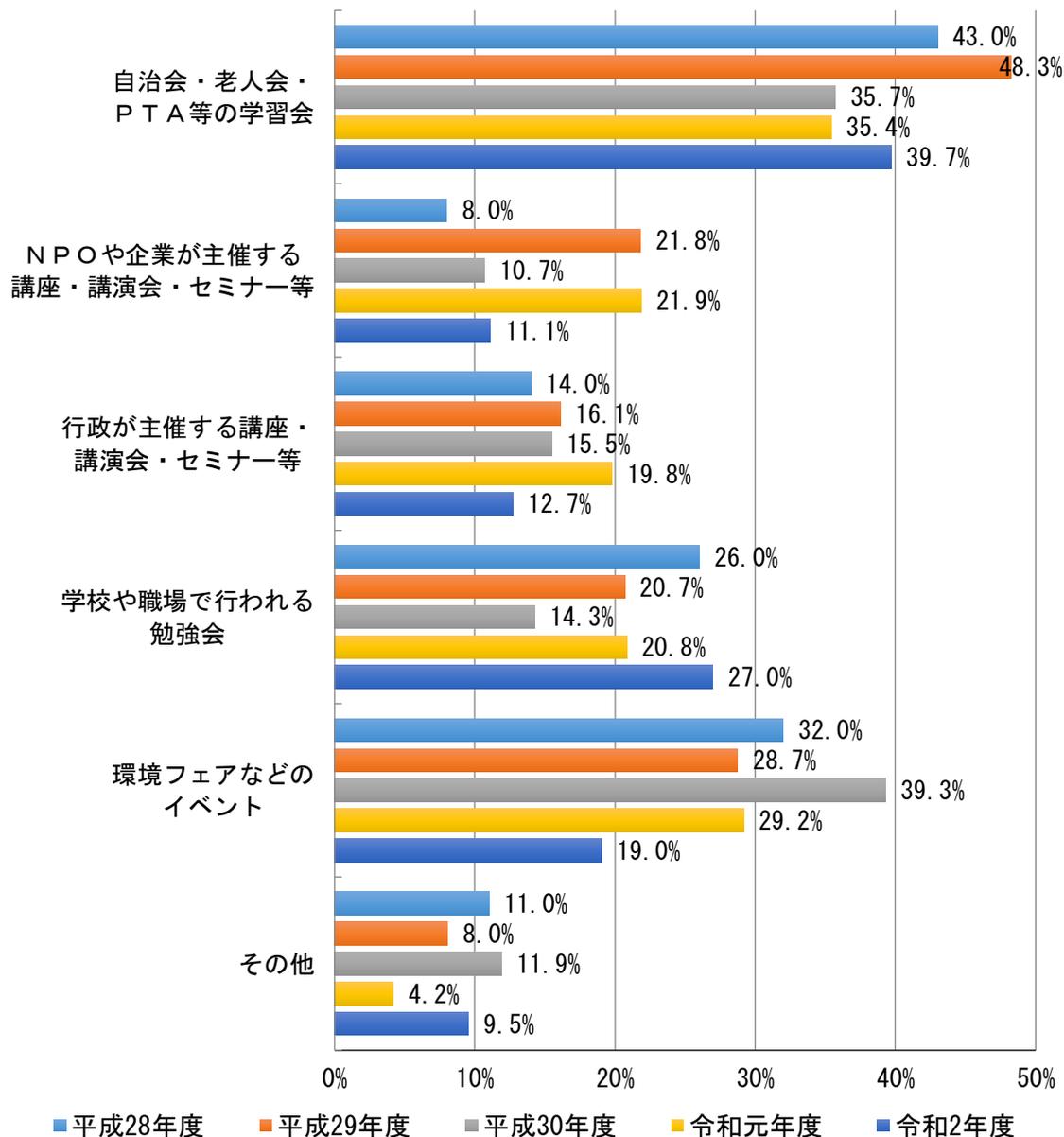
■属性別回答

	合計	参加した	参加していない	無回答
全体	1,223	5.2%	92.2%	2.6%
年齢別				
20歳代	108	3.7%	96.3%	—
30歳代	149	3.4%	94.6%	2.0%
40歳代	173	4.6%	95.4%	—
50歳代	210	2.9%	94.8%	2.4%
60歳代	238	5.9%	92.0%	2.1%
70歳代	216	6.9%	90.3%	2.8%
80歳代	90	11.1%	84.4%	4.4%
職業別				
会社員	514	3.7%	94.6%	1.8%
自営業	98	4.1%	94.9%	1.0%
農林漁業	8	12.5%	87.5%	—
公務員	79	6.3%	92.4%	1.3%
学生	21	19.0%	81.0%	—
無職	397	6.8%	90.4%	2.8%
その他	59	5.1%	93.2%	1.7%
地区別				
中央区	308	3.6%	95.8%	0.6%
東区	310	4.5%	93.2%	2.3%
西区	139	5.8%	91.4%	2.9%
南区	211	6.6%	91.9%	1.4%
北区	208	7.2%	88.9%	3.8%

問5-1. (問5. で「参加した」と答えられた方) どのような環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(複数回答可)

問5. で「参加した」と回答した63人については、「自治会・老人会・PTA等の学習会」が39.7%と最も高く、次いで「学校や職場で行われる勉強会」が27.0%、「環境フェアなどのイベント」が19.0%となっている。

前回調査と比較すると、「自治会・老人会・PTA等の学習会」と「学校や職場で行われる勉強会」が増加した以外は減少している。



【参考】

【その他について】

- ・ 子どもが通う幼稚園の行事
- ・ 自分が代表を務める団体のイベント
- ・ クリーン作戦での清掃活動
- ・ 職場指導に関連した各種講習会

【回答者の属性別にみた結果】

※母数が少ないため分析は行わないが、結果は以下に示すとおりである。

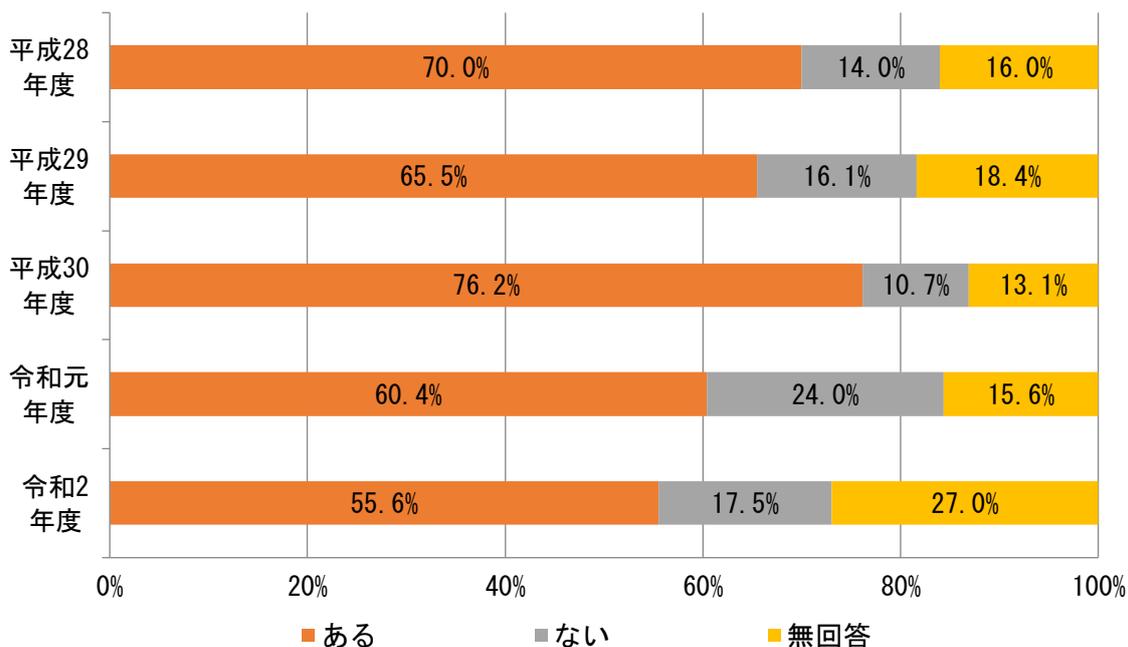
■属性別回答

	合計	自治会・老人会・PTA等の 学習会	NPOや企業が主催する 講座・講演会・セミナー等	行政が主催する 講座・講演会・セミナー等	学校や職場で行われる 勉強会	環境フェアなどのイベント	その他
全体	63	39.7%	11.1%	12.7%	27.0%	19.0%	9.5%
年齢別							
20歳代	4	—	—	—	50.0%	25.0%	50.0%
30歳代	5	—	—	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%
40歳代	8	12.5%	25.0%	—	75.0%	25.0%	—
50歳代	6	—	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%
60歳代	14	42.9%	21.4%	21.4%	21.4%	28.6%	—
70歳代	15	60.0%	6.7%	13.3%	13.3%	13.3%	—
80歳代	10	90.0%	—	—	—	10.0%	—
職業別							
会社員	19	—	5.3%	26.3%	47.4%	21.1%	10.5%
自営業	4	75.0%	75.0%	—	25.0%	50.0%	—
農林漁業	1	—	—	—	—	—	—
公務員	5	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%
学生	4	—	—	—	50.0%	25.0%	50.0%
無職	27	74.1%	3.7%	7.4%	3.7%	11.1%	3.7%
その他	3	33.3%	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	—
地区別							
中央区	11	27.3%	9.1%	18.2%	36.4%	36.4%	9.1%
東区	14	28.6%	—	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%
西区	8	62.5%	—	25.0%	25.0%	—	12.5%
南区	14	35.7%	14.3%	7.1%	28.6%	7.1%	7.1%
北区	15	53.3%	26.7%	6.7%	20.0%	26.7%	6.7%

問5-2. (問5. で「参加した」と答えられた方) 参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動)はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。(1つだけ)

問5. で「参加した」と回答した63人については、「ある」が55.6%と、「ない」の17.5%を大きく上回っている。

前回調査との比較や過去5年間の推移では、「ある」と回答した割合が減少傾向にある。



【参考】

実践している内容

- ・ 地下水保全 (節水、洗剤使用量の削減)
- ・ 清掃や美化活動 (町内の清掃、公園の清掃や樹木剪定、河川の清掃、竹炭を用水路に入れて水質浄化)
- ・ プラスチック対策 (マイバッグの使用)
- ・ 廃棄物削減 (ごみの分別の徹底、リサイクル)
- ・ エネルギー使用量削減 (節電、公共交通機関の利用、省エネ家電の購入、LED照明への取り替え、車の急発進を控える、太陽光パネルの購入)
- ・ その他 (古い民家の再生、小学生への川の生き物調査の講師、中学校へのSDGs教育のアドバイス、子どもへの声掛け、社会を明るくする運動)

【回答者の属性別にみた結果】

※母数が少ないため分析は行わないが、結果は次ページに示すとおりである。

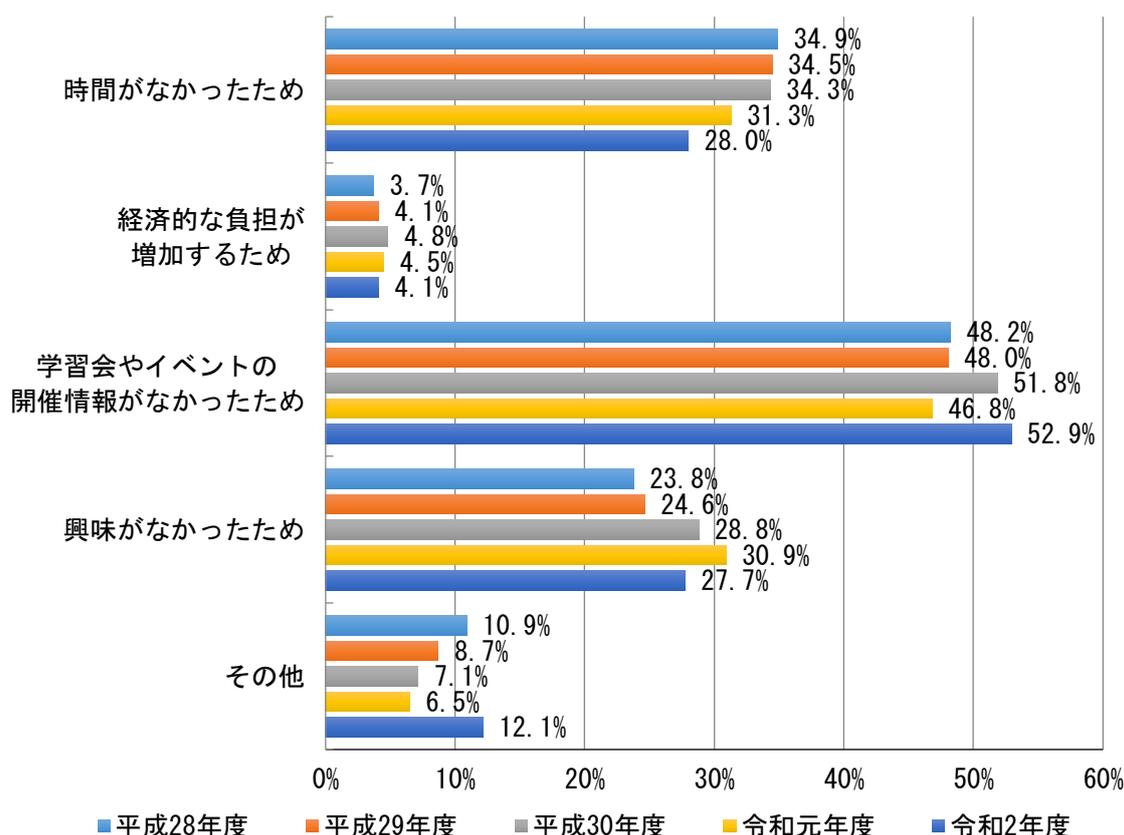
■属性別回答

	合計	ある	ない	無回答
全体	63	55.6%	17.5%	27.0%
年齢別				
20歳代	4	75.0%	25.0%	—
30歳代	5	60.0%	20.0%	20.0%
40歳代	8	75.0%	—	25.0%
50歳代	6	83.3%	16.7%	—
60歳代	14	64.3%	21.4%	14.3%
70歳代	15	40.0%	20.0%	40.0%
80歳代	10	20.0%	20.0%	50.0%
職業別				
会社員	19	52.6%	21.1%	26.3%
自営業	4	75.0%	—	25.0%
農林漁業	1	—	100.0%	—
公務員	5	80.0%	—	20.0%
学生	4	75.0%	25.0%	—
無職	27	44.4%	18.5%	33.3%
その他	3	100.0%	—	—
地区別				
中央区	11	63.6%	9.1%	27.3%
東区	14	71.4%	14.3%	14.3%
西区	8	50.0%	25.0%	12.5%
南区	14	50.0%	21.4%	28.6%
北区	15	46.7%	20.0%	33.3%

問5-3. (問5. で「参加していない」と答えられた方) 参加しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

問5. で「参加していない」と回答した1,128人については、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」が52.9%と最も高く、次いで「時間がなかったため」が28.0%、「興味がなかったため」が27.7%となっている。

過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・コロナ禍での外出自粛 (69件)
- ・病気や家族の介護、障がい (29件)
- ・年齢的理由 (8件)
- ・参加する意義を感じなかった (6件)
- ・参加の条件に合わなかった (子どもと一緒に参加できない等) (6件)
- ・その他 (転居したばかりで参加しづらい、町内や校区の老人会が解散した、興味はあるが人が集まる場に行くのが苦手である等)

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「時間がなかったため」は40歳代が41.8%と最も高く、「経済的な負担が増加するため」と「学習会やイベントの開催情報がなかったため」は50歳代がそれぞれ5.5%、56.3%、「興味がなかったため」は30歳代が39.7%

と最も高くなっている。

職業別：「時間がなかったため」と「学習会やイベントの開催情報がなかったため」は農林漁業がそれぞれ42.9%、71.4%と最も高く、「経済的な負担が増加するため」はその他が9.1%、「興味がなかったため」は会社員が30.5%と最も高くなっている。

地区別：「時間がなかったため」は中央区が30.8%と最も高く、「経済的な負担が増加するため」は西区が4.7%、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」は南区が56.2%、「興味がなかったため」は北区が29.2%と最も高くなっている。

■属性別回答

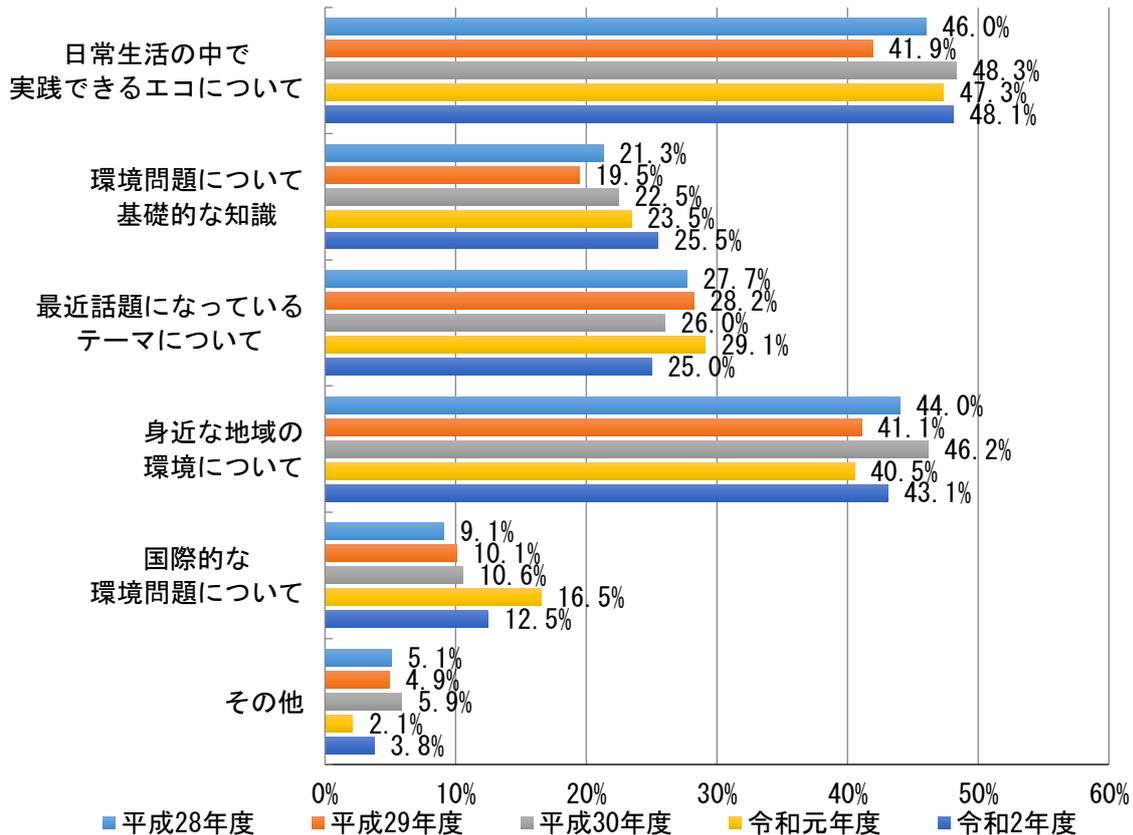
	合計	時間がなかったため	経済的な負担が増加するため	学習会やイベントの開催情報がなかったため	興味がなかったため	その他
全体	1,128	28.0%	4.1%	52.9%	27.7%	12.1%
年齢別						
20歳代	104	21.2%	3.8%	51.9%	36.5%	4.8%
30歳代	141	28.4%	4.3%	49.6%	39.7%	5.7%
40歳代	165	41.8%	3.6%	53.9%	30.3%	9.7%
50歳代	199	30.2%	5.5%	56.3%	27.1%	13.1%
60歳代	219	30.1%	4.6%	56.2%	19.2%	13.2%
70歳代	195	23.6%	3.1%	51.8%	23.6%	13.8%
80歳代	76	5.3%	2.6%	51.3%	19.7%	27.6%
職業別						
会社員	486	34.0%	4.3%	51.0%	30.5%	9.9%
自営業	93	30.1%	—	58.1%	25.8%	5.4%
農林漁業	7	42.9%	—	71.4%	14.3%	—
公務員	73	31.5%	—	67.1%	26.0%	4.1%
学生	17	5.9%	—	52.9%	23.5%	—
無職	359	18.7%	4.7%	51.0%	25.3%	18.7%
その他	55	34.5%	9.1%	70.9%	20.0%	12.7%
地区別						
中央区	295	30.8%	3.4%	53.9%	26.8%	15.3%
東区	289	29.4%	4.5%	53.3%	28.4%	11.1%
西区	127	25.2%	4.7%	51.2%	23.6%	11.0%
南区	194	25.8%	4.1%	56.2%	27.3%	11.9%
北区	185	25.9%	3.2%	53.0%	29.2%	8.1%

問6. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。(複数回答可)

「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」が48.1%と最も高く、次いで「身近な地域の環境について学べるもの」が43.1%、「環境問題について基礎的な知識」が25.5%となっている。

前回調査と比較すると、割合に大きな変化はみられない。

過去5年間の推移では、市民の生活に密着している「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」や、「身近な地域の環境について学べるもの」が毎年上位を占めている。



【参考】

「その他」の内容

- ・ ゴミ処理場や水道施設の見学
- ・ 地球温暖化の説明会や勉強会
- ・ 県や市の環境方針の説明会や過去の成果
- ・ 地域の歴史、文化と環境等の総合的な学習会
- ・ ゴミを捨てた後どう処理されているのかを知る機会
- ・ 参加したいと思わない (21件)

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「日常生活の中で実践できるエコについて」と「最近話題になっているテーマについて」は20歳代がそれぞれ53.7%、38.0%と最も高く、「環境問題について基礎的な知識」と「国際的な環境問題について」は40歳代がそれぞれ28.9%、20.8%、「身近な地域の環境について」は70歳代が52.3%と最も高くなっている。

職業別：「日常生活の中で実践できるエコについて」と「環境問題について基礎的な知識」は学生がそれぞれ61.9%、42.9%と最も高く、「最近話題なってい

るテーマについて」は公務員が 39.2%、「身近な地域の環境について」は農林漁業が 62.5%、「国際的な環境問題について」はその他が 23.7%と最も高くなっている。

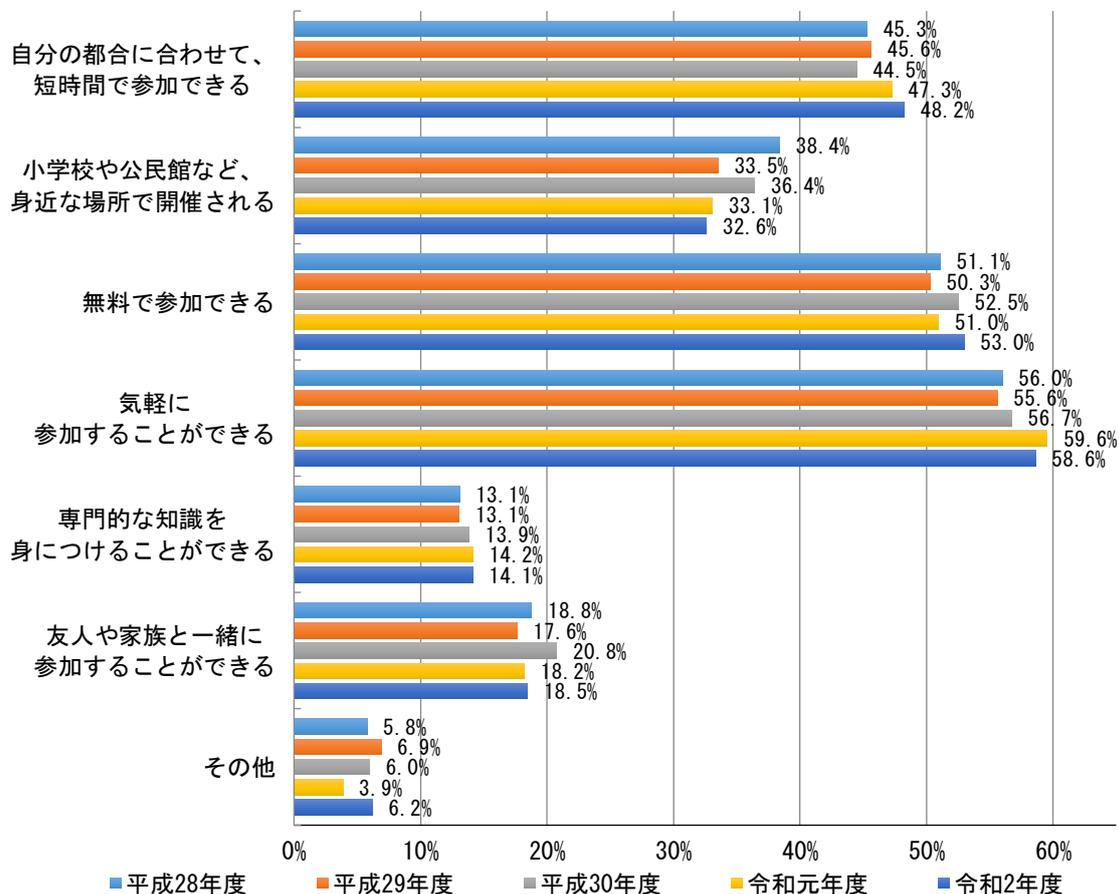
地区別：「日常生活の中で実践できるエコについて」と「話題になっているテーマについて」は南区がそれぞれ 51.2%、27.0%と最も高く、「環境問題について基礎的な知識」は北区が 29.8%、「身近な地域の環境について」は東区が 47.1%、「国際的な環境問題について」は中央区が 16.2%と最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	実践できるエコについて 日常生活の中で	環境問題について 基礎的な知識	最近話題になっている テーマについて	身近な地域の 環境について	環境問題について 国際的な	その他
全体	1,223	48.1%	25.5%	25.0%	43.1%	12.5%	3.8%
年齢別							
20歳代	108	53.7%	22.2%	38.0%	36.1%	12.0%	1.9%
30歳代	149	49.7%	22.8%	31.5%	32.9%	14.1%	5.4%
40歳代	173	48.6%	28.9%	32.9%	37.0%	20.8%	4.0%
50歳代	210	53.3%	26.2%	25.2%	39.5%	14.8%	6.7%
60歳代	238	52.5%	23.9%	19.7%	51.3%	12.6%	2.9%
70歳代	216	40.3%	27.8%	16.2%	52.3%	6.0%	1.4%
80歳代	90	42.2%	22.2%	17.8%	48.9%	6.7%	3.3%
職業別							
会社員	514	52.1%	26.8%	29.4%	38.5%	14.6%	3.5%
自営業	98	44.9%	31.6%	18.4%	50.0%	18.4%	6.1%
農林漁業	8	37.5%	12.5%	12.5%	62.5%	—	—
公務員	79	48.1%	12.7%	39.2%	40.5%	13.9%	7.6%
学生	21	61.9%	42.9%	38.1%	47.6%	9.5%	0.0%
無職	397	44.8%	24.4%	18.1%	49.4%	7.8%	2.3%
その他	59	55.9%	22.0%	23.7%	39.0%	23.7%	5.1%
地区別							
中央区	308	48.1%	24.7%	26.0%	41.2%	16.2%	5.8%
東区	310	48.1%	23.9%	24.5%	47.1%	13.2%	2.3%
西区	139	49.6%	25.2%	20.9%	45.3%	9.4%	2.9%
南区	211	51.2%	24.6%	27.0%	42.2%	10.4%	1.9%
北区	208	49.0%	29.8%	24.5%	41.8%	11.5%	4.3%

問7. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したい
 と思いますか。(複数回答可)

「気軽に参加することができる」が58.6%と最も高く、次いで「無料で参加できる」が53.0%、「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」が48.2%となっている。過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ オンラインやテレビを通じて開催される (34 件)
- ・ 新型コロナウイルス感染対策の徹底や、感染が収束すること (5 件)
- ・ 託児、保育サービスがある、子どもと一緒に参加できる (4 件)
- ・ 参加特典やノベルティの配布がある (3 件)
- ・ 参加することで資格を取得できる (3 件)
- ・ そもそも参加したいと思わない (5 件)

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」は40歳代が59.5%と最も高く、「小学校や公民館など、身近な場所で開催される」は70歳代が46.8%、「無料で参加できる」と「気軽に参加することができる」、「友人や家族と一緒に参加することができる」は20歳代がそれぞれ68.5%、66.7%、27.8%、「専門的な知識を身につけることができる」は30歳代が20.8%と最も高くなっている。

職業別：「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」と「気軽に参加することができる」、「友人や家族と一緒に参加することができる」は公務員がそれぞれ57.0%、63.3%、24.1%と最も高く、「小学校や公民館など、身近な場所で開催される」は農林漁業が50.0%、「無料で参加できる」は会社員が

61.7%、「専門的な知識を身に着けることができる」は学生が38.1%と最も高くなっている。

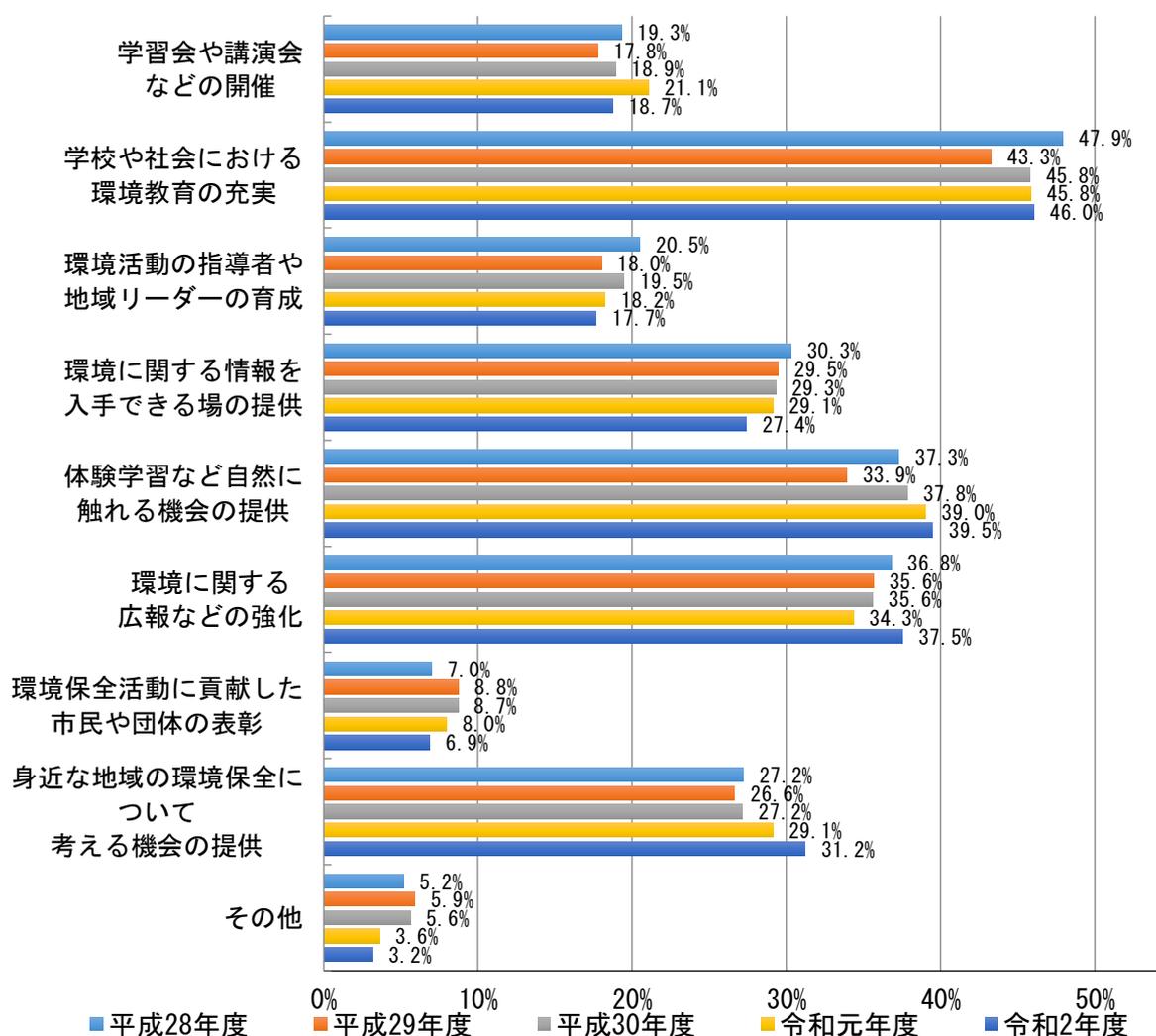
地区別：「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」と「小学校や公民館など、身近な場所で開催される」、「専門的な知識を身につけることができる」は南区がそれぞれ51.2%、41.7%、16.6%と最も高く、「無料で参加できる」は中央区が55.5%、「気軽に参加することができる」と「友人や家族と一緒に参加することができる」は北区がそれぞれ64.4%、23.6%と最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	自分の都合に合わせて、短時間で参加できる	小学校や公民館など、身近な場所で開催される	無料で参加できる	気軽に参加することができる	専門的な知識を身につけることができる	友人や家族と一緒に参加することができる	その他
全体	1,223	48.2%	32.6%	53.0%	58.6%	14.1%	18.5%	6.2%
年齢別								
20歳代	108	52.8%	15.7%	68.5%	66.7%	17.6%	27.8%	11.1%
30歳代	149	57.0%	24.8%	59.7%	55.0%	20.8%	23.5%	9.4%
40歳代	173	59.5%	30.6%	57.8%	55.5%	19.1%	20.2%	11.0%
50歳代	210	54.8%	22.4%	62.4%	59.5%	13.3%	18.6%	6.7%
60歳代	238	50.0%	39.1%	53.4%	65.5%	13.0%	14.7%	1.7%
70歳代	216	34.7%	46.8%	38.0%	62.0%	7.4%	14.4%	2.8%
80歳代	90	24.4%	45.6%	32.2%	44.4%	8.9%	16.7%	5.6%
職業別								
会社員	514	56.8%	25.9%	61.7%	58.4%	14.6%	20.4%	6.6%
自営業	98	44.9%	35.7%	46.9%	58.2%	18.4%	21.4%	6.1%
農林漁業	8	25.0%	50.0%	37.5%	37.5%	—	12.5%	—
公務員	79	57.0%	22.8%	49.4%	63.3%	12.7%	24.1%	12.7%
学生	21	52.4%	28.6%	57.1%	57.1%	38.1%	4.8%	14.3%
無職	397	38.0%	42.6%	45.1%	61.7%	9.6%	15.1%	3.5%
その他	59	50.8%	39.0%	57.6%	61.0%	28.8%	16.9%	13.6%
地区別								
中央区	308	47.4%	25.3%	55.5%	63.3%	15.3%	17.9%	8.1%
東区	310	50.3%	30.6%	53.9%	57.1%	11.9%	17.4%	5.2%
西区	139	49.6%	37.4%	51.1%	56.1%	15.1%	12.2%	5.8%
南区	211	51.2%	41.7%	53.1%	54.5%	16.6%	19.9%	7.1%
北区	208	46.2%	37.0%	51.9%	64.4%	12.0%	23.6%	4.8%

問8. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取組を行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)

「学校や社会における環境教育の充実」が46.0%と最も高くなっている。次いで「体験学習など自然に触れる機会の提供」が39.5%、「環境に関する広報などの強化」が37.5%となっている。過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

○環境教育について（10件）

- ・ ルールを作って、それを守りつつ学んでいけると生活の中に取り込めて行くと思う。知っているだけでは行動に繋がりにくい。
- ・ 何をどうすればいいのかもわからない方が多いため、目指す項目と取り組み方（案）を示し、子ども・高齢者も取り組める方策を示す。
- ・ 講演会（職場などでの大人向け、藤原ひろのぶさんの子ども向け）

- ・ 親子や家族で学べる場
 - ・ お土産付きや遊びながら学べるイベント
 - ・ 幼保小中高大学で学べる機会を市から積極的に提案する など
- オンラインについて（5件）
- ・ 健康アプリのような参加型のアプリの開発
 - ・ インターネットから自由にアクセスできる資料の整備
 - ・ 双方向型のオンラインによる取組 など
- 広報について（4件）
- ・ メディアに取り上げてもらう、夕方のニュースで放送
 - ・ 広報誌ではなく誰もが自然に目にするような方法での広報
 - ・ 誰もが情報を知りうる機会 など
- 補助金や表彰制度（4件）
- ・ 町内自治会などでの環境保全活動に対する補助制度の充実
 - ・ 美化の模範となる町内の表彰 など
- 規制の強化（2件）
- ・ 環境破壊の厳罰化、不法投棄やポイ捨ての取り締まりの徹底
 - ・ ゴミ出しルールの広域統一化
- その他（6件）
- ・ 市役所の職員さんの顔の見える対応。一緒に取り組みましょうという働きかけは効果的だと思う。
 - ・ 年間数回の水道制限等実施して、水に対する認識を再確認できるようにしては。
 - ・ 政治家の強いリーダーシップ
 - ・ 環境保全活動のビジネス化
 - ・ 建築協定等の情報活用
 - ・ 環境保全意識は個人の道徳的意識に任せる

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：回答肢の中から一番選ばれたものについて、20歳代から60歳代は「学校や社会における環境教育の充実」が最も高くなっている。70歳代は「環境に関する広報などの強化」、80歳代は「身近な地域の環境保全について考える機会の提供」が最も高くなっている。

職業別：農林漁業は「環境に関する広報などの強化」が最も高くなっており、それ以外は「学校や社会における環境教育の充実」が最も高くなっている。

地区別：全区ともに「学校や社会における環境教育の充実」が最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	学習会や講演会などの開催	学校や社会における 環境教育の充実	地域リーダーの育成 環境活動の指導者や 環境活動の指導者や	入手できる場の提供 環境に関する情報を 入手できる場の提供	体験学習など自然に触れる 機会の提供	環境に関する広報などの強化	環境保全活動に貢献した 市民や団体の表彰	身近な地域の環境保全について 考える機会の提供	その他
全体	1,223	18.7%	46.0%	17.7%	27.4%	39.5%	37.5%	6.9%	31.2%	3.2%
年齢別										
20歳代	108	11.1%	48.1%	13.0%	27.8%	43.5%	35.2%	11.1%	25.9%	1.9%
30歳代	149	13.4%	60.4%	16.8%	25.5%	51.0%	31.5%	9.4%	17.4%	5.4%
40歳代	173	18.5%	49.7%	15.6%	27.7%	46.8%	34.1%	9.2%	30.1%	3.5%
50歳代	210	17.6%	48.1%	15.7%	33.3%	38.1%	40.0%	5.2%	32.4%	4.8%
60歳代	238	18.5%	50.0%	16.4%	29.4%	41.2%	45.0%	6.3%	36.1%	2.1%
70歳代	216	24.5%	36.6%	20.4%	22.7%	31.9%	40.7%	2.8%	36.1%	2.3%
80歳代	90	28.9%	23.3%	30.0%	26.7%	24.4%	28.9%	6.7%	38.9%	2.2%
職業別										
会社員	514	16.9%	50.8%	14.0%	29.0%	42.2%	37.2%	7.8%	28.4%	3.5%
自営業	98	19.4%	46.9%	26.5%	31.6%	45.9%	38.8%	7.1%	37.8%	3.1%
農林漁業	8	37.5%	37.5%	37.5%	12.5%	37.5%	50.0%	—	—	—
公務員	79	15.2%	46.8%	12.7%	20.3%	44.3%	40.5%	7.6%	36.7%	7.6%
学生	21	14.3%	71.4%	19.0%	42.9%	57.1%	28.6%	9.5%	33.3%	—
無職	397	22.7%	40.6%	19.1%	26.2%	34.8%	38.5%	4.8%	34.0%	2.8%
その他	59	16.9%	44.1%	27.1%	32.2%	35.6%	39.0%	10.2%	28.8%	1.7%
地区別										
中央区	308	20.5%	47.1%	18.2%	29.5%	40.9%	40.3%	9.1%	32.8%	5.2%
東区	310	15.8%	47.4%	17.4%	31.0%	44.5%	36.8%	6.5%	31.9%	1.6%
西区	139	18.0%	43.2%	19.4%	27.3%	30.2%	37.4%	5.0%	35.3%	2.9%
南区	211	20.9%	47.4%	16.1%	28.0%	40.8%	37.9%	4.7%	28.9%	2.8%
北区	208	20.2%	46.2%	17.8%	21.6%	38.0%	35.6%	7.2%	28.8%	3.8%

このページは空白です。

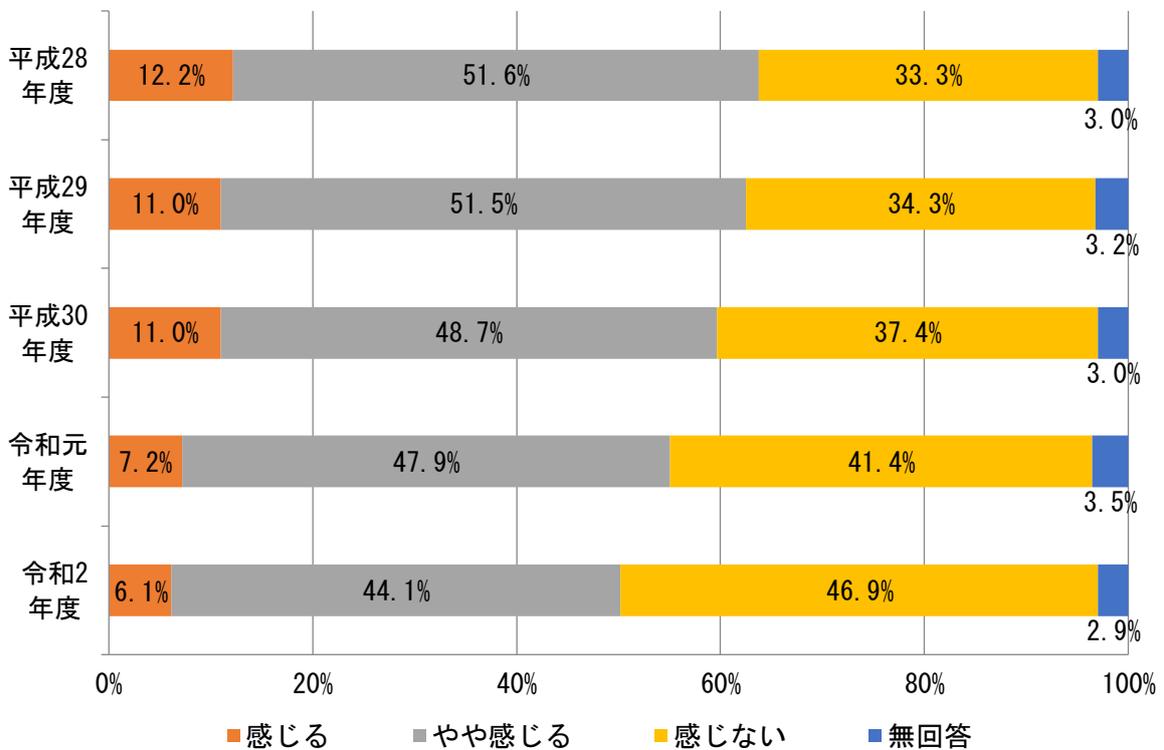
■「まちづくりプロジェクト」について

問9.（緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など）環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。（1つだけ）

「感じない」が46.9%と最も高く、次いで「やや感じる」が44.1%、「感じる」が6.1%となっている。

前回調査と比較すると、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は50.2%と4.9ポイント減少している。

過去5年間の推移では、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、年々減少傾向にある。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は80歳代が60.0%と最も高く、次いで70歳代（58.8%）、60歳代（52.9%）となっている。

職業別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は農林漁業が62.5%と最も高く、次いで学生（61.9%）、無職（54.4%）となっている。

地区別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が52.6%と最も高く、次いで北区（51.0%）、中央区（50.6%）となっている。

■属性別回答

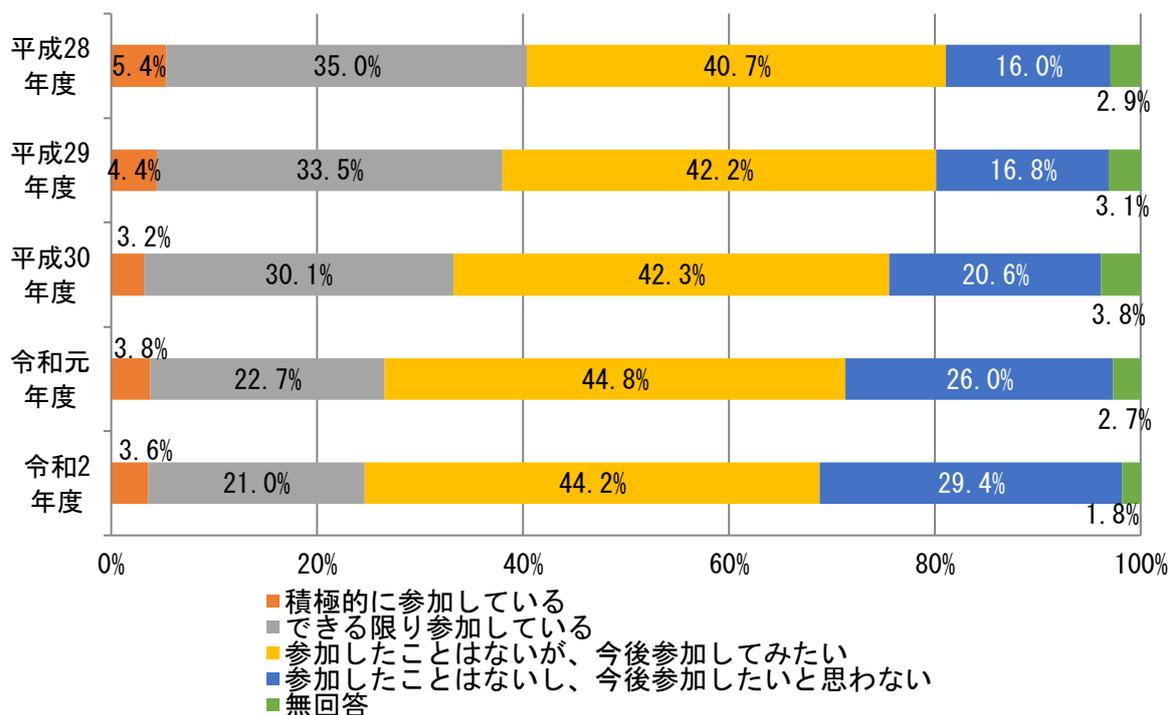
	合計	感じる	やや感じる	感じない	無回答
全体	1,223	6.1%	44.1%	46.9%	2.9%
年齢別					
20歳代	108	7.4%	39.8%	51.9%	0.9%
30歳代	149	2.7%	43.0%	52.3%	2.0%
40歳代	173	4.6%	43.9%	50.3%	1.2%
50歳代	210	3.8%	37.1%	56.2%	2.9%
60歳代	238	7.1%	45.8%	44.5%	2.5%
70歳代	216	6.9%	51.9%	38.9%	2.3%
80歳代	90	12.2%	47.8%	32.2%	7.8%
職業別					
会社員	514	4.1%	43.2%	50.2%	2.5%
自営業	98	8.2%	43.9%	44.9%	3.1%
農林漁業	8	—	62.5%	37.5%	—
公務員	79	7.6%	40.5%	50.6%	1.3%
学生	21	9.5%	52.4%	38.1%	—
無職	397	7.8%	46.6%	42.6%	3.0%
その他	59	5.1%	33.9%	59.3%	1.7%
地区別					
中央区	308	5.5%	45.1%	46.8%	2.6%
東区	310	6.5%	42.3%	49.0%	2.3%
西区	139	5.8%	46.8%	44.6%	2.9%
南区	211	6.6%	43.1%	48.3%	1.9%
北区	208	5.8%	45.2%	45.7%	3.4%

問10. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

「参加したことはないが、今後参加してみたい」が44.2%と最も高く、次いで「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」が29.4%、「できる限り参加している」が21.0%となっている。

前回調査と比較すると、「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」が3.4ポイント上昇、「積極的に参加している」、「できる限り参加している」、「参加したことはないが、今後参加してみたい」は減少している。

過去5年間の推移では、「積極的に参加している」、「できる限り参加している」が減少傾向に、「参加したことはないが、今後参加してみたい」、「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」は増加傾向にある。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は50歳代が31.4%と最も高く、次いで、60歳代（31.1%）、70歳代（30.1%）となっている。

また、「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」は20歳代が38.9%と最も高く、次いで30歳代（30.9%）となっている。

職業別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は農林漁業が62.5%と最も高く、次いで、自営業（35.7%）、無職（29.7%）となっている。

地区別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は南区が32.7%と最も高く、次いで、西区（30.2%）、北区（29.3%）となっている。

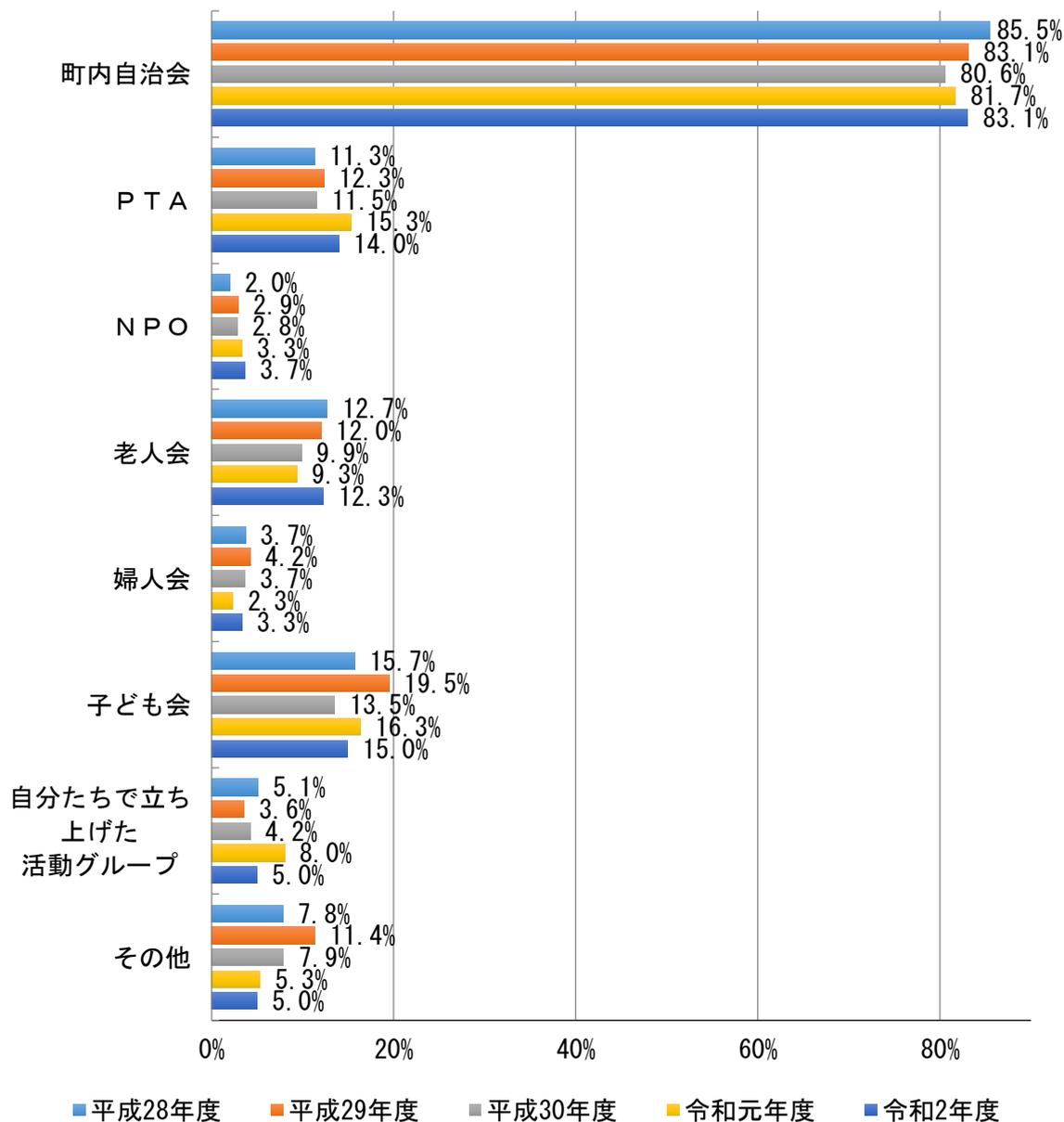
■属性別回答

	合計	積極的に参加している	できる限り参加している	参加したことはないが、今後参加してみたい	参加したことはないし、今後参加したいと思わない	無回答
全体	1,223	3.6%	21.0%	44.2%	29.4%	1.8%
年齢別						
20歳代	108	—	8.3%	52.8%	38.9%	—
30歳代	149	0.7%	14.1%	53.7%	30.9%	0.7%
40歳代	173	1.7%	19.1%	50.9%	27.7%	0.6%
50歳代	210	4.3%	27.1%	35.7%	31.4%	1.4%
60歳代	238	2.5%	28.6%	45.0%	23.5%	0.4%
70歳代	216	7.4%	22.7%	41.7%	25.9%	2.3%
80歳代	90	10.0%	17.8%	37.8%	30.0%	4.4%
職業別						
会社員	514	1.2%	19.5%	46.7%	32.3%	0.4%
自営業	98	4.1%	31.6%	37.8%	25.5%	1.0%
農林漁業	8	25.0%	37.5%	12.5%	25.0%	—
公務員	79	2.5%	12.7%	62.0%	21.5%	1.3%
学生	21	—	19.0%	57.1%	23.8%	—
無職	397	6.3%	23.4%	40.8%	27.0%	2.5%
その他	59	6.8%	20.3%	49.2%	23.7%	—
地区別						
中央区	308	2.3%	15.6%	46.8%	33.8%	1.6%
東区	310	1.6%	19.7%	48.7%	29.0%	1.0%
西区	139	4.3%	25.9%	40.3%	27.3%	2.2%
南区	211	5.2%	27.5%	38.4%	28.4%	0.5%
北区	208	6.7%	22.6%	46.2%	22.6%	1.9%

問10-1. (問10. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方) どのような団体の活動に参加していますか。(複数回答可)

問10. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と回答した301人については、「町内自治会」が83.1%と最も高く、次いで「子ども会」が15.0%、「PTA」が14.0%となっている。

前回調査及び過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容			
・ 消防団	・ 勤務先	・ ライオンズクラブ	・ 環境保全隊
・ 公社	・ 組合	・ 熊本県ボート協会	

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：母数が少ない年代があるため、特段の分析を行わない。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「町内自治会」と「自分たちで立ち上げた活動グループ」は南区がそれぞれ94.2%、7.2%と最も高く、「PTA」と「子ども会」は中央区が20.0%、21.8%、「NPO」は東区が7.6%、「老人会」は中央区と北区が16.4%と最も高くなっている。

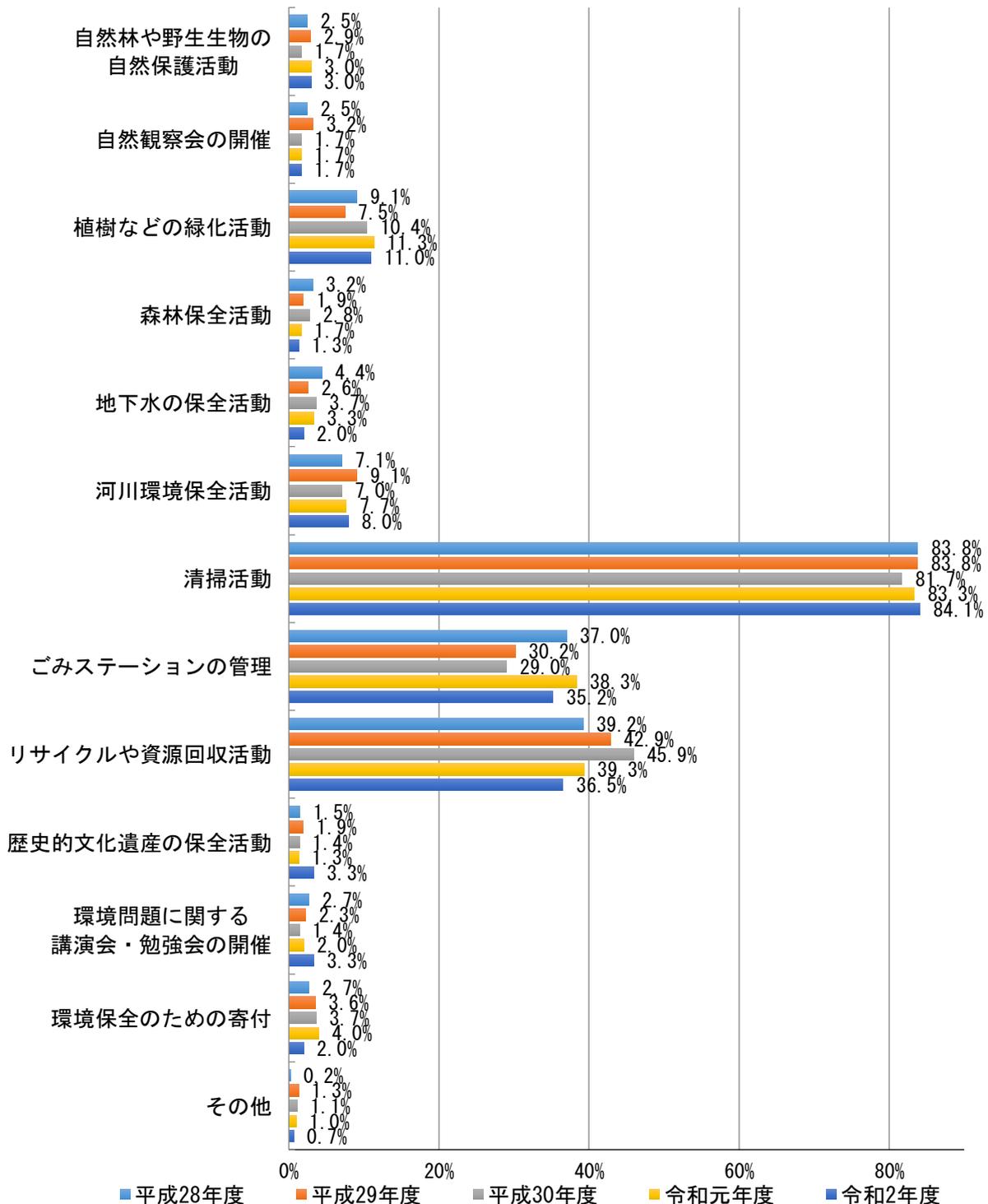
■属性別回答

	合計	町内自治会	PTA	NPO	老人会	婦人会	子ども会	自分たちで立ち上げた活動グループ	その他
全体	301	83.1%	14.0%	3.7%	12.3%	3.3%	15.0%	5.0%	5.0%
年齢別									
20歳代	9	33.3%	22.2%	11.1%	—	—	—	—	22.2%
30歳代	22	50.0%	31.8%	4.5%	—	—	27.3%	9.1%	9.1%
40歳代	36	77.8%	38.9%	5.6%	—	—	41.7%	2.8%	5.6%
50歳代	66	92.4%	16.7%	3.0%	3.0%	7.6%	21.2%	4.5%	3.0%
60歳代	74	90.5%	5.4%	5.4%	5.4%	1.4%	6.8%	5.4%	5.4%
70歳代	65	89.2%	4.6%	1.5%	24.6%	4.6%	3.1%	6.2%	4.6%
80歳代	25	76.0%	—	—	60.0%	4.0%	4.0%	4.0%	—
職業別									
会社員	106	80.2%	18.9%	4.7%	1.9%	2.8%	19.8%	4.7%	6.6%
自営業	35	88.6%	20.0%	8.6%	11.4%	2.9%	17.1%	8.6%	8.6%
農林漁業	5	80.0%	—	—	—	—	—	40.0%	—
公務員	12	66.7%	33.3%	—	—	—	16.7%	8.3%	—
学生	4	50.0%	—	25.0%	—	—	—	—	25.0%
無職	118	85.6%	5.1%	0.8%	26.3%	5.1%	6.8%	3.4%	3.4%
その他	16	93.8%	25.0%	6.3%	—	—	37.5%	—	—
地区別									
中央区	55	67.3%	20.0%	3.6%	16.4%	3.6%	21.8%	1.8%	10.9%
東区	66	83.3%	13.6%	7.6%	7.6%	3.0%	19.7%	6.1%	1.5%
西区	42	88.1%	7.1%	2.4%	4.8%	9.5%	7.1%	2.4%	7.1%
南区	69	94.2%	15.9%	1.4%	15.9%	2.9%	14.5%	7.2%	2.9%
北区	61	82.0%	11.5%	3.3%	16.4%	—	6.6%	6.6%	4.9%

問10-2. (問10. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方) 現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(複数回答可)

問10. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と回答した301人については、「清掃活動」が84.1%と最も高くなっており、次いで「リサイクルや資源回収活動」が36.5%、「ごみステーションの管理」が35.2%となっている。

前回調査や過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 灌漑用水路の除草や害虫駆除など

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：母数が少ない年代があるため、特段の分析を行わない。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「森林保全活動」、「清掃活動」、「環境問題に関する講演会」は南区が最も高く、「植樹などの緑化運動」、「河川環境保全活動」、「環境保全のための寄付」は北区が最も高くなっている。

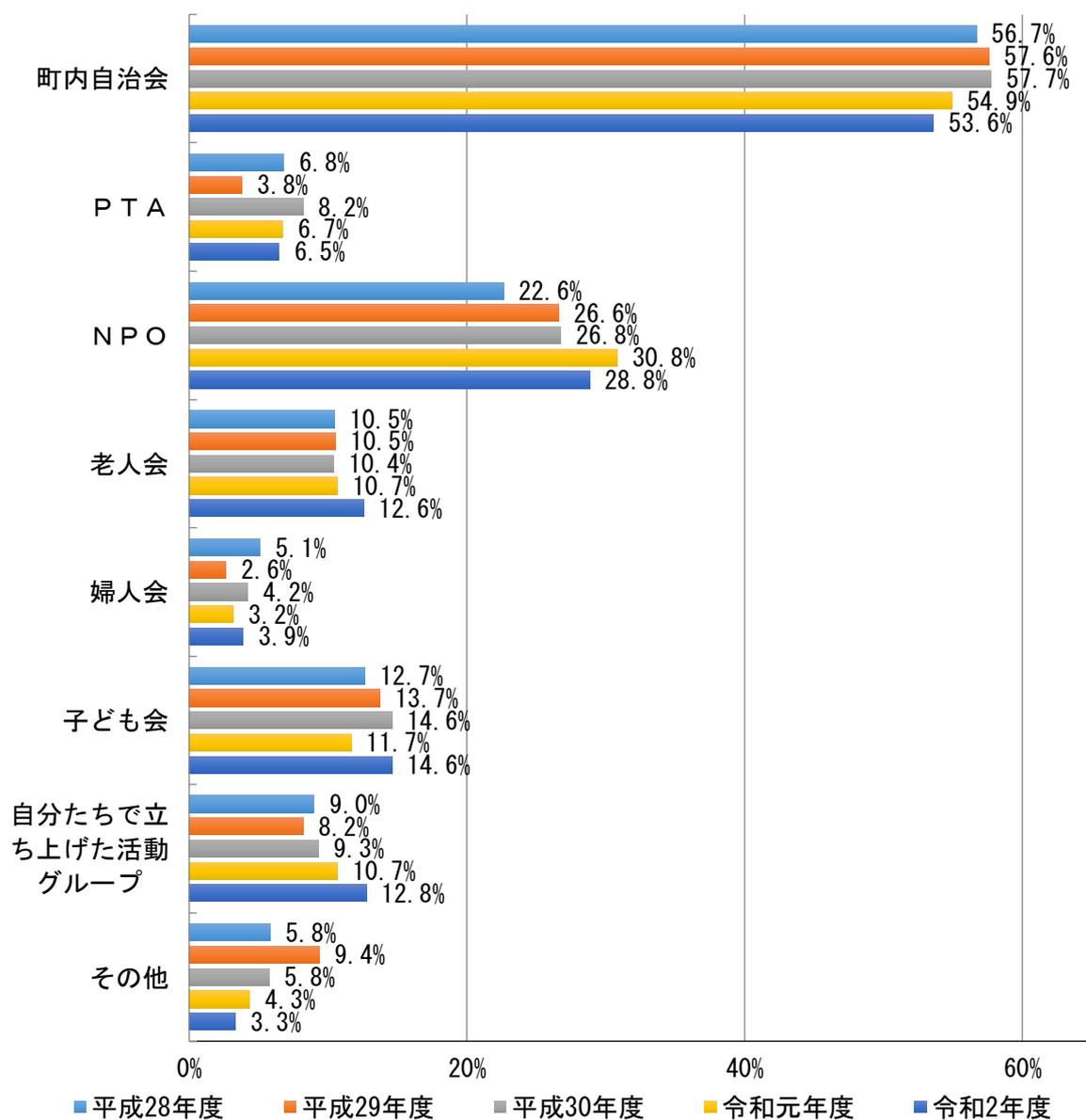
■属性別回答

	合計	自然林や野生生物の自然保護活動	自然観察会の開催	植樹などの緑化活動	森林保全活動	地下水の保全活動	河川環境保全活動	清掃活動	ごみステーションの管理	リサイクルや資源回収活動	歴史的文化的遺産の保全活動	環境問題に関する講演会・勉強会の開催	環境保全のための寄付	その他
全体	301	3.0%	1.7%	11.0%	1.3%	2.0%	8.0%	84.1%	35.2%	36.5%	3.3%	3.3%	2.0%	0.7%
年齢別														
20歳代	9	11.1%	—	11.1%	—	11.1%	—	77.8%	22.2%	22.2%	—	11.1%	—	—
30歳代	22	—	—	—	4.5%	—	—	77.3%	18.2%	36.4%	—	—	—	—
40歳代	36	—	2.8%	2.8%	—	—	8.3%	83.3%	30.6%	50.0%	5.6%	8.3%	2.8%	—
50歳代	66	3.0%	1.5%	4.5%	—	—	4.5%	84.8%	36.4%	40.9%	3.0%	4.5%	6.1%	—
60歳代	74	5.4%	4.1%	21.6%	2.7%	4.1%	12.2%	87.8%	35.1%	29.7%	5.4%	—	—	1.4%
70歳代	65	1.5%	—	13.8%	1.5%	3.1%	7.7%	87.7%	41.5%	38.5%	3.1%	—	1.5%	—
80歳代	25	4.0%	—	12.0%	—	—	16.0%	68.0%	44.0%	28.0%	—	12.0%	—	4.0%
職業別														
会社員	106	2.8%	1.9%	7.5%	—	2.8%	5.7%	89.6%	29.2%	37.7%	3.8%	2.8%	1.9%	—
自営業	35	5.7%	2.9%	11.4%	2.9%	—	20.0%	74.3%	34.3%	28.6%	2.9%	2.9%	11.4%	—
農林漁業	5	—	—	40.0%	20.0%	—	60.0%	80.0%	20.0%	20.0%	—	—	—	—
公務員	12	8.3%	—	—	8.3%	—	—	75.0%	33.3%	33.3%	—	8.3%	—	—
学生	4	25.0%	—	25.0%	—	25.0%	—	75.0%	25.0%	25.0%	—	25.0%	—	—
無職	118	1.7%	1.7%	13.6%	0.8%	0.8%	5.9%	82.2%	41.5%	38.1%	3.4%	3.4%	—	0.8%
その他	16	—	—	12.5%	—	6.3%	6.3%	87.5%	37.5%	43.8%	6.3%	—	—	6.3%
地区別														
中央区	55	—	3.6%	10.9%	—	1.8%	9.1%	69.1%	18.2%	45.5%	3.6%	3.6%	1.8%	1.8%
東区	66	6.1%	3.0%	4.5%	—	4.5%	6.1%	87.9%	53.0%	33.3%	6.1%	3.0%	1.5%	1.5%
西区	42	7.1%	—	11.9%	2.4%	4.8%	4.8%	88.1%	35.7%	31.0%	—	—	2.4%	—
南区	69	—	—	11.6%	2.9%	—	7.2%	97.1%	31.9%	37.7%	1.4%	5.8%	—	—
北区	61	3.3%	1.6%	18.0%	1.6%	—	13.1%	73.8%	36.1%	36.1%	4.9%	3.3%	4.9%	—

問10-3. (問10. で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と答えられた方) 今後、どのような団体の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

問10. で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と回答した541人については、「町内自治会」が53.6%と最も高く、次いで「NPO」が28.8%、「子ども会」が14.6%となっている。

前回調査や過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 行政（市主催）
- ・ 勤務先
- ・ 自治体とNPOが共催のもの
- ・ 20~40歳代くらいの若い世代のグループ
- ・ 居住しているマンションで設立された緑の委員会

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「町内自治会」は60歳代が64.5%と最も高く、「PTA」と「自分たちで立ち上げた活動グループ」は40歳代が14.8%、17.0%「NPO」は50歳代が48.0%、「老人会」と「婦人会」は80歳代が38.2%、8.8%、「子ども会」は30歳代が33.8%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「町内自治会」と「婦人会」は西区がそれぞれ62.5%、7.1%と最も高く、「PTA」と「老人会」、「子ども会」は南区が9.9%、18.5%、18.5%、「NPO」と「自分たちで立ち上げた活動グループ」は中央区が33.3%、14.6%と最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	町内自治会	PTA	NPO	老人会	婦人会	子ども会	自分たちで立ち上げた活動グループ	その他
全体	541	53.6%	6.5%	28.8%	12.6%	3.9%	14.6%	12.8%	3.3%
年齢別									
20歳代	57	52.6%	7.0%	35.1%	1.8%	—	17.5%	14.0%	—
30歳代	80	46.3%	10.0%	32.5%	2.5%	2.5%	33.8%	16.3%	6.3%
40歳代	88	45.5%	14.8%	31.8%	—	1.1%	26.1%	17.0%	3.4%
50歳代	75	46.7%	8.0%	48.0%	8.0%	5.3%	12.0%	6.7%	5.3%
60歳代	107	64.5%	0.9%	26.2%	13.1%	6.5%	2.8%	13.1%	3.7%
70歳代	90	58.9%	2.2%	16.7%	34.4%	3.3%	6.7%	8.9%	1.1%
80歳代	34	61.8%	—	2.9%	38.2%	8.8%	—	14.7%	—
職業別									
会社員	240	50.4%	6.7%	35.8%	7.9%	4.2%	17.5%	12.9%	4.6%
自営業	37	48.6%	2.7%	37.8%	10.8%	—	8.1%	16.2%	2.7%
農林漁業	1	100%	—	—	100%	—	—	—	—
公務員	49	51.0%	18.4%	34.7%	2.0%	—	30.6%	12.2%	4.1%
学生	12	75.0%	8.3%	16.7%	8.3%	—	8.3%	—	—
無職	162	61.1%	2.5%	16.7%	24.7%	6.2%	7.4%	10.5%	1.2%
その他	29	41.4%	10.3%	24.1%	—	—	17.2%	27.6%	6.9%
地区別									
中央区	144	53.5%	5.6%	33.3%	7.6%	4.2%	14.6%	14.6%	1.4%
東区	151	48.3%	7.9%	27.2%	15.2%	2.0%	15.2%	13.9%	4.6%
西区	56	62.5%	5.4%	28.6%	8.9%	7.1%	12.5%	10.7%	3.6%
南区	81	58.0%	9.9%	23.5%	18.5%	2.5%	18.5%	11.1%	3.7%
北区	96	53.1%	3.1%	27.1%	13.5%	5.2%	12.5%	11.5%	4.2%

問10-4. (問10. で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と答えられ

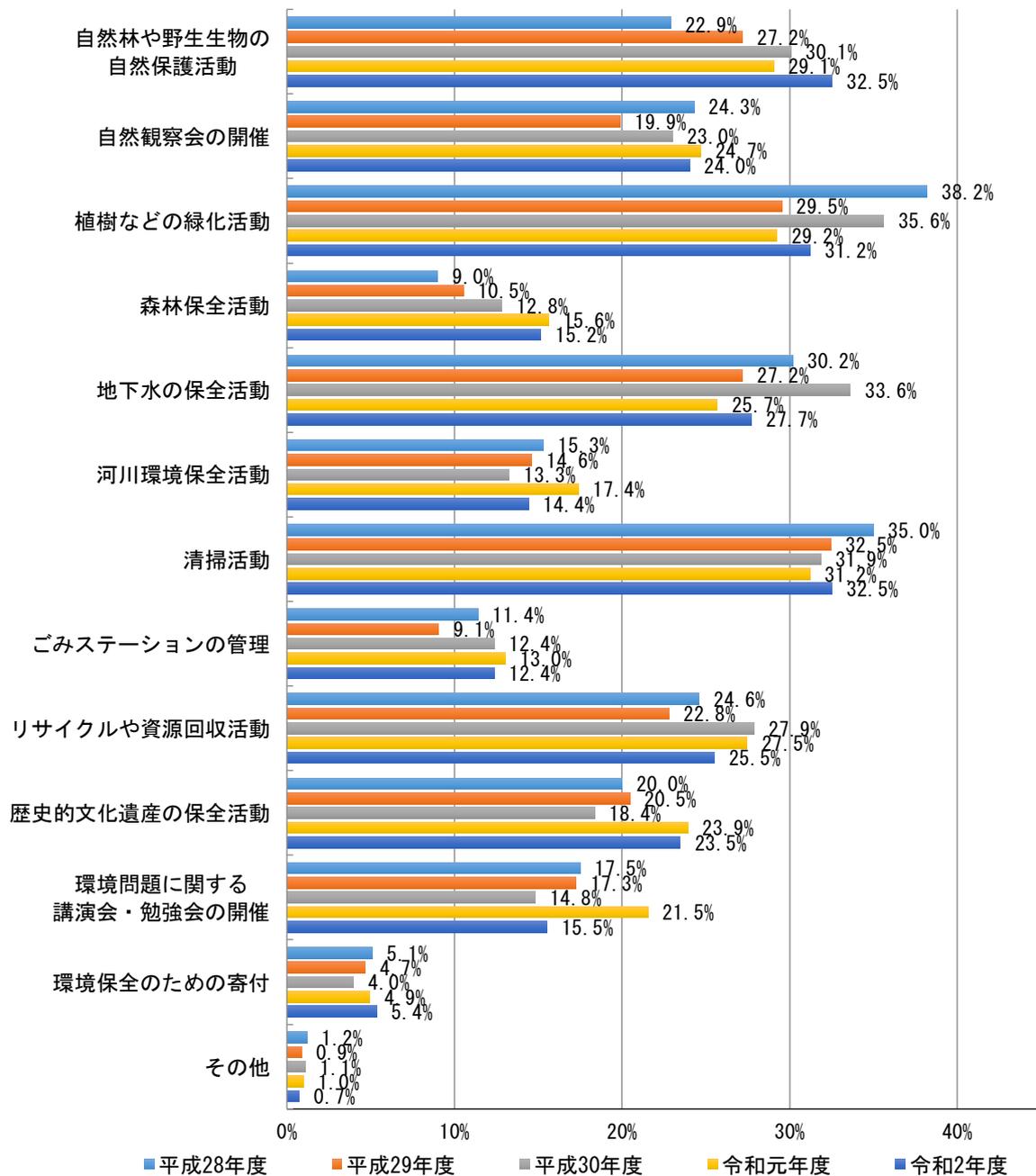
た方) 今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

問10. で「参加したことはないが、今後参加してみたい」と回答した541人については、「自然林や野生生物の自然保護活動」と「清掃活動」がそれぞれ32.5%と最も高く、「植樹などの緑化活動」が31.2%、「地下水の保全活動」が27.7%となっている。

前回調査と比較すると、「自然林や野生生物の自然保護活動」、「植樹などの緑化活動」、「地下水の保全活動」、「清掃活動」、「環境保全のための寄付」が上昇している。

また、問10-2. で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と回答した人の「清掃活動」の割合が突出しているのに対し、本問の「参加したことはないが、今後参加してみたい」と回答した人については、「清掃活動」以外の活動に幅広いニーズがあることが分かる。

なお、過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容
・ 公園の再活用
・ WEB参加型
・ まちづくりについての勉強会

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「森林保全活動」、「地下水の保全活動」、「歴史的文化遺産の保全活動」、「環境保全のための寄付」は20歳代が最も多くなっている一方で、「環境問題に関する講演会・勉強会の開催」は最も低くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「自然観察会の開催」、「森林保全活動」、「地下水の保全活動」、「河川環境保全活動」、「リサイクルや資源回収活動」、「環境保全のための寄付」は西区が最も多くなっている一方で、「清掃活動」と「歴史的文化遺産の保全活動」は最も低くなっている。

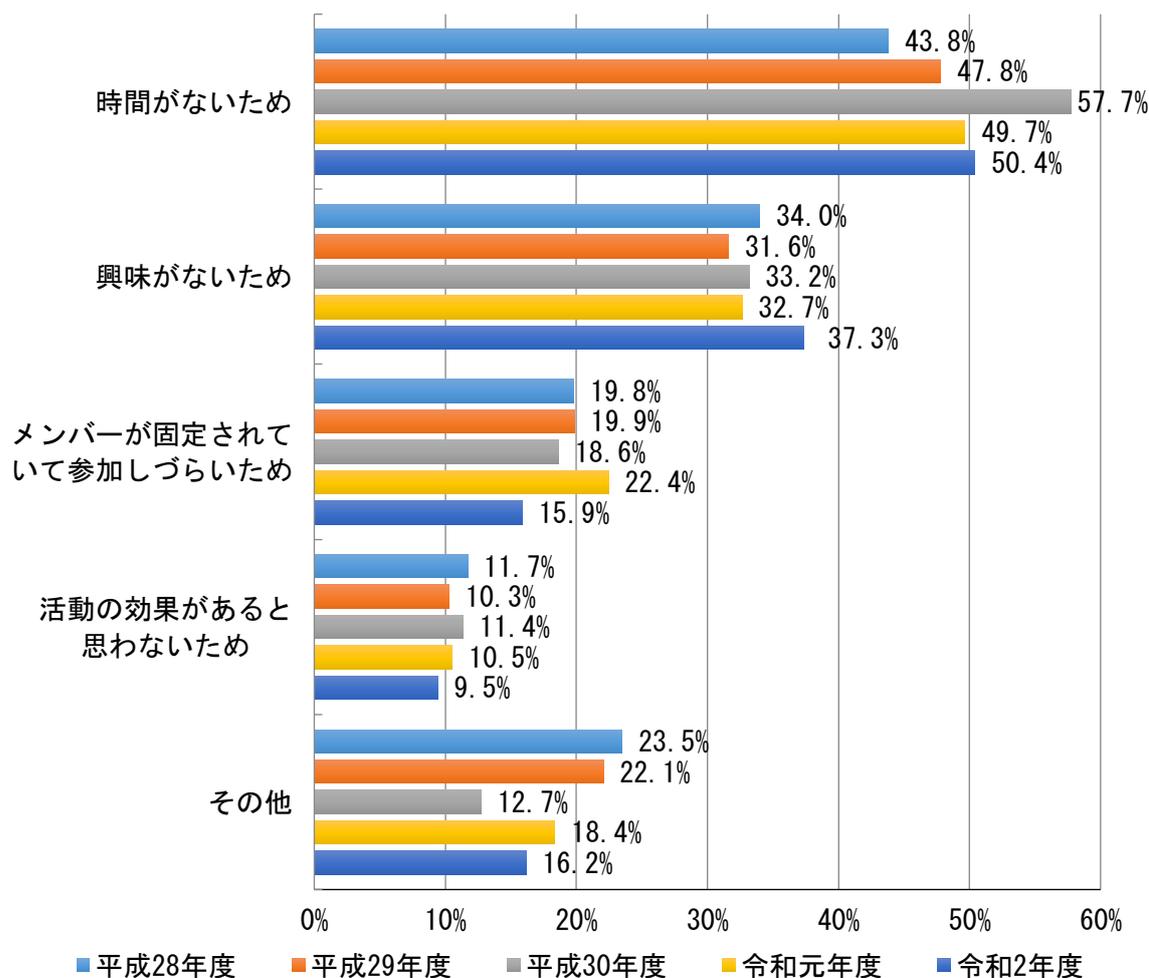
■属性別回答

	合計	自然林や野生生物の自然保護活動	自然観察会の開催	植樹などの緑化活動	森林保全活動	地下水の保全活動	河川環境保全活動	清掃活動	ごみステーションの管理	リサイクルや資源回収活動	歴史的文化遺産の保全活動	講演会・勉強会の開催	環境保全のための寄付	その他
全体	541	32.5%	24.0%	31.2%	15.2%	27.7%	14.4%	32.5%	12.4%	25.5%	23.5%	15.5%	5.4%	0.7%
年齢別														
20歳代	57	28.1%	17.5%	38.6%	22.8%	33.3%	12.3%	36.8%	10.5%	24.6%	35.1%	7.0%	10.5%	1.8%
30歳代	80	35.0%	22.5%	45.0%	13.8%	21.3%	11.3%	28.8%	13.8%	28.8%	22.5%	11.3%	7.5%	2.5%
40歳代	88	42.0%	27.3%	29.5%	18.2%	28.4%	21.6%	42.0%	14.8%	20.5%	29.5%	11.4%	4.5%	1.1%
50歳代	75	30.7%	25.3%	36.0%	12.0%	26.7%	8.0%	22.7%	8.0%	29.3%	24.0%	22.7%	4.0%	—
60歳代	107	37.4%	32.7%	25.2%	18.7%	25.2%	16.8%	34.6%	8.4%	30.8%	25.2%	20.6%	2.8%	—
70歳代	90	25.6%	21.1%	23.3%	10.0%	32.2%	16.7%	32.2%	16.7%	23.3%	8.9%	17.8%	7.8%	—
80歳代	34	14.7%	11.8%	20.6%	2.9%	23.5%	5.9%	32.4%	17.6%	20.6%	20.6%	14.7%	—	—
職業別														
会社員	240	32.1%	28.8%	33.3%	13.3%	25.4%	12.9%	31.7%	10.0%	29.2%	25.0%	16.3%	5.0%	1.3%
自営業	37	45.9%	24.3%	21.6%	21.6%	29.7%	24.3%	35.1%	18.9%	29.7%	18.9%	18.9%	10.8%	—
農林漁業	1	—	—	—	—	—	—	100%	—	—	—	100%	—	—
公務員	49	38.8%	28.6%	42.9%	22.4%	32.7%	22.4%	30.6%	12.2%	30.6%	34.7%	12.2%	4.1%	—
学生	12	25.0%	—	41.7%	33.3%	50.0%	16.7%	66.7%	16.7%	41.7%	50.0%	8.3%	8.3%	8.3%
無職	162	25.9%	19.1%	25.9%	11.1%	26.5%	13.6%	34.6%	14.2%	17.9%	17.9%	14.8%	5.6%	—
その他	29	44.8%	17.2%	31.0%	20.7%	27.6%	3.4%	17.2%	13.8%	27.6%	17.2%	20.7%	3.4%	—
地区別														
中央区	144	34.0%	22.9%	30.6%	13.2%	27.8%	13.9%	36.1%	13.9%	23.6%	22.2%	15.3%	6.9%	0.7%
東区	151	31.1%	25.2%	31.1%	15.9%	24.5%	13.2%	31.8%	12.6%	26.5%	23.8%	11.3%	5.3%	—
西区	56	30.4%	28.6%	30.4%	17.9%	32.1%	16.1%	28.6%	12.5%	30.4%	21.4%	16.1%	7.1%	—
南区	81	28.4%	22.2%	33.3%	12.3%	24.7%	16.0%	33.3%	13.6%	29.6%	22.2%	18.5%	2.5%	1.2%
北区	96	35.4%	22.9%	29.2%	16.7%	30.2%	14.6%	31.3%	9.4%	21.9%	26.0%	20.8%	5.2%	2.1%

問10-5. (問10. で「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」と答
えられた方) 参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)

問10. で「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」と回答した359人については、「時間がないため」が50.4%と最も高く、次いで「興味がないため」が37.3%、「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」が15.9%となっている。

前回調査や過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 身体的理由（病気、自身や家族の介護等）20件
- ・ 年齢的理由（高齢）13件
- ・ 参加する意義を感じない（普段の生活の中で環境保全を考えている等）6件
- ・ 新型コロナウイルス感染症 4件
- ・ その他（参加するきっかけがつかめない、交通手段がない、地震で引っ越し周りに知り合いもいない、市などの公がすべきことと市民がすべきことの線引きがはっきりしない、家族が自治会の清掃活動に参加しており自分の参加は不要と考えた等）

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「時間がないため」と「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」、「活動の効果があると思わないため」は30歳代がそれぞれ65.2%、26.1%、17.4%と最も高く、「興味がないため」は20歳代が52.4%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「時間がないため」は南区が60.0%と最も高く、「興味がないため」、「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」は東区が42.2%、25.6%、「活動の効果があると思わないため」は西区が15.8%と最も高くなっている。

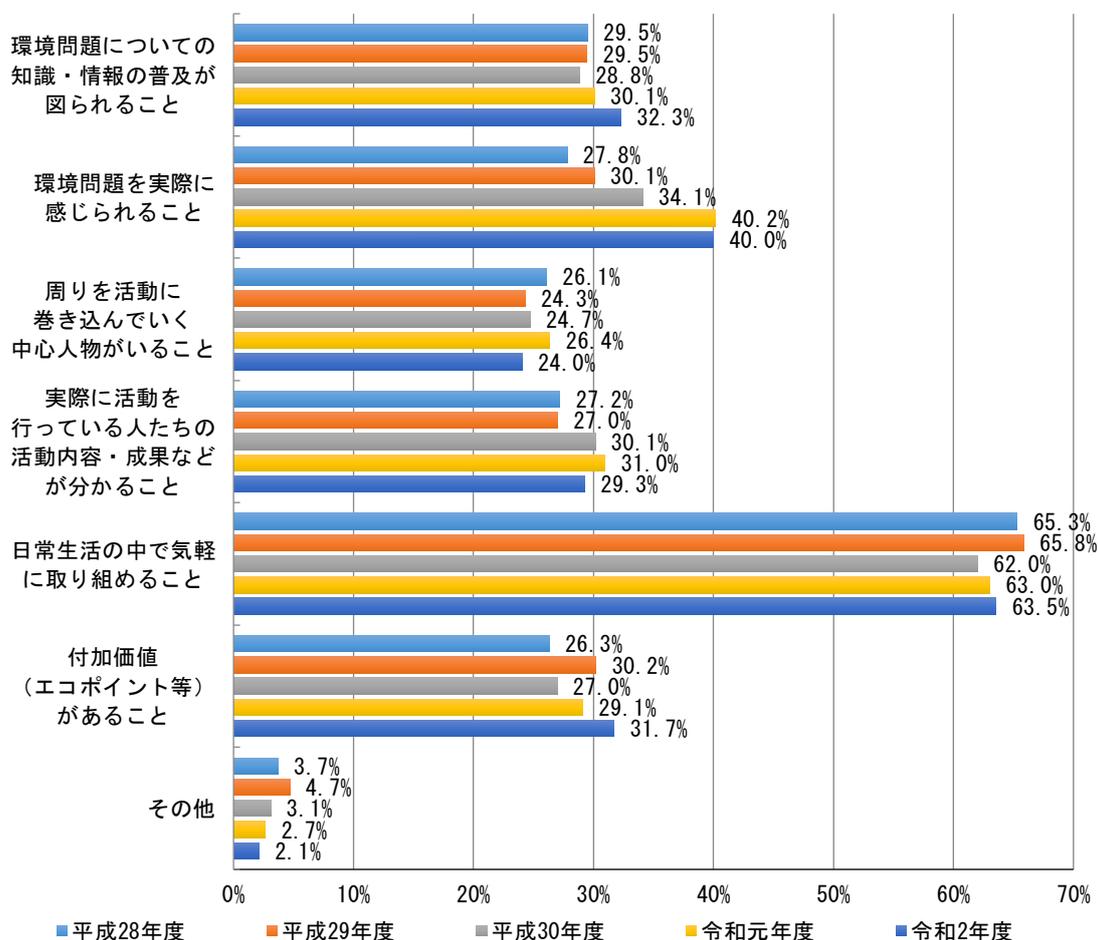
■属性別回答

	合計	時間がないため	興味がないため	メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため	活動の効果があると思わないため	その他
全体	359	50.4%	37.3%	15.9%	9.5%	16.2%
年齢別						
20歳代	42	54.8%	52.4%	9.5%	9.5%	11.9%
30歳代	46	65.2%	47.8%	26.1%	17.4%	2.2%
40歳代	48	60.4%	25.0%	18.8%	10.4%	12.5%
50歳代	66	60.6%	30.3%	19.7%	12.1%	15.2%
60歳代	56	46.4%	44.6%	21.4%	7.1%	10.7%
70歳代	56	44.6%	30.4%	10.7%	7.1%	17.9%
80歳代	27	7.4%	29.6%	—	—	59.3%
職業別						
会社員	166	65.7%	34.3%	18.1%	10.2%	9.6%
自営業	25	56.0%	28.0%	20.0%	12.0%	4.0%
農林漁業	2	100.0%	50.0%	—	—	—
公務員	17	47.1%	64.7%	17.6%	11.8%	11.8%
学生	5	20.0%	60.0%	20.0%	20.0%	—
無職	107	29.0%	37.4%	11.2%	5.6%	29.9%
その他	14	64.3%	42.9%	35.7%	21.4%	7.1%
地区別						
中央区	104	47.1%	34.6%	16.3%	10.6%	20.2%
東区	90	51.1%	42.2%	25.6%	7.8%	11.1%
西区	38	52.6%	36.8%	13.2%	15.8%	15.8%
南区	60	60.0%	38.3%	15.0%	8.3%	11.7%
北区	47	51.1%	31.9%	4.3%	6.4%	19.1%

問11. どのような条件が整えば、より多くの人がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答)

「日常生活の中で、気軽に取り組めること」が63.5%と最も高く、次いで「環境問題を実際に感じられること」が40.0%、「環境問題についての知識・情報の普及が図られること」が32.3%となっている。

過去5年間の推移では、「環境問題を実際に感じられること」が増加傾向にある。



【参考】

「その他」の内容

- 市民活動の活性化 (6件)
 - ・ 住民同士のコミュニケーション不測の解消
 - ・ 地域ごとに気軽に問題点や改善点を話し合えるような場の設定
 - ・ 地域の住民説明会などのように、住民が動かなければいけない場では意味がなく、市町村の担当者が、一軒一軒住民宅へ回り、伝えていく姿勢などが伝われば、集まる数も増えると思う。など
- インセンティブ (5件)
 - ・ 金銭、商品券、熊本産の野菜
 - ・ 受験や就職活動に有利になる
 - ・ 対価や名誉 など

- 環境教育（3件）
 - ・ 人が集まるイベント（防災訓練など）での情報提供
 - ・ 子ども向けの講演会 など
- 強制力をもった対応（3件）
 - ・ 強制力がないと公平な形での参加は実現しない
 - ・ 高校や大学での地域清掃活動などの義務化
 - ・ レジ袋有料化のような規則化
- その他（7件）
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の終息
 - ・ 仕事をしていると活動には参加できないので、企業や行政では参加するための休暇を創設することや、休暇を取りやすくすることが制度としてあれば活動しやすい。職場の環境保全活動に対する理解が必要
 - ・ 街並みの根本的整備と道路交通網、公共交通機関の見直しと都市計画の見直し
 - ・ 許認可する立場の人間が、対象物件に平気で住むような市長が早く交代すること。
 - ・ 生活の不安がなくなること
 - ・ 興味はない

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」と「日常生活の中で気軽に取り組めること」は60歳代がそれぞれ40.3%、73.5%と最も高く、「環境問題を実際に感じられること」と「付加価値（エコポイント等）があること」は30歳代が43.6%、60.4%、「周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること」と「実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること」は80歳代が31.1%、33.3%と最も高くなっている。

職業別：「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」と「周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること」は農林漁業がいずれも50.0%と最も高く、「環境問題を実際に感じられること」、「日常生活の中で気軽に取り組めること」はその他が55.9%、83.1%「実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること」、「付加価値（エコポイント等）があること」は学生が47.6%、66.7%と最も高くなっている。

地区別：「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」と「周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること」は南区がそれぞれ36.0%、26.5%と最も高く、「環境問題を実際に感じられること」は北区が43.8%、「実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること」、「日常生活の中で気軽に取り組めること」は東区が31.3%、69.4%、「付加価値（エコポイント等）があること」は中央区が36.0%と最も高くなっている。

■属性別回答

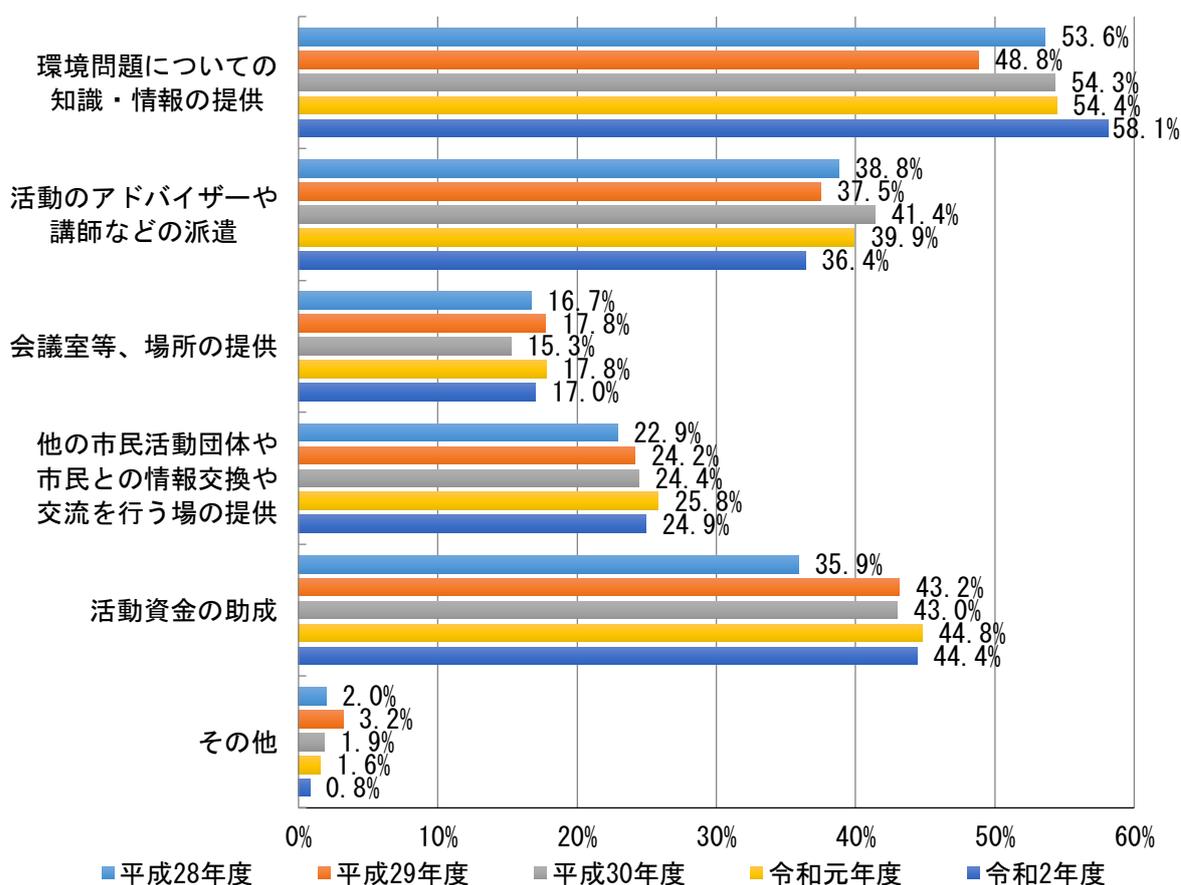
	合計	環境問題についての知識・情報の普及がはかれること	実際に感じられること 環境問題を	周りを活動に巻き込んでいく 中心人物がいること	実際に活動を行っている人たちの 活動内容・成果などが分かること	気軽に取り組めること 日常生活の中で	付加価値（エコポイント等）が あること	その他
全体	1,223	32.3%	40.0%	24.0%	29.3%	63.5%	31.7%	2.1%
年齢別								
20歳代	108	30.6%	43.5%	25.0%	29.6%	56.5%	58.3%	1.9%
30歳代	149	25.5%	43.6%	21.5%	30.9%	62.4%	60.4%	1.3%
40歳代	173	26.0%	42.8%	24.3%	27.7%	67.1%	38.2%	3.5%
50歳代	210	31.0%	39.5%	22.4%	27.1%	64.8%	36.7%	2.4%
60歳代	238	40.3%	42.9%	23.5%	32.4%	73.5%	20.6%	2.5%
70歳代	216	33.8%	38.4%	26.9%	26.9%	61.1%	11.6%	1.9%
80歳代	90	38.9%	30.0%	31.1%	33.3%	55.6%	6.7%	—
職業別								
会社員	514	30.7%	40.1%	22.4%	28.8%	63.8%	44.7%	1.6%
自営業	98	34.7%	40.8%	28.6%	34.7%	65.3%	19.4%	5.1%
農林漁業	8	50.0%	37.5%	50.0%	25.0%	37.5%	12.5%	—
公務員	79	29.1%	44.3%	17.7%	26.6%	64.6%	43.0%	6.3%
学生	21	42.9%	52.4%	23.8%	47.6%	61.9%	66.7%	4.8%
無職	397	34.0%	37.5%	24.9%	29.5%	63.7%	15.9%	1.3%
その他	59	35.6%	55.9%	39.0%	25.4%	83.1%	25.4%	1.7%
地区別								
中央区	308	33.4%	38.3%	25.3%	30.2%	62.7%	36.0%	3.9%
東区	310	29.4%	42.3%	22.9%	31.3%	69.4%	31.9%	1.0%
西区	139	33.8%	38.8%	23.0%	26.6%	62.6%	28.1%	2.9%
南区	211	36.0%	39.8%	26.5%	27.5%	65.4%	29.4%	0.9%
北区	208	32.7%	43.8%	24.0%	28.8%	60.6%	29.3%	1.9%

このページは空白です。

問 1 2. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)

「環境問題についての知識・情報の提供」が58.1%と最も高く、次いで、「活動資金の助成」が44.4%、「活動のアドバイザーや講師などの派遣」が36.4%となっている。

前回調査と比較すると、「環境問題についての知識・情報の提供」が増加している。過去5年間の推移では、それほど大きな変動は見られない。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 花苗等の無料頒布
- ・ 身近で参加しやすい雰囲気づくり
- ・ 回答肢だけでは継続した活動は難しいので、モデル地域のようなものを市が指定し検証すると良いと思う
- ・ 各個人で取り組みやすい活動の提示があること

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「環境問題についての知識・情報提供」と「活動のアドバイザーや講師などの派遣」、「他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供」は60歳代がそれぞれ63.4%、41.6%、31.1%と最も高く、「会議室等、場所の提供」は20歳代が23.1%、「活動資金の助成」は40歳代が53.8%と最も高くなっている。

職業別：「環境問題についての知識・情報提供」は自営業が64.3%と最も高く、「活

動のアドバイザーや講師などの派遣」は農林漁業が50.0%、「会議室等、場所の提供」、「活動資金の助成」は公務員が27.8%、54.4%、「他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供」はその他が33.9%と最も高くなっている。

地区別：「環境問題についての知識・情報提供」と「活動のアドバイザーや講師などの派遣」は南区がそれぞれ61.1%、40.3%と最も高く、「会議室等、場所の提供」、「他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供」、「活動資金の助成」は中央区が22.4%、28.2%、48.4%と最も高くなっている。

■属性別回答

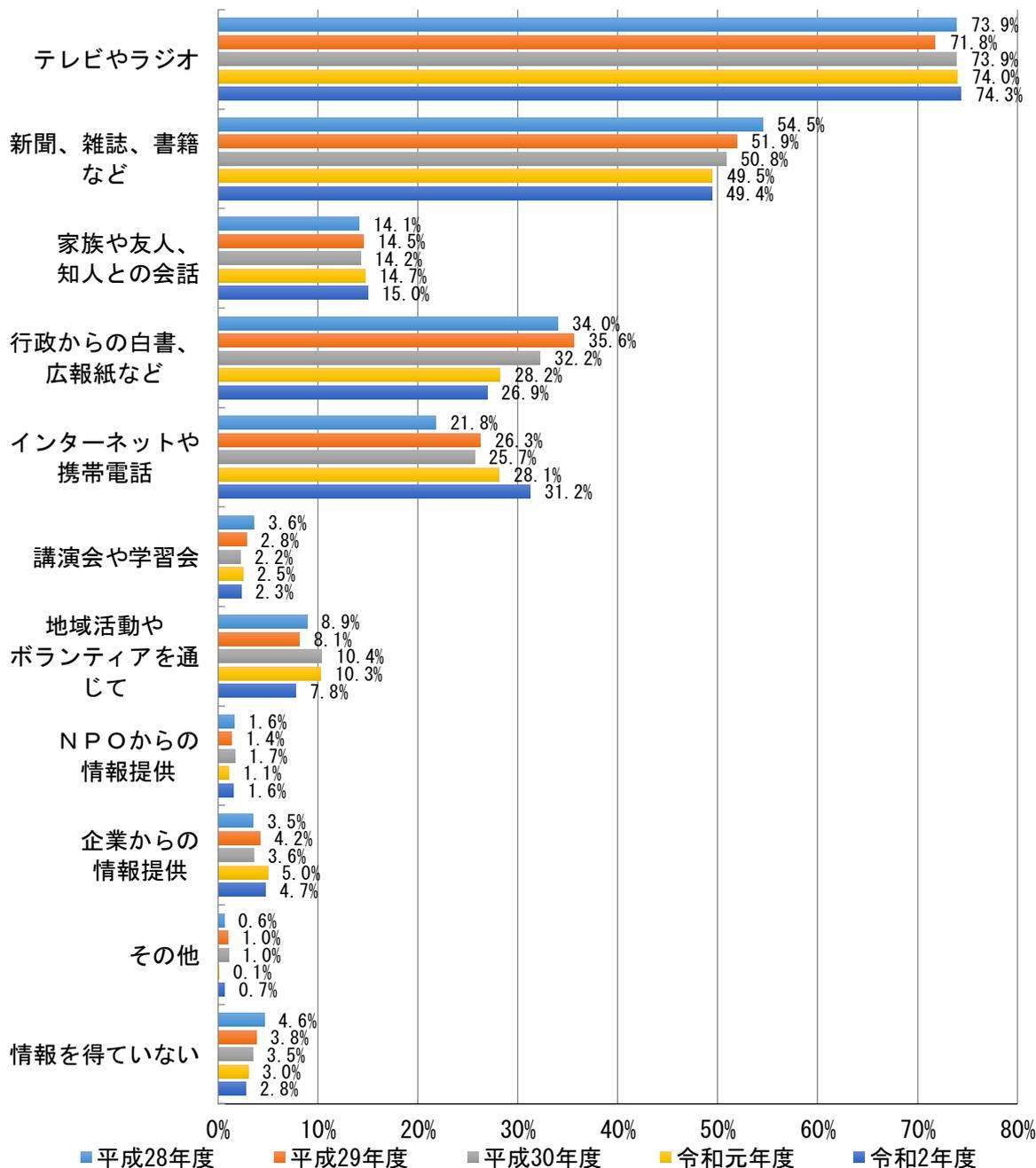
	合計	環境問題についての知識・情報の提供	活動のアドバイザーや講師などの派遣	会議室等、場所の提供	他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供	活動資金の助成	その他
全体	1,223	58.1%	36.4%	17.0%	24.9%	44.4%	0.8%
年齢別							
20歳代	108	53.7%	27.8%	23.1%	24.1%	45.4%	—
30歳代	149	52.3%	40.3%	19.5%	22.8%	51.7%	0.7%
40歳代	173	57.8%	35.3%	19.1%	27.7%	53.8%	0.6%
50歳代	210	54.8%	41.4%	13.8%	23.8%	49.5%	1.4%
60歳代	238	63.4%	41.6%	18.9%	31.1%	49.2%	0.4%
70歳代	216	62.5%	31.9%	15.3%	23.6%	31.9%	1.4%
80歳代	90	62.2%	30.0%	12.2%	15.6%	22.2%	1.1%
職業別							
会社員	514	58.0%	37.4%	16.1%	25.3%	49.6%	0.6%
自営業	98	64.3%	35.7%	23.5%	29.6%	46.9%	2.0%
農林漁業	8	50.0%	50.0%	12.5%	12.5%	50.0%	—
公務員	79	53.2%	41.8%	27.8%	29.1%	54.4%	—
学生	21	57.1%	28.6%	19.0%	23.8%	52.4%	—
無職	397	60.5%	34.0%	15.1%	21.9%	34.8%	1.0%
その他	59	54.2%	44.1%	20.3%	33.9%	52.5%	1.7%
地区別							
中央区	308	54.2%	36.4%	22.4%	28.2%	48.4%	1.3%
東区	310	59.4%	33.9%	15.8%	24.5%	45.5%	0.3%
西区	139	60.4%	33.8%	15.1%	25.9%	39.6%	1.4%
南区	211	61.1%	40.3%	16.1%	24.2%	41.2%	0.9%
北区	208	60.6%	38.9%	14.9%	21.6%	45.2%	0.5%

問13. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(複数回答可)

「テレビやラジオ」が74.3%と最も高く、次いで「新聞、雑誌、書籍など」が49.4%、「インターネットや携帯電話」が31.2%となっている。

前回調査と比較すると、「テレビやラジオ」、「家族や友人、知人との会話」、「インターネットや携帯電話」、「NPOからの情報提供」は上昇している。

過去5年間の推移では、「インターネットや携帯電話」が増加傾向にあり、「新聞、雑誌、書籍など」と「行政からの白書、広報誌など」が減少傾向にある。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 町内自治会の活動
- ・ 研究者の発表、論文
- ・ マンション内の掲示板
- ・ 大学での授業
- ・ 勤務先の ISO 実施による対応
- ・ 水の科学館などの施設見学

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「テレビやラジオ」と「行政からの白書、広報誌など」は60歳代が80.7%、37.4%と最も高く、「新聞、雑誌、書籍など」、「家族や友人、知人との会話」は80歳代が67.8%、23.3%、「インターネットや携帯電話」は30歳代が59.1%、「講演会や学習会」、「NPOからの情報提供」、「情報を得ていない」は40歳代が3.5%、4.0%、7.5%、「地域活動やボランティアを通じて」は70歳代が11.1%と最も高くなっている。

職業別：「テレビやラジオ」と「新聞、雑誌、書籍など」、「地域活動やボランティアを通じて」は農林漁業がそれぞれ87.5%、75.0%、12.5%と最も高く、「家族や友人、知人との会話」、「インターネットや携帯電話」、「NPOからの情報提供」、「情報を得ていない」は学生が19.0%、57.1%、9.5%、4.8%、「行政からの白書、広報誌など」は無職が35.3%、「講演会や学習会」は公務員が5.1%、「企業からの情報提供」は自営業が8.2%と最も高くなっている。

地区別：「テレビやラジオ」と「家族や友人、知人との会話」、「情報を得ていない」は東区がそれぞれ77.4%、20.6%、3.9%と最も高く、「新聞、雑誌、書籍など」は南区が54.0%、「行政からの白書、広報誌など」は南区と北区が32.2%、「インターネットや携帯電話」、「講演会や学習会」、「企業からの情報提供」は中央区が37.3%、2.9%、7.8%、「地域活動やボランティアを通じて」は北区が10.6%、「NPOからの情報提供」は中央区、南区、北区が1.9%と最も高くなっている。

■属性別回答

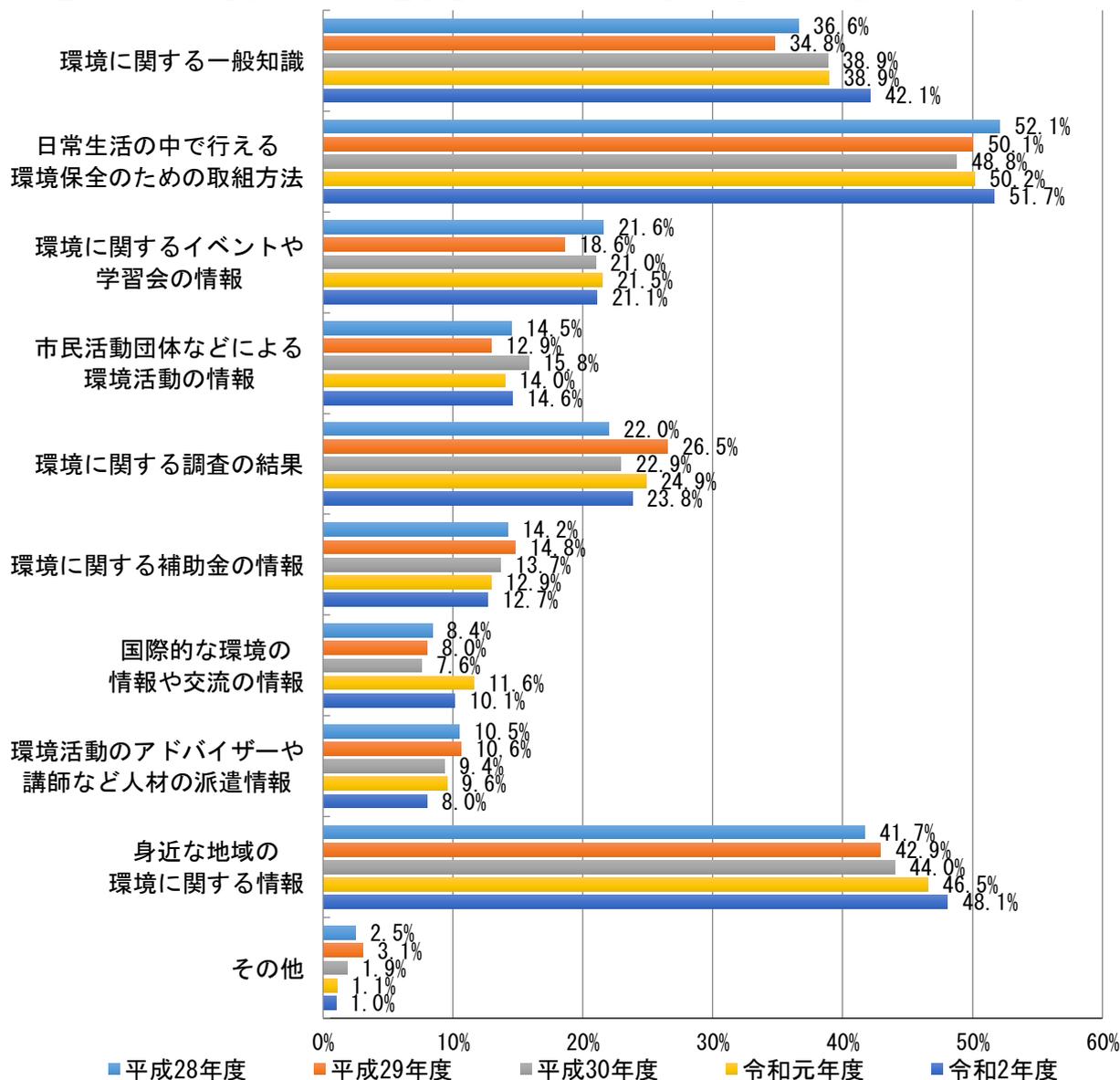
	合計	テレビやラジオ	新聞、雑誌、書籍など	家族や友人、知人との会話	行政からの白書、広報紙など	インターネットや携帯電話	講演会や学習会	地域活動やボランティアを通じて	NPOからの情報提供	企業からの情報提供	その他	情報を得ていない
全体	1,223	74.3%	49.4%	15.0%	26.9%	31.2%	2.3%	7.8%	1.6%	4.7%	0.7%	2.8%
年齢別												
20歳代	108	75.0%	28.7%	19.4%	6.5%	52.8%	1.9%	2.8%	1.9%	5.6%	2.8%	1.9%
30歳代	149	67.8%	31.5%	12.1%	12.8%	59.1%	0.7%	2.7%	1.3%	4.0%	1.3%	6.7%
40歳代	173	68.8%	41.6%	11.0%	24.9%	48.0%	3.5%	9.2%	4.0%	5.8%	—	7.5%
50歳代	210	74.8%	42.4%	18.1%	31.9%	36.7%	3.3%	9.5%	1.4%	8.1%	0.5%	1.9%
60歳代	238	80.7%	60.9%	11.8%	37.4%	21.4%	1.7%	7.1%	1.7%	3.8%	0.8%	—
70歳代	216	78.2%	64.8%	16.2%	34.7%	8.3%	2.8%	11.1%	0.5%	2.8%	—	1.4%
80歳代	90	73.3%	67.8%	23.3%	26.7%	1.1%	1.1%	8.9%	—	1.1%	—	2.2%
職業別												
会社員	514	74.7%	42.2%	14.4%	23.5%	41.1%	1.9%	6.4%	1.4%	7.2%	0.4%	4.1%
自営業	98	65.3%	48.0%	17.3%	26.5%	29.6%	1.0%	11.2%	3.1%	8.2%	1.0%	4.1%
農林漁業	8	87.5%	75.0%	12.5%	25.0%	12.5%	—	12.5%	—	—	—	—
公務員	79	74.7%	44.3%	10.1%	20.3%	53.2%	5.1%	5.1%	2.5%	2.5%	1.3%	1.3%
学生	21	76.2%	38.1%	19.0%	4.8%	57.1%	4.8%	4.8%	9.5%	0.0%	9.5%	4.8%
無職	397	77.3%	59.7%	16.6%	35.3%	13.6%	2.3%	9.3%	0.8%	1.8%	0.3%	1.8%
その他	59	76.3%	54.2%	15.3%	27.1%	45.8%	3.4%	10.2%	3.4%	3.4%	1.7%	—
地区別												
中央区	308	76.3%	50.3%	11.0%	22.4%	37.3%	2.9%	5.2%	1.9%	7.8%	0.3%	3.2%
東区	310	77.4%	45.8%	20.6%	25.8%	31.9%	2.6%	8.4%	1.0%	2.6%	0.6%	3.9%
西区	139	74.8%	47.5%	15.8%	28.1%	23.7%	0.7%	5.8%	0.7%	4.3%	1.4%	2.2%
南区	211	70.6%	54.0%	13.3%	32.2%	33.6%	1.9%	9.5%	1.9%	4.3%	0.5%	3.3%
北区	208	73.6%	51.4%	14.4%	32.2%	26.4%	2.4%	10.6%	1.9%	3.8%	1.0%	1.0%

問14. 環境に関する情報について、今後求めたいもの（不足しているもの）は何ですか。（複数回答可）

「日常生活の中で行える環境保全のための取組方法」が51.7%と最も高く、次いで「身近な地域の環境に関する情報」が48.1%、「環境に関する一般知識」が42.1%となっている。

前回調査と比較すると、「環境に関する一般知識」、「日常生活の中で行える環境保全のための取組方法」、「市民活動団体などによる環境活動の情報」、「身近な地域の環境に関する情報」が上昇している。

過去5年間の推移では、「身近な地域の環境に関する情報」が年々増加傾向にある。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 日常の中で自分ができる環境保護活動
- ・ 環境リーダーの選定や育成に関する情報
- ・ 温暖化で身近な環境がどう変化していくか
- ・ 自動車が全てEVになったときに必要な電力をどう調達するのか

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「環境に関する一般知識」は20歳代が45.4%と最も高く、「日常生活の中で行える環境保全のための取組方法」は60歳代が58.4%、「環境に関するイベントや学習会の情報」、「環境に関する補助金の情報」、「国際的な環境の情報や交流の情報」は30歳代が24.2%、17.4%、14.1%、「市民活動団体などによる環境活動の情報」は80歳代が17.8%、「環境に関する調査の結果」は40歳代が27.2%、「環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報」は50歳代が10.5%、「身近な地域の環境に関する情報」は70歳代が55.1%と最も高くなっている。

職業別：「環境に関する一般知識」は学生が61.9%と最も高く、「日常生活の中で行える環境保全のための取組方法」はその他が67.8%、「環境に関するイベントや学習会の情報」、「環境に関する補助金の情報」、「環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報」は農林漁業が37.5%、37.5%、25.0%、「市民活動団体などによる環境活動の情報」、「環境に関する調査の結果」は自営業が20.4%、33.7%、「国際的な環境の情報や交流の情報」は公務員が19.0%、「身近な地域の環境に関する情報」は無職が52.4%と最も高くなっている。

地区別：「環境に関する一般知識」、「日常生活の中で行える環境保全のための取組方法」、「環境に関する補助金の情報」、「環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報」は北区がそれぞれ45.7%、53.8%、14.4%、10.1%と最も高く、「環境に関するイベントや学習会の情報」、「身近な地域の環境に関する情報」は南区が23.2%、54.0%、「市民活動団体などによる環境活動の情報」、「国際的な環境の情報や交流の情報」は西区が16.5%、14.4%、「環境に関する調査の結果」は中央区が26.0%と最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	環境に関する一般知識	日常生活の中で行える環境保全のための取組方法	環境に関するイベントや学習会の情報	市民活動団体などによる環境活動の情報	環境に関する調査の結果	環境に関する補助金の情報	国際的な環境の情報や交流の情報	環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報	身近な地域の環境に関する情報	その他
全体	1,223	42.1%	51.7%	21.1%	14.6%	23.8%	12.7%	10.1%	8.0%	48.1%	1.0%
年齢別											
20歳代	108	45.4%	47.2%	16.7%	11.1%	25.0%	9.3%	10.2%	6.5%	38.0%	—
30歳代	149	45.0%	48.3%	24.2%	12.8%	26.8%	17.4%	14.1%	6.7%	40.3%	1.3%
40歳代	173	38.2%	53.2%	22.5%	13.9%	27.2%	15.6%	13.3%	9.2%	42.8%	1.2%
50歳代	210	38.6%	53.3%	21.0%	13.3%	23.8%	11.9%	9.0%	10.5%	53.8%	1.0%
60歳代	238	45.0%	58.4%	21.8%	16.4%	26.5%	14.3%	10.9%	8.0%	55.0%	0.8%
70歳代	216	42.6%	54.2%	21.3%	16.7%	21.3%	10.2%	8.8%	7.4%	55.1%	0.9%
80歳代	90	42.2%	43.3%	16.7%	17.8%	12.2%	6.7%	3.3%	6.7%	42.2%	2.2%
職業別											
会社員	514	45.3%	52.1%	20.6%	11.9%	25.1%	13.6%	10.7%	7.8%	45.3%	0.6%
自営業	98	40.8%	52.0%	24.5%	20.4%	33.7%	19.4%	12.2%	12.2%	50.0%	3.1%
農林漁業	8	37.5%	62.5%	37.5%	12.5%	—	37.5%	12.5%	25.0%	37.5%	12.5%
公務員	79	36.7%	48.1%	27.8%	17.7%	27.8%	10.1%	19.0%	7.6%	50.6%	—
学生	21	61.9%	38.1%	28.6%	19.0%	28.6%	9.5%	9.5%	4.8%	47.6%	—
無職	397	40.3%	53.1%	19.9%	16.6%	20.7%	9.8%	7.1%	6.5%	52.4%	1.0%
その他	59	37.3%	67.8%	18.6%	11.9%	22.0%	13.6%	16.9%	13.6%	50.8%	—
地区別											
中央区	308	41.9%	51.9%	22.7%	15.6%	26.0%	12.7%	12.3%	9.1%	48.1%	1.3%
東区	310	41.6%	53.2%	18.4%	16.1%	25.2%	12.6%	8.4%	7.4%	50.0%	0.3%
西区	139	41.7%	53.2%	20.1%	16.5%	25.2%	11.5%	14.4%	7.9%	46.0%	0.7%
南区	211	41.7%	51.7%	23.2%	12.3%	23.2%	12.3%	7.6%	5.7%	54.0%	0.5%
北区	208	45.7%	53.8%	22.1%	11.5%	19.7%	14.4%	11.1%	10.1%	43.8%	1.9%

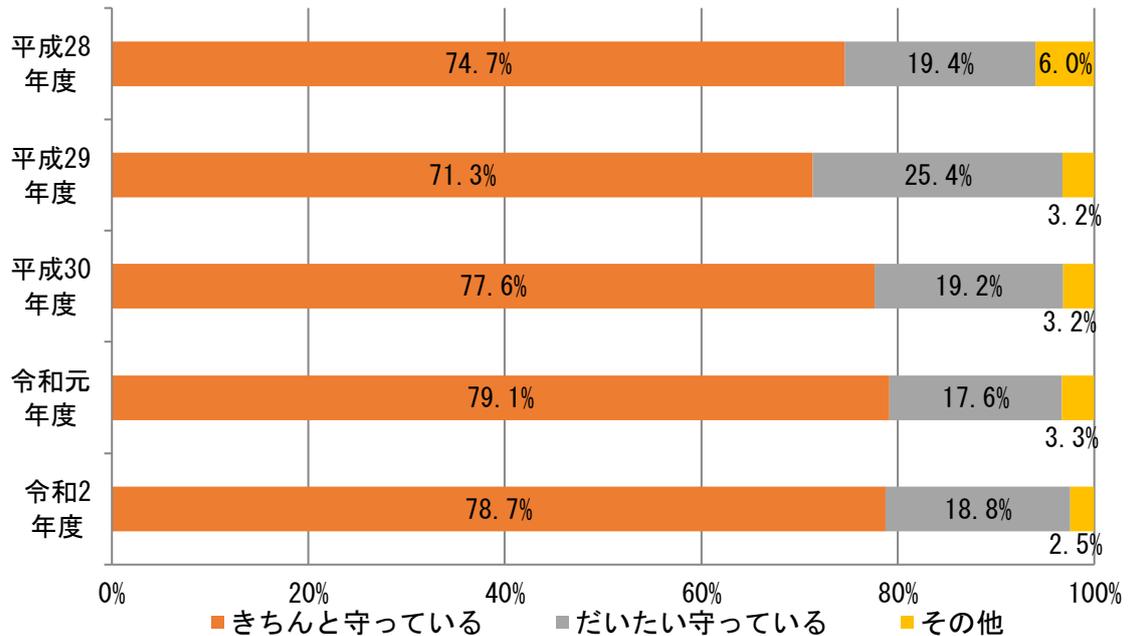
■ 「ごみ問題への関心と地域におけるごみ出しマナー」について

問15. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。(1つだけ)

「きちんと守っている」が78.7%と最も高く、次いで「だいたい守っている」が18.8%、「どちらともいえない」が0.6%となっている。

「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は97.5%で、前回調査と比較すると0.8ポイント増加している。

過去5年間の推移では、「その他」を選択する割合は減少傾向にある。



※ 上記グラフの「その他」については、「どちらともいえない」、「あまり守っていない」、「全然守っていない」、「分からない」、「無回答」を合算した数値である。

なお、「分からない」という回答肢は平成28年度まで設定しており、それぞれの数値は以下のとおりである。

回答肢	H27	H28	H29	H30	R1	R2
どちらともいえない	1.9%	1.0%	1.2%	0.8%	1.1%	0.6%
あまり守っていない	0.9%	0.3%	0.1%	0.3%	0.3%	0.2%
全然守っていない	—	—	0.1%	0.1%	—	0.1%
分からない	0.7%	0.4%	—	—	—	—
無回答	2.5%	4.3%	1.8%	2.0%	1.9%	1.6%

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は30歳代が100%と最も高く、次いで50歳代（99.0%）、40歳代（98.8%）とな

っている。

職業別：「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は農林漁業、公務員が100%で最も高く、次いで自営業（99.0%）、会社員（98.6%）となっている。

地区別：「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は東区が99.1%と最も高く、次いで南区（98.6%）、中央区（97.8%）となっている。

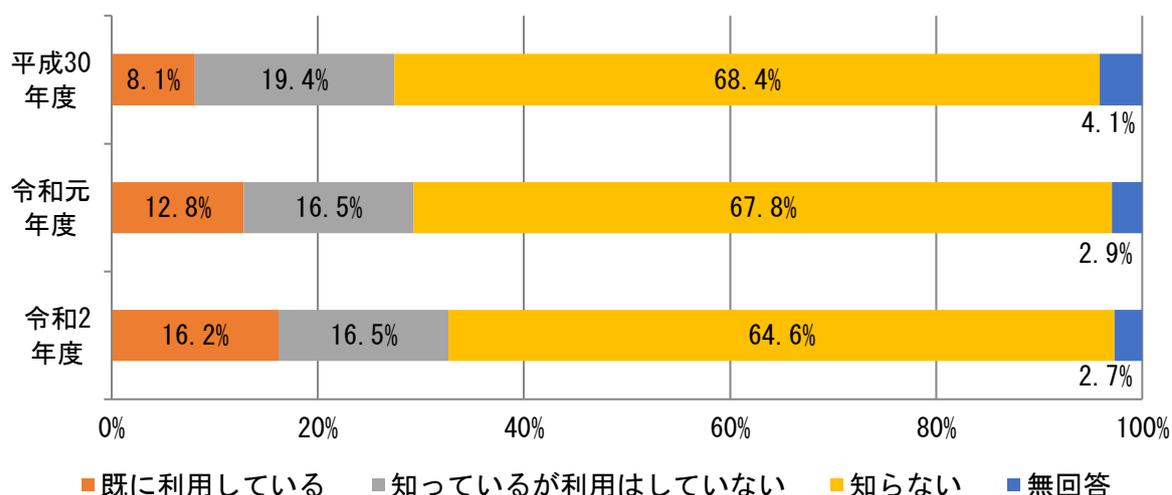
■属性別回答

	合計	きちんと守っている	だいたい守っている	どちらともいえない	あまり守っていない	全然守っていない	無回答
全体	1,223	78.7%	18.8%	0.6%	0.2%	0.1%	1.6%
年齢別							
20歳代	108	63.9%	33.3%	1.9%	0.9%	—	—
30歳代	149	65.1%	34.9%	—	—	—	—
40歳代	173	81.5%	17.3%	0.6%	—	0.6%	—
50歳代	210	79.5%	19.5%	0.5%	—	—	0.5%
60歳代	238	84.9%	13.4%	0.4%	—	—	1.3%
70歳代	216	86.1%	11.1%	0.5%	—	—	2.3%
80歳代	90	83.3%	7.8%	—	1.1%	—	7.8%
職業別							
会社員	514	74.9%	23.7%	0.8%	0.2%	0.2%	0.2%
自営業	98	78.6%	20.4%	1.0%	—	—	—
農林漁業	8	87.5%	12.5%	—	—	—	—
公務員	79	75.9%	24.1%	—	—	—	—
学生	21	66.7%	28.6%	—	4.8%	—	—
無職	397	86.6%	9.8%	0.3%	—	—	3.3%
その他	59	74.6%	22.0%	—	—	—	3.4%
地区別							
中央区	308	77.3%	20.5%	0.3%	0.3%	—	1.6%
東区	310	78.1%	21.0%	0.6%	—	—	0.3%
西区	139	79.1%	16.5%	0.7%	—	—	3.6%
南区	211	83.9%	14.7%	0.9%	0.5%	—	—
北区	208	78.4%	18.8%	—	—	0.5%	2.4%

問16. スマートフォン・タブレット向けの「熊本市ごみ分別アプリ」を知っていますか。(1つだけ)

「知らない」が64.6%と最も高く、次いで「知っているが利用はしていない」が16.5%、「既に利用している」が16.2%となっている。

「既に利用している」割合は、前回調査から3.4ポイント増加している。また、「知らない」割合は減少傾向にある。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「既に利用している」は30歳代が25.5%で最も高く、「知っているが利用はしていない」は50歳代が20.0%、「知らない」は60歳代が73.5%で最も高くなっている。

「既に利用している」、「知っているが利用はしていない」を合わせた割合は40歳代が44.0%と最も高く、次いで50歳代（41.9%）、30歳代（39.6%）となっている。

職業別：「既に利用している」は公務員が31.6%で最も高く、「知っているが利用はしていない」はその他が28.8%で最も高く、「知らない」は農林漁業が87.5%で最も高くなっている。

「既に利用している」、「知っているが利用はしていない」を合わせた割合は公務員が56.9%と最も高く、次いでその他（42.4%）、会社員（35.8%）となっている。

地区別：「既に利用している」は南区が19.0%で最も高く、「知っているが利用はしていない」は東区が19.7%で最も高く、「知らない」は西区が66.2%で最も高くなっている。

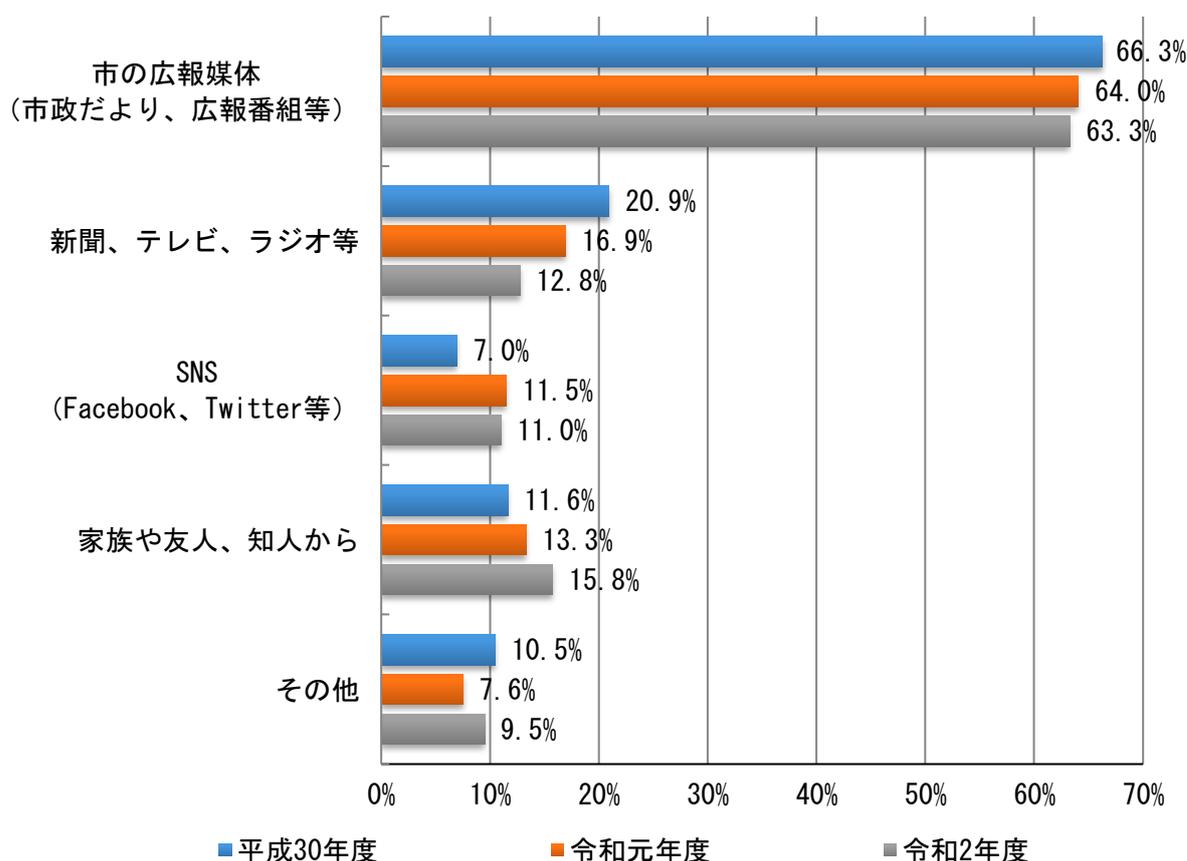
「既に利用している」、「知っているが利用はしていない」を合わせた割合は東区が34.9%と最も高く、次いで南区（34.6%）、中央区（32.2%）となっている。

■属性別回答

	合計	既に利用している	知っているが 利用はしていない	知らない	無回答
全体	1,223	16.2%	16.5%	64.6%	2.7%
年齢別					
20歳代	108	21.3%	12.0%	66.7%	—
30歳代	149	25.5%	14.1%	59.1%	1.3%
40歳代	173	24.3%	19.7%	55.5%	0.6%
50歳代	210	21.9%	20.0%	57.1%	1.0%
60歳代	238	9.2%	15.5%	73.5%	1.7%
70歳代	216	6.5%	16.2%	73.1%	4.2%
80歳代	90	7.8%	15.6%	66.7%	10.0%
職業別					
会社員	514	21.0%	14.8%	63.4%	0.8%
自営業	98	11.2%	10.2%	77.6%	1.0%
農林漁業	8	—	12.5%	87.5%	—
公務員	79	31.6%	25.3%	41.8%	1.3%
学生	21	9.5%	9.5%	81.0%	—
無職	397	9.8%	17.6%	68.3%	4.3%
その他	59	13.6%	28.8%	54.2%	3.4%
地区別					
中央区	308	16.6%	15.6%	64.9%	2.9%
東区	310	15.2%	19.7%	64.5%	0.6%
西区	139	15.1%	15.1%	66.2%	3.6%
南区	211	19.0%	15.6%	64.5%	0.9%
北区	208	15.9%	15.4%	64.4%	4.3%

問16-1. (問16. で「既に利用している」又は「知っているが利用はしていない」と答えられた方)「熊本市ごみ分別アプリ」をどこで知りましたか。(複数回答可)

問16. で「既に利用している」又は「知っているが利用はしていない」と回答した400人については、「市の広報媒体」が63.3%と最も高く、次いで「家族や友人、知人から」が15.8%、「新聞、テレビ、ラジオ等」が12.8%となっている。



【参考】

「その他」の内容

- ・ インターネットで検索して知った（ごみの分別方法などを検索時）（30件）
- ・ 転入時の市の窓口で案内があった（3件）
- ・ 不動産会社で案内があった（1件）
- ・ ごみ収集カレンダーの二次元コードを見て（1件）

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「市の広報媒体」、「新聞、テレビ、ラジオ等」、「家族や友人、知人から」は80歳代がそれぞれ85.7%、42.9%、23.8%で最も高く、「SNS」は50歳代が18.2%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「市の広報媒体」、「新聞、テレビ、ラジオ等」は西区がそれぞれ78.6%、23.8%で最も高く、「SNS」は南区が15.1%、「家族や友人、知人から」は北区が16.7%と最も高くなっている。

■属性別回答

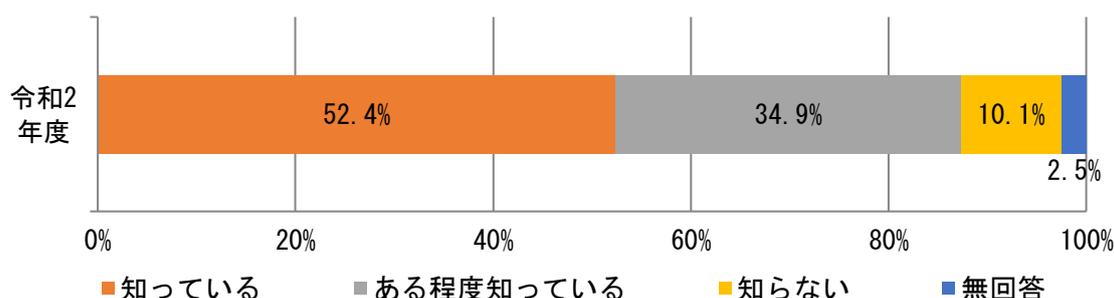
	合計	(市政だより、市政広報番組等) 市の広報媒体	新聞、テレビ、ラジオ等	(Facebook、Twitter等) SNS	家族や友人、知人から	その他
全体	400	63.3%	12.8%	11.0%	15.8%	9.5%
年齢別						
20歳代	36	38.9%	5.6%	13.9%	19.4%	22.2%
30歳代	59	59.3%	10.2%	3.4%	18.6%	13.6%
40歳代	76	59.2%	6.6%	17.1%	13.2%	10.5%
50歳代	88	58.0%	12.5%	18.2%	11.4%	11.4%
60歳代	59	67.8%	8.5%	6.8%	15.3%	3.4%
70歳代	49	83.7%	24.5%	6.1%	16.3%	2.0%
80歳代	21	85.7%	42.9%	—	23.8%	4.8%
職業別						
会社員	184	58.7%	9.2%	17.9%	12.5%	11.4%
自営業	21	71.4%	14.3%	4.8%	4.8%	9.5%
農林漁業	1	100%	—	—	—	—
公務員	45	57.8%	8.9%	6.7%	17.8%	17.8%
学生	4	—	—	50.0%	25.0%	—
無職	109	73.4%	20.2%	2.8%	18.3%	6.4%
その他	25	60.0%	16.0%	8.0%	28.0%	—
地区別						
中央区	99	53.5%	15.2%	11.1%	16.2%	12.1%
東区	108	58.3%	12.0%	13.9%	16.7%	11.1%
西区	42	78.6%	23.8%	4.8%	11.9%	4.8%
南区	73	63.0%	4.1%	15.1%	12.3%	13.7%
北区	65	73.8%	13.8%	7.7%	16.9%	3.1%

■「プラスチック問題」について

問17. 海洋プラスチック問題を知っていますか。(1つだけ)

令和2年度よりプラスチック問題の認知度を測るために、問17～問18について新規で設問を追加し調査を行った。

「知っている」が52.4%と最も高く、次いで「ある程度知っている」が34.9%、「知らない」が10.1%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合は60歳代が95.8%と最も高く、次いで50歳代（92.4%）、70歳代（91.6%）となっている。

「知らない」は20歳代が25.9%と最も高く、次いで30歳代（18.1%）、40歳代（13.3%）となっている。

職業別：「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合は農林漁業が100%と最も高く、次いでその他（96.6%）、公務員（91.1%）となっている。

「知らない」は学生が19.0%と最も高く、次いで会社員（13.8%）、公務員（8.9%）となっている。

地区別：「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合は東区が90.6%と最も高く、次いで南区（89.1%）、西区（87.0%）となっている。

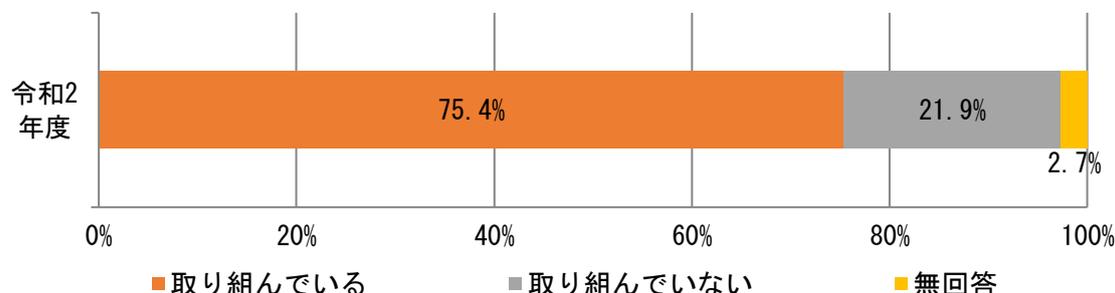
「知らない」は中央区が11.4%と最も高く、次いで北区（10.1%）、南区（9.5%）となっている。

■属性別回答

	合計	知っている	ある程度知っている	知らない	無回答
全体	1,223	52.4%	34.9%	10.1%	2.5%
年齢別					
20歳代	108	35.2%	38.0%	25.9%	0.9%
30歳代	149	36.2%	45.6%	18.1%	—
40歳代	173	55.5%	30.1%	13.3%	1.2%
50歳代	210	52.9%	39.5%	7.1%	0.5%
60歳代	238	59.7%	36.1%	2.5%	1.7%
70歳代	216	63.4%	28.2%	5.1%	3.2%
80歳代	90	50.0%	30.0%	7.8%	12.2%
職業別					
会社員	514	46.9%	38.7%	13.8%	0.6%
自営業	98	57.1%	33.7%	7.1%	2.0%
農林漁業	8	50.0%	50.0%	—	—
公務員	79	58.2%	32.9%	8.9%	—
学生	21	61.9%	14.3%	19.0%	4.8%
無職	397	55.7%	33.0%	6.8%	4.5%
その他	59	66.1%	30.5%	1.7%	1.7%
地区別					
中央区	308	50.3%	35.7%	11.4%	2.6%
東区	310	57.4%	33.2%	8.7%	0.6%
西区	139	59.7%	27.3%	8.6%	4.3%
南区	211	52.6%	36.5%	9.5%	1.4%
北区	208	45.2%	41.3%	10.1%	3.4%

問18. プラスチックごみの削減に取り組んでいますか。(1つだけ)

「取り組んでいる」が75.4%と最も高く、次いで「取り組んでいない」が21.9%となり、「取り組んでいる」が「取り組んでいない」を大きく上回る結果となった。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「取り組んでいる」は70歳代が85.6%で最も高く、次いで50歳代（83.3%）、60歳代（83.2%）となっている。

「取り組んでいない」は20歳代が41.7%と最も高く、次いで30歳代（36.9%）、40歳代（30.1%）となっている。

職業別：「取り組んでいる」はその他が86.4%で最も高く、次いで無職（80.4%）、公務員（78.5%）となっている。

「取り組んでいない」は学生が47.6%と最も高く、次いで会社員（27.8%）、公務員（21.5%）となっている。

地区別：「取り組んでいる」は西区が79.9%で最も高く、次いで東区（77.7%）、北区（75.0%）となっている。

「取り組んでいない」は南区が25.1%と最も高く、次いで中央区（24.4%）、東区（21.6%）となっている。

■属性別回答

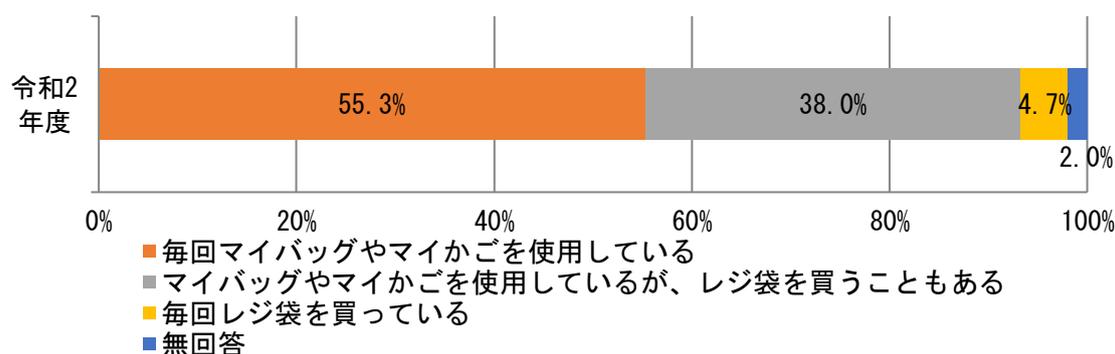
	合計	取り組んでいる	取り組んでいない	無回答
全体	1,223	75.4%	21.9%	2.7%
年齢別				
20歳代	108	57.4%	41.7%	0.9%
30歳代	149	63.1%	36.9%	—
40歳代	173	68.8%	30.1%	1.2%
50歳代	210	83.3%	16.2%	0.5%
60歳代	238	83.2%	15.1%	1.7%
70歳代	216	85.6%	10.6%	3.7%
80歳代	90	70.0%	17.8%	12.2%
職業別				
会社員	514	71.6%	27.8%	0.6%
自営業	98	76.5%	21.4%	2.0%
農林漁業	8	75.0%	12.5%	12.5%
公務員	79	78.5%	21.5%	—
学生	21	47.6%	47.6%	4.8%
無職	397	80.4%	15.6%	4.0%
その他	59	86.4%	10.2%	3.4%
地区別				
中央区	308	73.1%	24.4%	2.6%
東区	310	77.7%	21.6%	0.6%
西区	139	79.9%	15.1%	5.0%
南区	211	73.9%	25.1%	0.9%
北区	208	75.0%	21.2%	3.8%

問19. スーパーやコンビニ等での買い物の際に袋を利用する場合、どの袋を使用していますか。(1つだけ)

プラスチックの過剰な使用を抑制することを目的に令和2年7月から始まったレジ袋有料化に関連してレジ袋の使用頻度について調査を行った。

「毎回マイバッグやマイかごを使用している」が55.3%と最も高く、次いで「マイバッグやマイかごを使用しているが、レジ袋を買うこともある」が38.0%、「毎回レジ袋を買っている」が4.7%となっている。

「毎回マイバッグやマイかごを使用している」と「マイバッグやマイかごを使用しているが、レジ袋を買うこともある」を合わせた割合は93.3%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「毎回マイバッグやマイかごを使用している」は70歳代が65.3%と最も高く、次いで50歳代(65.2%)、60歳代(63.0%)となっている。

「マイバッグやマイかごを使用しているが、レジ袋を買うこともある」は20歳代が59.3%と最も高く、次いで40歳代(54.9%)、30歳代(47.7%)となっている。

「毎回レジ袋を買っている」は20歳代が7.4%と最も高く、次いで30歳代(6.0%)、40歳代(5.2%)となっている。

職業別：「毎回マイバッグやマイかごを使用している」はその他が66.1%と最も高く、次いで無職(65.2%)、自営業(55.1%)となっている。

「マイバッグやマイかごを使用しているが、レジ袋を買うこともある」は農林漁業が75.0%と最も高く、次いで学生(71.4%)、会社員(44.7%)となっている。

「毎回レジ袋を買っている」は公務員が8.9%と最も高く、次いで自営業(7.1%)、会社員(6.2%)となっている。

地区別：「毎回マイバッグやマイかごを使用している」は西区が59.0%と最も高く、次いで東区(58.7%)、中央区(56.5%)となっている。

「マイバッグやマイかごを使用しているが、レジ袋を買うこともある」は北区が44.7%と最も高く、次いで南区(40.3%)、中央区、西区(36.7%)

となっている。

「毎回レジ袋を買っている」は北区が6.3%と最も高く、次いで東区(5.5%)、南区(4.7%)となっている。

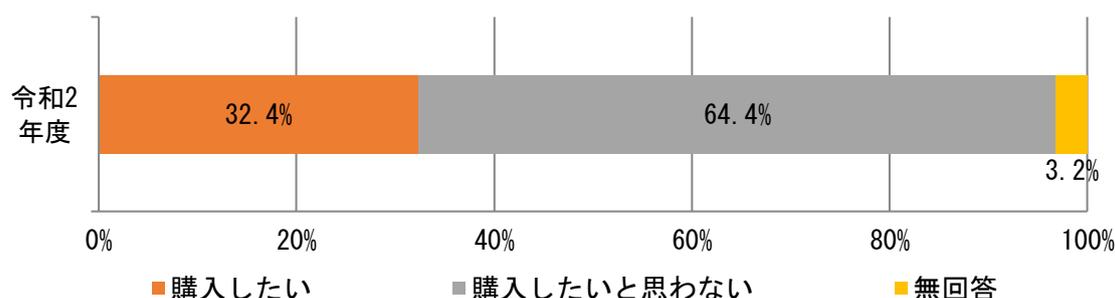
■属性別回答

	合計	毎回マイバッグやマイかごを使用している	マイバッグやマイかごを使用しているが、レジ袋を買うこともある	毎回レジ袋を買っている	無回答
全体	1,223	55.3%	38.0%	4.7%	2.0%
年齢別					
20歳代	108	32.4%	59.3%	7.4%	0.9%
30歳代	149	46.3%	47.7%	6.0%	—
40歳代	173	38.7%	54.9%	5.2%	1.2%
50歳代	210	65.2%	31.0%	3.3%	0.5%
60歳代	238	63.0%	31.1%	4.6%	1.3%
70歳代	216	65.3%	27.8%	4.2%	2.8%
80歳代	90	61.1%	28.9%	3.3%	6.7%
職業別					
会社員	514	48.4%	44.7%	6.2%	0.6%
自営業	98	55.1%	35.7%	7.1%	2.0%
農林漁業	8	25.0%	75.0%	—	—
公務員	79	51.9%	39.2%	8.9%	—
学生	21	19.0%	71.4%	4.8%	4.8%
無職	397	65.2%	29.5%	2.5%	2.8%
その他	59	66.1%	32.2%	—	1.7%
地区別					
中央区	308	56.5%	36.7%	4.5%	2.3%
東区	310	58.7%	35.5%	5.5%	0.3%
西区	139	59.0%	36.7%	0.7%	3.6%
南区	211	55.0%	40.3%	4.7%	—
北区	208	46.2%	44.7%	6.3%	2.9%

問20. レジ袋の代わりとして指定収集袋（ごみ袋）を購入したいと思いますか。（1つだけ）

熊本市ではレジ袋の削減を目的として、マイバッグを持っていない（忘れた）方に、熊本市の指定収集袋（ごみ袋）をレジ袋の代わりに販売する取組を行っており、その需要を測るため調査を行った。

「購入したいと思わない」が64.4%と最も高く、次いで「購入したい」が32.4%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「購入したい」は20歳代が38.0%で最も高く、次いで70歳代（37.0%）、40歳代（35.8%）となっている。

「購入したいと思わない」は60歳代が71.4%で最も高く、次いで30歳代（69.8%）、40歳代（64.2%）となっている。

職業別：「購入したい」は学生が42.9%で最も高く、次いで公務員（38.0%）、農林漁業（37.5%）となっている。

「購入したいと思わない」会社員が66.7%で最も高く、次いで無職（64.7%）、その他（64.4%）となっている。

地区別：「購入したい」は西区が36.0%で最も高く、次いで中央区（34.1%）、南区（32.7%）となっている。

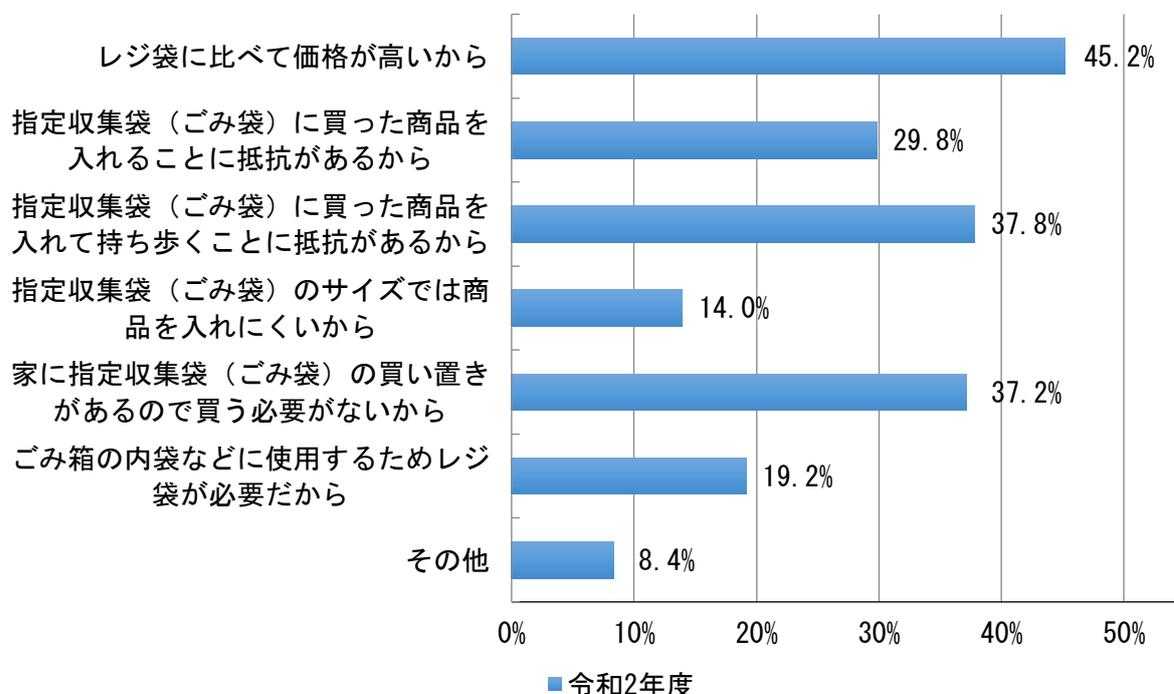
「購入したいと思わない」は東区が67.4%で最も高く、次いで南区（65.9%）、北区（64.9%）となっている。

■属性別回答

	合計	購入したい	購入したいと思わない	無回答
全体	1,223	32.4%	64.4%	3.2%
年齢別				
20歳代	108	38.0%	62.0%	—
30歳代	149	28.9%	69.8%	1.3%
40歳代	173	35.8%	64.2%	—
50歳代	210	35.7%	63.3%	1.0%
60歳代	238	26.1%	71.4%	2.5%
70歳代	216	37.0%	59.7%	3.2%
80歳代	90	27.8%	58.9%	13.3%
職業別				
会社員	514	32.3%	66.7%	1.0%
自営業	98	36.7%	63.3%	—
農林漁業	8	37.5%	62.5%	—
公務員	79	38.0%	60.8%	1.3%
学生	21	42.9%	57.1%	—
無職	397	30.5%	64.7%	4.8%
その他	59	33.9%	64.4%	1.7%
地区別				
中央区	308	34.1%	63.6%	2.3%
東区	310	30.6%	67.4%	1.9%
西区	139	36.0%	59.7%	4.3%
南区	211	32.7%	65.9%	1.4%
北区	208	31.7%	64.9%	3.4%

問20-1. (問20.で「購入したいと思わない」と答えられた方) 購入したいと思わない理由を教えてください。(複数回答可)

問20.で「購入したいと思わない」と回答した788人については、「レジ袋に比べて価格が高いから」が45.2%と最も高く、次いで「指定収集袋(ごみ袋)に買った商品を入れて持ち歩くことに抵抗があるから」が37.8%、「家に指定収集袋(ごみ袋)の買い置きがあるので買う必要がないから」が37.2%となっている。



【参考】

- 「その他」の内容
- ・ マイバッグを常に持ち歩いているから (36件)
 - ・ 小袋を燃やすごみの排出に使用していない (10件)
 - ・ 持ち歩きたくなるようなデザインになると良い (3件)
 - ・ レジ袋有料化が疑問 (バイオマスレジ袋を義務化させるならともかく単純なレジ袋有料化は愚策である、海洋プラスチック問題とレジ袋との因果関係が認められないという理由で、反対の意味を含めてレジ袋を買い続ける。) (2件)
 - ・ その他 (居住するマンションでは熊本市の指定収集袋を使用せずごみを出せるから等) (4件)

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「レジ袋に比べて価格が高いから」と「指定収集袋(ごみ袋)に買った商品を入れることに抵抗があるから」、「指定収集袋(ごみ袋)に買った商品を入れて持ち歩くことに抵抗があるから」は20歳代がそれぞれ56.7%、38.8%、56.7%と最も高く、「指定収集袋(ごみ袋)のサイズでは商品を入れにくいから」は40歳代が24.3%、「家に指定収集袋(ごみ袋)の買い置きがあるので買う必要がないから」は80歳代が49.1%、「ごみ箱の内袋などに使用するためレジ袋が必要だから」は30歳代が32.7%と最も高くなっている。

職業別：「レジ袋に比べて価格が高いから」、「ごみ箱の内袋などに使用するためレジ袋が必要だから」は農林漁業がそれぞれ80.0%、40.0%と最も高く、「指定収集袋(ごみ袋)に買った商品を入れることに抵抗があるから」と「指

定収集袋（ごみ袋）に買った商品を入れて持ち歩くことに抵抗があるから」、「指定収集袋（ごみ袋）のサイズでは商品を入れにくいから」、「家に指定収集袋（ごみ袋）の買い置きがあるので買う必要がないから」は学生が50.0%、58.3%、25.0%、50.0%と最も高くなっている。

地区別：「レジ袋に比べて価格が高いから」は北区が48.9%と最も高く、指定収集袋（ごみ袋）に買った商品を入れることに抵抗があるから、「指定収集袋（ごみ袋）に買った商品を入れて持ち歩くことに抵抗があるから」は中央区が36.7%、45.4%、「指定収集袋（ごみ袋）のサイズでは商品を入れにくいから」、「ごみ箱の内袋などに使用するためレジ袋が必要だから」は南区が15.1%、20.9%、「家に指定収集袋（ごみ袋）の買い置きがあるので買う必要がないから」は西区が41.0%と最も高くなっている。

■属性別回答

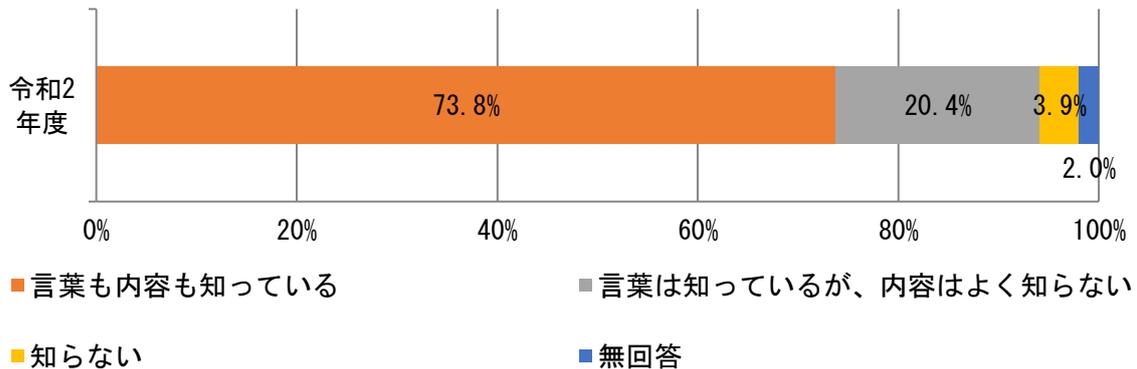
	合計	レジ袋と比べて価格が高いから	指定収集袋（ごみ袋）に買った商品を入れることに抵抗があるから	指定収集袋（ごみ袋）に買った商品を入れて持ち歩くことに抵抗があるから	指定収集袋（ごみ袋）のサイズでは商品を入れにくいから	家に指定収集袋（ごみ袋）の買い置きがあるので買う必要がないから	ごみ箱の内袋などに使用するためレジ袋が必要だから	その他
全体	788	45.2%	29.8%	37.8%	14.0%	37.2%	19.2%	8.4%
年齢別								
20歳代	67	56.7%	38.8%	56.7%	14.9%	23.9%	20.9%	1.5%
30歳代	104	46.2%	37.5%	51.9%	16.3%	36.5%	32.7%	6.7%
40歳代	111	52.3%	36.9%	47.7%	24.3%	29.7%	27.9%	6.3%
50歳代	133	44.4%	34.6%	43.6%	15.8%	36.1%	15.8%	9.8%
60歳代	170	44.7%	30.0%	31.8%	10.6%	40.6%	16.5%	6.5%
70歳代	129	34.9%	17.1%	22.5%	9.3%	45.0%	10.9%	15.5%
80歳代	53	35.8%	9.4%	9.4%	1.9%	49.1%	7.5%	13.2%
職業別								
会社員	343	49.3%	35.3%	46.6%	18.1%	37.0%	23.6%	5.2%
自営業	62	45.2%	25.8%	24.2%	11.3%	32.3%	21.0%	3.2%
農林漁業	5	80.0%	40.0%	40.0%	—	40.0%	40.0%	—
公務員	48	35.4%	35.4%	43.8%	16.7%	25.0%	16.7%	20.8%
学生	12	50.0%	50.0%	58.3%	25.0%	50.0%	25.0%	—
無職	257	39.7%	21.8%	27.2%	7.4%	40.9%	12.5%	12.5%
その他	38	47.4%	31.6%	42.1%	18.4%	39.5%	18.4%	7.9%
地区別								
中央区	196	44.9%	36.7%	45.4%	14.8%	38.3%	16.8%	11.7%
東区	209	45.5%	24.4%	34.9%	14.4%	38.3%	20.1%	8.1%
西区	83	34.9%	25.3%	24.1%	8.4%	41.0%	14.5%	9.6%
南区	139	45.3%	33.8%	40.3%	15.1%	35.3%	20.9%	7.2%
北区	135	48.9%	27.4%	36.3%	13.3%	36.3%	20.0%	5.9%

■「食品ロス」について

問21.「食品ロス」について知っていますか。(1つだけ)

令和2年度より食品ロスについての認知度を測るために、問21～問22について新規で設問を追加し調査を行った。

「言葉も内容も知っている」が73.8%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、内容はよく知らない」が20.4%、「知らない」が3.9%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「言葉も内容も知っている」は70歳代が63.4%と最も高く、次いで60歳代(59.7%)、40歳代(55.5%)となっている。

「言葉は知っているが、内容はよく知らない」は30歳代が45.6%と最も高く、次いで50歳代(39.5%)、20歳代(38.0%)となっている。

「知らない」は20歳代が25.9%と最も高く、30歳代(18.1%)、40歳代(13.3%)となっている。

職業別：「言葉も内容も知っている」はその他が66.1%と最も高く、次いで学生(61.9%)、公務員(58.2%)となっている。

「言葉は知っているが、内容はよく知らない」は農林漁業が50.0%と最も高く、次いで会社員(38.7%)、自営業(33.7%)となっている。

「知らない」は学生が19.0%と最も高く、会社員(13.8%)、公務員(8.9%)となっている。

地区別：「言葉も内容も知っている」は西区が59.7%と最も高く、次いで東区(57.4%)、南区(52.6%)となっている。

「言葉は知っているが、内容はよく知らない」は北区が41.3%と最も高く、次いで南区(36.5%)、中央区(35.7%)となっている。

「知らない」は中央区が11.4%と最も高く、北区(10.1%)、南区(9.5%)となっている。

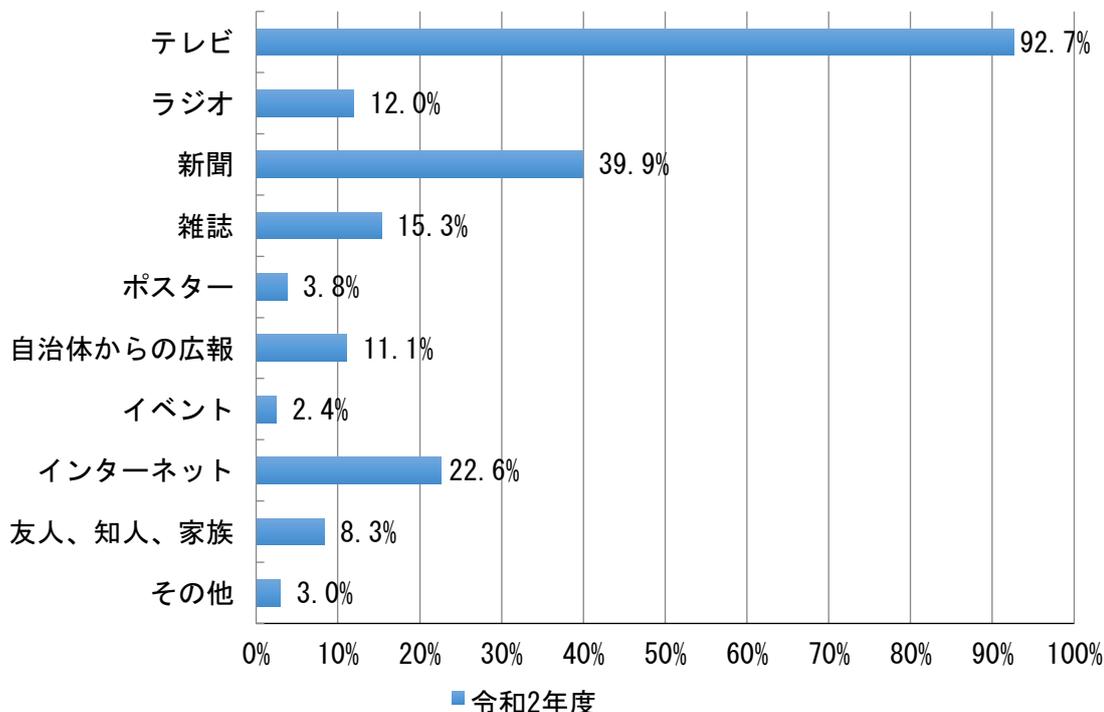
■属性別回答

	合計	言葉も内容も知っている	言葉は知っているが、 内容はよく知らない	知らない	無回答
全体	1,223	73.8%	20.4%	3.9%	2.0%
年齢別					
20歳代	108	35.2%	38.0%	25.9%	0.9%
30歳代	149	36.2%	45.6%	18.1%	—
40歳代	173	55.5%	30.1%	13.3%	1.2%
50歳代	210	52.9%	39.5%	7.1%	0.5%
60歳代	238	59.7%	36.1%	2.5%	1.7%
70歳代	216	63.4%	28.2%	5.1%	3.2%
80歳代	90	50.0%	30.0%	7.8%	12.2%
職業別					
会社員	514	46.9%	38.7%	13.8%	0.6%
自営業	98	57.1%	33.7%	7.1%	2.0%
農林漁業	8	50.0%	50.0%	—	—
公務員	79	58.2%	32.9%	8.9%	—
学生	21	61.9%	14.3%	19.0%	4.8%
無職	397	55.7%	33.0%	6.8%	4.5%
その他	59	66.1%	30.5%	1.7%	1.7%
地区別					
中央区	308	50.3%	35.7%	11.4%	2.6%
東区	310	57.4%	33.2%	8.7%	0.6%
西区	139	59.7%	27.3%	8.6%	4.3%
南区	211	52.6%	36.5%	9.5%	1.4%
北区	208	45.2%	41.3%	10.1%	3.4%

問21-1. (問21. で「言葉も内容も知っている」又は「言葉は知っているが、内容はよく知らない」と答えられた方)「食品ロス」を知ったきっかけは何ですか。

(複数回答可)

問25. で「言葉も意味も知っている」又は「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と回答した902人については、「テレビ」が92.7%と最も高く、次いで「新聞」が39.9%「インターネット」が22.6%となっている。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 勤務先での取組（スーパーで勤務、コンビニで食材を廃棄していた、飲み会での食べ残し、青果店勤務でB級、C級品を取り扱っている等）（14件）
- ・ 学校での授業や講義（高校の家庭科の授業、大学の環境系の講義等）（8件）
- ・ 子どもの学校での学び（小学5年生の国語の教科書等）（2件）
- ・ その他（スーパーやコンビニのポップ広告、授業で食品ロスを扱った（小学校講師）、大学の恩師が地元の食品ロス削減団体の代表で活動している、漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」）

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「テレビ」と「ラジオ」、「新聞」、「雑誌」は80歳代がそれぞれ98.2%、21.1%、68.4%、21.1%と最も高く、「ポスター」、「イベント」は40歳代が5.3%、3.8%、「自治体からの広報」、「友人、知人、家族」は70歳代が16.9%、11.4%「インターネット」は30歳代が37.5%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「テレビ」と「新聞」、「雑誌」は北区が97.4%、46.8%、16.2%と最も高

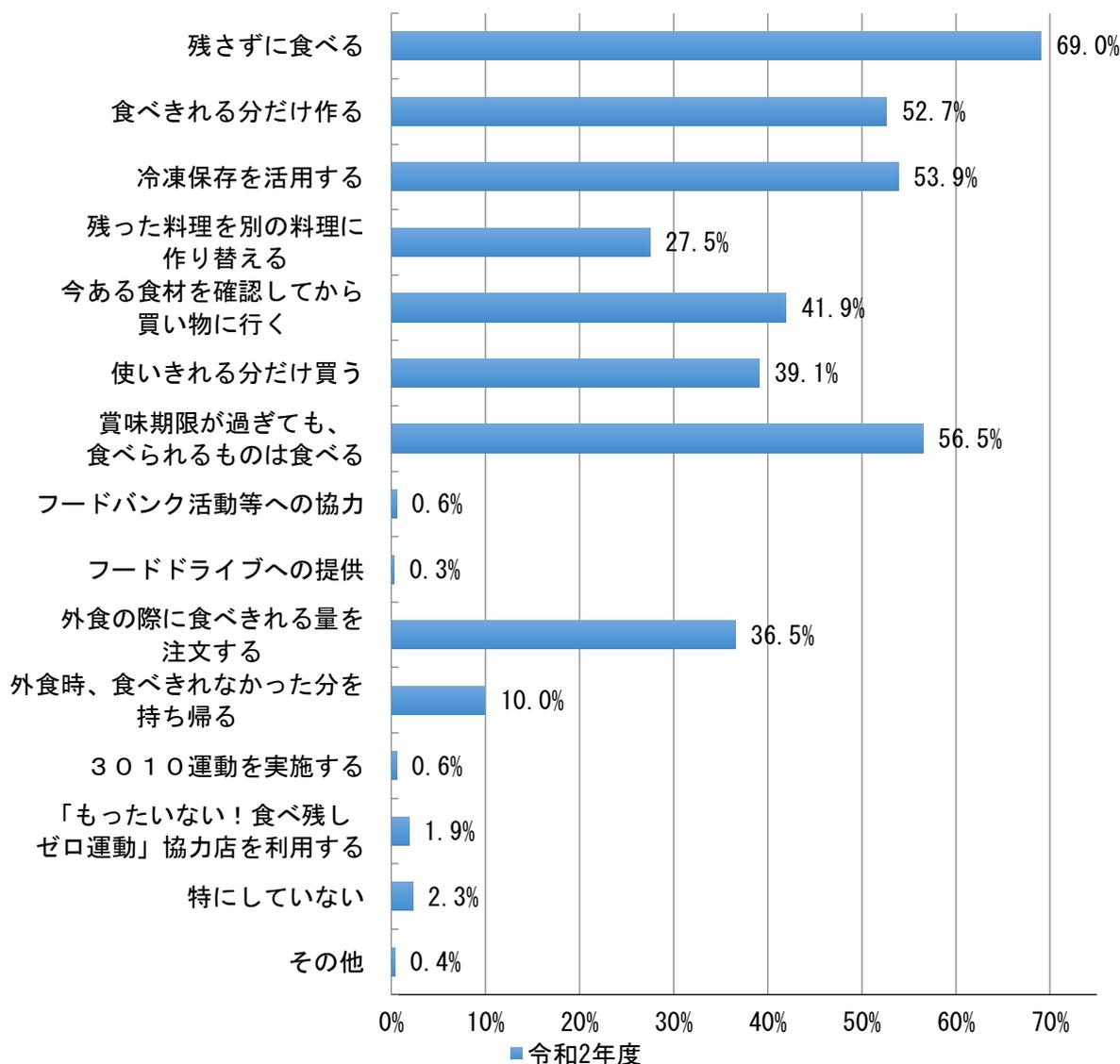
く、「ラジオ」、「自治体からの広報」、「インターネット」は南区が17.8%、17.1%、28.9%、「ポスター」は西区が6.5%、「イベント」、「友人、知人、家族」は中央区が3.5%、10.1%と最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	ポスター	自治体からの広報	イベント	インターネット	友人、知人、家族	その他
全体	902	92.7%	12.0%	39.9%	15.3%	3.8%	11.1%	2.4%	22.6%	8.3%	3.0%
年齢別											
20歳代	69	84.1%	2.9%	17.4%	5.8%	2.9%	1.4%	1.4%	34.8%	7.2%	14.5%
30歳代	96	89.6%	7.3%	17.7%	9.4%	4.2%	7.3%	1.0%	37.5%	7.3%	3.1%
40歳代	133	94.0%	7.5%	22.6%	11.3%	5.3%	10.5%	3.8%	33.1%	7.5%	3.0%
50歳代	168	91.1%	9.5%	42.9%	18.5%	4.2%	9.5%	3.6%	26.2%	8.3%	3.0%
60歳代	194	93.3%	17.0%	44.3%	18.6%	3.1%	11.9%	1.5%	21.1%	7.2%	1.0%
70歳代	166	97.0%	15.7%	59.6%	18.1%	4.2%	16.9%	3.6%	6.0%	11.4%	0.6%
80歳代	57	98.2%	21.1%	68.4%	21.1%	1.8%	15.8%	—	3.5%	8.8%	—
職業別											
会社員	375	93.1%	10.9%	33.3%	14.9%	4.0%	8.3%	3.2%	29.1%	9.1%	4.0%
自営業	74	91.9%	8.1%	27.0%	17.6%	1.4%	8.1%	2.7%	25.7%	6.8%	—
農林漁業	3	100%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	—	—	—	—
公務員	66	87.9%	10.6%	33.3%	16.7%	6.1%	12.1%	3.0%	31.8%	6.1%	6.1%
学生	14	64.3%	—	21.4%	7.1%	7.1%	—	—	21.4%	21.4%	28.6%
無職	296	95.3%	14.5%	54.1%	15.2%	2.7%	15.2%	1.7%	10.8%	8.4%	0.7%
その他	49	91.8%	14.3%	44.9%	22.4%	6.1%	12.2%	2.0%	36.7%	6.1%	—
地区別											
中央区	228	93.4%	12.7%	38.6%	15.4%	1.8%	5.7%	3.5%	23.2%	10.1%	2.6%
東区	236	90.3%	8.9%	35.2%	15.7%	4.2%	11.9%	1.7%	24.2%	7.2%	4.7%
西区	108	95.4%	10.2%	39.8%	15.7%	6.5%	13.9%	0.9%	13.0%	7.4%	1.9%
南区	152	90.1%	17.8%	44.7%	15.1%	4.6%	17.1%	2.6%	28.9%	8.6%	2.0%
北区	154	97.4%	11.0%	46.8%	16.2%	3.9%	9.7%	2.6%	22.1%	8.4%	1.3%

問22. 食品ロス削減について、取り組んでいることはありますか。(1つだけ)

「残さずに食べる」が69.0%と最も高く、次いで「賞味期限が過ぎても、食べられるものは食べる」が56.5%、「冷凍保存を活用する」が53.9%となっている。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 野菜等はよく洗い根菜の皮等もそのまま使う。廃棄の野菜や傷んだものは、庭の土の中に埋めるようにしている。
- ・ 多いときは知人と分け合って買う。
- ・ コンビニですぐ食べるものは、賞味期限が近いものを選んで買う。
- ・ コロナ禍での食品ロス削減のため、インターネット等での購入に協力している。
- ・ (提案) 賞味期限の概念をなくし、製造年月日のみ記載するにするというアメリカの事例に習うのはどうだろうか。

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「残さずに食べる」と「使いきれ的分だけ買う」、「外食の際に食べきれる量を注文する」は20歳代が最も高く、「食べきれ的分だけ作る」、「今ある食材を確認してから買い物に行く」、「外食時、食べきれなかった分を持ち帰る」は50歳代、「冷凍保存を活用する」は60歳代、「残った料理を別の料理に作り替え

る、「フードバンク活動等への協力」、「3010運動を実施する」は30歳代、「賞味期限が過ぎても、食べられるものは食べる」、「フードドライブへの提供」は40歳代、「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店を利用する、「特にしていない」は80歳代が最も高くなっている。

職業別：「残さずに食べる」と「フードドライブへの提供」は公務員が最も高く、「食べきれぬ分だけ作る」、「外食の際に食べきれぬ量を注文する」、「特にしていない」は学生、「冷凍保存を活用する」、「残った料理を別の料理に作り替える」、「今ある食材を確認してから買い物に行く」、「賞味期限が過ぎても、食べられるものは食べる」、「フードバンク活動等への協力」、「外食時、食べきれなかった分を持ち帰る」、「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店を利用する」はその他、「使いきれぬ分だけ買う」は農林漁業、「3010運動を実施する」は自営業が最も高くなっている。

地区別：「残さずに食べる」と「外食の際に食べきれぬ量を注文する」、「特にしていない」は南区が最も高く、「食べきれぬ分だけ作る」、「外食時、食べきれなかった分を持ち帰る」は中央区、「冷凍保存を活用する」、「残った料理を別の料理に作り替える」、「今ある食材を確認してから買い物に行く」は東区、「使いきれぬ分だけ買う」は東区と北区、「賞味期限が過ぎても、食べられるものは食べる」中央区と東区、「フードバンク活動等への協力」は中央区と北区、「フードドライブへの提供」と「3010運動を実施する」、「もったいない！食べ残しゼロ運動」は北区が最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	残さずに食べる	食べきれぬ分だけ作る	冷凍保存を活用する	残った料理を別の料理に作り替える	今ある食材を確認してから買い物に行く	使いきれぬ分だけ買う	賞味期限が過ぎても、食べられるものは食べる	フードバンク活動等への協力	フードドライブへの提供	外食の際に食べきれぬ量を注文する	外食時、食べきれなかった分を持ち帰る	3010運動を実施する	「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店を利用する	特にしていない	その他
全体	1,223	69.0%	52.7%	53.9%	27.5%	41.9%	39.1%	56.5%	0.6%	0.3%	36.5%	10.0%	0.6%	1.9%	2.3%	0.4%
年代別																
20歳代	108	79.6%	55.6%	49.1%	20.4%	36.1%	48.1%	55.6%	—	—	42.6%	7.4%	—	—	2.8%	0.9%
30歳代	149	77.9%	49.0%	51.0%	30.9%	40.3%	44.3%	54.4%	1.3%	—	37.6%	8.1%	2.0%	1.3%	4.0%	0.7%
40歳代	173	78.0%	60.1%	53.2%	27.2%	38.2%	42.8%	62.4%	—	0.6%	38.7%	9.8%	0.6%	1.7%	0.6%	0.6%
50歳代	210	73.8%	60.5%	53.8%	27.6%	49.5%	47.6%	58.1%	0.5%	0.5%	40.5%	12.4%	1.0%	0.5%	1.4%	0.5%
60歳代	238	60.1%	52.1%	58.0%	30.3%	43.3%	34.0%	58.4%	0.4%	0.4%	36.6%	9.7%	0.4%	2.5%	1.7%	—
70歳代	216	63.9%	46.3%	57.4%	30.1%	47.2%	31.0%	58.8%	0.9%	0.5%	35.6%	12.0%	—	3.2%	2.8%	—
80歳代	90	53.3%	41.1%	48.9%	21.1%	32.2%	24.4%	48.9%	1.1%	—	21.1%	7.8%	—	4.4%	5.6%	1.1%
職業別																
会社員	514	74.3%	54.7%	53.3%	27.4%	40.7%	39.3%	59.9%	0.2%	0.2%	37.9%	8.6%	0.4%	1.2%	2.5%	0.6%
自営業	98	71.4%	49.0%	51.0%	19.4%	36.7%	40.8%	56.1%	1.0%	—	38.8%	12.2%	3.1%	3.1%	1.0%	—
農林漁業	8	50.0%	25.0%	37.5%	25.0%	37.5%	50.0%	62.5%	—	—	50.0%	12.5%	—	—	—	—
公務員	79	87.3%	58.2%	51.9%	22.8%	35.4%	44.3%	53.2%	1.3%	2.5%	34.2%	8.9%	1.3%	1.3%	—	—
学生	21	81.0%	66.7%	47.6%	19.0%	38.1%	47.6%	61.9%	—	—	57.1%	19.0%	—	—	4.8%	4.8%
無職	397	60.5%	49.4%	56.4%	30.7%	46.3%	37.0%	54.4%	0.8%	0.3%	34.5%	9.3%	0.3%	2.3%	3.0%	0.3%
その他	59	55.9%	57.6%	61.0%	37.3%	54.2%	37.3%	67.8%	1.7%	—	39.0%	22.0%	—	6.8%	1.7%	—
地区別																
中央区	308	69.8%	56.5%	52.9%	26.6%	43.2%	39.0%	59.4%	1.0%	0.3%	36.7%	12.3%	0.6%	1.3%	1.6%	0.6%
東区	310	72.6%	52.3%	57.1%	32.3%	49.0%	41.3%	59.4%	—	0.3%	38.4%	11.3%	0.3%	2.3%	2.6%	0.3%
西区	139	64.7%	51.8%	52.5%	24.5%	35.3%	33.1%	58.3%	0.7%	—	30.2%	5.0%	—	2.2%	0.7%	—
南区	211	73.0%	50.7%	55.9%	27.0%	36.0%	36.5%	58.3%	0.5%	—	44.5%	9.5%	0.9%	1.9%	4.3%	—
北区	208	63.0%	50.0%	50.5%	26.0%	42.3%	41.3%	51.4%	1.0%	1.0%	32.2%	8.2%	1.0%	2.4%	2.4%	1.0%

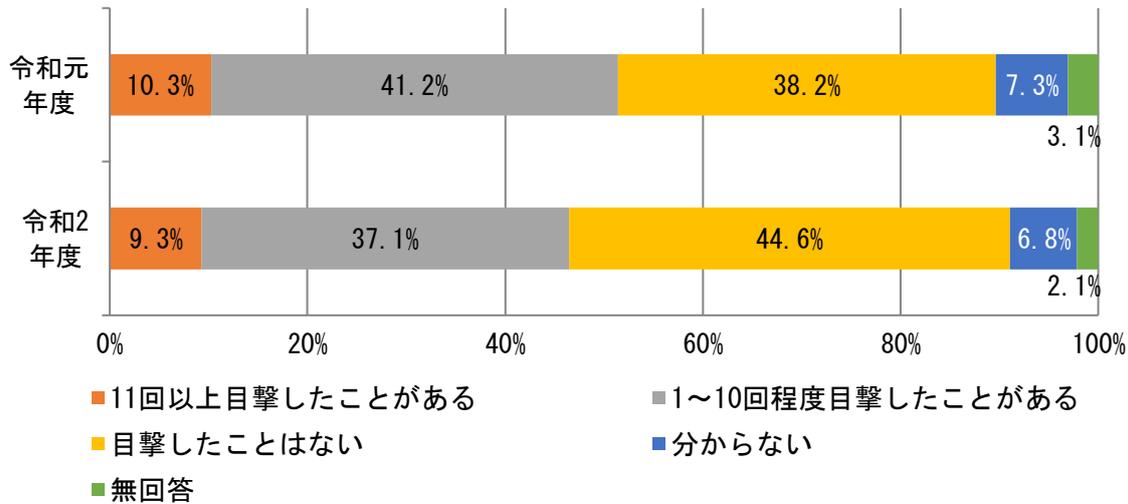
■「資源物の持ち去り」について

問23. この1年でごみステーションから資源物等を持ち去る行為を目撃しましたか。

(1つだけ)

「目撃したことはない」が44.6%で最も高く、次いで「1～10回程度目撃したことがある」が37.1%、「11回以上目撃したことがある」が9.3%となっている。

「11回以上目撃したことがある」、「1～10回程度目撃したことがある」を合わせた割合は46.4%で、前回調査と比較すると5.1ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「11回以上目撃したことがある」と「1～10回程度目撃したことがある」は50歳代がそれぞれ13.3%、44.8%で最も高く、「目撃したことはない」は20歳代が74.1%と最も高くなっている。

「11回以上目撃したことがある」、「1～10回程度目撃したことがある」を合わせた割合は40、50、60歳代以上が50%以上となっているのに対し、それ以外の年代は半数を下回っている。

職業別：「11回以上目撃したことがある」は自営業が12.2%で最も高く、「1～10回程度目撃したことがある」はその他が44.1%、「目撃したことはない」は農林漁業が87.5%と最も高くなっている。

「11回以上目撃したことがある」、「1～10回程度目撃したことがある」を合わせた割合はいずれの職業でも半数を下回っている。

地区別：「11回以上目撃したことがある」、「1～10回程度目撃したことがある」は東区がそれぞれ12.6%、40.0%で最も高く、「目撃したことはない」は西区が47.5%と最も高くなっている。

「11回以上目撃したことがある」、「1～10回程度目撃したことがある」を合わせた割合は東区が50%以上となっているのに対し、それ以外の区は半数を下回っている。

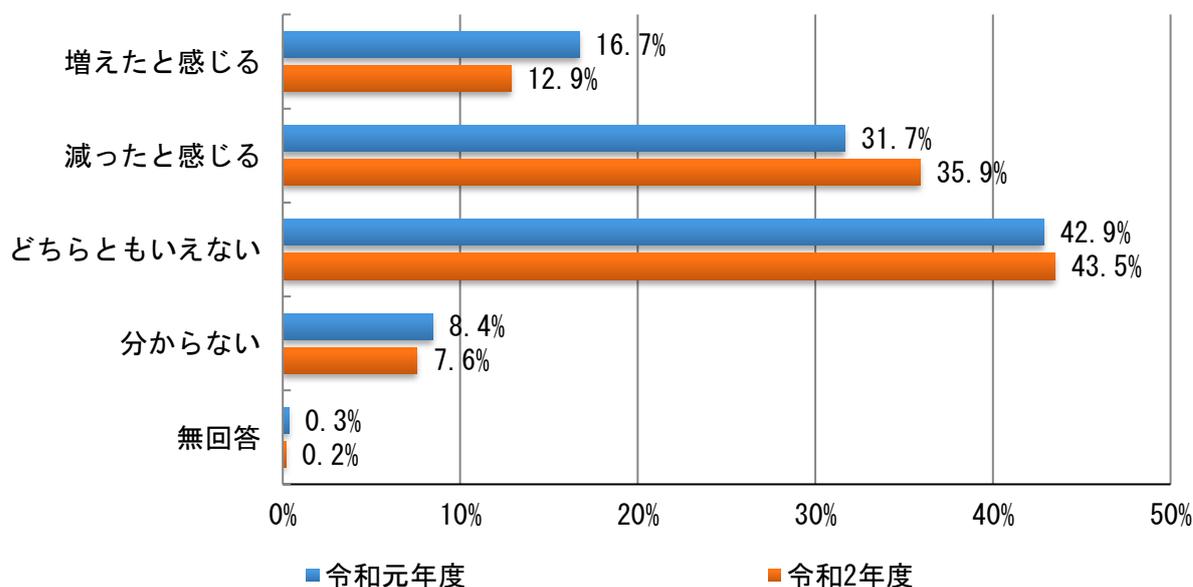
■属性別回答

	合計	二回以上目撃したことがある	二〜三回程程度目撃したことがある	目撃したことはない	分からない	無回答
全体	1,223	9.3%	37.1%	44.6%	6.8%	2.1%
年齢別						
20歳代	108	3.7%	13.0%	74.1%	9.3%	—
30歳代	149	6.7%	30.2%	56.4%	6.0%	0.7%
40歳代	173	11.0%	39.3%	43.4%	5.8%	0.6%
50歳代	210	13.3%	44.8%	34.8%	5.2%	1.9%
60歳代	238	10.5%	42.0%	41.2%	4.6%	1.7%
70歳代	216	9.7%	39.8%	39.8%	8.3%	2.3%
80歳代	90	4.4%	36.7%	38.9%	11.1%	8.9%
職業別						
会社員	514	9.1%	38.5%	46.5%	5.1%	0.8%
自営業	98	12.2%	36.7%	42.9%	7.1%	1.0%
農林漁業	8	—	—	87.5%	12.5%	—
公務員	79	8.9%	38.0%	50.6%	2.5%	—
学生	21	9.5%	19.0%	66.7%	4.8%	—
無職	397	10.1%	36.3%	41.6%	8.6%	3.5%
その他	59	5.1%	44.1%	37.3%	11.9%	1.7%
地区別						
中央区	308	8.8%	36.7%	47.1%	5.8%	1.6%
東区	310	12.6%	40.0%	40.6%	6.1%	0.6%
西区	139	9.4%	33.1%	47.5%	6.5%	3.6%
南区	211	10.0%	34.1%	45.5%	9.0%	1.4%
北区	208	5.3%	39.9%	45.2%	6.3%	3.4%

問23-1. (問23.で「11回以上目撃したことがある」又は「1～10回程度目撃したことがある」と答えられた方)この1年以内で、持ち去り行為を目撃する回数が増えたと感じますか。(1つだけ)

問23.で「11回以上目撃したことがある」又は「1～10回程度目撃したことがある」と回答した568人については、「どちらともいえない」が43.5%と最も高く、次いで「減ったと感じる」が35.9%、「増えたと感じる」が12.9%となっている。

前回調査と比較して、「増えたと感じる」は減少し、「減ったと感じる」、「どちらともいえない」は増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「増えたと感じる」は60歳代が18.4%と最も高く、次いで50歳代(15.6%)、40歳代(13.8%)となっている。

「減ったと感じる」は70歳代が57.9%と最も高く、次いで80歳代(40.5%)、60歳代(40.0%)となっている。

「どちらともいえない」は20歳代が72.2%と最も高く、次いで40歳代(56.3%)、30歳代(54.5%)となっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「増えたと感じる」は中央区が17.9%と最も高く、次いで西区(15.3%)、北区(11.7%)となっている。

「減ったと感じる」は西区が49.2%と最も高く、次いで北区(42.6%)、東区(35.6%)となっている。

「どちらともいえない」は東区が49.1%と最も高く、次いで南区(47.3%)、中央区(43.6%)となっている。

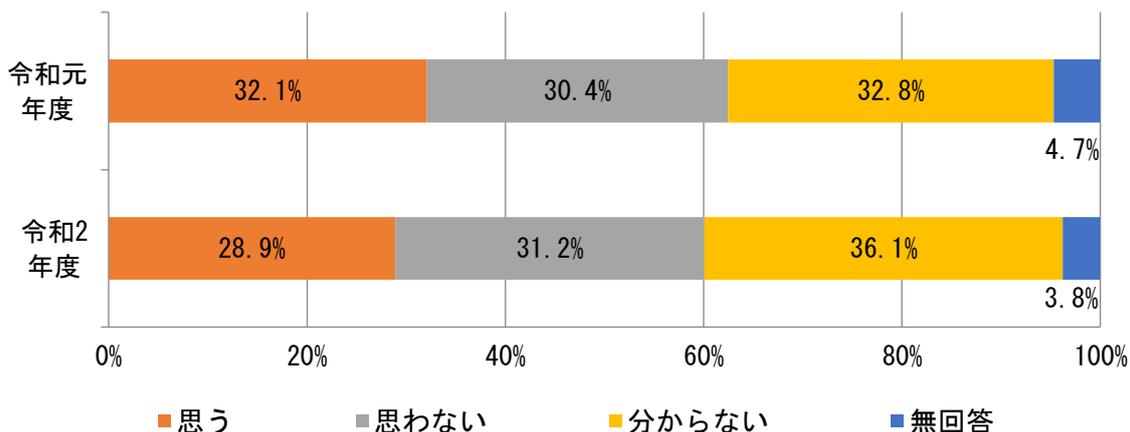
■属性別回答

	合計	増えたと感じる	減ったと感じる	どちらともいえない	分からない	無回答
全体	568	12.9%	35.9%	43.5%	7.6%	0.2%
年齢別						
20歳代	18	11.1%	11.1%	72.2%	5.6%	—
30歳代	55	9.1%	18.2%	54.5%	18.2%	—
40歳代	87	13.8%	21.8%	56.3%	8.0%	—
50歳代	122	15.6%	32.8%	47.5%	4.1%	—
60歳代	125	18.4%	40.0%	32.8%	8.8%	—
70歳代	107	5.6%	57.9%	32.7%	3.7%	—
80歳代	37	8.1%	40.5%	40.5%	8.1%	2.7%
職業別						
会社員	245	13.5%	28.2%	50.6%	7.8%	—
自営業	48	16.7%	29.2%	45.8%	8.3%	—
農林漁業	0	—	—	—	—	—
公務員	37	5.4%	18.9%	67.6%	8.1%	—
学生	6	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	—
無職	184	12.0%	49.5%	32.1%	6.0%	0.5%
その他	29	13.8%	48.3%	27.6%	10.3%	—
地区別						
中央区	140	17.9%	30.7%	43.6%	7.9%	—
東区	163	10.4%	35.6%	49.1%	4.9%	—
西区	59	15.3%	49.2%	30.5%	5.1%	—
南区	93	8.6%	29.0%	47.3%	14.0%	1.1%
北区	94	11.7%	42.6%	39.4%	6.4%	—

問24. 持ち去り行為を防ぐために市が作成した「持ち去り禁止意思表示テープ」を使用したいと思いますか。(1つだけ)

「分からない」が36.1%と最も高く、次いで「思わない」が31.2%、「思う」が28.9%となっている。

前回調査と比較して、「思う」は減少し、「思わない」と「分からない」は増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「思う」は80歳代が37.8%と最も高く、次いで70歳代（36.1%）、50歳代（31.0%）となっている。

「思わない」は60歳代が34.5%と最も高く、次いで70歳代（32.4%）、50歳代（31.9%）となっている。

「分からない」は20歳代が56.5%と最も高く、30歳代（48.3%）、40歳代（40.5%）となっている。

職業別：「思う」は無職が33.5%と最も高く、次いで自営業（29.6%）、公務員（29.1%）となっている。

「思わない」は自営業が39.8%と最も高く、次いでその他（39.0%）、農林漁業（37.5%）となっている。

「分からない」は学生が47.6%と最も高く、次いで会社員（43.2%）、公務員（43.0%）となっている。

地区別：「思う」は西区が33.1%と最も高く、次いで東区（29.0%）、南区（28.9%）となっている。

「思わない」は西区が36.7%と最も高く、次いで中央区（34.1%）、北区（31.3%）となっている。

「分からない」は南区が40.8%と最も高く、次いで東区（39.7%）、北区（36.5%）となっている。

■属性別回答

	合計	思う	思わない	分からない	無回答
全体	1,223	28.9%	31.2%	36.1%	3.8%
年齢別					
20歳代	108	16.7%	25.0%	56.5%	1.9%
30歳代	149	20.8%	29.5%	48.3%	1.3%
40歳代	173	26.6%	31.8%	40.5%	1.2%
50歳代	210	31.0%	31.9%	35.7%	1.4%
60歳代	238	29.4%	34.5%	32.8%	3.4%
70歳代	216	36.1%	32.4%	27.8%	3.7%
80歳代	90	37.8%	28.9%	16.7%	16.7%
職業別					
会社員	514	25.3%	30.9%	43.2%	0.6%
自営業	98	29.6%	39.8%	26.5%	4.1%
農林漁業	8	25.0%	37.5%	37.5%	—
公務員	79	29.1%	27.8%	43.0%	—
学生	21	23.8%	23.8%	47.6%	4.8%
無職	397	33.5%	30.0%	30.2%	6.3%
その他	59	28.8%	39.0%	23.7%	8.5%
地区別					
中央区	308	27.3%	34.1%	34.4%	4.2%
東区	310	29.0%	29.7%	39.7%	1.6%
西区	139	33.1%	36.7%	25.2%	5.0%
南区	211	28.9%	27.0%	40.8%	3.3%
北区	208	27.9%	31.3%	36.5%	4.3%

問25. 持ち去り行為を防ぐためにはどのような対策が有効であると思いますか。ご提
言、ご意見がございましたらお聞かせください。(1つだけ)

■いただいた意見を以下項目に分類し、重複するものを除きそのまま以下に列挙す
る。

罰則の強化 (51 件)

- ・ 罰則の強化と取り締まりの強化
- ・ 本当に行為を防ぐつもりであれば、処罰を厳しくしなければならない。以前新聞で取り上げられた持ち去り行為を事件化したケースでは、注意が100回以上(記憶では300回くらい)受けてのことだったと思うが、これでは行為はやまない。例えば5回以上の注意があれば事件化することが必要
- ・ 発見しだい罰金をとる
- ・ 条例の厳格な運用
- ・ 持ち去るリスクの方が高いと感じるほどの対策
- ・ 割に合わないような罰則を設ける

福祉的な観点からの対策 (51 件)

- ・ 持ち去りをしないと生活できない生活困窮者への福祉を充実させること
- ・ 生活に困って持ち去りをしているか聞き取り調査をする。外国人(アジア系)の持ち去りが目立つ気がする。
- ・ 持ち去る人も生活のためやむなく行っているかもしれないので、むしろ市で雇うなどして協力してもらってはどうかと思う。
- ・ 持ち去りをする人への就業支援など

監視カメラ等の設備の導入 (43 件)

- ・ 監視カメラの設置
- ・ 人感式ライトの設置
- ・ 人が近づくと音が出る装置の設置

買取業者の買取り拒否 (43 件)

- ・ 買取業者に買い取らないよう強く指導してもらいたい
- ・ 買取業者に持ち込む個人からの審査を厳しくする
- ・ 持ち去ったものを買い取ることで利益を得る業者(買取業者等)に対して、自治体から規制をかける

巡回、監視、声掛け（42件）

- ・ 警察、市、監視員、自治会、住民などによる巡回や監視
- ・ 腕章や帽子を市から提供して町内自治会などに見張ってもらう。
- ・ 声を掛けて注意すると良いと思うが、逆上されそうでできない。
- ・ 見かけたら注意するようにしているが、声を掛けると中国人のようで恐ろしい思いをする。

ごみステーションの整備（施錠できる収集庫の設置）（34件）

- ・ ごみステーションに施錠式の収集庫を設置して、住民と収集業者しか知らないダイヤル式のカギを付ける。
- ・ 鍵の解除は番号式にして住民で共有し近隣の人のみ使用できるようにする。収集の方には番号をリスト化して渡す（番号に規則性があるようにしておくなど工夫）
- ・ ごみステーションの整備（囲いと柵があれば、袋を開けて選別したり、気軽に持ち去る人に入りにくいイメージを持たせることができるかもしれない）。市内の美観にもつながる。

収集時間、収集方法の改善（30件）

- ・ なるべく収集の直前に出す。
- ・ 夜間収集してもらうと防犯にもなって良いと思う。
- ・ 資源物は前日からごみステーションへ出す人が多く、持ち去りも夜間に見る。出す側のマナーも大切かと思う。
- ・ ごみ捨て日の徹底化と回収時間の時短化（長時間放置すると持ち去り可能な時間が増えるため）
- ・ 戸別収集

広報の強化（24件）

- ・ そもそも捨てた物を持ち去るのがなぜ悪いのかが疑問なのでその辺りをテレビやSNS等を使って周知する必要があると思う。
- ・ 持ち去り行為があった場合、どれくらい市が困っているのかが分からない。
- ・ ごみカレンダーに持ち去り禁止の広報を掲載する。持ち去り禁止ということを知らない人も多い。
- ・ 収集の時間は良くされていると思う。更にご努力いただければ。
- ・ 乱雑な持ち去り方をする人が多い。窃盗であることの周知を。
- ・ 以前は市委託の車が巡回しているのをよく見かけたが最近は見ない。犯罪であるのなら、テレビなどで説明をするべきだと思う。印刷物だけでは効果が薄いと思われる。

警告看板等の設置（23件）

- ・ 持ち去り禁止用の看板を大きく目立ったデザインで設置
- ・ あなたの行動を見ているという趣旨の警告文を記載する。

持ち去り禁止意思表示テープ（20件）

- ・ テープなどを家庭に配布してほしい。テープはどこで入手できるのか。
- ・ 持ち去り禁止テープや袋の存在を知らなかったし、ごみステーションで見たこともない。これを皆が徹底して利用すれば持ち去り防止につながると思う。
- ・ テープなどは無料で配布していただけないと普及しないかと思う。
- ・ 袋の色が目立つならより効果が上がると思う。
- ・ テープや袋に効果があるとは思えない。持ち去る人は持ち去ると思う。
- ・ 持ち去りテープは無駄だしエコでもない。

通報窓口の設置（13件）

- ・ 通報者の保護（持ち去りを目撃、確認したりすると威嚇される。）
- ・ 通報先をごみステーションに大きく表示して、目撃した人がすぐ通報できるようにする。
- ・ 目撃したらすぐ通報する。車のナンバーや写真等を撮る。
- ・ 熊本市ラインの持ち去り通報ができて良かったと思う。持ち去る人は人の目が嫌いなので、人がいない時を狙ってくるので、そこを考えるべき。

持ち込み制（6件）

- ・ 資源物の収集日をなくし指定の場所への持ち込み制に変更する。
- ・ 資源物の収集はごみステーションとは別に有人の特定の施設（コミュニティセンター）に持ち込む。
- ・ 市民が持ち込んだら何か特典を付与する

団体の資金源になっている（4件）

- ・ 自治会の人子ども会の集団回収に出すために持ち去っている。
- ・ 子ども会や老人会の資源物回収の一部を移動しているが、それは持ち去りに該当するのか？
- ・ 特に老人会が早朝より、空き缶や新聞を各家庭がごみステーションに持ち込むのを待っていて、残さず老人会の倉庫に持ち込んで、倉庫がいっぱいになれば業者が引き取りに来る。資金は老人会の飲み代にしている。早朝の指導をしてもらいたい。持ち去り禁止と言っても早朝より老人会が一生懸命に集めている姿を市は何も指導していない。老人会の集めた金額は相当なものです。
- ・ 老人会で資金にするために日を決めて青年部が回収している。

その他

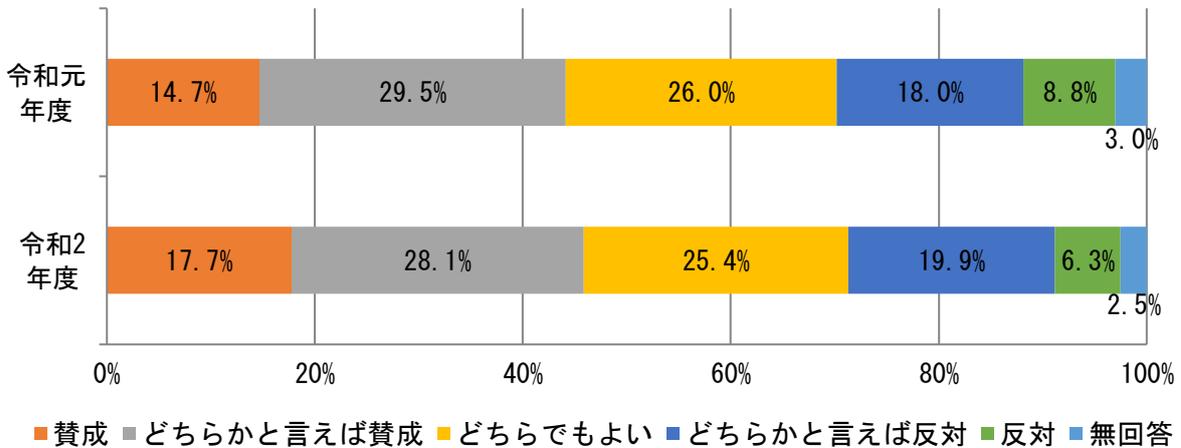
- ・ 資源物回収による収入が市の財政にどの程度貢献しているのか知りたい。
- ・ 昔あったチリ紙交換を復活させる。
- ・ 持ち去る人のモラルの問題だから、どんなことをしても一緒だと思う。
- ・ 子ども会などの廃品回収へ出す。
- ・ 以前は頻繁に持ち去り行為を見かけていたが、市の取組により現在は見かけなくなった。
- ・ 2~3年前には自転車に空き缶をいっぱい積んでいるのを見ましたが、近ごろは全然見ない。

■ 「リサイクルの推進」について

問26. 近年、熊本市の家庭ごみのリサイクル率は横ばい傾向にあります。リサイクルを推進するために、分別品目数を増やすことについてどう思われますか。(1つだけ)

「どちらかといえば賛成」が28.1%と最も高く、次いで「どちらでもよい」が25.4%、「どちらかといえば反対」が19.9%となっている。

「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は45.8%であり、前回調査から1.6ポイント増加し、「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた割合は26.2%であり、前回調査から0.6ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「賛成」と「どちらかといえば賛成」は70歳代がそれぞれ21.8%、33.8%で最も高く、「どちらでもよい」と「どちらかといえば反対」、「反対」は20歳代が35.2%、24.1%、9.3%と最も高くなっている。

「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は、70歳代が55.6%と最も高く、次いで60歳代(49.2%)、80歳代(46.7%)となっている。また、「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた割合は20歳代が33.4%と最も高く、次いで30歳代(32.2%)、40歳代(30.0%)となっている。

職業別：「賛成」はその他が23.7%と最も高く、「どちらかといえば賛成」は農林漁業が37.5%、「どちらでもよい」と「反対」は学生がそれぞれ38.1%、9.5%、「どちらかといえば反対」は公務員が22.8%と最も高くなっている。

「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は、農林漁業が50.0%と最も高く、次いでその他(49.1%)、無職(48.6%)となっている。また、「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた割合は公務員が31.7%と最も高く、次いで自営業(29.5%)、会社員(29.2%)となっている。

地区別：「賛成」は南区が19.9%で最も高く、「どちらかといえば賛成」は西区が32.4%、「どちらでもよい」は東区が30.3%、「どちらかといえば反対」と「反対」は中央区がそれぞれ22.4%、7.5%と最も高くなっている。

「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は、西区が51.8%と最も高く、次いで南区（50.7%）、北区（44.7%）となっている。また、「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた割合は中央区が29.9%と最も高く、次いで南区（26.5%）、東区（26.1%）となっている。

■属性別回答

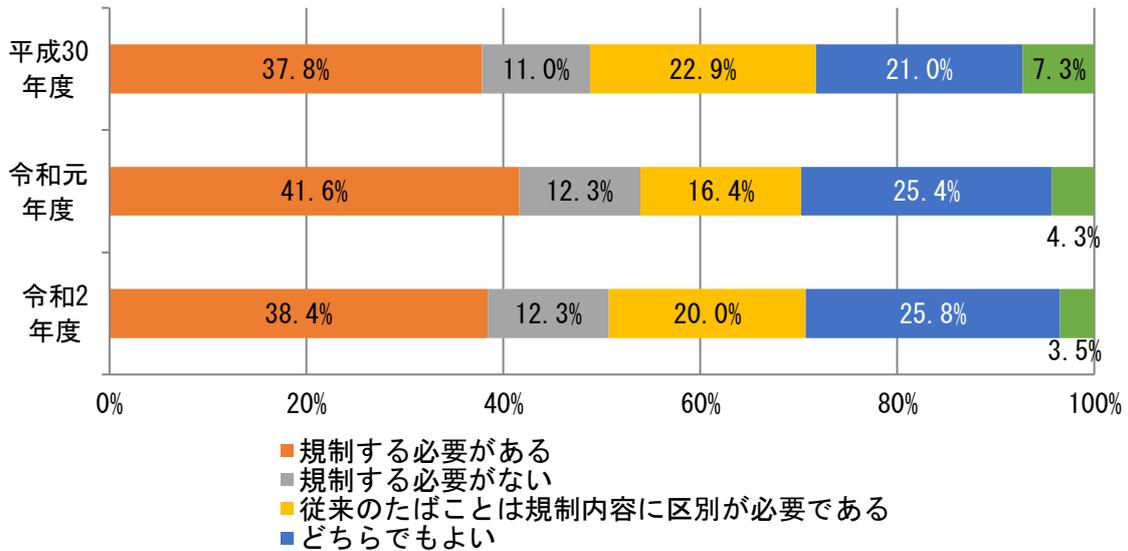
	合計	賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもよい	どちらかといえば反対	反対	無回答
全体	1,223	17.7%	28.1%	25.4%	19.9%	6.3%	2.5%
年齢別							
20歳代	108	9.3%	22.2%	35.2%	24.1%	9.3%	—
30歳代	149	15.4%	24.2%	27.5%	23.5%	8.7%	0.7%
40歳代	173	18.5%	26.6%	24.9%	22.5%	7.5%	—
50歳代	210	15.2%	30.5%	27.1%	20.0%	6.2%	1.0%
60歳代	238	21.0%	28.2%	21.4%	20.2%	8.0%	1.3%
70歳代	216	21.8%	33.8%	25.5%	14.4%	1.9%	2.8%
80歳代	90	18.9%	27.8%	21.1%	16.7%	2.2%	13.3%
職業別							
会社員	514	16.0%	27.8%	26.7%	20.8%	8.4%	0.4%
自営業	98	23.5%	22.4%	24.5%	22.4%	7.1%	—
農林漁業	8	12.5%	37.5%	37.5%	—	—	12.5%
公務員	79	16.5%	29.1%	22.8%	22.8%	8.9%	—
学生	21	19.0%	28.6%	38.1%	4.8%	9.5%	—
無職	397	18.4%	30.2%	24.7%	19.9%	2.8%	4.0%
その他	59	23.7%	25.4%	27.1%	11.9%	6.8%	5.1%
地区別							
中央区	308	18.2%	26.3%	24.4%	22.4%	7.5%	1.3%
東区	310	15.2%	27.7%	30.3%	19.0%	7.1%	0.6%
西区	139	19.4%	32.4%	23.0%	15.1%	5.0%	5.0%
南区	211	19.9%	30.8%	22.3%	19.4%	7.1%	0.5%
北区	208	18.3%	26.4%	26.0%	20.7%	3.4%	5.3%

■ 「受動喫煙防止」について

問27. 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ（加熱式）」は、従来のたばこと同様に規制する必要があると考えますか。（1つだけ）

「規制する必要がある」が38.4%で最も高く、次いで「どちらでもよい」が25.8%、「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」が20.0%となっている。

前回調査と比較すると、「規制する必要がある」は3.2ポイント減少し、「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」と「どちらでもよい」はそれぞれ3.6ポイント、0.4ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「規制する必要がある」は30歳代が45.6%と最も高く、「規制する必要がない」と「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」は20歳代がそれぞれ18.5%、25.9%、「どちらでもよい」は80歳代が31.1%と最も高くなっている。

職業別：「規制する必要がある」は自営業が50.0%と最も高く、「規制する必要がない」は学生が23.8%、「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」はその他が25.4%、「どちらでもよい」はその他が50.0%と最も高くなっている。

地区別：「規制する必要がある」は中央区が42.9%と最も高く、「規制する必要がない」、「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」は南区がそれぞれ14.2%、26.5%、「どちらでもよい」は北区が30.8%と最も高くなっている。

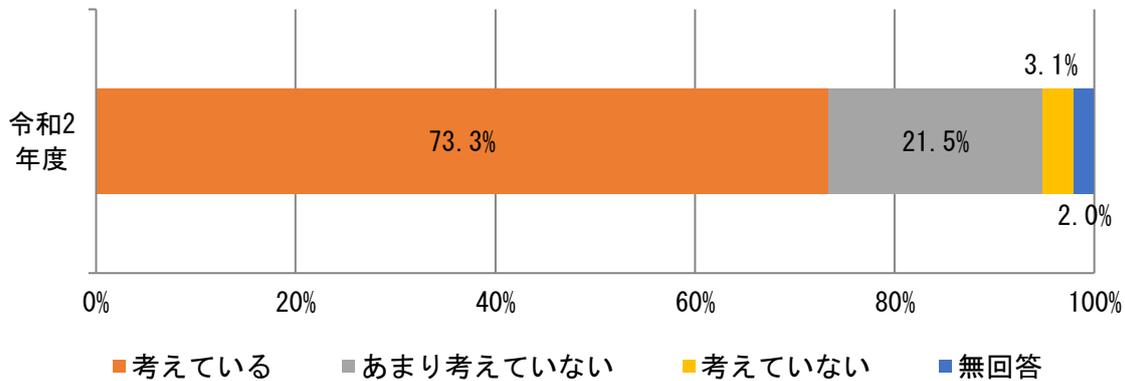
■属性別回答

	合計	規制する必要がある	規制する必要がない	従来のたばこは 規制内容に区別が必要である	どちらでもよい	無回答
全体	1,223	38.4%	12.3%	20.0%	25.8%	3.5%
年齢別						
20歳代	108	35.2%	18.5%	25.9%	20.4%	—
30歳代	149	45.6%	10.7%	20.1%	22.8%	0.7%
40歳代	173	39.9%	17.9%	19.1%	23.1%	—
50歳代	210	36.2%	10.0%	24.3%	27.6%	1.9%
60歳代	238	40.3%	12.6%	19.7%	25.2%	2.1%
70歳代	216	37.5%	8.3%	18.5%	29.2%	6.5%
80歳代	90	32.2%	5.6%	16.7%	31.1%	14.4%
職業別						
会社員	514	38.5%	14.6%	22.4%	24.1%	0.4%
自営業	98	50.0%	12.2%	10.2%	24.5%	3.1%
農林漁業	8	12.5%	12.5%	25.0%	50.0%	—
公務員	79	39.2%	8.9%	22.8%	27.8%	1.3%
学生	21	38.1%	23.8%	19.0%	19.0%	—
無職	397	37.0%	9.1%	19.6%	27.5%	6.8%
その他	59	39.0%	6.8%	25.4%	27.1%	1.7%
地区別						
中央区	308	42.9%	14.0%	16.6%	23.4%	3.2%
東区	310	39.4%	11.0%	20.6%	27.1%	1.9%
西区	139	37.4%	11.5%	23.7%	22.3%	5.0%
南区	211	32.7%	14.2%	26.5%	24.6%	1.9%
北区	208	37.5%	8.7%	18.3%	30.8%	4.8%

■「地球温暖化対策」について

問28. 地球温暖化対策に積極的に取り組みべきと考えていますか。(1つだけ)

「考えている」が73.3%と最も高く、次いで「あまり考えていない」が21.5%、「考えていない」が3.1%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「考えている」は70歳代が80.1%と最も高く、次いで60歳代（76.9%）、50歳代（75.2%）となっている。

「あまり考えていない」は20歳代が31.5%と最も高く、次いで40歳代（26.6%）、30歳代（23.5%）となっている。

「考えていない」は30歳代が6.0%と最も高く、20歳代（3.7%）、40歳代（3.5%）となっている。

職業別：「考えている」はその他が79.7%と最も高く、次いで無職（78.1%）、公務員（77.2%）となっている。

「あまり考えていない」は農林漁業が50.0%と最も高く、次いで学生（28.6%）、会社員（25.9%）となっている。

「考えていない」は公務員が5.1%と最も高く、会社員（3.5%）、無職（2.8%）となっている。

地区別：「考えている」は中央区が76.3%と最も高く、次いで北区（75.0%）、西区（74.8%）となっている。

「あまり考えていない」は南区が24.2%と最も高く、次いで東区（23.2%）、中央区（21.1%）となっている。

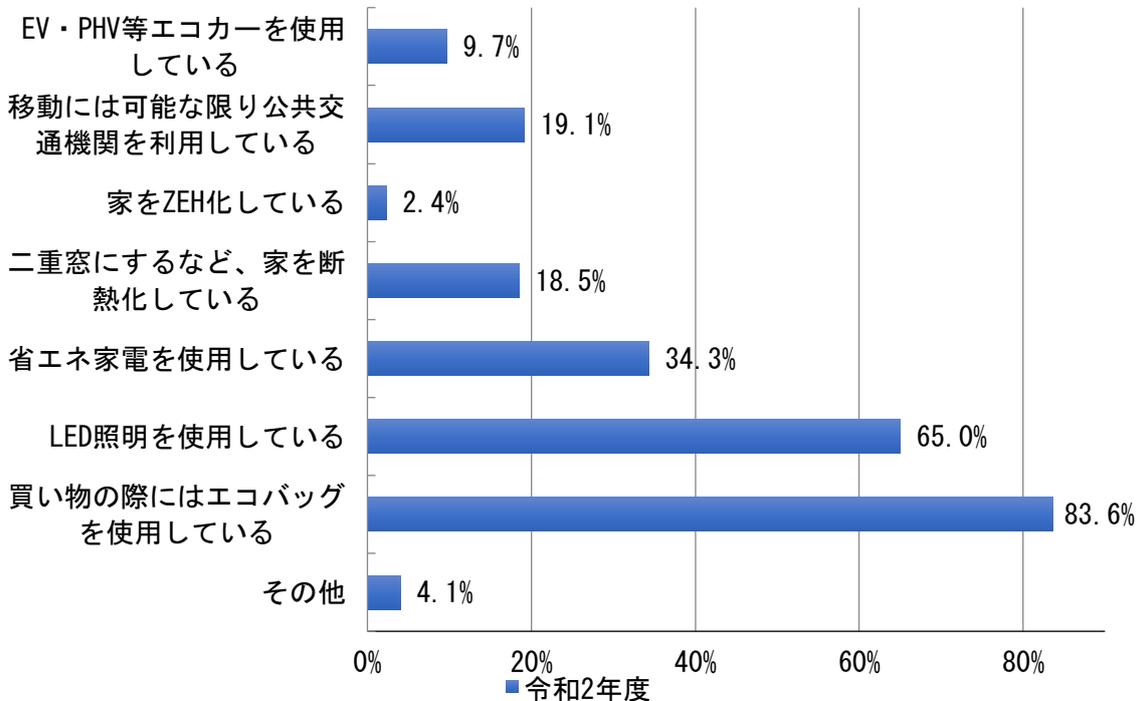
「考えていない」は東区が4.2%と最も高く、北区（3.4%）、西区（2.9%）となっている。

■属性別回答

	合計	考えている	あまり考えていない	考えていない	無回答
全体	1,223	73.3%	21.5%	3.1%	2.0%
年齢別					
20歳代	108	64.8%	31.5%	3.7%	—
30歳代	149	69.8%	23.5%	6.0%	0.7%
40歳代	173	69.9%	26.6%	3.5%	—
50歳代	210	75.2%	21.9%	1.9%	1.0%
60歳代	238	76.9%	18.9%	2.9%	1.3%
70歳代	216	80.1%	16.2%	1.4%	2.3%
80歳代	90	74.4%	13.3%	3.3%	8.9%
職業別					
会社員	514	70.2%	25.9%	3.5%	0.4%
自営業	98	75.5%	22.4%	2.0%	—
農林漁業	8	50.0%	50.0%	—	—
公務員	79	77.2%	17.7%	5.1%	—
学生	21	71.4%	28.6%	—	—
無職	397	78.1%	16.1%	2.8%	3.0%
その他	59	79.7%	15.3%	1.7%	3.4%
地区別					
中央区	308	76.3%	21.1%	1.9%	0.6%
東区	310	72.3%	23.2%	4.2%	0.3%
西区	139	74.8%	18.0%	2.9%	4.3%
南区	211	71.6%	24.2%	2.8%	1.4%
北区	208	75.0%	18.3%	3.4%	3.4%

問29. 地球温暖化対策として実際に取り組んでいるものはありますか。(複数回答可)

「買い物の際にはエコバッグを使用している」が83.6%と最も高く、次いで「LED照明を使用している」が65.0%、「省エネ家電を使用している」が34.3%となっている。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 徒歩や自転車を使用（マイカー通勤をしない、買い物の量が少ないときはなるべく歩くようにしている、自家用車は持たない等）（15件）
- ・ 節電（服の重ね着などをして必要以上にエアコンを使用しない、エアコンの設定温度に気を付けている、無駄な照明は消したり暗くしたりしている等）（8件）
- ・ EV・PHV以外のエコカー使用等（ハイブリット車を使用、排出ガスが少ない車を使用、アイドリングストップをしている）（6件）
- ・ 地球温暖化対策に取り組んでいない（6件）
- ・ 地球温暖化はしていないとの主張（3件）
- ・ 再生可能エネルギーの利用（自然エネルギーの電気を購入している、家に太陽光を設置している）（2件）
- ・ その他（地元の野菜や果物を食べる地産地消に取り組んでいる、庭に樹木や植物を植えている、コンポストや天日干しなどでごみの量を減らしている、日頃から整理整頓しごみを減らす環境にしている、あまり肉を食べないようにしている、木材の伐採を少なくするため簡易コンクリートで家を建てた等）（14件）

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「EV・PHV等エコカーを使用している」は60歳代が13.4%と最も高く、「移動には可能な限り公共交通機関を使用している」は80歳代が34.4%、「家をZEH化している」と「二重窓にするなど、家を断熱化している」は30歳

代が4.7%、24.2%、「省エネ家電を使用している」は40歳代が42.8%、「LED照明を使用している」と「買い物の際にはエコバッグを使用している」は50歳代が69.5%、91.0%と最も高くなっている。

職業別：「EV・PHV等エコカーを使用している」は自営業が12.2%と最も高く、「移動には可能な限り公共交通機関を使用している」は学生が33.3%、「家をZEH化している」と「二重窓にするなど、家を断熱化している」は公務員が6.3%、26.6%、「省エネ家電を使用している」と「LED照明を使用している」はその他が40.7%、76.3%、「買い物の際にはエコバッグを使用している」は農林漁業が100%と最も高くなっている。

地区別：「EV・PHV等エコカーを使用している」と「家をZEH化している」、「省エネ家電を使用している」は北区がそれぞれ12.5%、3.8%、39.9%と最も高く、「移動には可能な限り公共交通機関を使用している」は中央区が28.6%、「二重窓にするなど、家を断熱化している」と「買い物の際にはエコバッグを使用している」は南区が26.1%、87.2%、「LED照明を使用している」は西区が71.2%と最も高くなっている。

■属性別回答

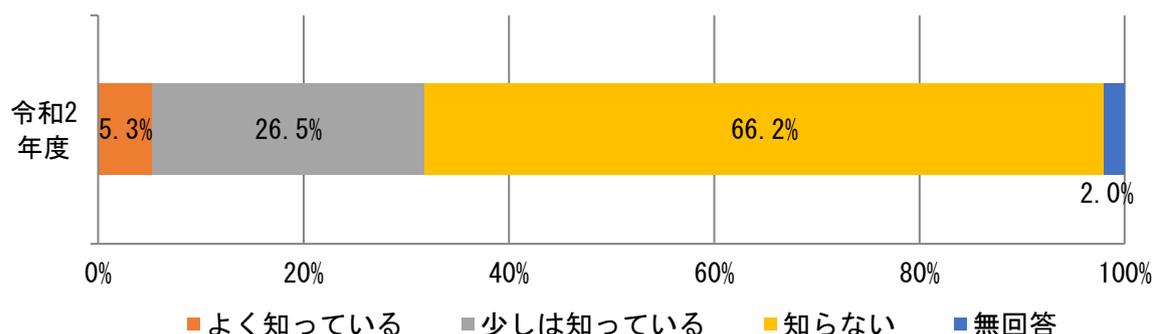
	合計	EV・PHVを使用している	移動には可能な限り公共交通機関を利用している	家をZEH化している	家を断熱化している、二重窓にするなど	省エネ家電を使用している	LED照明を使用している	買い物の際にはエコバッグを使用している	その他
全体	1,223	9.7%	19.1%	2.4%	18.5%	34.3%	65.0%	83.6%	4.1%
年齢別									
20歳代	108	2.8%	23.1%	0.9%	8.3%	15.7%	55.6%	79.6%	2.8%
30歳代	149	12.1%	11.4%	4.7%	24.2%	35.6%	65.8%	79.9%	4.7%
40歳代	173	10.4%	6.9%	3.5%	23.7%	42.8%	68.8%	81.5%	6.4%
50歳代	210	10.5%	14.8%	1.9%	23.8%	36.7%	69.5%	91.0%	2.9%
60歳代	238	13.4%	20.6%	2.1%	18.5%	37.8%	69.3%	86.1%	5.9%
70歳代	216	7.9%	29.6%	0.9%	12.5%	34.7%	63.4%	87.0%	2.8%
80歳代	90	5.6%	34.4%	—	15.6%	24.4%	55.6%	76.7%	1.1%
職業別									
会社員	514	9.7%	13.4%	2.3%	19.1%	33.3%	66.3%	82.9%	4.5%
自営業	98	12.2%	9.2%	3.1%	19.4%	32.7%	74.5%	73.5%	4.1%
農林漁業	8	—	—	—	25.0%	25.0%	75.0%	100%	—
公務員	79	11.4%	20.3%	6.3%	26.6%	27.8%	55.7%	79.7%	6.3%
学生	21	4.8%	33.3%	—	4.8%	19.0%	66.7%	85.7%	4.8%
無職	397	9.3%	28.0%	1.3%	16.4%	38.0%	63.0%	88.2%	2.8%
その他	59	10.2%	27.1%	1.7%	25.4%	40.7%	76.3%	93.2%	6.8%
地区別									
中央区	308	9.4%	28.6%	1.3%	14.6%	29.9%	63.6%	84.7%	3.9%
東区	310	11.6%	16.5%	1.9%	17.4%	37.4%	63.9%	86.5%	3.9%
西区	139	6.5%	19.4%	1.4%	16.5%	26.6%	71.2%	84.9%	2.9%
南区	211	7.1%	12.8%	2.8%	26.1%	37.4%	70.1%	87.2%	4.3%
北区	208	12.5%	15.9%	3.8%	20.7%	39.9%	63.0%	76.9%	5.3%

問30. 熊本市では、近隣市町村とともに「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を目指すことを宣言していることを知っていますか。(1つだけ)

熊本連携中枢都市圏での宣言について、市民の認知度を測るため調査を行った。

「知らない」が66.2%と最も高く、次いで「少しは知っている」が26.5%、「よく知っている」が5.3%となっている。

「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせた割合は31.8%となり、「知らない」の半数以下となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「よく知っている」は80歳代が13.3%と最も高く、次いで70歳代(6.9%)、20歳代(5.6%)となっている。

「少しは知っている」は60歳代が35.3%と最も高く、次いで70歳代(34.7%)、80歳代(28.9%)となっている。

「知らない」は40歳代が80.3%と最も高く、30歳代(75.2%)、20歳代(74.1%)となっている。

職業別：「よく知っている」は学生が14.3%と最も高く、次いで公務員(8.9%)、その他(8.5%)となっている。

「少しは知っている」は農林漁業が50.0%と最も高く、次いでその他(35.6%)、無職(28.7%)となっている。

「知らない」は会社員が73.2%と最も高く、学生(71.4%)、自営業(67.3%)となっている。

地区別：「よく知っている」は北区が6.3%と最も高く、次いで東区(5.5%)、中央区(5.2%)となっている。

「少しは知っている」は西区が28.1%と最も高く、次いで中央区(26.9%)、北区(26.4%)となっている。

「知らない」は南区が69.7%と最も高く、東区(68.4%)、中央区(67.2%)となっている。

■属性別回答

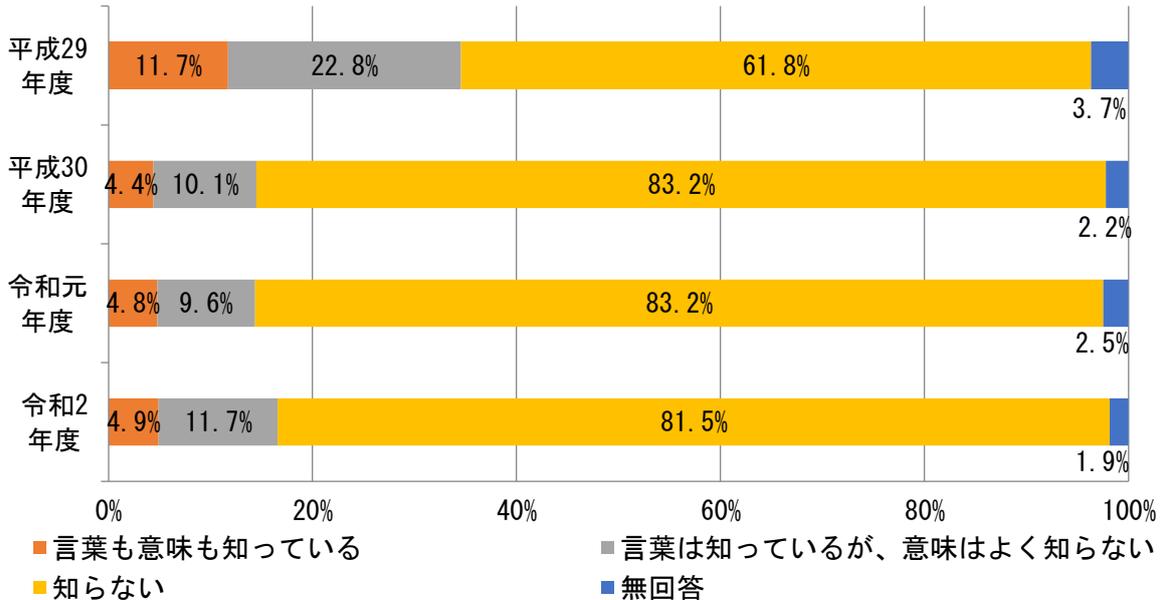
	合計	よく知っている	少しは知っている	知らない	無回答
全体	1,223	5.3%	26.5%	66.2%	2.0%
年齢別					
20歳代	108	5.6%	20.4%	74.1%	—
30歳代	149	3.4%	20.8%	75.2%	0.7%
40歳代	173	2.9%	16.2%	80.3%	0.6%
50歳代	210	4.3%	23.8%	71.0%	1.0%
60歳代	238	3.8%	35.3%	58.8%	2.1%
70歳代	216	6.9%	34.7%	55.6%	2.8%
80歳代	90	13.3%	28.9%	51.1%	6.7%
職業別					
会社員	514	2.7%	23.9%	73.2%	0.2%
自営業	98	7.1%	25.5%	67.3%	—
農林漁業	8	—	50.0%	50.0%	—
公務員	79	8.9%	27.8%	62.0%	1.3%
学生	21	14.3%	14.3%	71.4%	—
無職	397	6.3%	28.7%	61.7%	3.3%
その他	59	8.5%	35.6%	50.8%	5.1%
地区別					
中央区	308	5.2%	26.9%	67.2%	0.6%
東区	310	5.5%	25.8%	68.4%	0.3%
西区	139	5.0%	28.1%	64.0%	2.9%
南区	211	3.8%	25.6%	69.7%	0.9%
北区	208	6.3%	26.4%	62.0%	5.3%

■「COOL CHOICE」について

問31.「COOL CHOICE」について知っていますか。(1つだけ)

「知らない」が81.5%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」が11.7%、「言葉も意味も知っている」が4.9%となっている。

「言葉も意味も知っている」と「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は16.6%となり、前回調査から2.2ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「言葉も意味も知っている」は70歳代が6.9%と最も高く、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」は60歳代が16.4%、「知らない」は40歳代が88.4%と最も高くなっている。

「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は70歳代が19.4%と最も高く、次いで60歳代（19.3%）、80歳代（18.9%）となっている。

職業別：「言葉も意味も知っている」は学生が14.3%と最も高く、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」は農林漁業が37.5%、「知らない」は会社員が86.2%と最も高くなっている。

「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は農林漁業が37.5%と最も高く、次いで学生（33.3%）、公務員（24.1%）となっている。

地区別：「言葉も意味も知っている」は東区が8.1%と最も高く、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」は北区が13.5%、「知らない」は中央区が84.7%と最も高くなっている。

「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らな

い」を合わせた割合は東区が19.4%と最も高く、次いで北区（16.9%）、南区（16.5%）となっている。

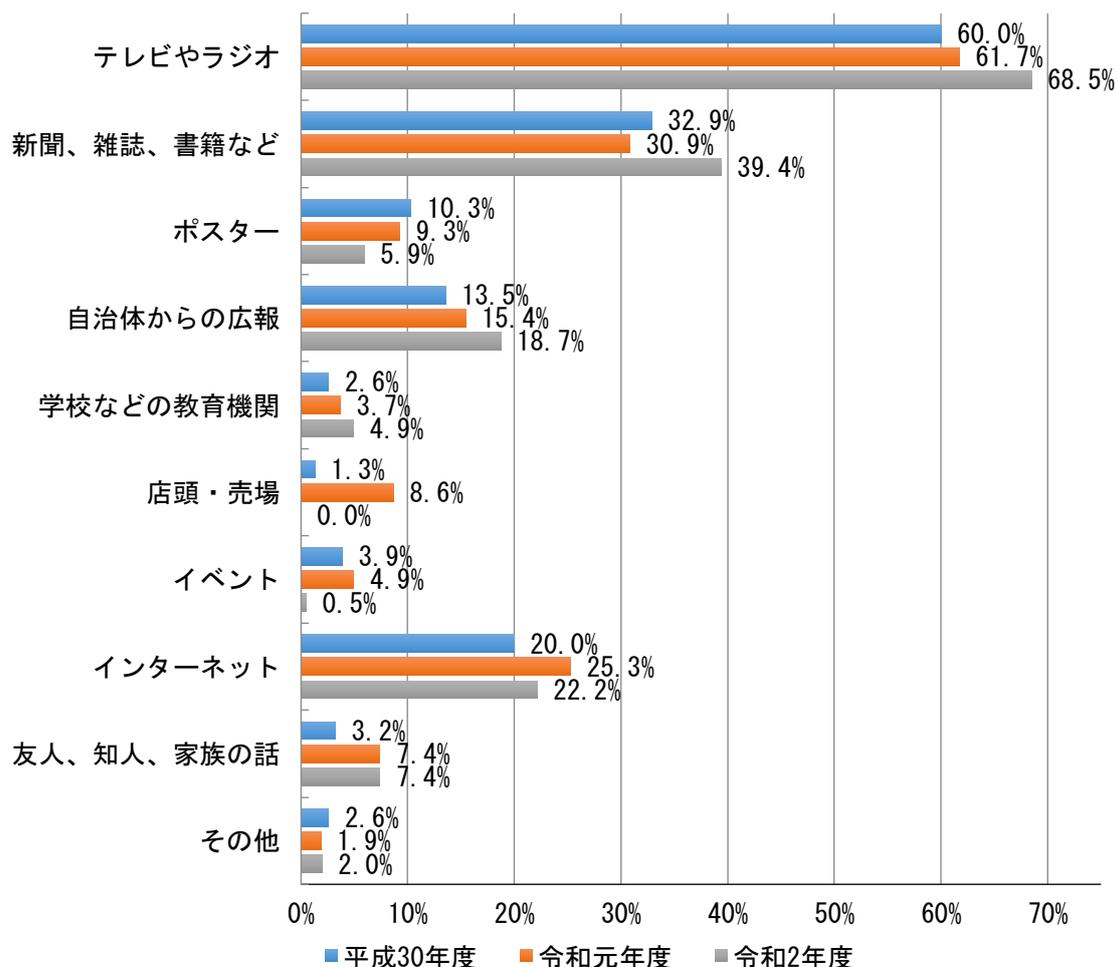
■属性別回答

	合計	言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、意味はよく知らない	知らない	無回答
全体	1,223	4.9%	11.7%	81.5%	1.9%
年齢別					
20歳代	108	6.5%	11.1%	82.4%	—
30歳代	149	5.4%	6.7%	87.2%	0.7%
40歳代	173	2.9%	8.1%	88.4%	0.6%
50歳代	210	4.8%	11.0%	83.3%	1.0%
60歳代	238	2.9%	16.4%	79.8%	0.8%
70歳代	216	6.9%	12.5%	77.8%	2.8%
80歳代	90	5.6%	13.3%	72.2%	8.9%
職業別					
会社員	514	4.1%	9.5%	86.2%	0.2%
自営業	98	3.1%	15.3%	80.6%	1.0%
農林漁業	8	—	37.5%	62.5%	—
公務員	79	8.9%	15.2%	75.9%	—
学生	21	14.3%	19.0%	66.7%	—
無職	397	4.8%	11.8%	80.1%	3.3%
その他	59	6.8%	10.2%	78.0%	5.1%
地区別					
中央区	308	3.2%	10.4%	84.7%	1.6%
東区	310	8.1%	11.3%	80.6%	—
西区	139	3.6%	11.5%	82.0%	2.9%
南区	211	4.7%	11.8%	82.9%	0.5%
北区	208	3.4%	13.5%	78.4%	4.8%

問31-1. (問31. で「言葉も意味も知っている」又は「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と答えられた方)「COOL CHOICE」を知ったきっかけは何ですか。(複数回答可)

問31. で「言葉も意味も知っている」又は「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と回答した203人については、「テレビやラジオ」が68.5%と最も高く、次いで「新聞、雑誌、書籍など」が39.4%「インターネット」が22.2%となっている。

前回調査と比較すると、「テレビやラジオ」、「新聞、雑誌、書籍など」、「自治体からの広報」、「学校などの教育機関」の割合が増加している。



【参考】

「その他」の内容

- ・ 勤務先
- ・ 学校の教材
- ・ ごみの出前講座
- ・ 公民館においてあったチラシを見て

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「テレビやラジオ」と「イベント」は70歳代がそれぞれ78.6%、2.4%と最も高く、「新聞、雑誌、書籍など」と「友人、知人、家族の話」は80歳代が64.7%、17.6%、「ポスター」は50歳代が12.1%、「自治体からの広報」と「インターネット」は30歳代が33.3%、44.4%、「学校などの教育機関」は20歳代が31.6%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「テレビやラジオ」と「インターネット」は北区がそれぞれ77.1%、34.3%と最も高く、「新聞、雑誌、書籍など」は中央区と西区が47.6%、「ポスター」と「自治体からの広報」、「イベント」は南区が8.6%、34.3%、2.9%、「学校などの教育機関」と「友人、知人、家族の話」は東区が10.0%、11.7%と最も高くなっている。

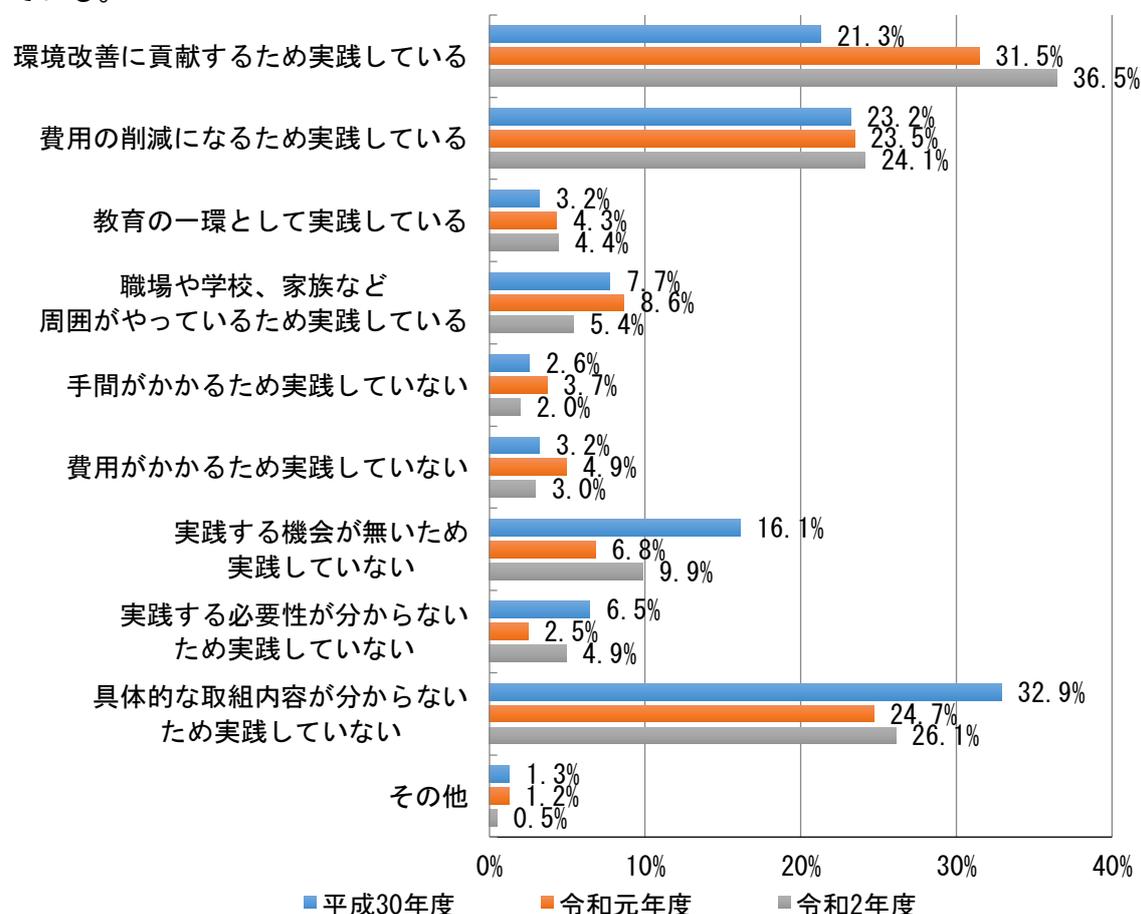
■属性別回答

	合計	テレビやラジオ	新聞、雑誌、書籍など	ポスター	自治体からの広報	学校などの教育機関	店頭・売場	イベント	インターネット	友人、知人、家族の話	その他
全体	203	68.5%	39.4%	5.9%	18.7%	4.9%	—	0.5%	22.2%	7.4%	2.0%
年齢別											
20歳代	19	57.9%	21.1%	5.3%	5.3%	31.6%	—	—	15.8%	5.3%	10.5%
30歳代	18	38.9%	11.1%	11.1%	33.3%	—	—	—	44.4%	5.6%	5.6%
40歳代	19	63.2%	57.9%	—	5.3%	5.3%	—	—	42.1%	—	5.3%
50歳代	33	75.8%	30.3%	12.1%	30.3%	0.0%	—	—	24.2%	6.1%	—
60歳代	46	71.7%	39.1%	6.5%	13.0%	2.2%	—	—	17.4%	6.5%	—
70歳代	42	78.6%	47.6%	4.8%	28.6%	4.8%	—	2.4%	16.7%	11.9%	—
80歳代	17	76.5%	64.7%	—	5.9%	—	—	—	5.9%	17.6%	—
職業別											
会社員	70	75.7%	37.1%	5.7%	11.4%	4.3%	—	—	32.9%	4.3%	1.4%
自営業	18	38.9%	50.0%	11.1%	11.1%	—	—	—	16.7%	16.7%	5.6%
農林漁業	3	100%	66.7%	—	—	—	—	—	—	—	—
公務員	19	42.1%	15.8%	21.1%	36.8%	5.3%	—	—	26.3%	10.5%	5.3%
学生	7	57.1%	28.6%	—	—	42.9%	—	—	14.3%	—	14.3%
無職	66	75.8%	47.0%	3.0%	22.7%	3.0%	—	1.5%	15.2%	10.6%	—
その他	10	80.0%	40.0%	—	50.0%	10.0%	—	—	20.0%	—	—
地区別											
中央区	42	64.3%	47.6%	7.1%	11.9%	4.8%	—	—	33.3%	9.5%	2.4%
東区	60	73.3%	33.3%	8.3%	23.3%	10.0%	—	—	16.7%	11.7%	3.3%
西区	21	71.4%	47.6%	—	9.5%	9.5%	—	—	14.3%	9.5%	—
南区	35	57.1%	31.4%	8.6%	34.3%	—	—	2.9%	14.3%	—	2.9%
北区	35	77.1%	45.7%	2.9%	11.4%	—	—	—	34.3%	5.7%	—

問31-2. (問31. で「言葉も意味も知っている」又は「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と答えられた方)「COOL CHOICE」を実践している、または実践していない理由を教えてください。(複数回答可)

問31. で「言葉も意味も知っている」又は「言葉は知っているが、意味はよく知らない」と回答した203人については、「環境改善に貢献するため実践している」が36.5%で最も高く、次いで「具体的な取組方法が分からないため実践していない」が26.1%、「費用の削減になるため実践している」が24.1%となっている。

実践している回答肢4項目の合計70.4ポイントに対し、実践していない回答肢5項目の合計が45.9ポイントであり、これまでの調査(実践R1:67.9、H30:55.4ポイント、非実践:R1:42.6、H30:61.3ポイント)と比較し実践行動に移行した人が増加している。



【参考】

「その他」の内容

1件記載あり(小手先すぎる、道路建設の方が問題)

【回答者の属性別にみた結果】

年代別: 実践している割合は30歳代(83.3ポイント)が最も高く、次いで80歳代(82.3ポイント)、20歳代(79.0ポイント)となっている。

実践していない割合は60歳代(60.8ポイント)が最も高く、次いで50歳代(51.6ポイント)、40歳代(47.4ポイント)となっている。

すべての世代で、実践している割合が実践していない割合を上回っている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：実践している割合は西区（76.2ポイント）が最も高く、次いで東区（75.0ポイント）、中央区（73.8ポイント）となっている。

実践していない割合は西区（66.7ポイント）が最も高く、次いで南区（51.5ポイント）、北区（48.6ポイント）となっている。

■属性別回答

	合計	実践している				実践していない					その他
		環境改善に貢献するため	費用の削減になるため	教育の一環として	職場や学校、家族など周囲がやっているため	手間がかかるため	費用がかかるため	実践する機会が無いため	実践する必要性が分からないため	具体的な取組内容が分からないため	
全体	203	36.5%	24.1%	4.4%	5.4%	2.0%	3.0%	9.9%	4.9%	26.1%	0.5%
年齢別											
20歳代	19	21.1%	26.3%	15.8%	15.8%	—	—	5.3%	—	31.6%	—
30歳代	18	38.9%	22.2%	11.1%	11.1%	—	5.6%	5.6%	—	16.7%	—
40歳代	19	36.8%	15.8%	5.3%	5.3%	—	—	5.3%	5.3%	36.8%	—
50歳代	33	27.3%	30.3%	—	6.1%	—	3.0%	6.1%	6.1%	36.4%	3.0%
60歳代	46	50.0%	21.7%	2.2%	4.3%	4.3%	6.5%	19.6%	6.5%	23.9%	—
70歳代	42	33.3%	26.2%	2.4%	2.4%	4.8%	2.4%	7.1%	4.8%	21.4%	—
80歳代	17	52.9%	23.5%	5.9%	—	—	—	11.8%	5.9%	17.6%	—
職業別											
会社員	70	30.0%	20.0%	4.3%	10.0%	1.4%	1.4%	15.7%	7.1%	27.1%	1.4%
自営業	18	61.1%	22.2%	11.1%	5.6%	11.1%	16.7%	11.1%	5.6%	22.2%	—
農林漁業	3	—	33.3%	—	—	—	—	—	33.3%	66.7%	—
公務員	19	36.8%	10.5%	10.5%	10.5%	—	—	—	—	31.6%	—
学生	7	42.9%	57.1%	14.3%	—	—	—	—	—	28.6%	—
無職	66	39.4%	25.8%	1.5%	1.5%	1.5%	3.0%	9.1%	4.5%	24.2%	—
その他	10	50.0%	40.0%	—	—	—	—	—	—	30.0%	—
地区別											
中央区	42	40.5%	23.8%	7.1%	2.4%	—	2.4%	2.4%	2.4%	35.7%	—
東区	60	40.0%	23.3%	5.0%	6.7%	1.7%	—	6.7%	6.7%	25.0%	1.7%
西区	21	28.6%	33.3%	4.8%	9.5%	4.8%	4.8%	19.0%	9.5%	28.6%	—
南区	35	28.6%	22.9%	5.7%	11.4%	—	2.9%	14.3%	5.7%	28.6%	—
北区	35	45.7%	20.0%	—	—	5.7%	8.6%	14.3%	2.9%	17.1%	—

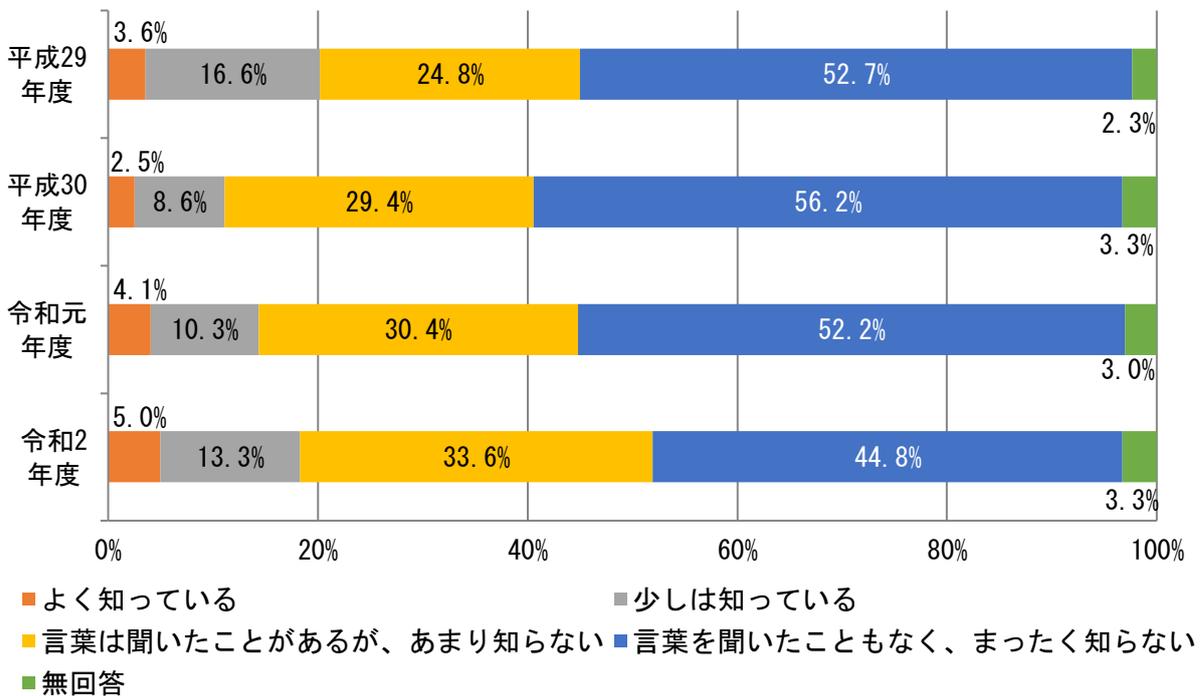
■「ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」について

問32. 「ZEH」について知っていますか。（1つだけ）

「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」が44.8%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」が33.6%、「少しは知っている」が13.3%、「よく知っている」が5.0%となっている。

「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせた割合は18.3%であり、前回調査から3.9ポイント増加している。

過去4年間の推移では、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」の割合が減少傾向にある。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は30歳代が30.2%と最も高く、次いで50歳代（23.8%）、40歳代（23.1%）となっている。

「言葉は聞いたことがあるがあまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は70歳代が84.2%と最も高く、次いで60歳代（83.6%）、20歳代（82.4%）となっている。

職業別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は会社員が24.3%と最も高く、次いで公務員（24.1%）、自営業（21.4%）となっている。

「言葉は聞いたことがあるがあまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は学生が90.4%と最も高く、次いで農林漁業（87.5%）、無職（84.1%）となっている。

地区別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は北区が21.7%と最も高く、次いで東区（19.6%）、南区（19.4%）となっている。

「言葉は聞いたことがあるがあまり知らない」、「言葉を聞いたこともな

く、まったく知らない」を合わせた割合は中央区が82.5%と最も高く、次いで南区（79.6%）、東区と西区（78.4%）となっている。

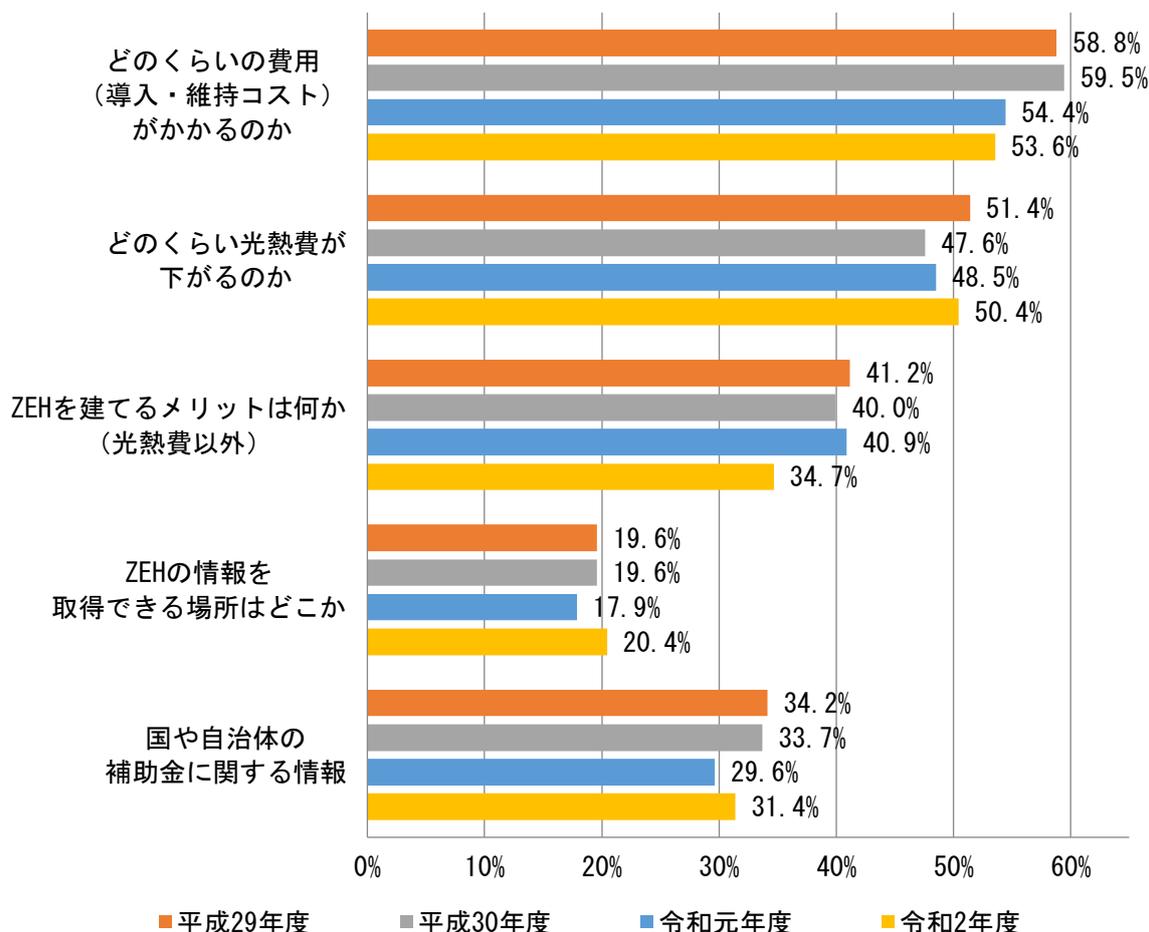
■属性別回答

	合計	よく知っている	少しは知っている	言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない	言葉を聞いたこともなく、まったく知らない	無回答
全体	1,223	5.0%	13.3%	33.6%	44.8%	3.3%
年齢別						
20歳代	108	9.3%	8.3%	29.6%	52.8%	—
30歳代	149	9.4%	20.8%	34.2%	34.9%	0.7%
40歳代	173	6.9%	16.2%	36.4%	39.3%	1.2%
50歳代	210	6.2%	17.6%	36.7%	38.1%	1.4%
60歳代	238	3.4%	10.9%	37.0%	46.6%	2.1%
70歳代	216	1.4%	8.3%	31.9%	52.3%	6.0%
80歳代	90	1.1%	7.8%	20.0%	60.0%	11.1%
職業別						
会社員	514	7.8%	16.5%	36.2%	38.5%	1.0%
自営業	98	6.1%	15.3%	27.6%	49.0%	2.0%
農林漁業	8	—	12.5%	25.0%	62.5%	—
公務員	79	7.6%	16.5%	32.9%	43.0%	—
学生	21	4.8%	4.8%	19.0%	71.4%	—
無職	397	1.3%	8.6%	32.2%	51.9%	6.0%
その他	59	5.1%	13.6%	35.6%	44.1%	1.7%
行政区別						
中央区	308	3.6%	12.3%	34.4%	48.1%	1.6%
東区	310	4.8%	14.8%	33.2%	45.2%	1.9%
西区	139	2.9%	12.2%	29.5%	48.9%	6.5%
南区	211	6.6%	12.8%	37.9%	41.7%	0.9%
北区	208	8.2%	13.5%	30.3%	41.8%	6.3%

問33. 「ZEH」について具体的にどのようなことが知りたいですか。(複数回答可)

「どのくらいの費用（導入・維持コスト）がかかるのか」が53.6%と最も高く、次いで「どのくらい光熱費が下がるのか」が50.4%、「ZEHを建てるメリットは何か（光熱費以外）」が34.7%となっている。

前回調査と比較して、「どのくらい光熱費が下がるのか」と「ZEHの情報を取得できる場所はどこか」、「国や自治体の補助金に関する情報」は増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「どのくらいの費用（導入・維持コスト）がかかるのか」と「どのくらい光熱費が下がるのか」、「国や自治体の補助金に関する情報」は30歳代がそれぞれ70.5%、61.7%、48.3%と最も高くなっており、「ZEHを建てるメリットは何か（光熱費以外）」と「ZEHの情報を取得できる場所はどこか」は20歳代が52.8%、36.1%と最も高くなっている。

職業別：「どのくらいの費用（導入・維持コスト）がかかるのか」と「どのくらい光熱費が下がるのか」はその他が71.2%、67.8%と最も高く、「ZEHを建てるメリットは何か（光熱費以外）」と「ZEHの情報を取得できる場所はどこか」は学生が52.4%、42.9%、「国や自治体の補助金に関する情報」は農林漁業が62.5%と最も高くなっている。

地区別：「どのくらいの費用（導入・維持コスト）がかかるのか」は東区が57.4%と最も高く、「どのくらい光熱費が下がるのか」は南区が55.0%、「ZEHを建てるメリットは何か（光熱費以外）」と「ZEHの情報を取得できる場所は

どこか」は中央区が41.6%、24.4%、「国や自治体の補助金に関する情報」は南区と北区が35.1%と最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	(導入・維持コスト)が かかるのか どのくらいの費用	どのくらい光熱費が 下がるのか	ZEHを建てるメリットは 何か (光熱費以外)	ZEHの情報を 取得できる場所は どこか	国や自治体の補助金に 関する情報
全体	1,223	53.6%	50.4%	34.7%	20.4%	31.4%
年齢別						
20歳代	108	56.5%	55.6%	52.8%	36.1%	30.6%
30歳代	149	70.5%	61.7%	48.3%	21.5%	48.3%
40歳代	173	67.6%	61.3%	43.9%	17.9%	40.5%
50歳代	210	58.6%	51.4%	37.6%	18.6%	31.0%
60歳代	238	47.5%	51.3%	31.1%	21.4%	31.9%
70歳代	216	41.2%	43.5%	19.9%	20.8%	19.0%
80歳代	90	37.8%	25.6%	20.0%	10.0%	18.9%
職業別						
会社員	514	61.9%	56.2%	42.6%	20.8%	37.5%
自営業	98	55.1%	60.2%	35.7%	26.5%	33.7%
農林漁業	8	62.5%	37.5%	25.0%	25.0%	62.5%
公務員	79	58.2%	46.8%	44.3%	25.3%	44.3%
学生	21	47.6%	52.4%	52.4%	42.9%	33.3%
無職	397	42.1%	40.8%	23.4%	18.1%	20.9%
その他	59	71.2%	67.8%	39.0%	16.9%	32.2%
地区別						
中央区	308	51.0%	51.9%	41.6%	24.4%	34.4%
東区	310	57.4%	50.6%	34.8%	17.4%	26.1%
西区	139	50.4%	51.8%	36.7%	21.6%	28.1%
南区	211	56.4%	55.0%	33.2%	19.0%	35.1%
北区	208	55.3%	46.2%	28.8%	21.6%	35.1%

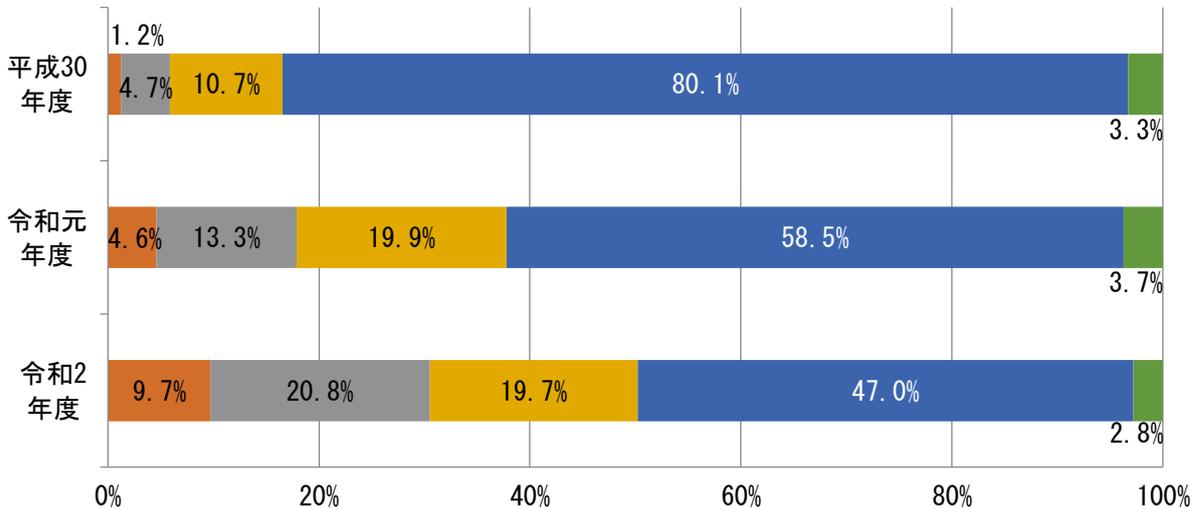
■「SDGs」について

問34. 「SDGs」について知っていますか。(1つだけ)

「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」が47.0%と最も高く、次いで、「少しは知っている」が20.8%、「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」が19.7%となっている。

「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせたSDGsの認知度は30.5%となり、前回調査から12.6ポイント増加している。なお、前述に「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」を加えた、SDGsという言葉を知っている割合は50.2%となり、前回調査から12.4ポイント増加し、全体の半数を超えている。

また、「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は66.7%となり、前回調査から11.7ポイント減少している。



- よく知っている
- 少しは知っている
- 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 言葉を聞いたことがなく、まったく知らない
- 無回答

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は40歳代が45.1%と最も高く、次いで20歳代（44.4%）、30歳代（39.6%）となっている。

一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は80歳代が77.8%と最も高く、次いで70歳代（77.3%）、60歳代（71.4%）となっている。

職業別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は公務員が63.3%と最も高く、次いで学生（47.6%）、その他（35.6%）となっている。

一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は無職が77.6%と最も高

く、次いで農林漁業（75.0%）、自営業（72.5%）となっている。

地区別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は中央区が36.4%と最も高く、次いで南区（31.8%）、北区（28.8%）となっている。一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は西区が72.0%と最も高く、次いで東区（70.4%）、南区（66.3%）となっている。

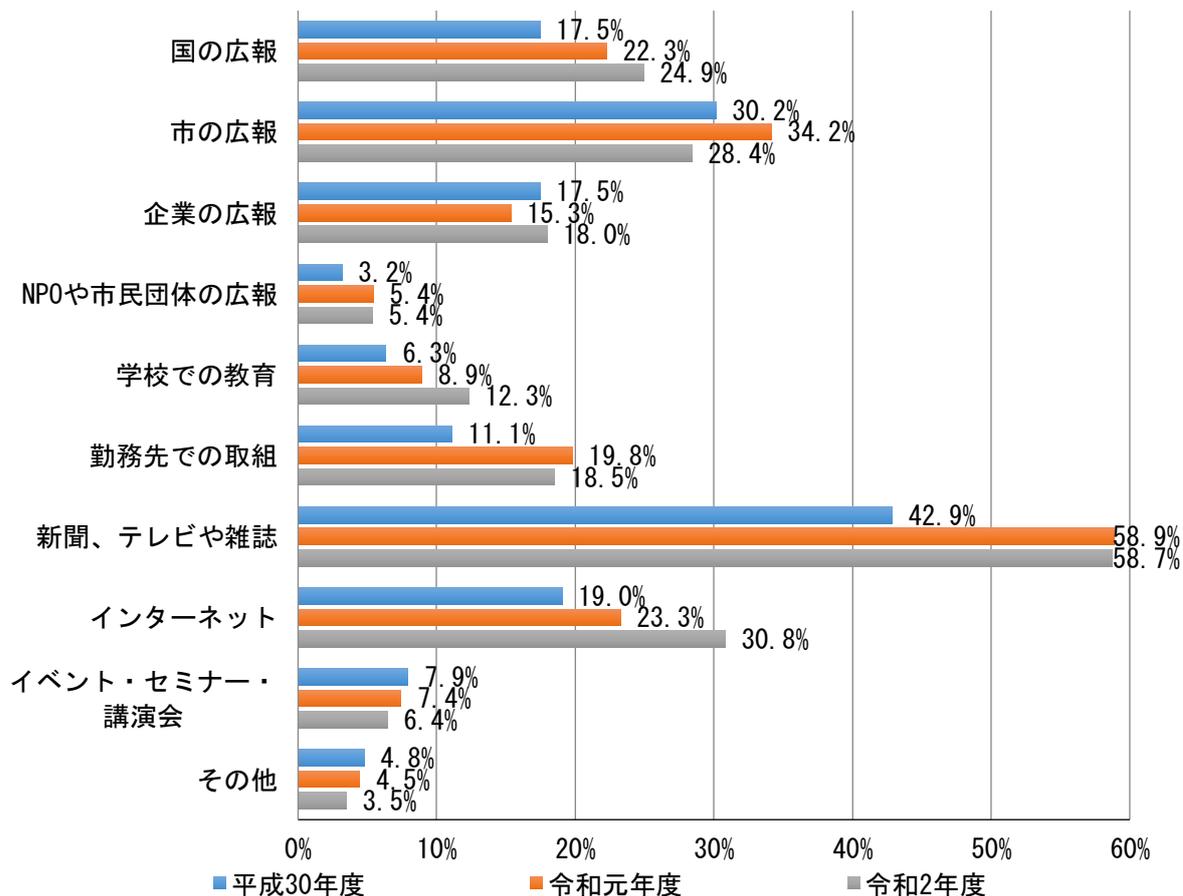
■属性別回答

	合計	よく知っている	少しは知っている	言葉は聞いたことがあるが、 あまり知らない	言葉を聞いたことがなく、 まったく知らない	無回答
全体	1,223	9.7%	20.8%	19.7%	47.0%	2.8%
年齢別						
20歳代	108	15.7%	28.7%	15.7%	39.8%	—
30歳代	149	13.4%	26.2%	22.1%	37.6%	0.7%
40歳代	173	15.6%	29.5%	15.6%	38.2%	1.2%
50歳代	210	10.0%	19.5%	17.6%	51.4%	1.4%
60歳代	238	8.0%	18.1%	25.2%	46.2%	2.5%
70歳代	216	4.2%	14.4%	23.1%	54.2%	4.2%
80歳代	90	4.4%	7.8%	12.2%	65.6%	10.0%
職業別						
会社員	514	11.3%	24.1%	19.3%	44.0%	1.4%
自営業	98	11.2%	16.3%	19.4%	53.1%	—
農林漁業	8	—	25.0%	12.5%	62.5%	—
公務員	79	25.3%	38.0%	8.9%	27.8%	—
学生	21	23.8%	23.8%	23.8%	28.6%	—
無職	397	4.0%	13.6%	23.2%	54.4%	4.8%
その他	59	13.6%	22.0%	16.9%	44.1%	3.4%
地区別						
中央区	308	11.4%	25.0%	18.8%	42.9%	1.9%
東区	310	11.0%	17.4%	21.0%	49.4%	1.3%
西区	139	5.8%	18.7%	24.5%	47.5%	3.6%
南区	211	10.0%	21.8%	19.9%	46.4%	1.9%
北区	208	9.6%	19.2%	16.3%	49.5%	5.3%

問34-1. (問34. で「よく知っている」又は「少しは知っている」と答えられた方) 言葉を知ったきっかけは何ですか。(複数回答可)

問34. で「よく知っている」又は「少しは知っている」と回答した373人については、「新聞、テレビや雑誌」が58.7%と最も高く、次いで「インターネット」が30.8%、「市の広報」が28.4%となっている。

前回調査と比較すると、「国の広報」、「企業の広報」、「学校での教育」、「インターネット」の割合が増加している。



【参考】

【その他について】

- ・ 家族や知人から（子どもの国語や図工の授業や宿題で知った、家族の勤務先で取り組んでいる、子どもから教わった等）（8件）
- ・ カラーホイールバッチを見て調べた（3件）
- ・ その他（旧市民病院の工事現場の壁の掲示を見て、三益式のSNS告知、熊本県高等学校軽音楽連盟による軽音楽部の取り組みで）（3件）

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「国の広報」は50歳代が37.1%と最も高く、「市の広報」は60歳代が45.2%、「企業の広報」と「NPOや市民団体の広報」、「勤務先での取組」、「インターネット」は40歳代がそれぞれ26.9%、10.3%、28.2%、41.0%、「学校での教育」は20歳代が39.6%、「新聞、テレビや雑誌」は80歳代が90.9%、「イベント・セミナー・講演会」は30歳代が10.2%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

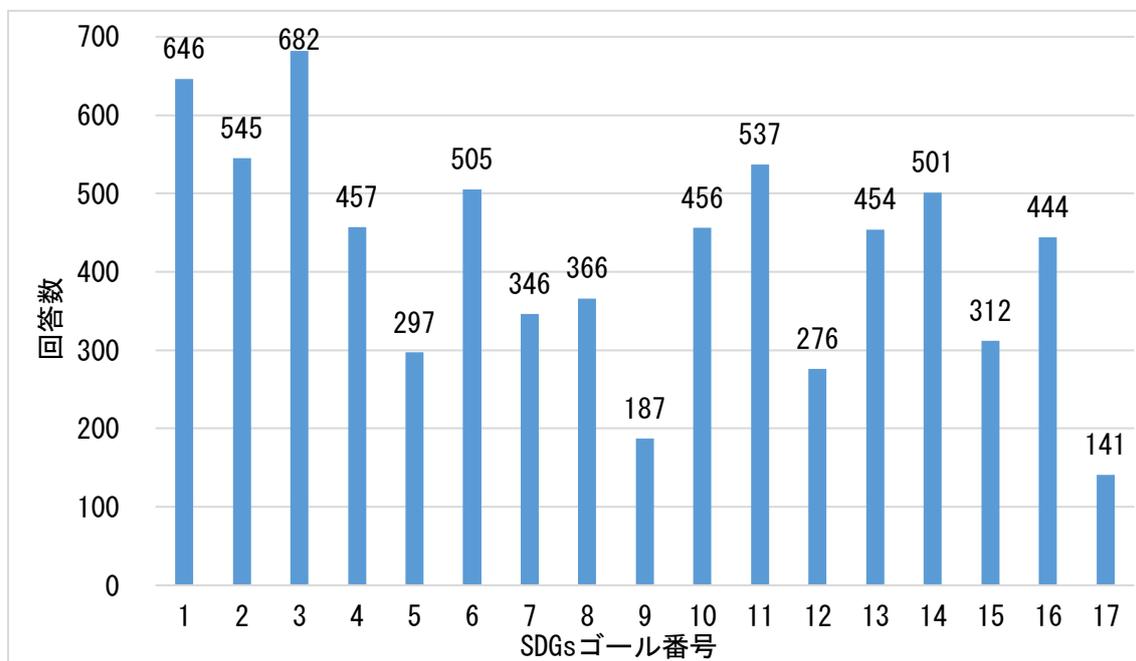
地区別：「国の広報」、「企業の広報」、「新聞、テレビや雑誌」は北区がそれぞれ40.0%、20.0%、63.3%と最も高く、「市の広報」、「学校での教育」は南区が35.8%、16.4%、「NPOや市民団体の広報」、「イベント・セミナー・講演会」は東区が9.1%、9.1%、「勤務先での取組」は西区が26.5%、「インターネット」は中央区が37.5%と最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	国の広報	市の広報	企業の広報	NPOや市民団体の 広報	学校での教育	勤務先での取組	新聞、テレビや雑誌	インターネット	イベント・セミナー・講演会	その他
全体	373	24.9%	28.4%	18.0%	5.4%	12.3%	18.5%	58.7%	30.8%	6.4%	3.5%
年齢別											
20歳代	48	10.4%	14.6%	6.3%	—	39.6%	25.0%	27.1%	22.9%	8.3%	2.1%
30歳代	59	22.0%	16.9%	15.3%	8.5%	6.8%	22.0%	45.8%	37.3%	10.2%	5.1%
40歳代	78	23.1%	29.5%	26.9%	10.3%	15.4%	28.2%	52.6%	41.0%	5.1%	5.1%
50歳代	62	37.1%	27.4%	19.4%	3.2%	8.1%	16.1%	67.7%	30.6%	8.1%	3.2%
60歳代	62	33.9%	45.2%	21.0%	3.2%	6.5%	16.1%	74.2%	30.6%	4.8%	3.2%
70歳代	40	20.0%	35.0%	12.5%	5.0%	5.0%	2.5%	82.5%	22.5%	2.5%	2.5%
80歳代	11	18.2%	36.4%	9.1%	9.1%	—	—	90.9%	9.1%	—	—
職業別											
会社員	182	23.1%	20.9%	23.6%	4.9%	8.2%	24.7%	47.8%	30.8%	4.4%	3.3%
自営業	27	33.3%	22.2%	29.6%	7.4%	14.8%	11.1%	74.1%	48.1%	11.1%	3.7%
農林漁業	2	50.0%	50.0%	50.0%	—	—	—	100%	—	—	—
公務員	50	34.0%	44.0%	8.0%	6.0%	22.0%	28.0%	56.0%	46.0%	14.0%	4.0%
学生	10	10.0%	—	10.0%	—	80.0%	—	20.0%	10.0%	10.0%	—
無職	70	21.4%	41.4%	7.1%	5.7%	5.7%	4.3%	82.9%	20.0%	1.4%	2.9%
その他	21	33.3%	33.3%	14.3%	9.5%	19.0%	19.0%	76.2%	28.6%	14.3%	9.5%
地区別											
中央区	112	17.9%	21.4%	17.9%	5.4%	13.4%	19.6%	58.9%	37.5%	4.5%	0.9%
東区	88	27.3%	28.4%	18.2%	9.1%	14.8%	18.2%	53.4%	30.7%	9.1%	3.4%
西区	34	23.5%	26.5%	14.7%	2.9%	5.9%	26.5%	61.8%	11.8%	—	5.9%
南区	67	23.9%	35.8%	17.9%	6.0%	16.4%	14.9%	61.2%	34.3%	9.0%	7.5%
北区	60	40.0%	35.0%	20.0%	1.7%	8.3%	18.3%	63.3%	28.3%	6.7%	3.3%

問35. SDGsの17の目標のうち、大切だと思う項目は何ですか。(複数回答可)

「ゴール3:すべての人に健康と福祉を」が55.8% (682人)と最も高く、次いで「ゴール1:貧困をなくそう」が52.8% (646人)、「ゴール2:飢餓をゼロに」が44.6% (545人)となっている。

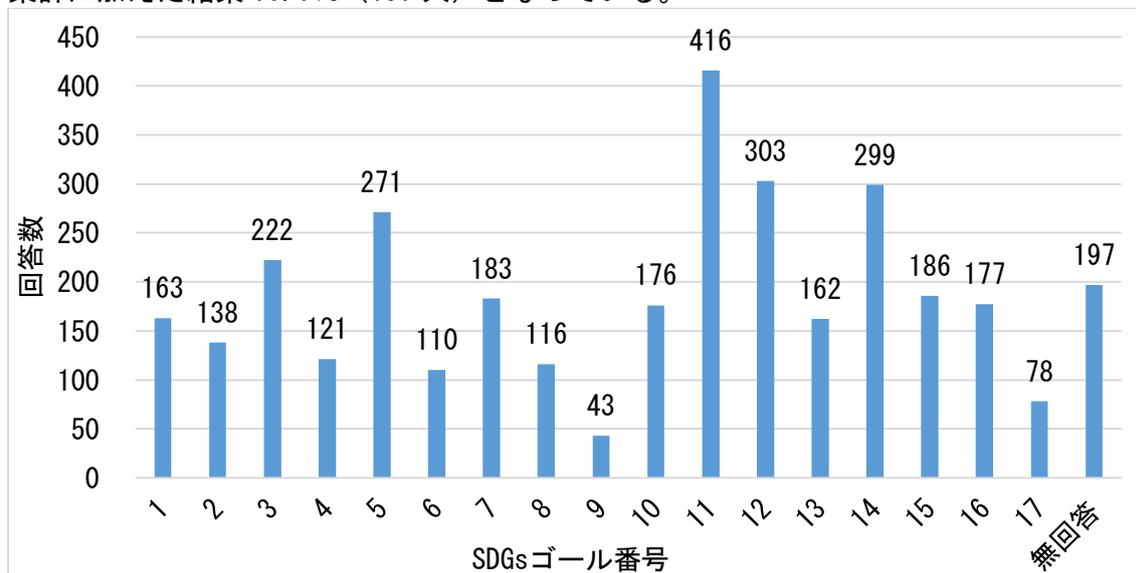


回答肢	回答数	割合	R2 順位	R1 順位	H30 順位
3 すべての人に健康と福祉を	682	55.8%	1	1	1
1 貧困をなくそう	646	52.8%	2	2	3
2 飢餓をゼロに	545	44.6%	3	5	7
11 住み続けられるまちづくりを	537	43.9%	4	3	2
6 安全な水とトイレを世界中に	505	41.3%	5	4	4
14 海の豊かさを守ろう	501	41.0%	6	7	5
4 質の高い教育をみんなに	457	37.4%	7	9	6
10 人や国の不平等をなくそう	456	37.3%	8	10	11
13 気候変動に具体的な対策を	454	37.1%	9	6	9
16 平和と公正をすべての人に	444	36.3%	10	8	8
8 働きがいも経済成長も	366	29.9%	11	11	10
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	346	28.3%	12	12	12
15 陸の豊かさも守ろう	312	25.5%	13	14	14
5 ジェンダー平等を実現しよう	297	24.3%	14	15	15
12 つくる責任つかう責任	276	22.6%	15	13	13
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	187	15.3%	16	16	16
17 パートナーシップで目標を達成しよう	141	11.5%	17	17	17

問36. SDGsの17の目標のうち、あなたが貢献できると思う項目は何ですか。

(複数回答可)

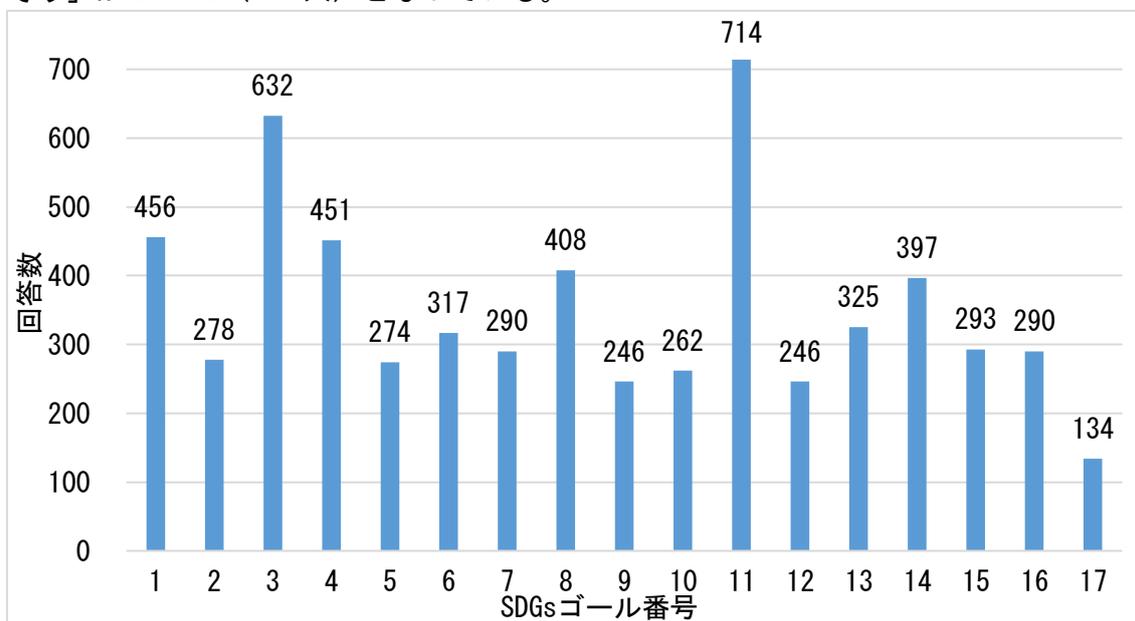
「ゴール11：住み続けられるまちづくりを」が34.0%（416人）と最も高く、次いで「ゴール12：つくる責任つかう責任」が24.8%（303人）、「ゴール14：海の豊かさを守ろう」が24.4%（299人）となっている。なお、当該設問では無回答が目立ったため、集計に加えた結果16.1%（197人）となっている。



回答肢	回答数	割合	R2 順位	R1 順位	H30 順位
11 住み続けられるまちづくりを	416	34.0%	1	1	1
12 つくる責任つかう責任	303	24.8%	2	2	2
14 海の豊かさを守ろう	299	24.4%	3	3	3
5 ジェンダー平等を実現しよう	271	22.2%	4	7	5
3 すべての人に健康と福祉を	222	18.2%	5	5	4
— 無回答	197	16.1%	6	4	—
15 陸の豊かさも守ろう	186	15.2%	7	9	6
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	183	15.0%	8	8	7
16 平和と公正をすべての人に	177	14.5%	9	6	8
10 人や国の不平等をなくそう	176	14.4%	10	10	10
1 貧困をなくそう	163	13.3%	11	13	11
13 気候変動に具体的な対策を	162	13.2%	12	11	13
2 飢餓をゼロに	138	11.3%	13	15	14
4 質の高い教育をみんなに	121	9.9%	14	16	15
8 働きがいも経済成長も	116	9.5%	15	14	12
6 安全な水とトイレを世界中に	110	9.0%	16	12	9
17 パートナーシップで目標を達成しよう	78	6.4%	17	17	16
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	43	3.5%	18	18	17

問37. SDGsの17の目標のうち、熊本市として取り組むべきだと思う項目は何か。(複数回答可)

「ゴール11：住み続けられるまちづくりを」が58.4%（714人）と最も高く、次いで「ゴール3：すべての人に健康と福祉を」が51.7%（632人）、「ゴール1：貧困をなくそう」が37.3%（456人）となっている。



回答肢	回答数	割合	R2 順位	R1 順位	H30 順位
11 住み続けられるまちづくりを	714	58.4%	1	1	1
3 すべての人に健康と福祉を	632	51.7%	2	2	2
1 貧困をなくそう	456	37.3%	3	6	5
4 質の高い教育をみんなに	451	36.9%	4	4	3
8 働きがいも経済成長も	408	33.4%	5	3	4
14 海の豊かさを守ろう	397	32.5%	6	5	7
13 気候変動に具体的な対策を	325	26.6%	7	8	10
6 安全な水とトイレを世界中に	317	25.9%	8	7	6
15 陸の豊かさも守ろう	293	24.0%	9	9	9
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	290	23.7%	10	10	8
16 平和と公正をすべての人に	290	23.7%	11	12	11
2 飢餓をゼロに	278	22.7%	12	16	14
5 ジェンダー平等を実現しよう	274	22.4%	13	14	16
10 人や国の不平等をなくそう	262	21.4%	14	13	13
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	246	20.1%	15	15	15
12 つくる責任つかう責任	246	20.1%	16	11	12
17 パートナーシップで目標を達成しよう	134	11.0%	17	17	17
11 住み続けられるまちづくりを	714	58.4%	1	1	1

問38. SDGsに関して、ご提言、ご意見がございましたらお聞かせください。

■いただいた意見をそのまま以下に列挙する。

できることから取り組むこと。間接的にでも貢献していることを理解できれば活動が増えると思う。
高い教育と倫理を重んじる教育と指導が本県は不足しているため、すべての面（17のゴール）で欠落しているように感じる。
できることをやればいいと思う。
あまりなじみのない言葉だったので、広報啓発活動を強化する必要があると思います。
わたしたち自営業の人は知っている・理解している人が多いですが、一般の人たちは名前も知らない人が多いので、広く理解していただきたいです。
今はコロナ禍のためSDGsよりも今は貧困者をなくしたり、自殺者を出さぬようにして欲しい。
SDGsに関して広報を積極的にして欲しい。
不平等をなくすことがSDGsを進める第一歩になると思う。（議員特権の廃止、補助金の偏った支出）
ジェンダー、エンパワーメント・・・日本語にならないと意味が分からない。日本語で表記してください。
課題が大きすぎる
できるだけ身近で具体的かつ取り組みやすい「みんなの目標、日常的にできる目標」をスローガンとして示してほしい。
市役所の職員でもカラーホイールバッジを付けている自治体を見かけるようになった。
世界全体でゴールを達成するのは無理だと思う
まずは一般に知れ渡るように広報等が必要では
目標が多すぎて全部を覚えられない。内容が細かすぎて難しい。
SDGsについて内容は知っているが、実際どう動いたらいいかわからない人が多いと思うので、家庭でできるSDGsの取組や具体例が分かるような情報チラシを配布すると良いと思う。
SDGsは戦間期の英仏の平和主義と同類に思える。夢想であり来るべき次の戦争の際に無に帰すだろう。
少しずつでもできることを取り組んでいくべきだと思う。
自分だけが良ければいいという気持ちを変え、相手が喜ぶことを考えることが一番だと思います。
SDGsが全く分からない

友人がLGBTで悩みを聞くこともあるので、社会全体でもっと理解を深めていってほしいと思う。
熊本市に住んでいれば「こういうことに貢献できる」というモデルがあると良い。
先々を考え、未来を残したい。
分かりやすい言葉で広めてもらいたい
カタカナが多くてよくわからない。
日本は恵まれた国なので、世界に向けた取組を行っていくべきだと思います。
言うのは簡単
CMで広報したらどうだろうか
具体的に何をしたらいいのかよくわからない
熊本市は政令指定都市の中でも本来の自然の美しさや豊かさのある数少ない都市だと感じています。コロナを機に人の価値観も大きく変化してきていると思っています。便利さや物質的な豊かさのみを追求する時代ではないと思います。熊本の自然を大切にしていきたいと思っています。
SDGsは最近耳にするようになりました。これから多くの人たちが関心を持って勉強していく場があればと思います。そして自分自身が何か一つでも実践していくことです。
当たり前のことをやって市政の発展につなげたい
理想的な目標だが、家計への負担や税金が上がるようならば耐えられないと思う
学校教育で取り上げる。できれば親などの家庭を巻き込む形で。
カタカナが分からない
SDGsを自分の団体の活動に反映させたいが、どう活用すればいいのか分からない。
熊本は土地柄的に男尊女卑が根強く残っていると思います。それに対しての意識改革がジェンダー平等につながってくるのではないのでしょうか。
一人ひとりが具体的に何ができるかを提案してほしい（年齢などに応じて）
言葉を知らない人が多いと思います。啓発活動をもっと行ってほしい。
カタカナが多く分からない。個人的に何かできるか小さなことでもよいから具体的に示してほしい。
SDGsに関して分かってはいませんが、未来永劫今の幸せが続きますよう願っております。
身近なところから、簡単なおところから始めた方が良い。誰でもできるところが重要だと思います。
児童と生徒やその保護者に対して、SDGsの教育を積極的に実施すると良い

<p>贅沢をやめ早く温暖化対策をするべき。また介護不要な長寿社会を目指したい。</p>
<p>SDGs はすべて大事なことだが、全てをこなすのは不可能だと思います。まずは地域の環境保全（住み続けられるまちづくり）と、貧困、教育、ジェンダー平等ではないかと思います。少なくとも住むところが環境がよく、教育など文化水準が高い地域は、そこに住む人の意識も高くなると思います。</p>
<p>全体的に分かりにくい</p>
<p>世界中の人が目標としている SDGs は国基準ではなく、個人としてもっと意識していくことが大切だと思います。</p>
<p>全てのゴールが大事なことは思いますが、17 個は多いと感じます。特に 5 と 17 は分かりにくいと思います。</p>
<p>全員がもっと真剣に取り組む必要がある</p>
<p>よく分からない。</p>
<p>勉強会があると良い</p>
<p>このアンケートで初めて知った。全員に周知がいきわたるのは難しいと思った。一人ひとりが少しでも気付いてくれれば良いと思うが、横文字が多いことが原因でハードルが上がっていると思う（年齢が高くなると・・・）</p>
<p>SDGs と経済の両立は難しいと考える。</p>
<p>5 のジェンダー平等について、何をどこまでいうのか分からないし、それだけ別待遇していると逆差別化していくのかもしれない。男だろうと女だろうとそのどちらでもなかりと、人によってできることは違うし、例えば背の高い人と低い人、力のある人とない人、身体の不自由な人とそうでない人、体調のいい人とそうでない人、良く気のきく人と空気を読めない人。そんな風に人それぞれできることは違うので、それも考慮してほしい。「個」を認めるようになってほしい。</p>
<p>具体的に何をしたら貢献できるのかがわからない</p>
<p>誰一人取り残さないとある。教育による考え方の周知徹底が必要と思われる。</p>
<p>コロナ禍で失業、減給や生活の基盤を失い負のスパイラルに陥った人々は SDGs への関心よりその日を生きることに必死で思考停止してしまうでしょうから、行政は NPO と連携して、まずは身近にいる貧困で困っている人を取りこぼさず救済してください。</p>
<p>具体的にどのようなことをすれば良いのかが分からない。</p>
<p>まず第一に貧困をなくすことが SDGs を達成することになると思う。</p>
<p>大規模な取組のように感じるので市民が実践できるところまで落とし込んで広報してほしい。あと横文字が多く、高齢者には分かりづらいかもかもしれません。</p>

<p>熊本市の中で17のゴールのどの項目がどの程度達成できていて、どの項目が弱いのかを分かりやすく伝えるツールがあれば取り組みやすいと思います。そもそも高齢者や興味を持っていない人たちからするとSDGsって横文字を使っても意味が分からないし知ろうともしないと思うので、日本語（熊本弁）などで伝わりやすくする必要があります。</p>
<p>よくわからない</p>
<p>私は障がいがあり就職できなくて無職です。近くに障がい者用施設がなく、距離のあるところまでいかないといけません。たまに駐車場がないところもあります。熊本市が障がい者の人が働けるような施設を作ったらどうでしょうか？よろしくお願いします。</p>
<p>SDGs は一人では達成できない</p>
<p>SDGs に関しての勉強ができていない。</p>
<p>十分に理解できていない。</p>
<p>SNS の活用が重要だと思う</p>
<p>SDGs をもっと易しく、そして楽しく学習できるようもっとうまく宣伝してください。例えばバッチをつくるとか（熊本はくまモンばかりですが・・・）</p>
<p>スローガンのみでは不可で、実践の具体策のあるものではないと尻すぼみに終わる。市民の共通理解の得やすいもので周知しないと抽象的なものは掛け声のみで終わる。</p>
<p>アイコンがカラフルで良いと思います。また個人の努力でも17の目標は達成できないと思うので、大学など集団に対して取組を提示したほうが良いかなと思います。</p>
<p>それぞれの項目でできる限り行うことが重要だと思う。</p>
<p>子ども食堂の場所等の情報を目にすることがない。必要な支援等も分からない。</p>
<p>17の目標を説明してある文章から意味が難しい。</p>
<p>石垣ロゴマークのピンバッチやシールを作成して活用すると良いと思う（個人の取組の意思表示として販売などを行っても良いと思う）</p>
<p>SDGs を初めて知りました。アルファベットではなく、日本語で知りたいです。</p>
<p>目標が多すぎて意識しにくい</p>
<p>税金の無駄遣いを見直して必要な所に行き渡るようにしてほしい。</p>
<p>わけのわからないアルファベットは使わないほうがいい</p>
<p>極端に禁止や制限事項を作るのではなく、「それだったらやっても良いかな」レベルの事から始めて、徐々に浸透させていくこと。それらが日常であり普通になることが重要かと考えます。</p>

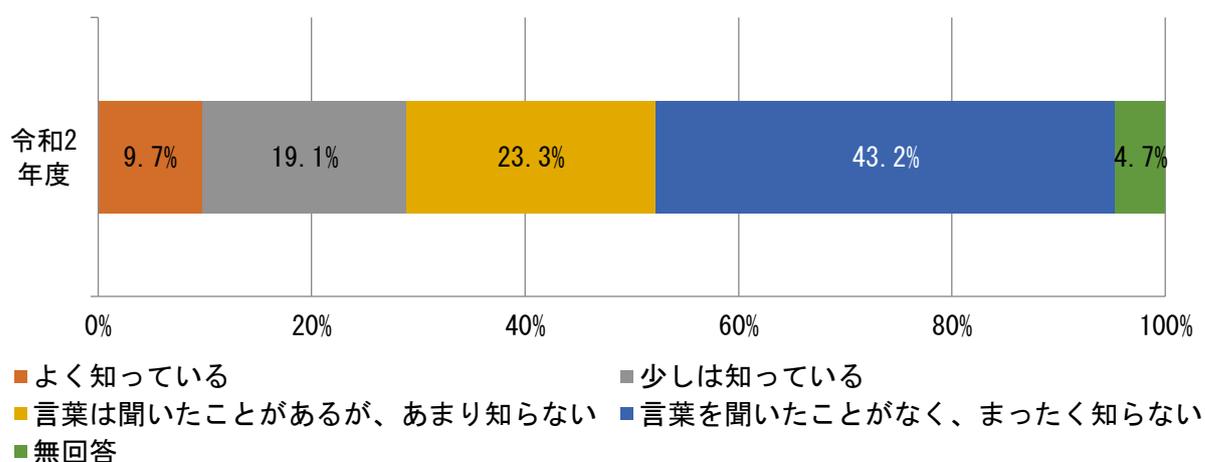
<p>支援の仕事をしています。</p> <p>行政が縦割りで、経済中心の社会構造である限り、簡単ではないと思いますが。</p>
<p>世界的に17項目が設定されており理想を目指すことは必要であるが、各国の状況によって反故にされる可能性があり、申し訳ないがあまり信用できない。(中国の状況、世界標準化機構→ISOの状況、WHOの曖昧さ)</p>
<p>具体的な取り組みとその結果どのような変化が起こったのか、という情報をテレビや広報誌などでもっと発信してほしい。</p>
<p>突然言い出してうざい。もともと貧困やジェンダーにも意識低いのでは。</p>
<p>日常生活の中で触れる事がないのもっと情報提供をお願いします</p>
<p>すごくいい取り組みだと思いますが、詳しく知っている方はまだ少ないと思います。</p> <p>私は、マークは見たことがある。名前は聞いたことある。内容も何となく聞いたことある。だけど、実際、どんな取り組みなのかは説明はできないレベルなのでもっと詳しく知る機会があればいいなと思います。</p> <p>あと、上記の17項目は知っていますが、実際に一人ひとりがどのように取り組めば貢献できるのかを詳しく知りたいです。</p>
<p>皆が取り組めるように、熊本市がリードする。</p>
<p>あまり身近に感じない</p>
<p>この意味自体あまり解らない</p>
<p>自治体や中小企業も取り組むことは良いと思いますが、他の課題よりも優先的に取り組むテーマというものではないと考えます。元々から予定する取組を進める際に概念を採り入れるといった扱いが適当だと考えます。</p>
<p>あまりにも壮大な目標なので、全く現実味がありません。</p> <p>印象としては、世界、国レベルの印象を受けます。</p> <p>個々にアピールするためには、もう少し具体的に、貢献したいと思うような内容を提示して欲しいです。</p> <p>また、若い人に興味を持ってもらうには、有名人や芸能人等を広告にした方がよいのではと感じました。</p>

問39. 「フェアトレード」について知っていますか。(1つだけ)

令和2年度よりSDGsに関連して、フェアトレードの認知度を測るため新規で設問を追加し調査を行った。

「言葉を聞いたことがなく、全く知らない」が43.2%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」が23.3%、「少しは知っている」が19.1%となっている。

「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は28.8%である。前述に「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」を加えた、フェアトレードという言葉を知っている割合は52.1%である。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は20歳代が51.9%と最も高く、次いで40歳代(38.1%)、30歳代(33.6%)となっている。

一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は70歳代が73.2%と最も高く、次いで60歳代(72.7%)、80歳代(68.9%)となっている。

職業別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は学生が95.2%と最も高く、次いで公務員(55.7%)、その他(40.7%)となっている。

一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は農林漁業が87.5%と最も高く、次いで無職(72.6%)、自営業(70.4%)となっている。

地区別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は中央区が32.4%と最も高く、次いで東区(32.3%)、北区(28.8%)となっている。

一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は南区が70.6%と最も高く、次いで西区(68.4%)、東区(66.1%)となっている。

■属性別回答

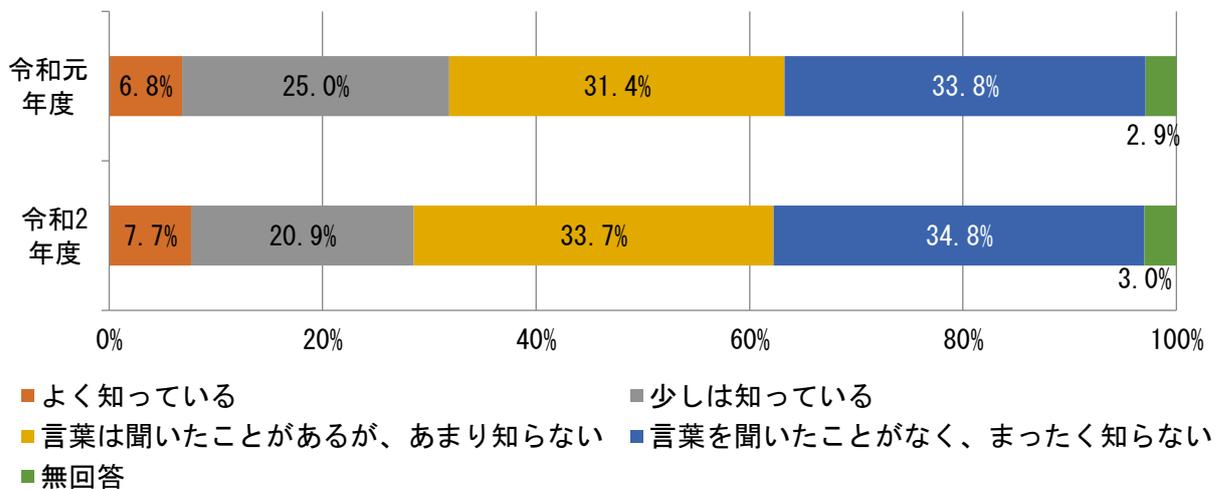
	合計	よく知っている	少しは知っている	言葉は聞いたことがあるが、 あまり知らない	言葉を聞いたことがなく、 まったく知らない	無回答
全体	1,223	9.7%	19.1%	23.3%	43.2%	4.7%
年齢別						
20歳代	108	25.0%	26.9%	13.9%	33.3%	0.9%
30歳代	149	12.8%	20.8%	24.2%	40.9%	1.3%
40歳代	173	12.7%	25.4%	19.7%	41.6%	0.6%
50歳代	210	10.5%	21.4%	24.3%	43.8%	—
60歳代	238	5.5%	17.6%	27.7%	45.0%	4.2%
70歳代	216	3.2%	14.4%	22.7%	50.5%	9.3%
80歳代	90	6.7%	8.9%	32.2%	36.7%	15.6%
職業別						
会社員	514	10.1%	20.4%	22.2%	46.1%	1.2%
自営業	98	10.2%	18.4%	26.5%	43.9%	1.0%
農林漁業	8	—	12.5%	50.0%	37.5%	—
公務員	79	24.1%	31.6%	22.8%	20.3%	1.3%
学生	21	57.1%	38.1%	4.8%	—	—
無職	397	4.0%	14.4%	24.7%	47.9%	9.1%
その他	59	13.6%	27.1%	28.8%	28.8%	1.7%
地区別						
中央区	308	12.3%	20.1%	23.1%	40.6%	3.9%
東区	310	12.6%	19.7%	22.6%	43.5%	1.6%
西区	139	6.5%	17.3%	21.6%	46.8%	7.9%
南区	211	7.6%	17.1%	25.6%	45.0%	4.7%
北区	208	6.7%	22.1%	24.0%	41.8%	5.3%

■「ラムサール条約」について

問40. 「ラムサール条約」について知っていますか。(1つだけ)

「言葉を聞いたことがなく、全く知らない」が34.8%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」が33.7%、「少しは知っている」が20.9%となっている。

「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は28.6%であり、前回調査から3.2ポイント減少している。また、前述に「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」を加えた、ラムサール条約という言葉を知っている割合は62.3%であり、前回調査から0.9ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は20歳代が45.4%と最も高く、次いで70歳代(32.4%)、60歳代(31.5%)となっている。

一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は40歳代が78.0%と最も高く、次いで50歳代(77.6%)、30歳代(73.8%)となっている。

職業別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は学生が66.7%と最も高く、次いで公務員(60.7%)、農林漁業(37.5%)となっている。一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は自営業が76.5%と最も高く、次いで会社員(75.6%)、無職(66.5%)となっている。

地区別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は東区が32.2%と最も高く、次いで中央区(29.9%)、北区(28.4%)となっている。一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は南区が74.4%と最も高く、次いで西区(69.1%)、中央区(67.6%)となっている。

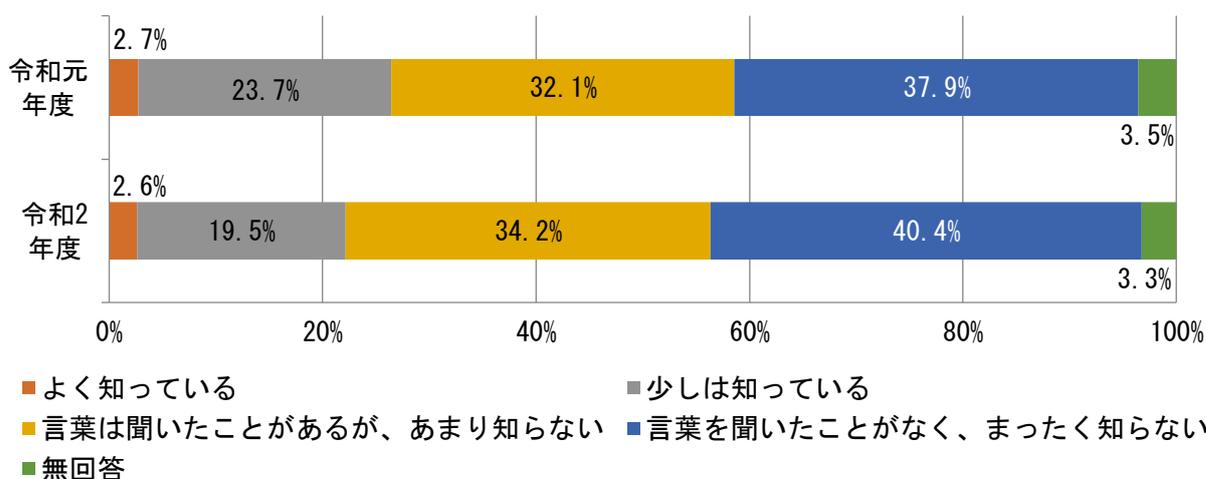
■属性別回答

	合計	よく知っている	少しは知っている	言葉は聞いたことがあるが、 あまり知らない	言葉を聞いたことがなく、 まったく知らない	無回答
全体	1,223	7.7%	20.9%	33.7%	34.8%	3.0%
年齢別						
20歳代	108	14.8%	30.6%	30.6%	23.1%	0.9%
30歳代	149	7.4%	18.1%	36.9%	36.9%	0.7%
40歳代	173	4.0%	17.3%	26.6%	51.4%	0.6%
50歳代	210	8.6%	13.8%	31.9%	45.7%	—
60歳代	238	6.3%	25.2%	35.7%	29.8%	2.9%
70歳代	216	6.5%	25.9%	39.4%	21.8%	6.5%
80歳代	90	12.2%	13.3%	34.4%	32.2%	7.8%
職業別						
会社員	514	5.8%	17.9%	34.4%	41.2%	0.6%
自営業	98	8.2%	14.3%	36.7%	39.8%	1.0%
農林漁業	8	—	37.5%	37.5%	12.5%	12.5%
公務員	79	17.7%	43.0%	19.0%	19.0%	1.3%
学生	21	38.1%	28.6%	23.8%	9.5%	—
無職	397	6.5%	21.4%	35.0%	31.5%	5.5%
その他	59	10.2%	20.3%	42.4%	23.7%	3.4%
地区別						
中央区	308	9.4%	20.5%	33.8%	33.8%	2.6%
東区	310	8.7%	23.5%	34.2%	33.2%	0.3%
西区	139	6.5%	19.4%	36.0%	33.1%	5.0%
南区	211	7.1%	16.1%	37.0%	37.4%	2.4%
北区	208	5.8%	22.6%	30.3%	36.5%	4.8%

問4 1. 日本には52か所（2020年12月時点）のラムサール条約の登録湿地があります。登録湿地について知っていますか。（1つだけ）

「言葉を聞いたことがなく、全く知らない」が40.4%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」が34.2%、「少しは知っている」が19.5%となっている。

「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は22.1%であり、前回調査から4.3ポイント減少している。また、前述に「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」を加えた、ラムサール条約の登録湿地という言葉を知っている割合は56.3%となり、前回調査から2.2ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は20歳代が36.2%と最も高く、次いで70歳代（26.9%）、60歳代（26.4%）となっている。

一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は40歳代が87.3%と最も高く、次いで50歳代（82.4%）、30歳代（81.9%）となっている。

職業別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は学生が57.1%と最も高く、次いで公務員（51.9%）、農林漁業（37.5%）となっている。一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は会社員が82.3%と最も高く、次いで自営業（81.6%）、その他（72.9%）となっている。

地区別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は東区が26.5%と最も高く、次いで中央区（22.4%）、北区（20.6%）となっている。一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は南区が79.1%と最も高く、次いで北区（75.0%）、中央区（74.3%）となっている。

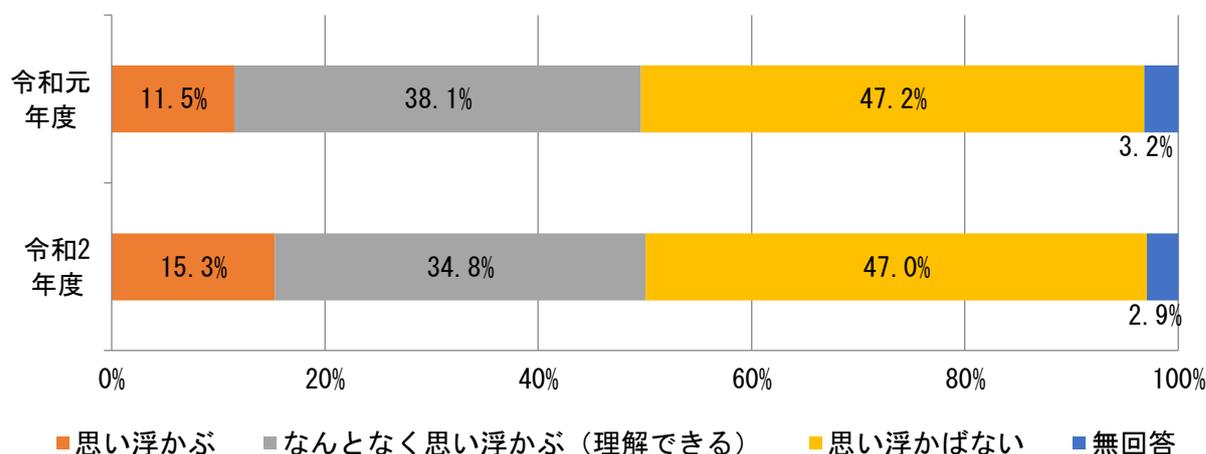
■属性別回答

	合計	よく知っている	少しは知っている	言葉は聞いたことがあるが、 あまり知らない	言葉を聞いたことがなく、 まったく知らない	無回答
全体	1,223	2.6%	19.5%	34.2%	40.4%	3.3%
年齢別						
20歳代	108	5.6%	30.6%	25.9%	37.0%	0.9%
30歳代	149	2.0%	15.4%	33.6%	48.3%	0.7%
40歳代	173	1.7%	10.4%	28.3%	59.0%	0.6%
50歳代	210	1.9%	15.7%	31.0%	51.4%	—
60歳代	238	2.5%	23.9%	37.4%	32.4%	3.8%
70歳代	216	1.9%	25.0%	44.0%	22.7%	6.5%
80歳代	90	5.6%	17.8%	35.6%	33.3%	7.8%
職業別						
会社員	514	2.5%	14.4%	32.9%	49.4%	0.8%
自営業	98	3.1%	13.3%	35.7%	45.9%	2.0%
農林漁業	8	—	37.5%	37.5%	12.5%	12.5%
公務員	79	3.8%	48.1%	21.5%	25.3%	1.3%
学生	21	9.5%	47.6%	14.3%	28.6%	—
無職	397	2.3%	20.7%	38.8%	32.7%	5.5%
その他	59	1.7%	22.0%	42.4%	30.5%	3.4%
地区別						
中央区	308	3.2%	19.2%	35.7%	38.6%	3.2%
東区	310	2.6%	23.9%	33.9%	39.0%	0.6%
西区	139	2.2%	18.0%	33.8%	40.3%	5.8%
南区	211	3.3%	15.6%	34.1%	45.0%	1.9%
北区	208	1.4%	19.2%	35.1%	39.9%	4.3%

問4 2. 江津湖（・上江津湖水系）は「日本の重要湿地」に選定されています。「湿地」と聞いて江津湖が思い浮かびますか。（1つだけ）

「思い浮かばない」が47.0%と最も高く、次いで「なんとなく思い浮かぶ」が34.8%、「思い浮かぶ」が15.3%となっている。

「思い浮かぶ」と「なんとなく思い浮かぶ」を合わせた割合は50.1%であり、前回調査から0.5ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「思い浮かぶ」と「なんとなく思い浮かぶ」を合わせた割合は80歳代が64.5%と最も高く、次いで70歳代（60.2%）、60歳代（52.5%）となっている。

一方で「思い浮かばない」は30歳代が59.7%と最も高く、次いで20歳代（56.5%）、40歳代（56.1%）となっている。20～50歳代までは「思い浮かばない」を選択した割合が半数以上を占めている。

職業別：「思い浮かぶ」と「なんとなく思い浮かぶ」を合わせた割合は学生が61.9%と最も高く、次いで無職（55.2%）、その他（54.3%）となっている。

一方で「思い浮かばない」は会社員が53.7%と最も高く、次いで自営業（52.0%）、公務員（46.8%）となっている。

地区別：「思い浮かぶ」と「なんとなく思い浮かぶ」を合わせた割合は東区が53.6%と最も高く、次いで中央区（52.6%）、西区（49.7%）となっている。

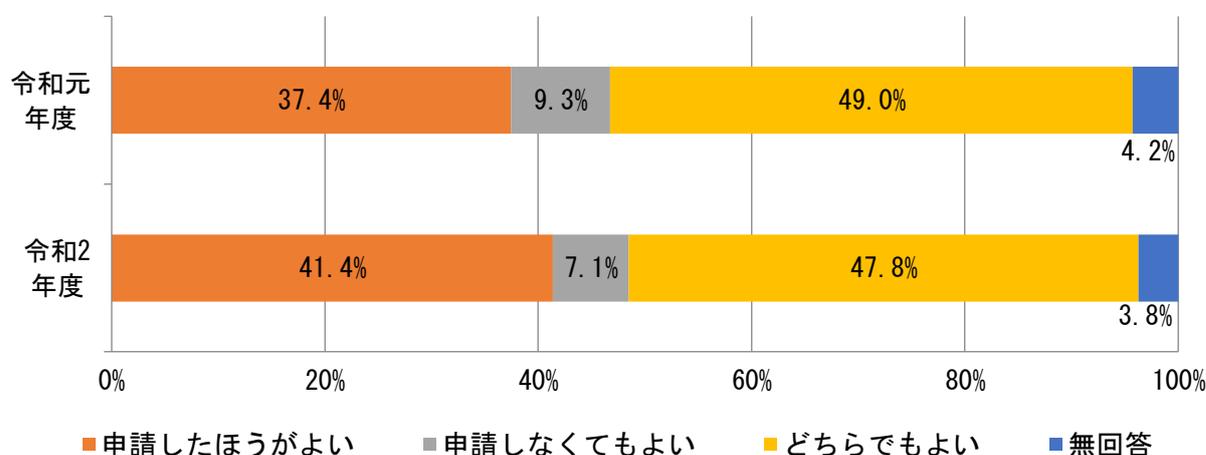
一方で「思い浮かばない」は南区が52.1%と最も高く、次いで北区（49.0%）、東区（45.8%）となっている。

■属性別回答

	合計	思い浮かぶ	なんとなく思い浮かぶ (理解できる)	思い浮かばない	無回答
全体	1,223	15.3%	34.8%	47.0%	2.9%
年齢別					
20歳代	108	8.3%	34.3%	56.5%	0.9%
30歳代	149	4.0%	35.6%	59.7%	0.7%
40歳代	173	11.0%	32.4%	56.1%	0.6%
50歳代	210	10.5%	37.1%	52.4%	—
60歳代	238	16.4%	36.1%	45.0%	2.5%
70歳代	216	27.8%	32.4%	33.3%	6.5%
80歳代	90	27.8%	36.7%	27.8%	7.8%
職業別					
会社員	514	12.1%	33.5%	53.7%	0.8%
自営業	98	17.3%	29.6%	52.0%	1.0%
農林漁業	8	—	50.0%	37.5%	12.5%
公務員	79	7.6%	44.3%	46.8%	1.3%
学生	21	9.5%	52.4%	38.1%	—
無職	397	21.4%	33.8%	39.8%	5.0%
その他	59	8.5%	45.8%	42.4%	3.4%
地区別					
中央区	308	13.6%	39.0%	44.8%	2.6%
東区	310	16.8%	36.8%	45.8%	0.6%
西区	139	17.3%	32.4%	44.6%	5.8%
南区	211	14.2%	31.8%	52.1%	1.9%
北区	208	15.4%	32.2%	49.0%	3.4%

問43. 江津湖をラムサール条約の登録湿地として申請することについて、どう思いますか。(1つだけ)

「どちらでもよい」が47.8%と最も高く、次いで「申請したほうがよい」が41.4%、「申請しなくてもよい」が7.1%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「申請したほうがよい」は70歳代が53.2%と最も高く、次いで80歳代(52.2%)、60歳代(49.6%)となっている。

一方で「申請しなくてもよい」は50歳代が11.9%と最も高く、次いで30歳代(8.1%)、60歳代(8.0%)となっている。また、「どちらでもよい」は20歳代が72.2%と最も高く、次いで30歳代(65.1%)、40歳代(54.3%)となっている。

職業別：「申請したほうがよい」は自営業が53.1%と最も高く、次いで無職(46.1%)、その他(42.4%)となっている。

一方で「申請しなくてもよい」は農林漁業が12.5%と最も高く、次いで自営業(10.2%)、その他(8.5%)となっている。また、「どちらでもよい」は学生が61.9%と最も高く、次いで会社員(55.1%)、公務員(53.2%)となっている。

地区別：「申請したほうがよい」は西区が45.3%と最も高く、次いで東区(43.9%)、中央区(42.2%)となっている。

一方で「申請しなくてもよい」は東区が10.0%と最も高く、次いで中央区(6.8%)、南区(6.2%)となっている。また、「どちらでもよい」は南区が53.6%と最も高く、次いで北区(49.0%)、中央区(47.4%)となっている。

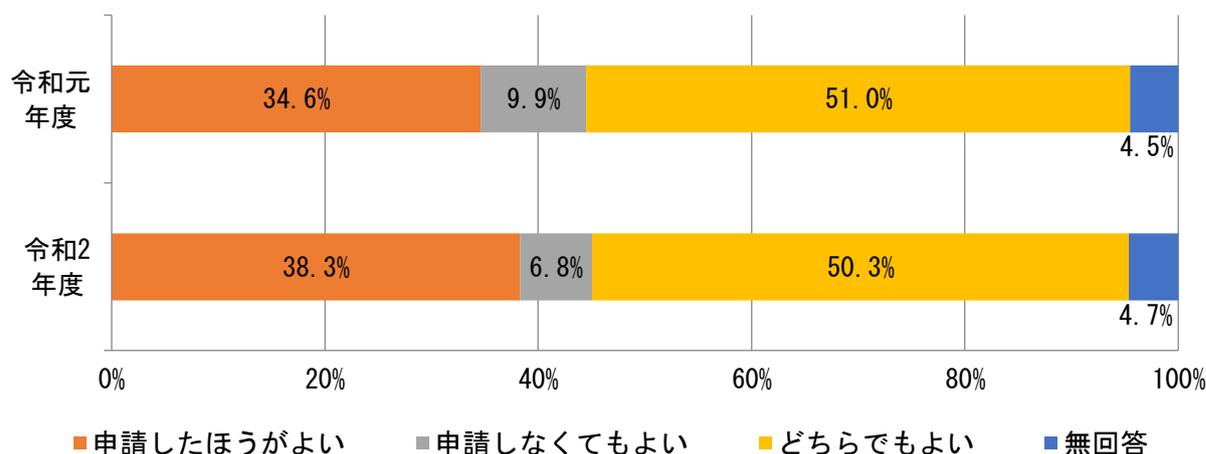
■属性別回答

	合計	申請したほうがよい	申請しなくてもよい	どちらでもよい	無回答
全体	1,223	41.4%	7.1%	47.8%	3.8%
年齢別					
20歳代	108	25.9%	0.9%	72.2%	0.9%
30歳代	149	24.8%	8.1%	65.1%	2.0%
40歳代	173	40.5%	4.0%	54.3%	1.2%
50歳代	210	38.6%	11.9%	48.6%	1.0%
60歳代	238	49.6%	8.0%	39.1%	3.4%
70歳代	216	53.2%	5.1%	36.1%	5.6%
80歳代	90	52.2%	7.8%	27.8%	12.2%
職業別					
会社員	514	37.5%	5.8%	55.1%	1.6%
自営業	98	53.1%	10.2%	35.7%	1.0%
農林漁業	8	37.5%	12.5%	37.5%	12.5%
公務員	79	36.7%	7.6%	53.2%	2.5%
学生	21	38.1%	—	61.9%	—
無職	397	46.1%	7.3%	41.3%	5.3%
その他	59	42.4%	8.5%	44.1%	5.1%
地区別					
中央区	308	42.2%	6.8%	47.4%	3.6%
東区	310	43.9%	10.0%	44.8%	1.3%
西区	139	45.3%	3.6%	45.3%	5.8%
南区	211	37.9%	6.2%	53.6%	2.4%
北区	208	41.8%	4.8%	49.0%	4.3%

問4 4. 2018年からラムサール条約の湿地自治体認証制度が始まっています。熊本市が湿地自治体として認証申請することについて、どう思いますか。(1つだけ)

「どちらでもよい」が50.3%と最も高く、次いで「申請したほうがよい」が38.3%、「申請しなくてもよい」が6.8%となっている。

前回調査と比較し「申請したほうがよい」は3.7ポイント増加、「申請しなくてもよい」は3.1ポイント減少、「どちらでもよい」は0.7ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「申請したほうがよい」は80歳代が46.7%と最も高く、次いで70歳代(45.8%)、60歳代(44.5%)となっている。

一方で「申請しなくてもよい」は50歳代が10.5%と最も高く、次いで80歳代(7.8%)、60歳代(7.1%)となっている。また、「どちらでもよい」は20歳代が70.4%と最も高く、次いで30歳代(66.4%)、40歳代(56.6%)となっている。

職業別：「申請したほうがよい」は自営業が48.0%と最も高く、次いでその他(44.1%)、無職(39.8%)となっている。

一方で「申請しなくてもよい」は農林漁業が12.5%と最も高く、次いで自営業(9.2%)、その他(8.5%)となっている。また、「どちらでもよい」は学生が61.9%と最も高く、次いで会社員(56.8%)、公務員(54.4%)となっている。

地区別：「申請したほうがよい」は西区が43.2%と最も高く、次いで東区(42.3%)、北区(41.3%)となっている。

一方で「申請しなくてもよい」は東区が9.7%と最も高く、次いで中央区(5.8%)、北区(5.3%)となっている。また、「どちらでもよい」は南区が59.2%と最も高く、次いで中央区(51.9%)、北区(48.6%)となっている。

■属性別回答

	合計	申請したほうがよい	申請しなくてもよい	どちらでもよい	無回答
全体	1,223	38.3%	6.8%	50.3%	4.7%
年齢別					
20歳代	108	25.9%	2.8%	70.4%	0.9%
30歳代	149	25.5%	6.0%	66.4%	2.0%
40歳代	173	38.7%	4.0%	56.6%	0.6%
50歳代	210	37.1%	10.5%	50.5%	1.9%
60歳代	238	44.5%	7.1%	43.3%	5.0%
70歳代	216	45.8%	6.0%	40.3%	7.9%
80歳代	90	46.7%	7.8%	32.2%	13.3%
職業別					
会社員	514	36.6%	5.3%	56.8%	1.4%
自営業	98	48.0%	9.2%	40.8%	2.0%
農林漁業	8	25.0%	12.5%	50.0%	12.5%
公務員	79	36.7%	6.3%	54.4%	2.5%
学生	21	33.3%	4.8%	61.9%	—
無職	397	39.8%	7.1%	45.3%	7.8%
その他	59	44.1%	8.5%	40.7%	6.8%
地区別					
中央区	308	36.4%	5.8%	51.9%	5.8%
東区	310	42.3%	9.7%	46.8%	1.3%
西区	139	43.2%	5.0%	46.0%	5.8%
南区	211	32.7%	4.3%	59.2%	3.8%
北区	208	41.3%	5.3%	48.6%	4.8%

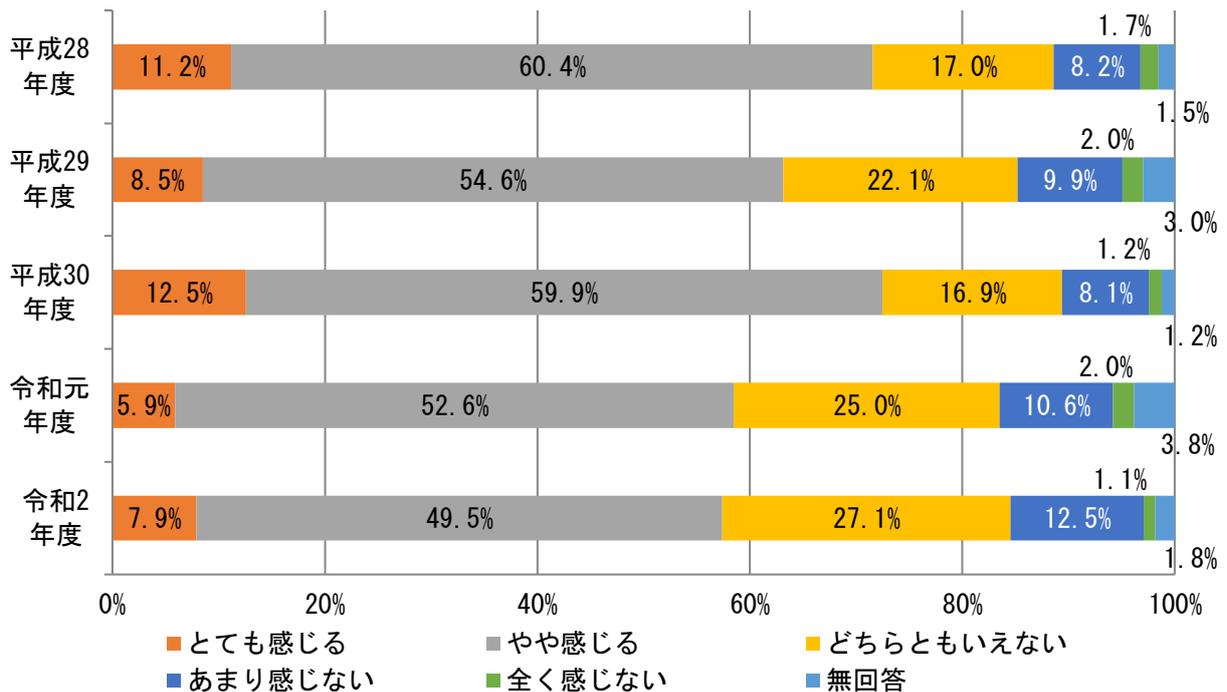
■「熊本市の環境目標（基本計画）」について（その2）

問45 熊本市の良好な環境（生活・自然環境全般）が守られていると感じますか。

（1つだけ）

「やや感じる」が49.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が27.1%、「あまり感じない」が12.5%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は57.4%で、前回調査と比較すると1.1ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年齢別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は70歳代が62.5%と最も高く、次いで80歳代（62.2%）、50歳代（58.1%）となっている。

一方で「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた割合は60歳代が17.2%と最も高く、次いで70歳代と80歳代がそれぞれ14.4%、30歳代が13.4%となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は農林漁業が62.5%と最も高く、次いで公務員（62.0%）、学生（61.9%）となっている。

一方で「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた割合はその他が15.3%と最も高く、次いで会社員（14.6%）、公務員（14.0%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が61.1%と最も高く、次いで東区（59.7%）、北区（57.2%）となっている。

一方で「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた割合は中央区が14.9%と最も高く、次いで南区（14.2%）、東区（13.6%）となっている。

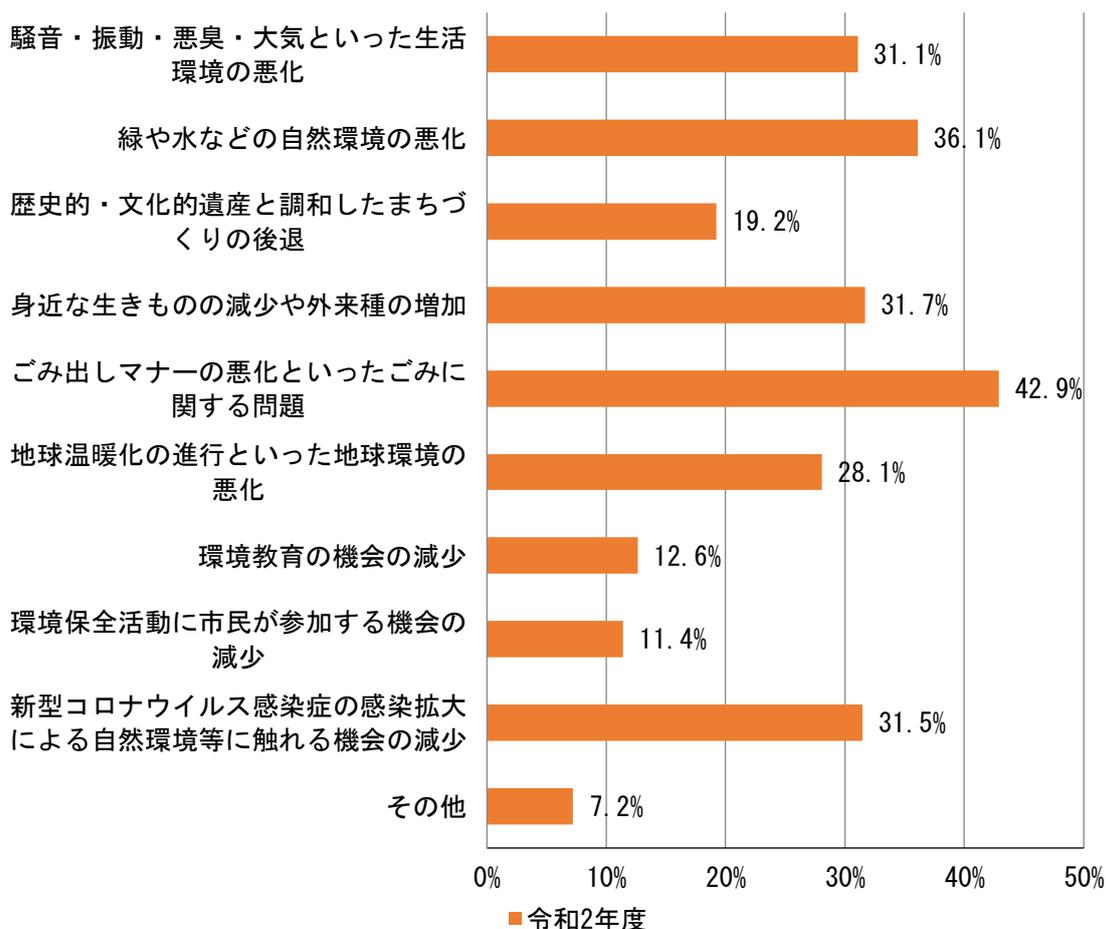
■属性別回答

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,223	7.9%	49.5%	27.1%	12.5%	1.1%	1.8%
年齢別							
20歳代	108	5.6%	50.9%	35.2%	6.5%	1.9%	—
30歳代	149	4.7%	46.3%	34.9%	11.4%	2.0%	0.7%
40歳代	173	8.1%	48.6%	29.5%	12.1%	1.2%	0.6%
50歳代	210	9.5%	48.6%	28.1%	11.0%	1.9%	1.0%
60歳代	238	8.0%	47.1%	26.1%	16.8%	0.4%	1.7%
70歳代	216	8.3%	54.2%	21.8%	13.9%	0.5%	1.4%
80歳代	90	10.0%	52.2%	17.8%	13.3%	1.1%	5.6%
職業別							
会社員	514	6.8%	47.1%	30.7%	13.2%	1.4%	0.8%
自営業	98	12.2%	46.9%	27.6%	11.2%	1.0%	1.0%
農林漁業	8	—	62.5%	12.5%	12.5%	—	12.5%
公務員	79	3.8%	58.2%	24.1%	12.7%	1.3%	—
学生	21	9.5%	52.4%	33.3%	—	4.8%	—
無職	397	9.8%	51.1%	23.4%	13.1%	0.5%	2.0%
その他	59	3.4%	49.2%	32.2%	11.9%	3.4%	—
地区別							
中央区	308	9.7%	46.4%	27.9%	13.6%	1.3%	1.0%
東区	310	9.4%	50.3%	26.5%	12.6%	1.0%	0.3%
西区	139	7.9%	53.2%	23.0%	12.2%	0.7%	2.9%
南区	211	5.2%	48.8%	29.9%	13.7%	0.5%	1.9%
北区	208	5.8%	51.4%	27.9%	10.6%	2.4%	1.9%

問45-1. (問45. で「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「全く感じない」と答えられた方) どちらともいえない、あまり感じない、全く感じないと思われる理由は何ですか。(複数回答可)

近年、良好な環境が守られていると感じる市民の割合が減少傾向にあることから、傾向を測るため新規で設問を追加した。

問45. で「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「全く感じない」と回答した499人については、「ごみ出しマナーの悪化といったごみに関する問題」が42.9%と最も高く、次いで「緑や水などの自然環境の悪化」が36.1%、「身近な生きものの減少や外来種の増加」が31.7%となっている。



【参考】

【その他について（抜粋）】

- 生活環境について（17件）
 - ・ ごみのポイ捨てが多い
 - ・ ごみステーションには収集庫が必要
 - ・ 人口減なのに、田畑が宅地化されるほか、マンションが次々と建っている一方で空き家が増えている。
 - ・ バスやダンプカーの排気ガスがあまりにもひどい。
 - ・ カラスやムクドリの糞害
 - ・ 受動喫煙に配慮しない喫煙者がいる。
 - ・ 庭に木を植えていない家が多くなった。

- 都市、道路、交通環境について（13件）
 - ・ まちづくりが次々に建物を建てることになっている
 - ・ 都市計画自体の失敗を感じる。公共交通網や区画整備ができておらず、今後の発展性を感じさせない。城下町を切り崩しできなかったこと、古い区画割、狭い道路が問題だと思う。
 - ・ 道路が他県に比べて不便
 - ・ 歩行者や自転車のための道路整備がされていない
 - ・ 交通の便が悪い
 - ・ 車優先で交通マナーが悪い。
- 行政の取組について（6件）
 - ・ 田畑の宅地化やマンションの乱立について、市や県のまちづくりのビジョンが全く感じられない。
 - ・ 環境問題に対する広報活動が単発で、一過性のようで継続性がない。
 - ・ 市の取組があまり見えない。
 - ・ 環境保全活動などに住民が日常的に協力できる方法を取り入れないと、行政だけでは活力不足である。
 - ・ 熊本市が良好な環境を守るために何かやっているのだろうとは思いますが、何をやっているのかが分からないし聞かないから。
- 自然環境について（2件）
 - ・ 緑地が少なくなっている。
 - ・ 山や竹林が荒れていて手入れがされていないところが目立つ。
- 意識について（2件）
 - ・ 大多数の市民が前向きに自発的に取り組んでいるとは感じない。
 - ・ 熊本市は歩道の整備も進んでおらず、中心部も緑や公園が少なく感じる。他県と比べて森の都という割には環境意識が低い。公共交通機関を使わず車通勤をする人の多さに驚く。もっと歩行者にやさしく、緑豊かな街づくりに真剣に取り組んでほしい。環境意識は低いと思う。
- その他（5件）
 - ・ 環境について意識して生活していないため、特に何も感じない。
 - ・ 興味がないので変化に気付いていない。
 - ・ 熊本市に転居したばかりで分からない。

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「騒音・振動・悪臭・大気といった生活環境の悪化」は50歳代が26.7%と最も高く、「緑や水などの自然環境の悪化」と「歴史的・文化的遺産と調和したまちづくりの後退」、「身近な生き物の減少や外来種の増加」、「地球温暖化の進行といった地球環境の悪化」、「環境教育の機会の減少」、「環境保全活動に市民が参加する機会の減少」は40歳代が31.1%、28.4%、10.8%、29.7%、55.4%、43.2%、「ごみ出しマナーの悪化といったごみに関する問題」と「新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自然環境等に触れる機会の減少」は20歳代が40.4%、8.5%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「騒音・振動・悪臭・大気といった生活環境の悪化」は北区が28.2%で最も高く、「緑や水などの自然環境の悪化」と「ごみ出しマナーの悪化といったごみに関する問題」、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自然環境等に触れる機会の減少」は南区が25.8%、11.8%、6.5%、「歴史的・文化的遺産と調和したまちづくりの後退」と「環境教育の機会の減少」、「環境保全活動に市民が参加する機会の減少」は中央区が15.2%、50.0%、31.8%、「身近な生きものの減少や外来種の増加」は東区が6.5%、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自然環境等に触れる機会の減少」は東区がと南区が6.5%と最も高くなっている。

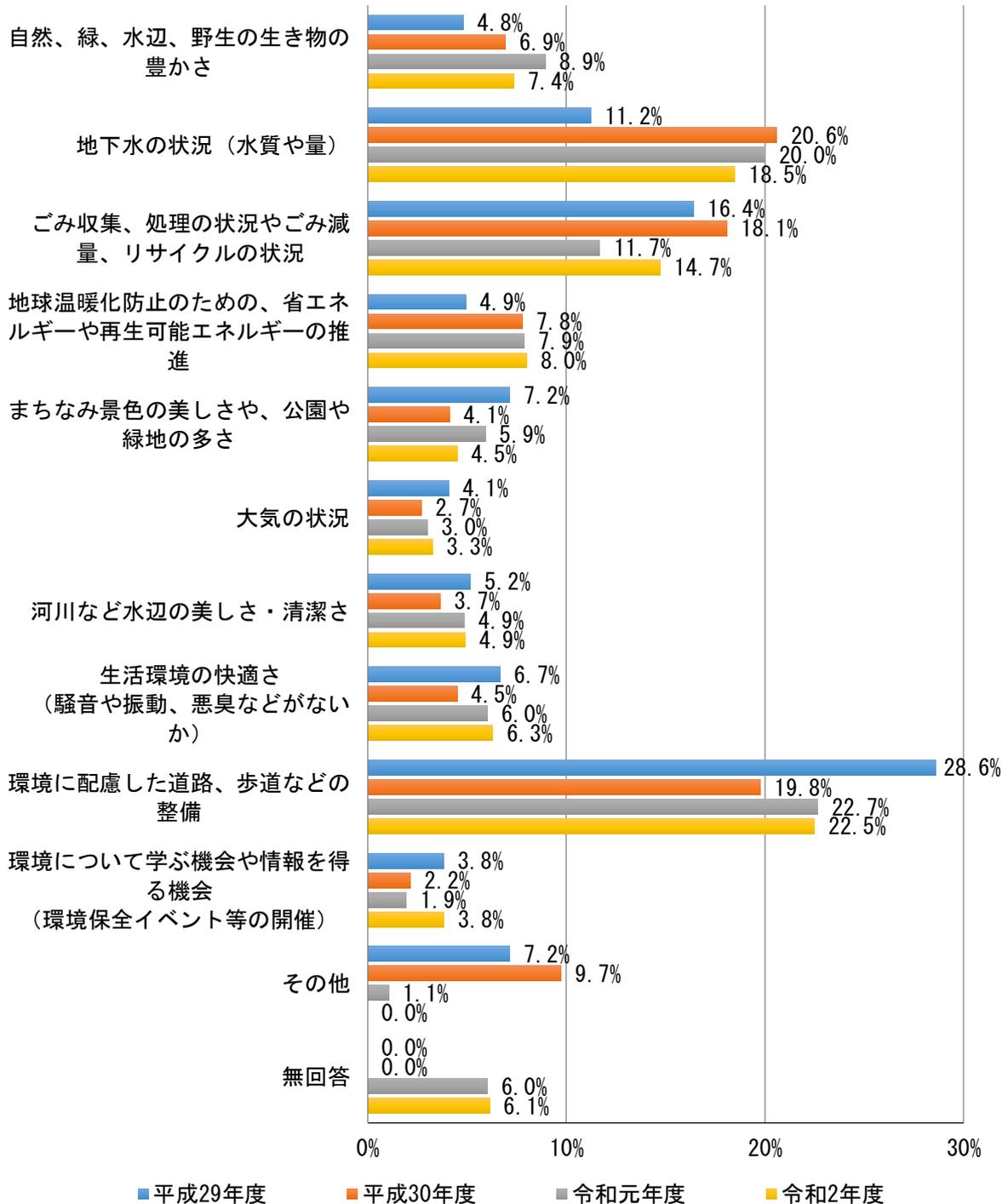
■属性別回答

	合計	騒音・振動・悪臭・大気といった生活環境の悪化	緑や水などの自然環境の悪化	歴史的・文化的遺産と調和したまちづくりの後退	身近な生きものの減少や外来種の増加	ごみ出しマナーの悪化といったごみに関する問題	地球温暖化の進行といった地球環境の悪化	環境教育の機会の減少	環境保全活動に市民が参加する機会の減少	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自然環境等に触れる機会の減少	その他
全体	499	31.1%	36.1%	19.2%	31.7%	42.9%	28.1%	12.6%	11.4%	31.5%	7.2%
年齢別											
20歳代	47	10.6%	14.9%	6.4%	—	40.4%	25.5%	27.7%	23.4%	8.5%	2.1%
30歳代	72	18.1%	13.9%	12.5%	6.9%	5.6%	18.1%	37.5%	30.6%	8.3%	4.2%
40歳代	74	24.3%	31.1%	28.4%	10.8%	16.2%	29.7%	55.4%	43.2%	5.4%	5.4%
50歳代	86	26.7%	19.8%	14.0%	2.3%	5.8%	11.6%	48.8%	22.1%	5.8%	2.3%
60歳代	103	20.4%	27.2%	12.6%	1.9%	3.9%	9.7%	44.7%	18.4%	2.9%	1.9%
70歳代	78	10.3%	17.9%	6.4%	2.6%	2.6%	1.3%	42.3%	11.5%	1.3%	1.3%
80歳代	29	6.9%	13.8%	3.4%	3.4%	—	—	34.5%	3.4%	—	—
職業別											
会社員	233	18.0%	16.3%	18.5%	3.9%	6.4%	19.3%	37.3%	24.0%	3.4%	2.6%
自営業	39	23.1%	15.4%	20.5%	5.1%	10.3%	7.7%	51.3%	33.3%	7.7%	2.6%
農林漁業	2	50.0%	50.0%	50.0%	—	—	—	100%	—	—	—
公務員	30	56.7%	73.3%	13.3%	10.0%	36.7%	46.7%	93.3%	76.7%	23.3%	6.7%
学生	8	12.5%	—	12.5%	—	100%	—	25.0%	12.5%	12.5%	—
無職	147	10.2%	19.7%	3.4%	2.7%	2.7%	2.0%	39.5%	9.5%	0.7%	1.4%
その他	28	25.0%	25.0%	10.7%	7.1%	14.3%	14.3%	57.1%	21.4%	10.7%	7.1%
地区別											
中央区	132	15.2%	18.2%	15.2%	4.5%	11.4%	16.7%	50.0%	31.8%	3.8%	0.8%
東区	124	19.4%	20.2%	12.9%	6.5%	10.5%	12.9%	37.9%	21.8%	6.5%	2.4%
西区	50	16.0%	18.0%	10.0%	2.0%	4.0%	18.0%	42.0%	8.0%	—	4.0%
南区	93	17.2%	25.8%	12.9%	4.3%	11.8%	10.8%	44.1%	24.7%	6.5%	5.4%
北区	85	28.2%	24.7%	14.1%	1.2%	5.9%	12.9%	44.7%	20.0%	4.7%	2.4%

■「熊本市内の環境問題」について

問46. 現在の熊本市内の環境の現状について、問題と思われることについて（10項目）から選んでください。（1つだけ）

「環境に配慮した道路、歩道などの整備」が22.5%と最も高く、次いで「地下水の状況（水質や量）」が18.5%、「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」が14.7%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」と「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」、「大気の状態」は30歳代がそれぞれ10.1%、8.1%、5.4%で最も高く、「地下水の状態」は70歳代が23.1%、「ごみ収集、処理の状態やごみ減量、リサイクルの状態」と「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は50歳代が16.7%、25.7%、「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」は60歳代が11.8%、「河川など水辺の美しさ・清潔さ」と「生活環境の快適さ」、「環境について学ぶ機会や情報を得る機会」は20歳代が11.1%、9.3%、9.3%と最も高くなっている。

職業別：「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」と「河川など水辺の美しさ・清潔さ」は農林漁業がそれぞれ25.0%、12.5%と最も高く、「地下水の状態」、「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」はその他が27.1%、15.3%、「ごみ収集、処理の状態やごみ減量、リサイクルの状態」は公務員が19.0%、「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」は自営業が8.2%、「大気の状態」と「生活環境の快適さ」、「環境に配慮した道路、歩道などの整備」、「環境について学ぶ機会や情報を得る機会」は学生が4.8%、14.3%、38.1%、9.5%と最も高くなっている。

地区別：「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」と「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」、「大気の状態」、「生活環境の快適さ」、「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は南区がそれぞれ8.5%、9.5%、5.2%、9.5%、24.6%と最も高く、「地下水の状態」と「環境について学ぶ機会や情報を得る機会」は北区が21.2%、4.8%、「ごみ収集、処理の状態やごみ減量、リサイクルの状態」は東区が16.8%、「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」は中央区が7.5%、「河川など水辺の美しさ・清潔さ」は西区が7.2%と最も高くなっている

■属性別回答

	合計	自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ	地下水の状況（水質や量）	ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況	地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進	まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ	大気の状態	河川など水辺の美しさ・清潔さ	生活環境の快適さ （騒音や振動、悪臭などが無いかな）	環境に配慮した道路、歩道などの整備	環境について学ぶ機会や情報を得る機会 （環境保全イベント等の開催）
全体	1,223	7.4%	18.5%	14.7%	8.0%	4.5%	3.3%	4.9%	6.3%	22.5%	3.8%
年齢別											
20歳代	108	8.3%	6.5%	15.7%	6.5%	5.6%	4.6%	11.1%	9.3%	22.2%	9.3%
30歳代	149	10.1%	14.8%	16.1%	4.7%	8.1%	5.4%	4.7%	7.4%	24.2%	2.7%
40歳代	173	6.4%	16.2%	15.0%	7.5%	5.2%	4.6%	4.6%	8.1%	24.3%	4.6%
50歳代	210	6.2%	21.4%	16.7%	7.6%	2.4%	3.3%	4.8%	5.2%	25.7%	3.8%
60歳代	238	5.9%	21.0%	13.9%	11.8%	5.5%	2.9%	5.0%	7.6%	19.3%	2.1%
70歳代	216	8.8%	23.1%	13.9%	7.9%	4.2%	1.4%	4.6%	3.7%	19.4%	3.7%
80歳代	90	10.0%	22.2%	10.0%	7.8%	1.1%	1.1%	1.1%	4.4%	20.0%	4.4%
職業別											
会社員	514	8.8%	16.5%	15.8%	6.4%	4.1%	4.3%	6.2%	6.6%	24.7%	4.1%
自営業	98	9.2%	17.3%	14.3%	6.1%	8.2%	2.0%	5.1%	7.1%	16.3%	7.1%
農林漁業	8	25.0%	12.5%	—	—	—	—	12.5%	—	25.0%	—
公務員	79	6.3%	21.5%	19.0%	6.3%	3.8%	1.3%	6.3%	8.9%	19.0%	6.3%
学生	21	—	4.8%	4.8%	14.3%	4.8%	4.8%	4.8%	14.3%	38.1%	9.5%
無職	397	6.5%	21.2%	12.6%	9.8%	5.0%	2.8%	4.0%	5.3%	21.7%	2.0%
その他	59	3.4%	27.1%	16.9%	15.3%	3.4%	1.7%	—	6.8%	15.3%	6.8%
地区別											
中央区	308	7.5%	19.2%	14.6%	6.5%	7.5%	1.6%	5.2%	5.5%	22.4%	4.2%
東区	310	7.1%	21.0%	16.8%	7.4%	4.2%	3.9%	4.2%	5.2%	23.9%	2.9%
西区	139	7.9%	20.9%	14.4%	9.4%	4.3%	2.2%	7.2%	5.8%	18.7%	4.3%
南区	211	8.5%	12.3%	12.8%	9.5%	3.8%	5.2%	3.8%	9.5%	24.6%	4.3%
北区	208	6.7%	21.2%	13.5%	9.1%	2.4%	3.8%	5.3%	6.3%	20.2%	4.8%

問47. あなたが問46. で回答されたことについて、どのような課題や問題があると思われますか。ご自身のお考えを具体的に記入してください。

■いただいた意見を問46の項目に分類し、重複するものを除きそのまま以下に列挙する。なお、特に必要と思われる意見については、回答者の居住校区を記載している。

1「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」についての意見（28件）

●自然について

- ・ 田畑がなくなり生き物がいなくなった。自然がなくなり、子どもにも教えられない。
- ・ 人間としての原点である感謝の心が薄れていく中で、自然などに対して慢心の心が出て無駄遣いをして地球を破壊していると思う。この機会にもう一度、人間は生かされていると知るべきである。
- ・ 市内の田畑が宅地になり、新しい住宅、建物が建てられて自然がコンクリートに埋め立てられて減っていくことに不安を感じる。自然を削って消費するだけでなく、意識して自然を新たに育むことも大切だと思う。協力したい。
- ・ 山を守り木を守ることで水がもっと美しくなり、災害も無くなるのでは。また働く場合も山、川、緑、海といった基本を守れば働く場もできるのでは。川の草やごみが無ければポイ捨てることはなくなるのではないのでしょうか。働き口がない人や高齢者にお願いしてきれいにしてもらえばいいのでは。人口が少なくなってきているので議員を少なくした方がよい。私たちの税金でこの人たちは何をしているのですか。コロナの時期、議員さんたちの給与を少なくし、働きたい人たちに回せばいいのでは。
- ・ 経済成長に伴い生活の利便性は向上して、いつでも自分が欲しいものを購入できる社会へと変わってきましたが、自然の豊かさは失われてきていると感じます。自分が子供のころは夏でも扇風機で過ごせ、秋にはコオロギ等の虫の音も聞こえ、土手で簡単にその姿を見つけることができていましたが、今は探してもすぐには見つかりません。10月になると肌寒く四季もはっきりとしていたように思います。鳥もカラスは増えたように感じますが、スズメや他の野鳥を見かけることが減っており、今この時代を生きる私たちが次世代の子供たちに負担をかけないよう、美しい地球に住み続けられるよう環境を守っていかなければならないと思います。
- ・ 熊本の自然環境代表が水前寺と江津湖なので画期的な環境作りを希望したい。
- ・ 江津湖の自然を守りたいです。
- ・ 水田の減少、山（林業へのなり手不足、災害後の植林の遅延）の環境悪化

●ラムサール条約について

- ・ 江津湖の環境が守られるのならばラムサール条約の湿地自治体制度に申請して

も良いと思う。

- ・ ラムサール条約関係の質問について、熊本のためになって、持続可能ならばありがたい。専門的なことを一般市民に聞いても意味がないと思う。
- ・ ラムサール条約のくだりが長いし、選択肢が誘導的。市長が申請したいんですか？荒尾だけですよ、有明海と比べると、厳しいですよ。江津湖は大きさもだし、観光的な側面もあるのでしょ？
- ・ ラムサール条約に関しては登録湿地や認証申請することで何のメリットがあるのかよくわからない。

●緑について

- ・ 森林を守る、管理する
- ・ 森林の適正な整備が必要だと思う。
- ・ 緑化をするのはいいが、またそこで税金を投入し維持を継続するには抵抗がある。
- ・ 緑をもっと多くしてほしい。木々を切りすぎていると思う。温暖化を止めるためにも。
- ・ 野生動物が食べ物を求めて市街地に出没するようになったが、専門家によると山に針葉樹ばかりを植え、広葉樹が少なくなったことも原因と指摘があるようです。豊かな山に戻す取組を加速させなければならないのではと思います。
- ・ 春と秋に町内のみんなで道路や空き地に花を植えています。市全体に広がっているようですが、係の方々の苦労は大変だろうと思っています。地味な活躍ですが、着実に効果が表れているように思います。感謝します。
- ・ できるだけ自然のままでもっと緑を増やしていけるようにしたい。

●生物多様性について

- ・ 水辺や川へ行くと外来種の魚ばかり目に付く。在来種の保護＝外来種持ち込みをいかにして防ぐか。典型的な例がアメリカザリガニ、ジャンボタニシ、ブラックバス等。江津湖では専用のボートで定期的に調査されている様子なのでなお一層の調査、在来種の保護をお願いしたい。周辺の開発に自然保護前提の規制をお願いしたい。周辺に訪れるための駐車場の整備や資料館の整備等を期待したい。
- ・ 自然の生き物が減っていること。
- ・ 魚を釣っている人がいるが、外来種を釣っても逃がしている。
- ・ 外来種の増加による生態系への影響が出ていると思います。今できる対処を継続し、あるべき姿の自然を取り戻せるよう努力が必要と考えます。
- ・ 外来種の魚が多いことが問題
- ・ 山や川辺にイノシシやシカが出没して環境が良い場所はない。
- ・ 野生生物が豊かなのはいいことですが、迷惑動物（狸等）には手を焼きます。

- ・ 地区の草刈りには欠かさず参加しているが、より自主的・生産的な活動に参加してみたい。我が家の近くの用水路には以前（7～8年前）はメダカがいたり蛍が生息していたのに、近年は全く見なくなった。田畑への農薬使用のせいもあると思うが、用排水路の清掃草刈り等を地区によってしないところもあり、全体的にきれいにならない。マナーの問題でもあるが、排水路にいたってはごみの投げ捨ても多くなってきている。
- ・ 江津湖のホタル、大豆、もやしなどよその大都市では見ることができない光景が大好きです。先般の地震の時は水くみの列が何か所もあり、幸せな街だと思います。外来種の雑草やアシなどの防除は大変でしょうが、全ての道路がコンクリート舗装にならないことを祈っています。

2「地下水の状況（水質や量）」についての意見（99件）

●地下水保全について

- ・ 有限である地下水を100年後、200年後も使い続けられるようにしていくべき。
- ・ 豊富な水のある熊本ではあるが、大切にしていけないといけないと、一人ひとりが意識を持ち続けないと将来枯渇することもあり得るから。
- ・ 美味しいお水をどうやって後世に残していくか。
- ・ 地震の時水の大切さを感じました。夜遅くに公園に水を汲みに行ったりして大変でした。今夫が入院中で1人で生活していますから、また何か起こったらと思うと怖いです。環境も大事ですが、毎日の生活の方を考えます。コロナであまり外に出ないのでストレスを感じています。
- ・ 地震の時思いましたが、災害時に水は大事だと思いました。給水所が不足しておりとても困りました。
- ・ 地震などにより地下水が変化していないかが心配
- ・ 地下水の保全活動への取組
- ・ 地下水の保全や安全性
- ・ 地下水の保全は自然任せにせず、積極的対処が必要だと思う
- ・ 地下水の水質と量が十分にある今の状況がずっと続くように、命を守るため大切にしたいと願います。
- ・ 地下水の減少 汚染
- ・ 地下水に頼る部分が大きく、自然の恵みが永久に続くものだとは思えないから
- ・ 地下水が豊富な街で水がおいしいとよく言われるが、資源には限りがある。各自がそのことを心がけ水を大切に使わねばならない。無限にあり続けるものではないことを知る必要がある。

- ・ 地下水が豊富で飲料水の水源となっている。今後もこのような状態が維持されるよう保存してもらいたい。
- ・ 大切な地下水を維持するための努力が必要
- ・ 大切な地下水をトイレにも使っているのは何か工夫してできないでしょうか。お風呂の水を使えるトイレを開発したり、雨水を使えるように。トイレを開発している方にお願ひできないかなあといつも思います。
- ・ 水の都と言われ続けられるよう、この先もずっと守っていきたいと思います。
- ・ 水の都と言われる熊本は今も健在なのか。市民としてできることを行政に協力していきたいと思います。
- ・ 人間が生活し命を維持していくうえで最も大切なものが水です。熊本市は恵まれた地下水があり、これを大切に守っていかなければならないと思います。
- ・ 自然環境や地球環境の悪化によって地下水の状況も悪化することが無いように。これまでもそしてこれからも、熊本の水がおいしい水であってほしいと思います。
- ・ 自身で地下水が影響を受け将来の飲料水の確保ができるのか心配
- ・ 今後も豊かな地下水を守るため、地下水保全に取り組む必要がある。
- ・ 今後も地下水を守り続けていくことは重要で、企業の汲み取り利用について制限もいるのではと思うときがある。
- ・ 江津湖の水質や量が現在は悪くなっているように思うので、環境状況が良くなるように協力したいと思います。
- ・ 工場等の水利用を考えて自分たちの使用する水がこれからも利用できるようにする。
- ・ 工場などで地下水をくみ上げすぎて水位が下がっている。湖や池は昔は底まで澄んでいた。江津湖もきれいな時を知っているなので、昔が懐かしい。
- ・ 後世にも地下水を大切に受け継がれるようにしたい。
- ・ 現在、水の使用制限はなく心配なく使用できているが、いつになっても地下水がなくなることはないのか。世界では水に恵まれていない国もあるのに、日本の場合、植木や花に水をかけ、時に暑くなれば大量に水を使用している。贅沢であるがそれでよいのだろうか。また、私が子供のころは八景水谷公園ではきれいな水が大量に湧き出ていたが、相当湧き水が減ってしまっている。地下水脈が変わったのか心配であり、残念である。きれいな公園であるので、今後もっと湧水が増えるような処置をお願いしたい。
- ・ 熊本地震の際に水前寺公園の水が一時枯れたので、地下水一本では不安を感じます。断層が動けば水脈も枯れる恐れがあると思う。
- ・ 熊本市は豊かな水に恵まれていると思います。でも限りがあると思いますので、川や海の整備をしなければいけないのではないかと思う。やはり一人ひとりが自主的に取り組んでいかなければと思います。

- ・ 熊本市の地下水を守っていただきたいと思います
- ・ 熊本市の水道は100%地下水で賄っている。私たちは長年その恩恵を受け、当たり前前のことと思ってきた。しかし環境の変化により地下水の減少があるのではないかと危惧する。
- ・ 水問題はこれから地球規模の問題になることが予想されている。
- ・ 熊本市の上水道は日本で唯一地下水100%と認識しています。熊本市民の一人として誇らしく思いますが、裏を返せば日本一地下水を無駄遣いしているのではと考えます。水洗トイレや洗車などにも貴重な地下水をそのまま孫の世代以降にも残したいのです。家庭においても飲料水と生活用水を区別するシステムを行政から支援推奨する制度を望みます。地下水保全を含め、住みやすい熊本市には日本一を目指すようなことはいらないと思います。日本一などは結果論であって、地域の居住する市民の心構えの問題だと思っています。
- ・ 熊本市の財産である地下水が将来に向けて非常に心配です。私の子供時代、透き通ったきれいな水を満々と湛えていた江津湖、水前寺公園、八景水谷等が今は見る影もなく、「少なく、汚く、濁水に瀕して」いる状態です。今のうちにどうにかしないと、と気が気ではありません。
- ・ 熊本の地下水は日本一として維持していく努力が必要
- ・ 熊本の水はとてもおいしいとよく聞きます。これからも守ってほしいです。
- ・ 熊本の人間にとってとても水の大切さがわかります。水道水からそのまま飲む水はとても幸せです。
- ・ 熊本で世界に誇れるものは何ですかと外国の人に聞かれれば、まず水でしょう。世界一の水ですと言いたい。
- ・ 近年の地球温暖化により風水害が地球上で毎年起きています。熊本では地下水のためあまり水のありがたみが分かっていないように思います。いつか濁水するようなことがあるかもしれません。人間には水が第一です。今からでも遅くないと思います。早く子孫のために何かをしなくてはと思います。
- ・ 貴重な地下水を次の世代につないでほしいです。
- ・ 環境の変化によって、地下水の水質、量などが悪化していくように思われる。
- ・ 家では節水を心がけ、水をなるべく汚さず下水に流すよう心がけています。洗剤を使い続けたり、油をそのまま下水に流している人の話を聞いたりすると、注意はしますがなかなか伝わりません。個人で実行することは限られますが、市民全員で実行することができれば地下水で生活している熊本市民も協力してもらえんと思います。地下水で生活できる熊本市がこの先も続いていくことを願っています。
- ・ 熊本の地下水がどのように作られ保たれているか見たことがありますが、このままでもいいのか地球環境の変化で地下水も変わっていかないか心配です。熊本は水に恵まれ幸せです。

- ・ 引っ越す前、熊本は水がキレイだと聞いていた。水質が落ちてしまわぬように、保つことが県の誇りでもあると思います。
- ・ 阿蘇伏流水の保全
- ・ 熊本の水はきれいと言われているが昔に比べて水がきれいとは感じない。子どもにも安心して飲ませられない。八景水谷公園が汚くなっていたのはショックでした。
- ・ いつの日か地下水がなくなるのではと思う

●水質について

- ・ 農地への畜産排せつ物の投棄により、地下水への影響が考えられる。
- ・ 地下水の質に問題あり
- ・ 地下水が農薬や肥料の成分で汚染されていると聞きます。飲み水として基準を満たしているとしても、健康にかかわることなので、そういった成分を減らしていけたらと思います。
- ・ 昔は水道の水はおいしかったが、今はそうでもない気がするから。
- ・ 昔は「熊本は水道水を飲める」と言っていておいしかった。場所や環境もあると思うが、今は熊本市の水道水は飲まない。くさいと感ずることがある。菊池の実家の水道水は飲めます。
- ・ 植木町在住だが、農薬等の関係で井戸水の水質が飲用に適していない。現在は上水道が整備され水道水を飲用しているが、地下水は硝酸性窒素の値が高く、安心して使える水ではない状態です。熊本はおいしい野菜を安く手に入れることができますが、農薬などの使用量を減らし、多少形が悪くても積極的に販売してよいと思います。農薬を減らし地下水も飲用できるようになってほしいです。フードロスにも貢献できると思います。
- ・ 植木に住んでいますが、アパートは地下水です。蛇口をたまに拭くと泥が付いています。大丈夫なのか検査してほしいです。
- ・ 常に水質を維持すること
- ・ 除草剤は地下水に影響があるのではないかと考える。
- ・ 子どもの時から熊本の水はきれいで、水道から水を直接飲める環境で育ってきましたが、最近は直接飲むことに少し不安があります。水質が落ちているのではと思います。
- ・ ずっと地下水を使っていけるか、安心して飲み水として使えるかが心配
- ・ 北区に住んでいます。農業用ハウスが多く、ハウスからの排水に不安を感じることがあります。水質検査の結果もあまりいいものではなかったうえ、無味・無臭なだけに水質に不安を感じます。
- ・ (植木校区) 地下水の水質が悪化している。原因は分からないが近くに最終処分場があるためではないか。

●水量について

- ・ 八景水谷や亀井池の枯渇は何十年たってもほったらかし
- ・ 年々湧水量が減っていると聞きます。地下水保全のために市民が取り組めることや、豊かな地下水の背景にある歴史（先祖代々受け継がれてきた水田の大切さなど）について、市民に情報を提供し、保全の取り組みを強化する必要があると感じたから。
- ・ 地下水を生み出す山の環境整備が必要。竹林の整備と広葉樹の植林が必要
- ・ 地下水の量が減っているとニュースで見た気がする。熊本の自慢の地下水を保全する方策や水を大事に使う市民の意識を育てていく必要があると思う。
- ・ 田や畑や自然が減って保水する力が減っているのかと感じています。なるべく今の自然を壊さず次の世代に引き継いでいくことが大切だと思います。便利だけではだめだと思います。
- ・ 地下水が年々減っている気がする
- ・ 先日江津湖を下江津湖から上江津湖まで散策しましたが、水量の減少には危機感さえ感じる思いがしました。小さいころに水遊びしたところには水がなくなっていました。大津や菊陽町あたりの田んぼも減少し、水保全機能の低下が気になります。熊本の素晴らしい自然を後世に残したいものです。
- ・ 水前寺公園の近くに住んでいます。年々水の量が減っているのが分かります。この先どれだけ水量を今以上に維持できるのか心配です。
- ・ 熊本の地下水の量の現状
- ・ 河川上流部の耕作放棄、開発による保水する能力の低下が長い時間を経て熊本市の地下水の湧水量に影響を及ぼすのではと思います。熊本市も含めて周辺市町村の土地開発には一定規模の規制が必要だと思います。
- ・ 地下水は以前から減っていると聞いていますが、それが今も減り続けているのか、このままだと後どれくらいでどうなるのかも分かりません。

●水道水について

- ・ 毎日水道水を飲用している。水道水を守ることは地下水の量や安全性を守ることである。
- ・ 熊本市の水道水はそのままでも実に美味しい。熊本市に暮らす安心の第一番です。
- ・ 水道料金が他県と比べ高い。
- ・ 水道事業を外資に売らないでください
- ・ 水の運用は海外資本から守らなければならない。
- ・ 水道水の水質が悪い

●啓発

- ・ 地下水は熊本の宝である。世界でもまれな良質の水資源の維持と活用（世界的、グローバル企業誘致等）、姉妹都市及び世界各都市への告知などもしてはどうか。
- ・ 地下水について、情報がないので、いつまで良質な水を飲むことができるのか、守っていくためにできることがあるのか、よくわからない。他県からすると、とても恵まれていることが、当たり前すぎて、意識が薄いのかも。
- ・ 熊本市郊外に地下水が湧き出ているところがありますが、整備が不十分で放置されている。公共での整備ができないのであれば、周辺住民やボランティアへの呼びかけをして欲しい。個人1人の力ではできないので。

●節水

- ・ 地下水に課題や問題は今のところないと思います。ただこれからも節水などを心がけて大切な地下水を熊本市民として守っていきたいと思います。
- ・ 地下水が減っていると聞いている。熊本の水道水はとても美味しく宝だと思っています。ですが、福岡県民の節水の意識の高さと比べると熊本は水の無駄遣いが多いように思う。
- ・ 節水コマの配布
- ・ 水道水の無駄遣い
- ・ 人間水がないと生きられないのは万人が思うところです。昔から湯水のようにというたとえがありますが、これは贅沢を律するべきだと思います。資源には限りがあり、いつかは必ず枯渇すると思って生活すべきです。水道水は、サインペンの細さに絞って出し、昔（戦後）の苦労を忘れていないかと、自分もたびたび反省の日々を過ごすことにしています。
- ・ 上水道が全て地下水で賄われているのに、周囲を見ると節水意識が低いように感じる。
- ・ 市民各自節水に努力する事
- ・ 熊本は他県に比べてとても水に恵まれていると思いますが、生活するに至って欠かせない水をこれからも心配なく不安なく絶やさなく使っていけるために一人ひとりの節水や生活環境にしっかりと関心を持ち、大事にしていくことが大事だと思います。
- ・ 熊本に生まれ育っていると普段蛇口から出てくる水が地下水でありとても貴重であることに気づきませんが、他県に行けばいかに贅沢な環境にあるかが分かります。洗濯や入浴の生活に使用している水がミネラルウォーターとして売られている水と同様であるという認識を持って大切に使用すべきだと思います。
- ・ いつまでも豊富な水資源があるとは限らないので、一人ひとりが節水に気を付けて大切に水を使う必要があると思う。

●その他

- ・ 地下水の問題は熊本市だけで解決できることではなく、阿蘇やその他の地区との協力が重要と思われる。最大消費地である熊本市がリーダーシップを発揮すべきと考える。
- ・ 井戸の水質調査など料金が高く、定期的になされないので、金額を下げるか市から補助金を出すなどを検討してほしい。
- ・ 地下水を十二分に使える地域に住んでいることに感謝しています。でもずいぶん無駄遣いをしているように思います。もう少し水を大切に使うようにみんなで取り組むようにPRが必要だと思います。水の再利用にも取り組めないでしょうか。
- ・ 子や孫がペットボトルの水を買うことによって、外で水を飲むことがなくなってしまった
- ・ 熊本市単独で取り組むには限界があるかもしれないが、県と足並み揃え熊本の地下水資源を持続的に維持できる取組を継続して欲しい。その取組に協力的な企業や団体の紹介や表彰などでアピールして欲しい
- ・ 飲んでもおいしい水道水をトイレの水などに使うことは余りにももったいない。世界的にみても。何とかできないだろうか。

3「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」についての意見（110件）

●ルール違反ごみや不法投棄について

- ・ 不法投棄、不法持ち去り、野外焼却等
- ・ 大型ごみを出していたら個人に持っていかれたり、出す時間や分別をせず勝手に出されてあるごみを見ると、真面目にしている者は何なのかと考えさせられる。
- ・ 自分が住んでいるマンションではごみ捨てのマナーがとても悪いです。粗大ごみをシールを貼らずに捨てたり、チラシなどの紙ごみを郵便受けから取り出してそのまま床に捨てたりしています。うちのマンションだけの問題かもしれませんが、なんでごみ捨てのマナーが守れないんだらうと悲しくなります。
- ・ 決められた日に違うものが出されたり、燃やすごみの中にペットボトルが入っていたり、ペットボトルのラベル付きもあるし、マナーが守られておらず、常識が欠けているのを見ると嫌な気分になります。
- ・ 河川だけでなく市街地や道路などにごみが落ちていることが多く清潔さが無いように感じる。
- ・ 家の中にゴミがなければいいと思っているのか、ゴミ捨ての違反をする人が多い。モラルが低い。
- ・ ルール違反ごみがごみステーションに長期放置されていたり、不法投棄されているから。

- ・ ごみ出しルールを徹底させてルール違反が目には余るならば行政が徹底的に強い態度と意思を示す
- ・ タバコのポイ捨てが中心部に行くにつれて多い
- ・ ごみ処理やリサイクルは身近なことだし、誰にでもすぐできることなので、全員が面倒くさがらずにちゃんとルールを守るべきだと思います。出す日が違うのに平気で出したままにしてあったり、燃やすごみの日は猫やカラスがごみを荒らして道路や歩道が汚くなると、街も汚れてきれいなまちづくりはできないと思います。身近なこと、簡単なことから始めていくべきだと思います。大人より子供の方がちゃんとしている気がします。みんなが使うごみステーションだから、ルールを破ってもばれないだろうという考えが一人でも減ってくるともっと良くなると思います。
- ・ ゴミ出しルールが守られていないことや、持ち去りをよく見かける。ルール違反のシールが張られたごみが放置されている。
- ・ ゴミの収集の置き場がキチンと整備されていないので
- ・ 指定日以外にゴミがありいまだに指定以外の袋で出されて守られていない
- ・ ごみステーションにビンや缶が袋に入らず散らばっていたり、大型ごみにシールが貼っていない状態で置いてあり、いつまでたっても処理されない。マンションに住んでいるが、共同入口の郵便受けの上に使用済みのマスクが捨ててあったりもする。
- ・ ごみ出しルールを守っていない人がいる
- ・ 毎日のごみ出しルール違反が多く、生ごみから出た汚水が染み出ている、出した本人ではない人たちが後始末をすることが多い。そのような人に限って公共の道路や階段にごみを捨てても平気でいられる人です。各人が一番身近な生活環境を整えないと温暖化防止もできないと思う。

●リサイクルについて

- ・ 資源には限りがあるので大切に使用したい。
- ・ 以前リサイクルセンターがあって、まだ使用できるものをリサイクル品として、出していたが、今は、閉鎖されている。リサイクルセンターなどあれば助かる。メルカリもあるが、積極的には、使用していない。
- ・ リサイクル品目を増やすならスーパー、コンビニにリサイクルボックスを置く（元をたどればスーパーなどで購入したもの）
- ・ ごみを燃やさず、資源として活用する
- ・ ごみの収集やリサイクルについて行政が今以上に予算を投入し、効率的な状況に改善してほしい。リサイクル料金は税金で補う方が問題が発生しないと思う。
- ・ ごみステーションに出したもの（ペットボトル、ビン、缶）がどう再利用されているかが分かれば、出し方にも責任が取れるのではないか。

●ごみの分別について

- ・ 分別の種類を増やしてリサイクルを推進する
- ・ 分別できていないごみをよく見かけ、持ち去り行為もよく見かける。
- ・ 分別ができていない。
- ・ 日頃一番困っているのはごみ出しのルール違反です。隣保組に加入している人は全世帯ではなく、移住してきた新住人にはカレンダーを届ける際に徹底して個人に説明するシステムがあったらどうかと思います。大変ですが、隣保班内で注意し合うのは人間関係に影響が出やすいので難しい。
- ・ 賃貸マンション等でのごみの出し方がとても悪い。ごみの分別もしていないし、大型ごみも有料なのに平気で置いてある。もう少し厳しく取り締まるべきだと思います。
- ・ 学生マンションのごみ置き場を毎日見るのですが、分別されずそのまま出されています。貸す側がごみの分別をしっかり守るよう言うことも必要
- ・ プラスチック容器包装はプラスチックに、プラ製品は可燃ごみにというのが分からない。どういうものがリサイクルできて、どれができないのか。汚れたパック類が出されていると、これでリサイクルできるのか、どの程度汚れていたら可燃ごみに出したほうが良いのか。紙類をレジ袋に入れて出しているのはそれでいいのか。ホッチキスが付いたままの紙はそのまま良いのか。分からないことが多いと、面倒になり、分別意欲をなくしてしまいます。
- ・ リサイクル率が良いのかが気になる。分別の仕方でさらに効率が良い方法をさがす。
- ・ プラスチックやビン、缶などを捨てる時の袋の種類が決まっているため、出すのが面倒に感じる
- ・ ごみ分別ルールが守られていないものは仕分けをして清掃しているが、市民の一人として非常に残念に思う。私が自分のところのごみステーションを見守っているので、今のところきれいに保たれていますが、後後見る人はいないようで気掛かりです。
- ・ ごみ分別ルールが緩いと感じます。
- ・ ごみ分別が甘すぎるためごみ分別を強化すべき。分別の種類も増やして、リサイクルをより推進すべきと思います。
- ・ ごみ処理の問題は永遠に続くものと思われる。分別をしっかりすること、生ごみは屋敷内に埋めるなり、市民としてでき得ることはやっていきたい。当然省エネルギーも。
- ・ ごみ出しルールを守らない人がいる。生ごみをカラスと猫が食べてごみを散らかす。
- ・ ごみ出しルールを守っていない場所や場面を目にすることが多い。
- ・ ごみ出しルールの意識レベルの低下が大きな問題だと思う。

- ・ ごみ出しルールが守られていないものが目立つ。各自責任を持ち、住みやすい環境に努めていきたい。ごみ問題は一番身近な問題だと思う。
- ・ ごみ出しマナーの改善について
- ・ ごみ出しの日やルールが守られていない現状を改善してほしい。分別をきちんとできるように指導する環境、特に小さい時から身に着けられるように対策が必要ではないか。海外の成功例などを参考にしたい。
- ・ ごみ出しについては出す人たちのモラルが一番問題ではないでしょうか。市民のごみ出しルールを今一度徹底的に呼びかけてはいかがでしょうか？資源ごみはコロナの影響で子ども会の回収が少ないのでたまっている状況です。
- ・ ごみ出しについて、マナーの悪い市民が多いように感じます。
- ・ ごみ収集について、以前はよく回収不可のシールが貼られていることがありましたが、最近は見なくなり、住民の意識がだいぶ変わったことが見受けられます。
- ・ ごみの分別品目数は多すぎだと思います。これ以上増やされるのは少し迷惑です。
- ・ ごみの分別をきちんと行い、収集日をまもることが重要。
- ・ ごみの分別に迷いインターネットで調べることがあるので、細かく分かると助かります。
- ・ ごみの分別が不徹底だったり、道路にごみがポイ捨てしているのをよく見かけるから。
- ・ ごみの分別が徹底されていない。リサイクルできるものとできないものの区別が分かりづらい。ごみ減量の成果が実際に生活に現れる（目に見えてわかる）ようにしてほしい。
- ・ ごみの出し方や水の使い方など、何となくやっていた。しかし、快適な環境につながると思うので、ルールを守り、一つ一つよく考えながら行動していくべきと思う。
- ・ ごみステーションを見るとペットボトルのラベルがはがされていないまま出してあったり、指定されたごみ以外のものが出てあったりするので、分別がきちんとできるように、個人個人の理解を得るための呼びかけをすることが必要だと感じる。
- ・ (白川校区) 近所のごみステーションに毎日ルールを守らないごみが散乱しています。毎日片づけています。困っているのは私だけではないと思います。
- ・ (東町校区) ごみ出しマナーの悪さ・・・時間外や分別に関係なく出す人がいる。自治会でも色々策を取っておられるが、そのごみのために皆が嫌な一日を送る。特定できないので注意もできない。
- ・ (植木校区) 熊本市のリサイクルの仕方が、旧市と植木町で異なるため、旧市から植木町へ引っ越しされた方が、植木町のリサイクルに合わせて分別してもらえず、混ぜて出されるので困っている。リサイクル方法を統一してほしい。

- ・ 個人個人が身近なごみ出し等をきちんとすること
- 持ち去りについて
- ・ 持ち去り行為も増えたと感じるがポイ捨ても多くなったと感じる。
- ごみの減量、ごみ袋有料化について
- ・ 一番身近で生活に密着しているので取り組みやすい。ごみ出しでまだまだごみを減らす努力をするべきなのか。どうすれば効果が出るのかいろいろ私なりには気を付けているが、全ての人がそういう意識を持っているとは思えない。
 - ・ 視力障がいがあり回答が難しいです。ごみ袋の色が、青（燃える）と緑（埋立）が同じ色に見えて識別できません。分かりやすい色にさせていただくとありがたいです。
 - ・ 個人的にはテレビで見たコンポストに興味があるのですが、福岡市中心街のように街を挙げてのムーブメントとして流行させたらどうでしょうか。
 - ・ 各家庭で生ごみを処理できる小型のものがあればいいと思う。希望者には無料で配布してほしい。肥料ができれば市の公園などの樹木や花壇に利用できるようなすると、まちづくりに良いと思う。
 - ・ 我が家のことですが、ごみがどんどん増えていっている気がします。買う前に本当に必要なものか考える必要があることに気付きました。
 - ・ 過剰包装とプラスチックごみが多いこと
 - ・ 何らかのポイントでごみ袋がもらえると良い。
 - ・ ごみの量が多いように感じる
- プラスチック問題について
- ・ 指定収集袋を作ることがプラスチック削減になっていないと思う。いろいろ作りすぎだと思えます。
 - ・ 店側が環境にやさしい袋を提供すれば済む話しではないのか。紙袋にさえ金をとる店が多々ある。商売人根性が見え見え。
 - ・ レジ袋有料化は完全に愚策だから早く撤回してほしい。
 - ・ レジ袋有料化は地球温暖化や海洋汚染に役立つとは思えない。
 - ・ レジ袋有料化について、パン屋の紙袋まで有料になったのはおかしいと思う。
 - ・ レジ袋の代わりに収集袋を販売するのは良い方法だと思います。
 - ・ レジ袋が有料化されたのでマイバッグを使用しているが、ごみ箱に使用したりするためにレジ袋を購入してしまう。削減にはなっておらず、喜んだのは店だけの気がする。プラスチックごみ削減には、レジ袋より、肉や魚などの食品類の容器包装の方ではないだろうか。
 - ・ ビニール袋よりも他のプラスチック削減対策が優先だと思う。

- ・ コロナ禍で飲食店のデリバリーでプラスチック容器の利用が増えている。昨年の影響前にはプラスチック容器包装が週1回の回収で小袋で済んでいたのが、現在は40Lの袋でも入りきれないほど多くなった。外食の機会も減り、スーパーでの食料品購入も増えたため、プラ容器は増えるばかり。プラ容器の再資源化は緊急の課題だと思う。
- ・ 飲料水プラ容器のデポジット制度を熊本市でも積極的に取り組んでほしい。

●収集について

- ・ 毎日出すごみがちゃんと収集されたか気になり、チェックすることがあります。街がきれいになればいいと思います。
- ・ ごみステーションがあるのにも関わらず、家の前にごみを出していることに驚いています。収集日を守らず集合住宅のステーションに出している人もいます。リサイクルも分別もされていない。

●ごみステーションについて

- ・ 引っ越しをした時にごみ捨て場がどこか分からず、指定の場所にごみを捨てることや、分別もおっくうになってしまった。今もごみ捨て場がよく分からないまま家から少し離れた場所にごみを捨てに行っている。仕事もしているので朝の時間が惜しい。分別アプリでごみステーションの場所を教えてくださいたらとても便利です。
- ・ 町内で順番に収集場所を移動しているが、衛生上の問題(カラスなどの散らかし)や人の問題(自分の家の前にはごみを置きたくない)があり、一定の場所を決める対策を考えて欲しい。
- ・ 全部のごみステーションに収集庫を設置して鍵を付けて欲しい。マナーが悪い人が目立ち困ります。きちんとしている人がばかを見ます。
- ・ 住宅が増えごみが増えたがごみステーションは以前のままで狭くネットしかないため、猫やカラスがごみを漁って汚い。資源物を出す場所が離れているため普段のステーションに捨てられていることが多く、ルール違反が目立つ。ごみステーションの改善をしてほしい。各自治会に指導してほしいです。住宅が増え人口が増えている地区を市は把握して対応してほしいです。
- ・ 収集庫の完備(持ち去りやカラスなどの被害にも最適)。市の発展のためにできることは極力協力したい。
- ・ 熊本は家が建ってから、道ができるので、いちいち細かい道ばかり。その脇にゴミを出すので、朝は、通学通勤の自転車、ゴミ出しの歩行者等、危ないことが多い。
- ・ 道端がゴミステーションのところは、朝から通行が大変。毎日、危ないと思う。
- ・ ごみ収集場所においてごみを出したら黄色いネットをかぶせるようになっていますが、それでも網目からカラスがつついてごみが散乱している様子をよく見かけます。そのため蓋つきの容器に回収するようにすれば被害が少なくなると考えま

す。

- ・ ごみの収集場所がものすごく遠くて毎回大変である。ネットはついているが全然覆い切れない。熊本市のごみ分別は他と比べればやさしいようだがそれでも高齢者には難しい。指定袋が高すぎるのももう少し安くはできないでしょうか？
- ・ ごみステーションの場所や分別方法が分からず、同じ場所に曜日関係なく出されている。転入組や大学生などへの周知をして欲しい。隣保班長さんは、全戸にごみカレンダーと場所を告知し配布してほしい（特に、ビン・缶・埋立・資源）が可燃物を出す場所が違ったりするので。
- ・ ごみステーションのごみの散乱は目に余る箇所が多い。カラスと猫が原因です。
- ・ ごみステーションについて街路樹のそばにごみが袋のまま置かれ、それに黄色のネットなどをかぶせているが、観光都市として美しくないと思います。街並みに合うシックな色でさびない材質の収集庫を設置していただくとおしゃれで良いと思います。
- ・ ごみステーションでカラスが袋を開けてごみをまき散らしているところをよく見る
- ・ ごみステーションが歩道や狭い道路にあり、ごみを避けて車道を通ることになり特に子どもたちには危険。ごみを置く場所を考えてもらいたいです。また、ごみにネットをかけるのはとても良いと思います。
- ・ ゴミステーションが、用水路に面していてネットだけだと、カラスなどの動物がゴミを散らして衛生的に悪いと感じます。

●清掃活動について

- ・ 年2回程度の市民による清掃活動を実施してはどうか。
- ・ リサイクルできるものはリサイクルすること。ポイ捨てされたごみを見かけたら拾えるときは拾う。
- ・ 田崎の市電通りの樹木、雑草等は付近の住民が一斉清掃で取り組んでもいのではないと思う。水俣では、住民が驚くほど出て清掃活動しているところもある。市の行政にうるさく言う市民は多いが、自分から進んで取り組む人は少ない。
- ・ 熊本地震で影響を受けた道路端の隙間の雑草の撤去や、グレーチングの中の清掃の遅れを地域の活動でどうにかできないかと思います。市はそれに対して資材の提供と補助を出せばいいと思う。
- ・ 小さなこと、例えば道路に面した住まいの方は、我が家の前だけでもいつもきれいに過ごす。できることから実践することではないでしょうか。
- ・ 水俣では小さな川の川さらいは地域の人が、毎週のごみ出しも早朝から数十人出て分別している。

●食品ロスについて

- ・ 食事回数を減らし節約している人もいる。安く提供してもらいたい。何トンも廃棄することがもったいない。生活困窮者から見たら。一人ひとりが食のことに心がければ世界は変わる。餓死している人もいる。
- ・ お肉や魚は量り売りにする

●たばこ規制について

- ・ たばこを公共の施設などで吸えなくするのはいいが、施設や敷地で吸えないと近場の空き地で喫煙している。住宅街の死角の空き地になった空き地などで喫煙しているのを見るととても嫌な気持ちです。たばこは売っているのに、吸う人のスペースは施設や敷地で確保するべきなのではないか。
- ・ ゴミのポイ捨て、唾吐きはよく見かけます。また、コンビニ前の喫煙所は、吸わない人にとっては不快ですし、見苦しいです。喫煙室を設置した方が、まだいいと思います。差別とかではなく、一部市民の素行がよくない印象を受けます。もう少し、常識ある行動をとってほしいです。
- ・ 街なかでは喫煙スペースがありマナーを守っている人も多いですが、住宅街ではたばこのポイ捨て、歩きたばこ、自転車に乗りながら喫煙したりする人が多いと感じています。熊本市路上喫煙及びポイ捨ての禁止等に関する条例をもっと知ってほしいですね。

●その他

- ・ 廃棄物の現状についてよくわかっていないのが問題だと思う。
- ・ 面倒くさがらずごみの減量やリサイクル、食品ロスなど生活習慣から行っていくよう努力したいと思います。
- ・ リサイクルがどの程度行われていてそれがどうなっているのかも分からない。分別して出した資源物は市の収入となっているのか、お金を払って処分しているのかも分からない。ルールとして決められているからやっているだけの状態です。

4「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」についての意見（39件）

●気候変動・温暖化について

- ・ 約60年前のころの温度と比べて、夏の暑さを比べてしまう。夏は涼しく暮らすために冷房を入れ、冬の寒さには暖房で温める、自然に逆らって生活した結果が、今の温暖化につながっているのではと思います。
- ・ 問46で1つだけ選択というのはとても迷ったのですが、全てとは言えないけれど、地球温暖化が人々の生活に影響を与えていると思います。この問題はとても簡単にクリアできることではないので、全世界の個人個人がもっと敏感になって少

しでもいい、続けることが大事だと思います。

- ・ 冬と夏の気温差が大きくなって、洪水や気候災害が増えていると思います。
- ・ 地震や大雨洪水等が毎年のように起きている状況が心配
- ・ 地球温暖化は確実に目の前に迫る危機で、自分の生きている時代には関係ないということではだめ。自分のひ孫や子孫の時代まで続く地球環境を作ることが我々今を生きる人間の役目であると思う。
- ・ 地球温暖化のため四季も以前よりなくなったと思います、台風や雨もひどく、台風は何個も日本に来るようになったと思います。具体的に何をしたらいいかは分かりませんが、地球にやさしい生き方をしたいと思います。孫の代も住みやすい地球であってほしいです。
- ・ 地球温暖化のために異常気象が発生している（急な気温変化など）。
- ・ 地球温暖化による天災や災害が心配
- ・ 地球温暖化について未来のことを考えると心配します。
- ・ 地球温暖化で取り巻く問題として、気温が上昇したことにより海水面の上昇や大規模な間伐や異常気象での大雨などがあります。この問題は人間が暮らしの変化（産業革命）が原因だからこそ、人々が環境のことを考え、暮らしの変化が必要不可欠です。
- ・ 地球温暖化が年々進んでいるのでこの先夏をどう過ごしていけるのか不安です。
- ・ 地球の気候変動により、すべてが悪い方向に向かっていると思えてならない。
- ・ 大雨洪水等の被害を減らすこと
- ・ 気候変動は近年身近に感じるところです。早急に対策を考えなければ温暖化のスピードを食い止めることはできないと思います。
- ・ 温暖化による自然災害が発生しているので、わたしたちでできることをやっしていきたい（節電、EVへの切り替え、マイカー使用規制・・・）
- ・ 温暖化により災害等がひどくなっているような気がします。海水温を下げる方法はないのでしょうか？
- ・ 温暖化により気温が上昇しているため
- ・ 温暖化により夏はますます高温になり、そのためのエネルギーが必要になります。なかなか省エネになれないと思います。
- ・ ニュースで世界では山火事でコアラが死んだり、氷が解けているとか、日本では山に餌が無くイノシシやシカが民家のそばまで来ている等を見ると、地球がおかしくなってきたのではないかと思う。便利だけを求めず自然を大事にするような、少しは不自由な生活様式に戻るべき時ではないかと思います。
- ・ このまま温暖化が進むと特に夏の時期は暑さで体調を崩してしまいそうに思います。また母校は扇風機だけしか教室に設備されていなかったのも、エアコンは必要なのかなと思います。

- ・ 数十年に一度の災害が年々増えています。地球温暖化が原因であれば早急な対策が世界規模で必要と思います。個人でできることは限界があります。

●省エネルギーについて

- ・ 省エネルギーのため自分でできる生活の中で節約を続ける
- ・ 家庭での温暖化対策が一番だと思います。プラスチック削減や電力の削減が必要だと思います。太陽光発電の導入も大切だと思います。

●再生可能エネルギーについて

- ・ 太陽光発電はクリーンエネルギーと言いつつ、土地環境の破壊などの問題で代替エネルギーとしては不足していると思います。水素電池などの普及がもっと必要だと思います。
- ・ 熊本市内にも可能な限りの再生可能エネルギー設備を取り入れていくべきだと思います。
- ・ 熊本は自然が多いので、カーボンニュートラルのためのバイオマス利用や、空き地へのメガソーラーの設置の余地が、まだまだたくさんあると思う。

●脱炭素について

- ・ 電気自動車の充電箇所を増やす
- ・ ZEHの推進
- ・ 地球が誕生して40数億年と言われています。この素晴らしい環境を私たち人間の利便性だけで壊して良いのでしょうか。今使用している化石燃料を早めに転換し、私たち一人ひとりが直ちに消費を最小にすべきです。
- ・ 車社会のためいかにCO2削減を求めるかについて考える必要がある。
- ・ 自動車は水素や電動化すべき。そのための補助金も再生可能エネルギーの効率アップの開発、研究をやるべき。ただし、ごみの処理もできない原子力利用はやめたほうがよいと思う。
- ・ EVの値段を安くするよう国がメーカーに圧力をかけて欲しい。市中心部に進入する車はEVでなければ通行できないようにするほか、原子力発電所を安全に活用できるよう国が取り組むべき（技術立国の日本が先頭に立つべき）。
- ・ EVの迅速な普及促進が必要。達成目標の設定と工程表の作成

●広報啓発について

- ・ 地球全体で取り組むべきことで一人ひとりの心がけが大事だと思う。地球温暖化による悪影響を多くの人に知ってもらい、どういうことを心がけて行動していくと良いかを具体的に教えていく必要があると思います。
- ・ 地球温暖化防止は世界的課題であるので自治会からの身近な啓もう活動が効果

が高いと考えます。

- ・ 地球温暖化の状況に関する具体的な情報が入ってこないため
- ・ 太陽光や省エネ家電などを市民が積極的に取り入れられるような取組がもっと必要であると感じます。また市民への環境問題への意識付けが少ないとも感じます。
- ・ 省エネルギーや再生可能エネルギーは個人では難しいので、市で推進して皆の意識を高めて欲しい。
- ・ 年々激しくなっている台風や大雨での災害は地球温暖化が原因ならば、我々一人ひとりが排出ガスを抑えるよう努力するよう、市からもっとアピールし皆が取り組みようにしてもらいたいと思います。

●その他

- ・ 原子力発電所はいらないと思う。

5「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」についての意見（24件）

●街並みについて

- ・ 歴史ある古い建物や町並みを残してほしい。もっと文化的な物事が表面化してくると今後の観光資源にもなると思う。新しく便利だが、つまらない商業施設が目立つ。熊本の特色をもっと考察してほしい。
- ・ 新屋敷、新町、唐人町など古くからの風情ある街並みが熊本地震以降失われつつあります。熊本の城下町としての美しい歴史を大切にしたい。私たち市民のためにそれはよそから訪れる人々にとっても熊本に来てよかったな、美しいところだなと思ってもらえるでしょう。熊本に住む私たち市民が誇りに思え、観光の資源にもなります。
- ・ 雑多に見える街並みには外部から人を呼び込めないで、できるだけ統一された街並みを作ることで、市外からの移住者も長く住みたいと思うのではないか。（看板の規制や使用外壁色の規制など）
- ・ お城を中心とした街の整備、緑など今ある景色の美しさを大事にし、皆が憩いを感じる環境を守ってほしい。

●公園や緑地について

- ・ 河川敷付近に駐車場が少なく気軽に散策できない
- ・ 中央区の都心部（下通アーケード内やサクラマチなど）にもっと緑を増やしてほしい。
- ・ 地震後の整備も大変でしょうが今ある自然も大切にしたい。熊本城総合事務所の跡地の「ひごさざんか」が雑草に埋もれてかわいそうだ。

- ・ 地域の公園を管理する人が少なくなっている。
- ・ どの公園にも身体を鍛えるための運動具を備え、散歩の途中運動できる環境を整えて欲しい。清潔なトイレを作ってほしい。
- ・ 身近に市民や子供たちが集まる憩いの広場などが無い
- ・ 私の住居の近くにもいくつか公園があるのですが、夏場の日差しの強い日などに日影がほとんどなく、ほとんど使用されていません。東屋など日影で休憩できるようにできればその場所の活用率を上げ、気軽に使用できると思います。
- ・ 江津湖一周のウォーキングが日課です。きれいに整備され、利用者も満足し楽しんでいるように思います。ラムサール条約登録により楽しみが規制されることには反対します。余談ですが、江津湖に事故に遭い右足首を切断しているアオサギがいますがご存知ですか。毎日エサをやる方がいらっしゃいます。毎日感動しています。
- ・ 江津湖の近くに住んでいますが、道路はなるべく土の方が良いと思います。舗装が進んでいますので、自然体で・・・。次の世代まで引き継ぎたい
- ・ 公園遊具が壊れても新しい遊具が設置されない。
- ・ 公園を含めて緑が少ない。アスファルトが多く子供を遊ばせる場所が近所に少ない
- ・ 公園の除草が遅く感じる。
- ・ 公園などの除草作業の頻度を増やしてほしい
- ・ 熊本市中心部の緑がかなり少なくなった気がします。福岡のようなコンクリートの灰色の街じゃない熊本の街が好きですが、桜町は大げさかもしれませんが、セントラルパークのような森に近い公園を作ってもいいかと思いました。
- ・ 街路樹や公園などの緑をもっと増やしてほしい。暑い夏の気温低下にもつながるのでは？
- ・ 街なかに自然を感じながら散歩できる公園などを増やしてほしい。
- ・ 公園も狭い場所だったり、子どもの遊び場所がだんだん減ってボール遊びができる公園がない。
- ・ CO2削減を目的に市電の軌道が芝生に変更されてきましたが、費用対効果や景観、維持費等の視点から検証はされてきたのでしょうか。寄付金集めもしていましたが、このような愚策はやめてほしいと思います。
- ・ (山ノ内校区) 歩いていける距離に公園が全くありません(遊具が何もない広場ならいくつかありますが・・・)。本当に困っています。
- ・ コロナの検査場を作る際の事前の報告をして欲しかった。また、コロナウイルスが落ち着いたら検査場跡地の使い方について住民の意見を聞いてほしい。ちなみにその跡地には公園を作ってほしい。

6「大気状況」についての意見（13件）

- ・ バスの排気ガスが黒煙を上げているのがあまりにもひどいと思います。他の自治体ではこのような状況は見られなかったのでショックでした。制度を整備すればすぐに改善できるはずなのに事業者や議員の方の反発に配慮して実現できないのでしょうか。それとも自動車で移動されていると気づかない方が多いのでしょうか。緊急に対応いただきたい課題です。よろしくお願いいたします。
- ・ 中国が近く、必ず熊本は黄砂・PM2.5問題に関わるので。
- ・ 中国から黄砂やPM2.5などが飛来するのをなくすことが重要だと思う
- ・ 大気は地球の問題で市だけのことではない。一人ひとりが地球を我が家として思うと良いのだが、私自身も含めそれにはもう一歩だと思います。
- ・ 他県から引っ越してきた際に、熊本市内のPM2.5の酷さに驚いた。現在は、地点ごとにリアルタイムの観測状況を表示しているサイトを見ているが、テレビなどでももっと情報を発信してほしい。
- ・ 新聞等で大気汚染がひどい日は健康面にも影響が出て、結果生活の質の低下を招くとの記事があった。熊本市は緑も多く環境も整備されており、大変住みやすいと感じています。市内だけの問題ではないと思いますが、大気汚染が改善されればQOL向上につながると考えます。
- ・ 市政だより等で環境に関するお知らせやイベントをされているのはよく見かけます。自分がなかなか参加できないのが申し訳ないです。PM2.5の濃度が高いときに嫌だなと思います。他の点についてはいろいろ取り組まれていると思います。
- ・ 空気が汚れてきた気がするので、車の排気等の規制強化
- ・ 近年、熊本市内の夜空に星が見えなくなっている。大気が悪化していると思われる。
- ・ バスなどの排気ガスの匂いが気になる。
- ・ PM2.5などについて、風の強さで色んな影響があるので、常に気温や風向きや風速などを発表してほしい。
- ・（御幸校区）近所の庭でドラム缶焼却が行われていて常識外れだと思う。住みよいまちには生活環境の快適が一番だと思います。
- ・ 駅や電停の住宅地の近隣に広い駐車場と駐輪場を設けてマイカーでの通勤を減らし、大気汚染を減少させる（光の森と健軍周辺等）。街の中心部の一部について車の進入禁止にする。

7「河川など水辺の美しさ・清潔さ」についての意見（27件）

- ・ 白川の工事があっているが、河川の中に土砂を投入していて、白川の水質が悪化しないか、下流域の水質に影響しないか心配している。白川の工事の必要性、具体的な目的を明示してほしい。アンケートを紙媒体で配布しないで、インターネットの利活用や民間会社との連携で熊本市ホームページをより使いやすいHPにすることを希望する。
- ・ 白川の護岸工事が進んで、土手が無くなったり緑地帯が減少している
- ・ 白川の河川敷をもっときれいにして散歩できるようにしてほしい。
- ・ 白川が美しくないと思うときがある。
- ・ 道路や歩道などの確保のため水路が減ってきている
- ・ 他の町と比べると、町中に流れている川もそこそこ綺麗です。ただ、その分どうしてもゴミが目立ってしまいます。
- ・ 川に粗大ゴミ（自転車・机等）があり、それが放置されている現状。流されてきたか、不法投棄かは知らないが、それを放置しておくのは問題だと思う。
- ・ 川が汚い
- ・ 生活が身近な川が汚染されている。
- ・ 人口が少なくなっているにもかかわらず、市中心部から市街地に人々が移動し、山が砕かれ高層住宅が増し、田畑や緑がなくなり、河川などの水辺の美しさ、清潔さが失われていっているように思います。
- ・ 職場の近くを流れる川について、あまり水はきれいじゃなさそうだけどコイみたいな魚も泳いでいるため、見ていてかわいそうだなと思ってしまいました。
- ・ 水草が茂っていて取り除くのが大変だとは知っているが川をきれいにしたい。
- ・ 市内を歩くと、ゴミがたまり水が枯れているか濁っているか悪臭が漂うか、という河川をよく見かけます。（県外出身で）水の国と聞いていたので、地元よりも汚れていると感じてショックでした。
- ・ 江津湖が近くにありよく散歩するのですが、手入れがされていてとても歩きやすいです。57号線東バイパスをウォーキングすると小さな川や井手を見かけますが、汚いですよ。プラスチックごみ、缶など捨てられていて、管轄外でどうしようもないのかもしれませんが。このような川は子供たちの目にも留まると思いますが、きれいになればうれしいです。
- ・ 湖や池の水が汚くなったと思う
- ・ 犬の散歩で河川敷をよく歩くが、川のごみの多さが気になります。削減を目指すことが課題かなと思います。
- ・ 近くの川にごみが落ちていることがあります。
- ・ 基本的には熊本の自然は多くの場所が綺麗に保たれていると思っています。ですが、大学の授業で河川や干潟に行くことがありましたが、ポイ捨てされたゴミ

などが見られ、美しさ、清潔さに関しては一部維持されていない場所もあるのかなと感じました。

- ・ 海が汚くなってきている。前はもう少しきれいだった気がするので、青い海やきれいな砂浜が欲しい。
- ・ 河川兩岸の雑草が目立ち、定期的に除草して欲しいと思います。気候変動による災害対策の強化も必要だと思います。
- ・ 河川及び農耕地へのペットボトル及びゴミのポイ捨てが多い、環境教育の徹底をお願いしたい。
- ・ 河川に土砂が堆積して水が流れていない。土砂を取り除いてほしい。洪水が心配です。
- ・ 河川にごみが捨てられている。ペットボトルなどいろんなごみの山に唖然とします。一人ひとりの認識の問題だと思うが。
- ・ 河川などの水辺をもう少し市民がくつろげるようなつくりにしてほしい。熊本市全体で考えて欲しい。他の都市をたまにテレビなどで見ると羨ましく思います。
- ・ 下江津湖の汚れが気になるし、見たことの無い熱帯魚のような魚が泳いでいるのを見て大丈夫かなと思ったりします。また、夏場に大量の浮草が繁茂し、ボートなどで除去作業されていますが大変だなと思います。大学の競艇部の練習も。もう少しきれいな水面でできれば良いですね。
- ・ (飽田東校区) 下水道が整備されて十数年になるが、いまだ下水道に接続しておらず、浄化槽の適切な管理もしていない家が見受けられる。下水道法で接続が義務付けられていると思うので市で指導して改善に向かうようお願いしたい。水路の水質悪化、悪臭を防ぐためにも。
- ・ 下水道をもっと広範囲に設置拡大を望みます。

8「生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭などが無い）」についての意見（40件）

●騒音、振動、悪臭、その他全般について

- ・ 特に中心市街地は騒音、振動、悪臭がある。工事が頻発していたり、車や人の音がひどいと感じる。
- ・ 通勤・通学等に伴う自動車交通の市街地への流入による環境の悪化（騒音・振動など）
- ・ 騒音等の基準を目に付くところに書き示すものを表示すること
- ・ 集合住宅で大きな声で話している人がコロナ禍で以前より多く増えたから。
- ・ 騒音、バイクがうるさい
- ・ 人が生活するうえで騒音（電車の走行音）や住みやすい、緑、水、森林を拡大、充実させることや車の交通量の多さで時間や健康（精神不安）が増えています。

- ・ 身近な環境悪化の解決（野良猫の排泄物や現物被害対応等で困っているが、このような身近なことの解決。）
- ・ 住みやすい街になれば人が集まり、生活環境を整えるためのお金も集まってくると思う。九州で2番目に熊本県は人口が多いが、福岡市のような住みやすさがあればもっと環境を良くしたいと思える人が増えると思う。
- ・ 若者のバイクの騒音や公園での火遊び等が目立つため、小さい子どもへの悪影響が心配。
- ・ 市電の騒音
- ・ 現在地に居住して30年になる。年2回の清掃作業には戸別に1名ずつ参加するが、それすら参加しない家庭もある。野良猫へのエサやり問題は近所間にトラブルにつながる所以说えない。そのような人はごみ問題等は自分には関係ないとの態度。環境問題ばかり、もとは人間の問題だと思う。
- ・ 居住環境の不良による騒音が気になる
- ・ 気持ちよく生活したいための環境は大切だと思います。ここのマナーが悪いのが一番の問題でしょうが、行政で罰則を強化してもいいのかなと思います。
- ・ 環境問題は身近なことがあるかどうかで興味、関心を引くように思う。例えば、私の近くにいくつも公園があるがとても手入れが悪い。特に最近はコロナ禍で市の財政がひっ迫しているのか、近所の人を手作業で草刈りをしている。世界の環境問題も大事だが、足元からもっと解決してほしいものである。
- ・ 幹線道路沿いは夜間も大型トラックが走り、音や振動があり、排気ガスも多い。

●騒音・振動について

- ・ 夜の騒音
- ・ バイクの騒音の取り締まりを希望します。
- ・ バイクによる騒音
- ・ いつの時代も一部の人間が害をなす。騒音や振動などはなくなることは難しいと思う。
- ・ アパートに住んでいますが、深夜の上の階からの騒音で全然眠れません。
- ・ (日吉校区) 川尻市道などの狭い道を大型トラックやバスが通ると家が揺れるし、塀のぎりぎりをスピードを出して走行して危ないので、規制などをして改善してほしい。
- ・ (日吉校区) 国道3号線の近くであることから、深夜や早朝のバイクの騒音で困ることもあります。現在はコロナと寒さで少ないですが、春先になれば多くなるでしょうね。
- ・ (川尻校区) 私が住んでいる近所では夜中に暴走族がバイクで騒音を立ててよく走っているのが迷惑です。警察に取り締まってほしいです。

- ・(城北校区) 一日中車が往来する道路の沿線に住んでいます。一方通行にしてくださいと以前お願いしましたが改善されません。
- ・ 下水道工事を付近でしているが、工事の音も工事をする人の声もうるさい。

●悪臭について

- ・(北部東校区) 農家の人が畑にまく肥料の悪臭が夕食時等に室内まで入ってくるし、何かを焼くにおいが20時近くに時々あることなど少し問題であると思われる。
- ・(日吉校区) 歩道付近の排水口から悪臭がする。
- ・(中央区) 家の裏にホームレスの人が空き缶をたくさんためていて悪臭と蚊が湧いている。
- ・(銭塘校区) 自宅の庭や田、畑でごみを燃やされている方がいますが、違反ではないですか？燃えカスや臭いに困っています。農薬散布される場合も突然なので困っています。

●動物による被害等について

- ・(楡木校区) 飼い主のマナーが最低で、犬猫の排せつ物が道路のあちこちにあり、悪臭がひどい。
- ・ 市街地のカラス問題は都市としてマイナスのイメージにつながる。
- ・ 動植物園の動物たちの飼育環境、外猫の問題
- ・ 自宅周りの犬や猫の糞もひどい。悪臭で困っている。
- ・ 街路樹に夕方鳥が集まり糞害がひどい。車が汚れたり、悪臭がひどい
- ・ のら猫被害はどうにかならないのでしょうか。のら猫にエサをやらないなど、周知してほしいです。
- ・ カラス、ムクドリが多く、通勤中の糞や糞によるにおいが気になる。街づくり、環境づくりの一環ととらえて取り組んでほしい。
- ・ 私の住んでいる地域では、のら猫により、車を傷つけられたり庭への被害など皆困っています。よかれと思って安易にエサをやったりする人がいるからです。本当に困っているので、環境保全のためにも、安易に餌をやったりせず、飼育する場合は責任をもってほしいと思います。のら猫対策などを強化してほしいです。よろしくをお願いします。

●その他

- ・ 熊本地震でマンションなどに亀裂が入っていたり、ずっと外灯が消えている建物がまだまだあり、不自由な思いをしている方がたくさんいるにもかかわらず、不動産会社等の怠慢で改善されないまま放置され、安全性が問われる場所が多々あります。民営の住宅に市が介入できる範囲は限られていると思いますが、大き

な事件が起きないように市から市内の不動産会社等に警告や注意、指導を早急をお願いしたい。

- ・ 北区楠野町では、竹やぶの竹が折れていつ道路に落ちてきてもおかしくない状態で放置されている竹やぶがあります。誰が整備するのでしょうか？
- ・ 幹線道路沿いは整備されているが、脇道や人が住んでいない空地には雑草や木が生い茂り見苦しいし、枯葉をまき散らし周辺の人は大変です。校区ごとにそういう情報を集め、年に何か所ずつでも整備して進めて欲しい。

9「環境に配慮した道路、歩道などの整備」についての意見（207件）

●道路の整備について

- ・ 榆木から国道、県道、市道を走行していると道幅が狭く、子供の生命に害するところが多く、人口増加による事故や事件が多くなっています。
- ・ 立田山近辺などで車での通行が難しい場所があると思うので、信号の整備や道路の整備などが何とかできないものかといつも思います。交差点が複雑な場所があるのでいつも少し怖いです。
- ・ 道路や歩道の白線や表示が消えかかっている。横断歩道が少ない
- ・ 道路や歩道について、災害や古くなったものも多く改善すると良いと思う。
- ・ 道路がきれいで整備されているときれいにしなければとみんな思っ行動につながると思う。熊本の道路や歩道は狭くてガタガタな印象があります。
- ・ 狭い道路が多く歩道も少ない
- ・ 都市高速道路があると良いと思う。渋滞が減れば熊本県民の時間が有効に使えらると思う。
- ・ 道幅が狭くて子供が通るのに危険だと思う箇所が結構あるので気にかかる
- ・ 地震の影響で道路の整備等がまだできていない部分がある。二次災害を引き起こしかねない。
- ・ 道路においても、工事の跡が多数多く、均一な道路が少ない。
- ・ 傷んでいる道路や歩道が多い
- ・ 車道と歩道の白線をはっきりと引いてほしい。
- ・ 室園町電鉄本社前→朝日野病院→清水万石通り→県営北津留団地前・・・この道路は歩道もなく、道路幅が狭く、大型バスや自動車の通行が多く、通学路でもあり、歩道の整備が必要
- ・ 車が多い道路の整備をして欲しい。歩行者の安全な道路にして欲しい。
- ・ 自転車通学の子もたちが、安全に通行できるように、道路を整備して欲しい
- ・ 自転車で通勤しているが、道が悪く狭いところが多い

- ・ 自転車で走行する道路がまだまだ狭くて危ない箇所が多いと思う。
- ・ 災害による歩道の破損やそれに伴い人に危害が及ぶ可能性。
- ・ 子どもたちの通学路の安全性
- ・ 国道3号線の道路の凸凹と歩道の狭さと除草不足
- ・ 熊本地震で発生した歩道の亀裂や凸凹等がまだ補修されていないので、早急に直してほしい。また道路を透水性のある舗装にして、水を地下に逃がしてほしい。
- ・ 熊本市西部の交通の不便。高速道路までが遠い。
- ・ 環境に配慮するのはもちろんだが、いちばんは人々の命をまもる安全な道路、歩道の整備であると思う。交通事故を少しでも減らせるように、狭い道路、見通しの悪い道路、未舗装道路には躊躇なく資金を投入してほしい。
- ・ 幹線道路以外の道路の狭さ（対向車来ないでと思いながら運転する道路が多い）
- ・ 温暖化に対して道路を白い遮熱塗料を使うと良いと思う。
- ・ 雨の日の夜の運転は道路が雨水で光って運転しにくい。雨水がアスファルトを浸透して土まで届けば地下水を増やし、運転もしやすくなる。透水性の舗装がされている道路はあるが少ない。
- ・ 安全ではない道路がある。
- ・ 市道で4m幅があるのに舗装されていない箇所がある。横が田畑であるためだと思われるがおかしい。
- ・ まだまだ狭い道が多く子供達が危険に遭わない様な道作り。
- ・ (楡木校区) 私の家の前の道路はトラックやバスがよく通るためアスファルトがひび割れている。よく家屋が揺れたり大きな音がするが、一向に整備されない。
- ・ (楡木校区) 我が家の前の道路が傷んでいて何回も市へお願いしているが補修してくれません。
- ・ (力合西校区) 小学生の子どもが3人いますが、通学路の路肩の陥没部分で転倒したり、夜道が暗くて道を間違えた、という話しはしょっちゅう耳にします。まだまだ熊本市の道路は古いところが多く、環境面や安全面でも注視していただきたいと思っています。
- ・ (北部東校区) 自宅前の道路を大型車が通るたびに2階の振動を感じるし、近所の人からも同じ話を聞く。
- ・ (中央区) 5年前の地震から車が通るたびに家が揺れる。
- ・ (託麻北校区) 小学生の子供と歩くことが増え、いかに道路が歩行者へ不親切なものになっているかが身に染みて分かりました。通学路でさえとても危険な箇所が多く、大人の私でも歩くことが困難で恐怖を感じます。歩道の幅、横断歩道、信号、空き地から伸びる大量の木や草、石ころ、電柱、街灯の少なさ・・・弱者をまもる整備を色々としてほしい。切実な願いです。

- ・(託麻西校区) 自宅前の道路(4m幅)は、朝夕は通学で、朝は車の進入禁止になっている。その時間以外は大型車の通行も多く、スピードを落とさず通る。この道路は傷みも早く、地震以後はひび割れが目立ち困っている。
- ・(清水校区) 市道なのかはわからないが、アパートの出入口は砂利道なので、雨が降った次の日は水がたまり、水はけが悪いです。
- ・(花園校区) 数年前に新しい道路ができて大型の車も多く走っています。それほど渋滞しているようには思えませんが。その下流域に橋が数mしか離れていないのに2か所工事中です。橋ができるということは道路が通るということですよ。それほど近々に道路を3本も4本も走らせて、埃はたつし、騒音はするし、どのような考えでこんな状態になっているのでしょうか？
- ・ 自然環境(公園等)への安全な動線の確保。歩行者の為の道路整備。例 立田山へ車に気兼ねなく歩いて行けるか？北岡自然公園も同様。江津湖も僅かだが車が走る所を歩行。

●歩道・自転車道について

- ・(飽田西校区) 通勤族で熊本に帰って30年になりますが、南区の川口並建線の道路は歩道が狭くバス停も幅が狭いので高齢者には危ないですが、バスが頼りです。歩道の整備をお願いします。
- ・ 歩道をもっと広くし徒歩レーンと自転車レーンの道路を作ったらいいと思う。歩道に花を植えたりしたら緑が増えるのではないかと思う。
- ・ 歩道は通りやすくし、車いすの人がスムーズに通れるようにして欲しい。石畳は必要ないし、もっと街路樹を育てて欲しい。
- ・ 歩道の整備がまだまだで杖を使用していて歩きにくいと思う
- ・ 歩道の広いところが少ないし、傷んだ道路が多いと感じる。
- ・ 歩道とともに自転車道や自転車専用レーンを整備すべき。熊本程自転車が多いところはなかなかないのに全く整備されていない。自転車は環境にも健康にもやさしい。
- ・ 歩道が老朽化し凸凹が多く高齢者は歩きにくい(杖やカートも使いづらい)
- ・ 歩道が整備されていないため危険な場所があります。高齢者が多いので心配です。
- ・ 歩道が狭く歩くのが怖いところが多い。
- ・ 歩道が狭くて自転車等が車道にはみ出すところ。横断歩道が近くになくて車道を横断する人がいるところ。
- ・ 歩道が狭い道が多く危ない
- ・ 歩道がなく電柱が歩道をふさいでいる道路がある。
- ・ 歩行者のための歩道が整備されておらず、狭い歩道のところを学生が自転車や歩いて下校している姿がかわいそう

- ・ 歩行者にもっと優しい歩道にして欲しい。見栄え（レンガや樹木）などはいらなくて、高齢者やベビーカー、障がい者中心に考えて欲しい。
- ・ 歩行者、自転車に優しくない作り
- ・ 特に中央区出水地域では道が細いわりに車の通行が多く、歩道もない。特に八王寺通りは歩道が全くない中、中高生が車のすぐ脇を歩いたり自転車で通学しており非常に危険。少なくとも歩道をしっかり市の責任で整備すべきと思います。事故が起きてからでは遅いです。環境の前にまず安全の確保が大事だと思います。やるべきことからやってほしいと思います。
- ・ 歩道が凸凹している場所が多く、高齢者のためにもっと歩きやすいフラットな歩道にして欲しい。
- ・ 歩行者のことをあまり考えていないと思う。車の優先感が特に強いと感じる。
- ・ 近くのスーパーに歩いていこうとしても安心して歩けない状況。中途半端に終わっている歩道。
- ・ 歩道の段差があるところが多いので、ベビーカーを押す方や車椅子の方は大変だと思います。
- ・ 道路が狭く、歩行や自転車に乗るときに危険を感じる。同様に車を運転する際にも危険を感じる。
- ・ 道路が狭く安全とは言えない歩道が多いと感じる。通学路や幹線道路は。電柱をなくし広い舗装で、自転車通行帯が必要だと思う。
- ・ 唐人町などの歩道のレンガが割れてガタガタで危ない
- ・ 凸凹の歩道や段差が多く歩みにくく、狭いところが多く、カートを押した高齢者には歩きづらい。
- ・ 通学路の安全性、同じ区域の毎年の道路工事、自転車専用道路ができれば良いと思います。
- ・ 段差の少ない歩道、安全確保な歩道が少ない。
- ・ 自動車の排気ガスを減らすためには歩行者や自転車を使う人が安心・快適に走行できなければやはり車を選んでしまうと思う。地震で作った仮設道路を歩行者や自転車用に使えないものかと考えていました。緑川沿いの道路を自転車走行している人を見かける人がいるが、大変危険に思う。木部塘の道路もあともう少し整備するだけで、自転車歩行者の利用が増えると思う。
- ・ 歩道の真ん中にある電柱の撤去や、歩道、自転車道の安全管理。
- ・ 杖を使うようになって初めて道路の悪さを感じています。凸凹で水はけが悪く非常に歩きづらく怖いです。道路の白線も消えかかっています。
- ・ 車道と歩道の境が縁石等で仕切られていないところも意外と多い。水がたまったり、道路幅が狭く危ない箇所もある。通過車両の多いところでも危険な箇所が多い
- ・ 車道と歩道が狭く、歩道がない道路も多い

- ・ 車と自転車がが多い。自転車道と歩道の整備がいまいち
- ・ 車の免許を持たないので、どこに行くにも自転車を使用しているが、自転車で道路の左側を通行するときの段差や側溝で自転車が傾き転びそうになるときが多々あるため、道路の段差をなくしてほしい。
- ・ 自転車道路や歩道の整備
- ・ 自転車専用道路があったらいいと思う。
- ・ 私は足が悪いので道路の凸凹で転びそうになる。歩道は生活の一部です。夜や雨の日は本当に怖いです。コロナが落ち着いたらいつも歩いていた散歩道をまた歩きたいと思います。早く楽しく歩けますよう願っています。
- ・ 私の母の移動手段は自転車なのですが、歩道が狭く、自転車が走れるスペースが少ないため車道を走らざるを得ない状況が多く、危険を感じているようです。交通弱者に配慮した道路の整備に取り組んでいただきたいと存じます。
- ・ 歩道が狭く自転車に乗りにくい。
- ・ 江津湖周辺の歩道の整備
- ・ 公共交通機関を利用する人が少なく、熊本市内は車やバイクが無いと移動が不便な時がある。歩道が狭かったり、段差が多いため、自転車に乗る怖さが少しあるため、自動車に乗ることもしばしばある。
- ・ 車いすの方々などが安心して移動できるための道路整備を期待します。日頃より市行政にご尽力いただいていることに感謝いたします。お世話になります。
- ・ 交通量が多い道などに歩道がないところが多い気がする。
- ・ スクールゾーンなのに歩道がない場所が多い
- ・ 狭すぎる歩道があります
- ・ 歩道をもっと増やして子どもたちが安全に歩けるようにしてほしい。
- ・ マンホールや側溝に穴が開いており、杖を使う人にとっては転倒の心配がある。車道と歩道の区別がつかない道路もたくさんある。
- ・ まだ整備の行き届いていない歩道や道路が多いと感じる。他県のいい例を参考に改善すべきだと思う。
- ・ コロナ禍で自転車が増えたように感じる。自転車利用時に道路が走りにくい。
- ・ こどもやお年寄り体の不自由な人でも安全に歩ける歩道の整備
- ・ ウォーキングを最近やっと始めたばかりですが、安全で、気持ちいいと思うような歩道が近くにありません。
- ・ ウォーキングロードとサイクリングロードの整備をもっとしたほうがよいと思う。
- ・ 今ある道の整備をしてほしい。歩行者のために段差が高くなった道、側溝と車道の境目が割れて段差になった道など自転車で走るのが危ない段差がたくさんある。また、自転車が通れるスペースが狭い。
- ・ (清水校区) 近所の道路は狭いので歩道がなく、通学路もあり危険だと思います。

- ・ 自動車レーンをもっと充実し、車を使わないチョイスが増えるようにする。
- ・ 駐輪場の整備が素晴らしいと思う。

●渋滞について

- ・ 車に頼った移動、渋滞の発生、その渋滞解消の為の道路整備、それによる排気ガスの増加。
- ・ 慢性的な渋滞。車の運転時間が増えれば環境にも悪い
- ・ 道路の渋滞がひどいこと。西回りバイパスの開通が遅いこと。
- ・ 燃費が悪くなり排気ガスの量が多くなることで地球温暖化にもつながると思う。
- ・ 電車通りを中心とした朝夕の交通渋滞。
- ・ 通勤、退社時の渋滞
- ・ 朝夕の市街地の交通渋滞による排気ガスでの空気の汚れ
- ・ 中心部の交通渋滞（車社会の熊本に、他県からの転居者は驚いているようだ）
- ・ 信号機のタイミングが良くない
- ・ 渋滞を発生しにくくするような道路整備
- ・ 渋滞を緩和すること
- ・ 渋滞する道路が多い
- ・ 渋滞する箇所が多い
- ・ 渋滞が多いためバイパスや2車線の整備
- ・ 渋滞が起きやすい道路となっている。
- ・ 渋滞がひどい(信号の制御がうまくできていなくて車の流れが悪い)
- ・ 車で通勤しているが、毎日、行きも帰りも渋滞している
- ・ 市内の道路渋滞
- ・ 近年幹線道路の渋滞がひどい。交差点や分岐点などの改良や信号機の点灯時間の調節が必要。
- ・ バイパスの道路渋滞状況はひどい。道も狭い、危険な箇所が多い。
- ・ いつも混み合う道路がまだまだ多数あり、渋滞＝無駄な排ガスの発生と考える。
- ・ (託麻南校区) 朝夕の産業道路、国体道路、農免道路の渋滞

●自転車の運転マナーについて

- ・ 両ひざの手術を行い、病院や買い物に行くときなど自転車のマナーが気になります。横断歩道も一度で渡り切れないときは、公共の乗り物が歩くことしか手段がありませんので、とても怖い思いをしています。
- ・ 道路（特に歩道）が、市中心部から離れると歩くのに怖い歩道が多くなる。自転車が右から左からスピードを出して通り、タイル割れも多い。5年前に数十年

ぶりに熊本に帰りましたが、自転車運転ルールが高校生は特に悪いと感じます。学校での教育も考えていただければありがたいです。

- ・ 他県から移住したものです。熊本の方は車、バイク、自転車ともに荒い運転の方が多く、特に自転車に乗る学生は何列にもなって歩道をふさいで大きな声で話しながら通り過ぎ、障がいを持っている人たちは身の縮む思いです。一度は接触し手に傷を負ってそれ以来恐怖です。市民が安全に生活できるように、市や学校からの徹底した指導をよろしく願います。

●街路樹や植栽について

- ・ 公園の樹木が横断歩道の信号を遮っている。
- ・ 道路等の植木や除草がされておらず、見た目が悪い
- ・ 道路わきの雑草が伸びて見晴らしが悪い時がある。車椅子の人が通っているのを見て危ないと思った。
- ・ 道路の雑草が多く、景観が良くない事。
- ・ 道路の中央部の緑地帯の剪定のやり方について、時間と金額はかかりますが、除草と剪定は別に実施したほうがよいと思う。
- ・ 道路にはごみがポイ捨てされており、一人ひとりの意識を高めて欲しいです。街路樹の手入れが悪く交通の妨げになっているところもある。季節感がない街路樹ももう少し改善してほしい。
- ・ 国道57号線（通称東バイパス）の街路樹が年々少なくなっているのを気にかけている。保全に金がかかるなど課題も多いのだろうが、緑豊かな生活環境を後世に残したいものだ。
- ・ 県道市道の歩道に花々や植物が植えてあり、とても美しい。
- ・ 歩道の樹木が茂りすぎて歩きづらい。成長しない木々に交換したらどうか。
- ・ 街路樹の伐採をよくみるようになった
- ・ 街路樹にクスやイチョウなど大木になる木を植えており、時間がたつと切る必要に迫られる。これでは素晴らしい道路にはならない。道の広さと樹種はしっかりと考えて植えることが大切ではないか。古木の並木道が熊本市にはほとんどない。
- ・ 街路樹にクスノキが植えられているが、間隔が狭く、大木になるし（特に第二高校通り）、台風や大雨の時には枝が折れて道をふさぎ、日当たりが悪くなって、毛虫などの害虫が春先には見られるため、クスノキが植えてある道の下は歩けません。クスノキの木の管理にも多くの税金が使われていると思います。反対とは言いませんが、クスノキの植樹はあまりして欲しくありません。
- ・ 街路樹が交差点の近くまで植えてあり、（又は成長して大きくなって）、少しカーブしている場所等では本道に出るときに安全確認がしにくい箇所がある。
- ・ もっと道路に緑を増やしてほしい

- ・ 浜線や東バイパス、電車通りの街路樹に元気がないと感じる。
- ・ 幹線道路の緑化も不十分に感じます。
- ・ あちらこちらにきれいなお花が植えられていますが、その後の手入れがされず残念です。枯れたお花と草が一緒に。お手入れしてくれる人、ボランティアを募ったらどうでしょうか。
- ・ (富合校区) 河川や堤防の管理が不十分と思われる。年に数回除草作業が行われていたが、最近は年2回に減ったうえに道路の端部分だけで、今では大木が目立ってきたほど。夏場は見通しが悪くなるくらいに草丈が伸びて安全にも良くない。ボランティアで集落の近くはやっているが限界である。

●道路照明灯について

- ・ 大きい道路であっても、街灯が少なく夜間危ないと感じる(歩行、安全面)場所がある。

●公共交通について

- ・ 無秩序な都市化により公共交通が整備され難い状態。
- ・ 公共交通機関を利用してほしいのならば、その区ごとの時刻表をごみカレンダーの様に配付してもらえたら、大変助かります。
- ・ バスなど公共交通機関を利用しやすくするといった高齢者にやさしいまちづくりができていない。
- ・ 将来車に乗れなくなっていくと思うので、バス路線も市民の希望などを聞いてほしいと思います。
- ・ 足に障害があるため、もっと低床バスを多くしてほしいと思います。今回のアンケートで色々と勉強になりました。皆様のおかげで安心して暮らせて感謝しています。
- ・ 市電を川尻まで延伸してほしい。交通機関が使いづらいし、行きたいところに行くのに乗り換えが多いし、料金が高い。車が無いととても不便な街です。
- ・ 市電の延伸問題
- ・ 市電の延伸に意味はありますか？そのことにお金を使うより、バスの本数を増やせばよいと思うのですが。
- ・ 高齢で車が運転できなくなった人のための公共交通機関の更なる交通アクセスの整備を期待します。日頃より市行政にご尽力いただいていることに感謝いたします。
- ・ 公共交通機関の不便さ
- ・ 公共交通機関(電車等)が少なく大気汚染が心配。
- ・ 市電の電停の幅の狭さにいつもハラハラしています。身体の不自由な方や観光客の方も安心して安全に利用できるようもっと整備を進めて欲しいです。

- ・ CO2 削減のため市電の延伸が必要
- ・ ほとんどの人が公共交通機関を利用することなく、どこへ行くにもマイカーで年々バスの本数も減るばかりです。一人しか乗っていないマイカーで道路も渋滞し排気ガスも多くなる。
- ・ とにかく車社会なので……。公共交通や道路がもっと使いやすくなれば、交通量や排ガスも減るのかなと感じます。
- ・ どうしても車社会になっていて、排気ガスと PM2.5 と黄砂で空気がよどんでいると感じることもあり、公共交通の少なさが車社会の原因かとも思います。自宅から職場まで車を使用せずバスと自転車等で行ける環境であれば車は使いたくないと思います。バスを共同にする案も出ていますが、せめて国道沿いなどはバスが数分おきに来るような状況になってほしいと思います。

●都市計画について

- ・ 抜本的都市計画の作り直しを期待する
- ・ 都市計画道路の整備が進んでいない。
- ・ 土地の開発規制
- ・ 少子高齢化に向かい、都市計画とのリンクを上手く行わないと、税収先細りで実現が難しくなるため、選択と集中を明確に行い、市民の最大公約数を狙った舵の切り方が必要。
- ・ 自然環境と共生した街づくりがなされていないように感じる
- ・ 国府、出水地区の道路整備を望む。都市計画から見捨てられていると思う。
- ・ 過度な開発をせず地域になじむようにまちづくりをして欲しい。
- ・ むやみやたらにマンション建設されている

●道路の維持管理について

- ・ 歩道が狭い。学童の通学路でもあるが、毎日の買い物にカートを押してスーパーに行くが、道路がガタガタで 80 歳を超えて大変です。病院通いに使う横断歩道の白線が消えていてわからなかった。信号のある所は大丈夫だけど、押しボタン式の横断歩道ははっきり白線が引いていないところが多い。
- ・ 舗装し直した方が良い道路が多すぎる。国道 3 号線の川尻付近はよく道路工事しているのに、細い道などはなかなか工事しない。
- ・ 南区のがたついている道路の整備を希望します。
- ・ 道路の白線が薄くなってほぼなくなっている。早く白線を引き直してほしいと思います。
- ・ 道路の凸凹が気になっています。昼間は明るいからまだいいが、夜暗くなつてからは気づかずに転びそうになります。
- ・ 道路の凸凹があり、ごみで汚い
- ・ 通勤、通学時間帯には狭い道路で自転車と車が交差し、とても危険だと感じる

ときがあります。街路樹や植え込みなどで視界が悪くなりそれも危険です。点検をお願いしたいです。

- ・ 地震後5年が経ちますが、自宅付近の市道の舗装が未だされず、ガタガタで騒音が酷い。
- ・ 側溝のつまりで排水できていないところがある
- ・ 熊本駅前開発に絡んだ三橋橋の桁工事、田崎市場通りの工事の長さ、二本木大通りの歩道の凸凹。一度歩いてみると分かります。
- ・ 信号や進入禁止の標識が見つらかったり分からない場所が多い
- ・ 生活排水等処理するためマンホールが設置されている。しかし舗装の亀裂で振動が激しい。また道路補修に伴う騒音は我慢できるが、その後の振動が多くなったように感じる。
- ・ 小さな道路のひび割れやつぎはぎの道路は危険
- ・ 自分は花岡山の中腹に住んでいますが途中の道が何回も掘り返しては舗装していて凄くガタガタになっている。
- ・ 熊本地震時の道路復旧も終わっていない状況だから
- ・ 熊本地震後に荒れた道路がたくさんありますが、いまだ補修されず荒れたままです。細かい道路への調査が必要だと思います。
- ・ 熊本地震の後、まだ道路の整備が足りないところがあります。大変だと思いますが、こまめに点検して整備してほしいと思います。街路樹も手入れが足りていないように思います。
- ・ 家の近くの道路が凸凹で、マンホール部分だけ盛り上がっている。
- ・ 雨天時、道路わきの側溝から水があふれ道路が水没する箇所が多い。災害や事故につながりかねない。
- ・ かなり整備されてきていると思いますが、道路の凸凹や道幅の狭さなど、幹線道路から外れると目立ち、生活するうえで不便を感じています。
- ・ 楡木3丁目10番付近の横断歩道の道路標識が薄れており、児童の安全に支障をきたすと思われます。

●交通規制について

- ・ 道が古く狭い箇所が多い。道を広くするよりは大型車の通行規制が望ましい。
- ・ 通過交通の排除方策が必要（幹線道路や抜け道となっている生活道路）、バイパスや環境道路の整備促進、朝夕の生活道路への許可車以外の通行規制の強化などが必要であると考えます。

●その他

- ・ 短時間に大量の雨が降るたびにあちこちの側溝があふれ、歩道と車道が危険な

状態になるため、その対策や整備を求めます。

- ・ 舗装道路が増えることで車も自転車も速度を出しすぎることになったし、花粉なども舞いやすくなり、土が隠れることで地表温度も上昇している。歩道は歩きやすさや大切だけど、むしろ優先的に修繕されるのは車道ばかり。メインの通りは分かるけれど、市道や団地内まできれいに舗装しすぎている気がする。
- ・ 道路後退後の元の私有地に障害物を置いたり、石などを置く行為が目立つから
- ・ 標識・信号のわかりにくさ
- ・ 道路と歩道の段差の解消と歩道にある電柱の解消
- ・ 同規模の他都市と比べて都市計画が遅れているとリターンした者として感じます。3~4年で道路歩道が開通できるようにすべき。熊本地震で耐えた市庁舎再建は必要なし。その予算があるならば都市インフラの整備に使うべき。
- ・ 電柱の地中化など進めてほしい。狭い歩道に電柱が立っていてそこは自転車は通れず、必ず車道に降りなければならないので危険を感じる。特に県立図書館近く。
- ・ 電線の地中化を進めて欲しい
- ・ 車を運転していて走りにくいと感ずることがあるので。
- ・ 自転車と車の運転マナーが悪すぎる。
- ・ ミラーのない危険な十字路があります
- ・ アスファルトの種類を考え夏場の気温上昇を抑えるほか、透水性のアスファルトにして欲しい。

10 環境について学ぶ機会や情報を得る機会についての意見（43件）

- ・ 河川環境の保全を行っていくためには、市民に対する啓発を継続的に行っていく必要があると考えるため。
- ・ 分別収集されたものが最終的にどのようにリサイクルされているのかを具体的に提示・広報してほしい。（例えばプラごみはどのような製品に活かされているのか、など）
- ・ ごみステーションに出したものがどのようにリサイクルされたり、処分されていくのかを、皆がイメージすればいい方向に向かうのではないかと。
- ・ 地下水位が下がっているとの報道を以前見たが、現在はどうなっているのか。下がっているとしたらどのくらい下がったのか、また今後下がり続けるのか、一人ひとりがどれほどの節約（節水）を意識したら昔の水位が取り戻せるのか等、具体的な情報が欲しい。そういう情報を地域のニュースや新聞、市政だよりなどに掲載していく（随時か定期的に）ことにより、市民の意識も高まっていくと思う。
- ・ 昔は井戸水を飲んでいたことを知っているため。熊本の地下水が阿蘇からものすごい時間をかけて熊本市に恩恵をもたらしていることは知っています。水田に

水を張る活動も良い活動だと思います。意識を高めるために、学校や行政を通じた家庭への積極的なアプローチが無いとなかなか今以上に効果を上げるのは難しいと感じます。

- ・ いつまでも美しく豊かな水の県・熊本のイメージがあります。その地下水がいつか無くなってしまわないかと心配な思いはあります。テレビで少しの時間でもいいので、地下水が今どのような状況なのかをみんなが知るために放送したほうが良いのではないかと思います。
- ・ 地下水の量の減少についての発信及び原因の解説をしてほしい
- ・ 子どもたちが専門家による自然と触れ合う機会を通して、将来の人材が育っていけばいいなと思います。
- ・ 宅地開発などにより自然環境が悪化している。自然を守る教育や情報を多くすることができないものか。
- ・ 大人の意識はあまり変えられないように思う。子供とその親に関心を持ってもらうことが未来につながると思うので、学校で講演してほしい。NGO Goodearthの藤原ひろのぶさんや、地球をまもろうの谷口たかひささん
- ・ 生活するうえで市民が行政に求めているものの中で、大きなことは生活環境の快適さではないでしょうか？常に現状を知ることが求められます。そのためには学習や情報は必須だと思います。
- ・ 政治も大切だが、一人ひとりの考え方や行動で変わらなと思っている。テレビや新聞、市政だよりも見ない大人がいっぱいいる中、意識をあげていくことが重要だと思う。
- ・ 新型コロナウイルスの問題で仕方がないと思うが、環境問題に関して学ぶ機会が無いし、PR 不足だと思う。
- ・ 自分のように現状について全く知らない人が多いと思う。
- ・ 私を含め、市民に環境問題への意識付けが必要だと思います。
- ・ 私のような無知な人間がいるから
- ・ 市民一人ひとりの意識を変えることができれば良いと思いますが難しい。
- ・ 市民や企業が知らないことや取り組んでいない事実があり、環境について大手企業は理解してきているが、中小企業や個人の方々は環境に対しての取組や意識が低い。自分のことだけ考えている人が今でも多い。
- ・ 市民へ環境保護の重要性について認識してもらうことが大事。まずお住まいの身近なところから
- ・ 市民の意識向上、意識改革。
- ・ 市民にとって、自然の豊かさは心の豊かさにつながるものであり、未来の子どもたちに残せるように市民同士協力できたらと思います。
- ・ 市政だよりは目を通してはいるものの、環境に関することをいざ問われるとあまりピンとこなかった。環境に関して現状何が問題で、どのように取り組まれている

るか知る機会が欲しいと思った。

- ・ 子どものころから自然に環境について触れる機会を持てるよう工夫した地域活動や学習内容を考える。大人が関わる機会を持つことも重要
- ・ 財源の確保、組織の充実。住民の考えと意識
- ・ 今回アンケートをさせてもらい環境問題に無頓着な自分に気づかせてもらいました。世のなかの一人ひとりが小さなことから気を付けて成し遂げることが大事だと感じました。一つ一つの積み重ねと心がけで成し遂げられたらいいなと思います。熊本が大好きだから大事にしたいですね。
- ・ 行政と教育が共同して学校における環境教育学習を実際体験させる経験が必要（熊本市の未来をつくる子ども全てに体験型の学習をさせる）
- ・ 熊本市内の環境は良いと思います。その環境を守っていくため、よりよくしていくための学ぶ場や機会を増やしてほしいです。誰もが気軽に参加できる内容や場の工夫が大切だと思います。
- ・ 環境保全のイベントなどが行われていることすら知らない。もっと多くの人が知るように広告名で知らせるべきだと思う。しかしポストなどにチラシを入れても見ずに捨てる人がいるから、それこそ資源の無駄だと思う。
- ・ 環境に関して知らないことばかりで、積極的に取り組んでいこうと思いました。
- ・ 環境に関しての広報は、興味のない人にとってはなかなか影響力を持たないので、そこをどのように変えて、市民に環境に対する意識・意欲を持たせるかが重要だと思う。
- ・ 環境について色々勉強していきたいと考えていますが、身近な情報に触れる機会が少ないように感じます。地域で取り組んでいる活動の広報紙などあれば分かりやすいと思う
- ・ 環境について情報を得る機会が少ないので、年代に合わせて興味を引くような情報を発信してほしい。若年層にはユーチューブなど、他にはテレビ番組等
- ・ 環境について学ぶ機会が少ないように思える。
- ・ 環境についての学習会の案内など、ほとんど目にしたことがない。熊本のテレビ番組を見ても、食べ物のことばかり。メディアを巻き込んで情報発信しても良いのではないかと思う。
- ・ 環境と自分たちの生活が結びつかず、豊かさや快適さを求めることを優先させる人間活動は強制的に環境問題が身近であることをあらゆる媒体を通じて全世代の意識改革が必要だと思う。
- ・ 学ぶイベントがあるのかすら知らないので大々的にお知らせした方がいいと思う
- ・ 各世代において分かりやすい言葉での環境教育が急務であると感じる。
- ・ 一人ひとりが自分のこととして行動するようになると良いと思う。
- ・ わたしたちが住んでいる町を一人ひとりが環境に対していかに取り組んでいく

かが一番重要なことだと考えます。

- ・ テレビ、ラジオ等でもっと目に触れるように情報発信をして欲しい。住んでいる地域（勤務地）への愛着や誇りが持てたらと思う。
- ・ コロナ禍ということもあり、環境について考える機会も余裕もありません。まずは現状についての周知が必要だと思います。
- ・ イベントの情報が伝わっていない。興味を持っていない人に伝える工夫が必要だと思います。

11 その他（40件）

- ・ 被災現場の家屋のゴミ等が、坂本町の方でまだまだ処理が進んでいないと感じる。
- ・ 良好な環境とは住みよい街というイメージがあります。住みよい街だときれいに保っていかうと自然に思うものだと感じますが、現状は渋滞が多い、道が狭い、歩道も狭い、広い公園が少ない。密集した土地に家が多くある。住みよい街とは感じません。
- ・ 無駄な道路への税金の投入をせず、子どもや高齢者のために使ってください。
- ・ 民間企業への協力依頼
- ・ 未来のために取り組むんだという意識づけ
- ・ いつも私たちのためにいろいろな計画、改善をしてくださりありがとうございます。特にコロナ禍の中でも皆様の働きに心から感謝いたします。私たち市民の生活のために惜しみなく働いてくださり、本当にありがとうございます。
- ・ 便利さ、快適さを追求すれば必然的に自然が減るので、便利すぎるのは良くないと思う。
- ・ 貧富の差により貧しい人は生活することが精一杯になり余裕がなく他に目を向けることができない。
- ・ 日本は遅れていると思うから。国も県もまだまだ意識すべき。
- ・ 特別に悪いと感じるところはありません
- ・ 電磁波についての学びの場や情報を得るイベントを開催してほしい
- ・ 長いアンケートでした…
- ・ 地方なりの環境問題対策が必要だと感じます。
- ・ 知らない言葉がいくつもありません。高齢者にもわかりやすい言葉で知らせて欲しいと思いました。
- ・ 託麻団地で生活しています。毎日朝夕に団地の中を散歩しますが、空気がよく団地の中ですれ違う人たちとあいさつを交わしておりますが、子どもから大人まで皆さん気持ちよく挨拶してくれます。いい一日を過ごしております。
- ・ もしよろしければ、大西市長へ感謝をお伝えいただけないでしょうか。学生へのタブレット教材等の配布や休校中の ZOOM 等の学びの支援により、学習の遅れや

焦りを（私としては）感じずに過ごさせていただきました。地震の時も確か、お怪我をされた中で指揮を執っていただいたと記憶しております。ありがとうございました。コロナ禍です。くれぐれもご自愛くださいませ。いつもありがとうございます。

- ・ 前の町内会長や世話人さんは資源ごみを町内で回収しその売却益で自治会の運営をしていました代替わりしたら何もしない人たちで市の方で教育してもらいたい。
- ・ 昔のように地域の催しものがなくなった。周りはマンションだらけで見知らぬ人ばかり。一市民としてできることはごみ出しルールをまもり、隣近所に迷惑を掛けないことくらいしかできない。集計が済んだら市政だより等で市民に公表されたい。
- ・ 横文字が多く、住民のほとんどが理解できていないのではないだろうか。
- ・ 高齢化社会になることでどのように変化していくかが見えない。定年延長ではなく、社会に参加できる人材が活躍できる環境づくりを準備してほしい。社会に参加できる人材づくりに取り組み、老若男女が笑顔で生活できる熊本にしたい。
- ・ 世界各国の一致協力が必要
- ・ 植木市を行っているようですが、緊急事態宣言が延長された中よくやっているなと思います。
- ・ 住みやすいので特に意見はありません。
- ・ 自分自身、誰か違う人がすることだと思うときがある。まったく参加する機会や情報が自分には入ってこない。
- ・ 自分も含めて環境問題に対する意識の低さが一番問題だと思う。一番必要なのは啓蒙活動だと考える。自治会等を単位として、こまめな情報提供、勉強会やイベント等の企画や実施等。何よりも地域住民の盛り上がりを期待できる施策をお願いしたい。そのためにはリーダーの育成も必要になってくるでしょう。市の職員さんの顔が見える、そして一緒に作り上げるような多少達成感も味わえる取組を期待したい。
- ・ 災害に遭われた方への支援が必要。コロナウイルスの早期終息へ向けてのスケジュール確保も必要だと思う。
- ・ 高齢の一人暮らし世帯だが、年金が少なく死ぬまで仕事しなくては生活ができない。環境のことを考える余裕がない。
- ・ 行政側が考える課題を市民へ押し付けている点が問題である。
- ・ 現状維持
- ・ 現状に満足しています。
- ・ 熊本市に転居して1年ちょっとの間だが、コロナの影響でほぼ外出していないので、全体的によく分からないアンケートだった。
- ・ 熊本は頑張っているし良いと思っているので、しいて問題というならごみかな

と思う。

- ・ 環境整備は地球規模で行われる必要があり、行政の役割や対策が重要と考える。
- ・ 環境を守ることは無条件でいいこととして扱われているが、環境を守ることに
対するメリットだけではなく、デメリットきちんと紹介してほしい。まず個人の
生命、財産を確実に守れる体制ができているという土台の上から環境問題を考える
べきだと思います。
- ・ 各地の甚大な水害は、環境破壊からのものと思っています。具体的な個人で
できる環境保全が分かりません。節水やごみ分別以外に取り組めることがあればと
思いますし、熊本は車社会も改善できればと思います。
- ・ 花火大会は絶対に不要。公金を使ってやることではないし、恩恵を受けるのは
観客と TKU と花火業者や人間のみ。野生や動物園の生物、近所に住む人には何の
得もない。何に一度だから良いと思うのは環境破壊の始まり。
- ・ 家の周りを見渡しても高齢者のみで地域活動の弱体化を感じる。老人施設と保
育園を合体した施設をつくと良いと思う。
- ・ 何も問題ないと考えるので、そのままが良いと思う。
- ・ まずは人がより多く住みたいと思う環境づくりが大切。そのためには医療、福
祉、税金、労働、交通、住環境など人々が魅力を感じる町にして、大都市化して
からのことだと思います。
- ・ コロナで飲食店には保証があるのに、その他に補償がないのには納得いかない
 - ・ このアンケートで自分の環境に関する認識不足と、もっと環境に関心を持た
なければと思いました。
- ・ お互いにみんなのためということを第一に考えることが重要だと思う。
- ・ あまりにも環境問題に対し問題意識が低すぎると思います。
- ・ 80代になり社会に貢献もできなく、世の中にお世話になる年になりました。ア
ンケート調査の回答にも困りました（見たり聞いたりも少なくなつて）。

3 参考資料（調査票）

環境に関する市民アンケート調査（お願い）



令和3年(2021年)2月

市民の皆様へ

熊本市長 大西 一史

「環境に関する市民アンケート調査」へのご協力をお願い

日頃から、市政運営に対しましてご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、本市では、平成23年(2011年)4月に策定した「第3次熊本市環境総合計画」に基づき環境行政を進めており、その計画に掲げる施策に検証指標を設定し、毎年、進行管理を行っております。

今回お願いしておりますこのアンケート調査は、その検証指標に関連して、市民の皆様お一人おひとりが、環境に対してどのように感じ、考えていらっしゃるのか、また、どう実感され、どのように行動されているのかをお聞きするもので、その結果を今後の環境行政に反映させてまいりたいと考えております。

皆様には、お忙しい中お手数をお掛けいたしますが、本アンケート調査にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

■対象者の選定について

このアンケートは、令和3年(2021年)2月1日現在で熊本市に住民票がある、満20歳以上の市民の中から無作為に抽出した3千人の方々にお送りさせていただいております。

いただきましたご意見・ご回答の内容につきましては、このアンケートの集計・分析のみに活用し、それ以外には使用いたしません。アンケートの回答により、個人が特定されたり、ご迷惑をお掛けしたりすることはございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

項目が多いですが、熊本市の環境行政のためにご協力のほどお願いいたします。

■アンケートの回答方法について

- ・回答は、封筒のあて名の方がお答えください。(代筆でも結構です。)
- ・アンケート用紙及び返信用封筒には、お名前とご住所の記入は不要です。
- ・アンケート用紙は同封の返信用封筒にて、令和3年(2021年)3月31日(水)までに投函してください。(※切手は不要です。)

■お問い合わせ

熊本市役所 環境局 環境推進部 環境政策課

電話 096-328-2427 (直通) 電子メール: kankyouseisaku@city.kumamoto.lg.jp

インターネットでも回答ができます。裏面をご覧ください。

インターネットでの回答方法について

■インターネット回答にあたっての注意点

- ・インターネットでの回答時間の目安は、約15分です。令和3年(2021年)3月31日(水)までにご回答をお願いいたします。
- ・インターネットでご回答いただきましたら、アンケート用紙の郵便での返送は不要です。

■スマートフォン・携帯電話から

以下の二次元コードを読み取っていただくと、直接アンケート画面へ移行します。



読み取れない場合は、以下のパソコンからの手順か、アドレス

https://www.city.kumamoto.jp/entry/pub/AnsForm.aspx?c_id=37&entry_ins=101 を直接入力して下さい。

■パソコンから

熊本市ホームページ (<https://www.city.kumamoto.jp/>) を検索サイト等で検索して下さい。



The screenshot shows the Kumamoto City homepage. At the top right, there is a search bar with the text "キーワード検索" (Keyword Search) and a magnifying glass icon. Below the search bar, there are navigation tabs for "暮らし・環境" (Living/Environment), "防災・まちづくり・市民参画" (Disaster Prevention/City Making/Citizen Participation), "健康・福祉・子育て" (Health/Welfare/Childcare), "学び・観光・スポーツ" (Learning/Tourism/Sports), "しごと・産業・事業者向け" (Work/Industry/Business-oriented), and "行政情報" (Administrative Information). The main content area features a large blue banner for "熊本市健康ポイント事業試行運用 2020.1.14 START!" (Kumamoto City Health Points Project Trial Operation Starting 2020.1.14). The banner includes text about earning points through health checkups and events, and using accumulated points for discounts. To the right of the banner is a smartphone displaying a step counter app with 2,615 steps and a goal of 8,000 steps. Further right is a sidebar with the Mayor's Office, the City Assembly, and district-specific pages.

トップページ右上の検索画面で、“環境に関する市民アンケート” とご入力いただき、検索して下さい。

《問 34 関係の解説です。調査票と併せてご覧ください。》

エスディーゼーズ
S D G s とは

“持続可能な開発目標”の英語の頭文字をとったものが、S D G s です。

平成 27 年(2015 年)9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された令和 12 年(2030 年)までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。S D G s は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものです。

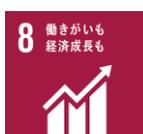
熊本市も取り組んでおり、令和元年度(2019 年度)から積極的に広報を行い、色々な市の方針に S D G s の考え方を取り込んでいくこととしています。

また、市民や企業の参画も要請されており、さまざまな解決目標を定め取り組む企業も増えています。

S D G s は、市民一人ひとりにも密接に関わっており、市民一人ひとりの意識を変えることも求められています。

持続可能な開発目標 (SDGs) 17 ゴールは次のとおりです。

	<p>1 貧困をなくそう</p> <p>あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ。</p>
	<p>2 飢餓をゼロに</p> <p>飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する。</p>
	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> <p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。</p>
	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>すべての人々に包摂的※かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。</p> <p style="text-align: right;">※・・・誰一人取り残さない</p>
	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> <p>ジェンダー (※1) の平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメント (※2) を図る。</p> <p style="text-align: right;">※1・・・社会的・文化的な意味での性別 ※2・・・人が夢や希望を持ち、生きる力が湧き上がること</p>
	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> <p>すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する。</p>

 <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>	<p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。</p>
 <p>8 働きがいも 経済成長も</p>	<p>8 働きがいも 経済成長も すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク^(※)を推進する。 ※・・・働きがいのある人間らしい仕事</p>
 <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう レジリエント^(※)なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る。 ※・・・強じん</p>
 <p>10 人や国の不平等 をなくそう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう 国内および国家間の不平等を是正する。</p>
 <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする。</p>
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>12 つくる責任つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する。</p>
 <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る。</p>
 <p>14 海の豊かさを 守ろう</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する。</p>
 <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る。</p>
 <p>16 平和と公正を すべての人に</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する。</p>
 <p>17 パートナリシップで 目標を達成しよう</p>	<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップ^(※)を活性化する。 ※・・・地球規模の協力関係</p>

環境に関する市民アンケート調査

調 査 票

※ インターネットでアンケートにお答えいただく方は、依頼文の案内をご覧ください、インターネットでご回答をお願いします。この用紙を返送いただく必要はありません。

※ 本アンケート用紙でお答えの方は、以下の質問にお答えください。
回答にあたっては、該当の番号を「○」で囲むものと、自由記載のものがあります。

問1. 熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。(1つだけ)

- | | | |
|-----------|----------|-------------|
| 1 とても感じる | 2 やや感じる | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり感じない | 5 全く感じない | |

問2. 熊本市の中心市街地に緑が多いと感じますか。(1つだけ)

- | | | |
|-----------|----------|-------------|
| 1 とても感じる | 2 やや感じる | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり感じない | 5 全く感じない | |

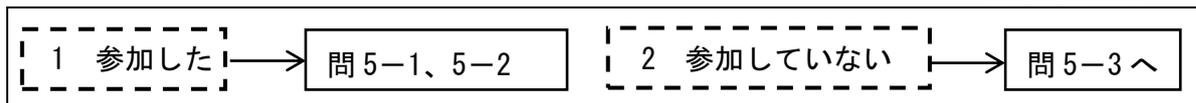
問3. 熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感じますか。(1つだけ)

- | | | |
|-----------|----------|-------------|
| 1 とても感じる | 2 やや感じる | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり感じない | 5 全く感じない | |

問4. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。(1つだけ)

- | | | |
|-------|---------|--------|
| 1 感じる | 2 やや感じる | 3 感じない |
|-------|---------|--------|

問 5. この 1 年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(1 つだけ)



問 5-1. 問 5 で「1 参加した」を選択された方にお尋ねします。

この 1 年以内で、どのような環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。

(いくつでも可)

- 1 自治会・老人会・PTA等が主催する講座・講演会・セミナー等
 - 2 NPOや企業が主催する講座・講演会・セミナー等
 - 3 行政が主催する講座・講演会・セミナー等
 - 4 学校や職場で行われる勉強会
 - 5 環境フェアなどのイベント
 - 6 その他 ※「6 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。
-

問 5-2. 問 5 で「1 参加した」を選択された方にお尋ねします。

参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動)はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。(1 つだけ)

- 1 ある ※実践している内容について、簡単にご記入ください。

- 2 ない ※実践していない理由について、特に何かある場合は記入して下さい。

問 5-3. 問 5 で「2 参加していない」を選択された方にお尋ねします。

参加しなかった理由は何ですか。(いくつでも可)

- 1 時間がなかったため
 - 2 経済的な負担が増加するため
 - 3 学習会やイベントの開催情報がなかったため
 - 4 興味がなかったため
 - 5 その他 ※「5 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。
-

問6. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。(いくつでも可)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1 日常生活の中で実践できるエコについて | 2 環境問題についての基礎的な知識 |
| 3 最近話題になっているテーマについて | 4 身近な地域の環境について |
| 5 国際的な環境問題について | |
| 6 その他 ※「6 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 | |
-

問7. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。(いくつでも可)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------|
| 1 自分の都合に合わせて、短時間で参加できる | 2 小学校や公民館など、身近な場所で開催される |
| 3 無料で参加できる | 4 気軽に参加することができる |
| 5 専門的な知識を身につけることができる | 6 友人や家族と一緒に参加することができる |
| 7 その他 ※「7 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 | |
-

問8. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。(いくつでも可)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1 学習会や講演会などの開催 | 2 学校や社会における環境教育の充実 |
| 3 環境活動の指導者や地域リーダーの育成 | 4 環境に関する情報を入手できる場の提供 |
| 5 体験学習など自然に触れる機会の提供 | 6 環境に関する広報などの強化 |
| 7 環境保全活動に貢献した市民や団体の表彰 | 8 身近な地域の環境保全について考える機会の提供 |
| 9 その他 ※「9 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 | |
-

問9. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ)

(例：緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など)

- | | | |
|-------|---------|--------|
| 1 感じる | 2 やや感じる | 3 感じない |
|-------|---------|--------|

問 10. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

1 積極的に参加している	→	問 10-1、10-2 へ
2 できる限り参加している		
3 参加したことはないが、今後参加してみたい	→	問 10-3、10-4 へ
4 参加したことはないし、今後もしたいと思わない	→	問 10-5 へ

問 10-1. 問 10 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加していますか。(いくつでも可)

1 町内自治会	2 PTA	3 NPO
4 老人会	5 婦人会	6 子ども会
7 自分たちで立ち上げた活動グループ		
8 その他 ※「8 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。		

問 10-2. 問 10 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(いくつでも可)

1 自然林や野生生物 の自然保護活動	2 自然観察会の開催	3 植樹などの緑化運動
4 森林保全活動	5 地下水の保全活動	6 河川環境保全活動
7 清掃活動	8 ごみステーション の管理	9 リサイクルや資源回 収活動
10 歴史的文化遺産の 保全活動	11 環境問題に関する講演 会・勉強会の開催	12 環境保全のための寄付
13 その他 ※「13 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。		

問 10-3. 問 10 で 3 を選択された方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加してみたいですか。(いくつでも可)

1 町内自治会	2 PTA	3 NPO
4 老人会	5 婦人会	6 子ども会
7 自分たちで立ち上げた活動グループ		
8 その他 ※「8 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。		

問 10-4. 問 10 で 3 を選択された方にお尋ねします。

今後地域においてどのような環境保全活動に参加してみたいですか。(いくつでも可)

- | | | |
|-------------------------------------|---------------------------|--------------------|
| 1 自然林や野生生物
の自然保護活動 | 2 自然観察会の開催 | 3 植樹などの緑化運動 |
| 4 森林保全活動 | 5 地下水の保全活動 | 6 河川環境保全活動 |
| 7 清掃活動 | 8 ごみステーション
の管理 | 9 リサイクルや資源回
収活動 |
| 10 歴史的文化遺産の
保全活動 | 11 環境問題に関する講演
会・勉強会の開催 | 12 環境保全のための寄付 |
| 13 その他 ※「13 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 | | |

問 10-5. 問 10 で 4 を選択された方にお尋ねします。

参加したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも可)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 時間がないため |
| 2 興味がなかったため |
| 3 メンバーが固定されていて参加しづらいため |
| 4 活動の効果があると思わないため |
| 5 その他 ※「5 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |

問 11. どのような条件が整えば、より多くの方がまちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(いくつでも可)

- | |
|------------------------------------|
| 1 環境問題についての知識・情報の普及が図られること |
| 2 環境問題を実際に感じることで(地域の川が昔より汚くなった、など) |
| 3 周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること |
| 4 実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などがわかること |
| 5 日常生活の中で気軽に取り組みやすいこと |
| 6 付加価値(エコポイント等)があること |
| 7 その他 ※「7 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |

問 12. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(いくつでも可)

- 1 環境問題についての知識・情報の提供
 - 2 活動のアドバイザーや講師等の派遣
 - 3 会議室等、場所の提供
 - 4 他の活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供
 - 5 活動資金の助成
 - 6 その他 ※「6 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。
-

問 13. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(いくつでも可)

- 1 テレビやラジオ
 - 2 新聞、雑誌、書籍など
 - 3 家族や友人、知人との会話
 - 4 行政からの白書、広報誌など
 - 5 インターネットや携帯電話のサイト
 - 6 講演会や学習会
 - 7 地域活動やボランティアを通じて
 - 8 NPO からの情報提供
 - 9 企業からの情報提供
 - 10 その他 ※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。
-
- 11 情報を得ていない

問 14. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。(いくつでも可)

- 1 環境に関する一般知識
 - 2 日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法
 - 3 環境に関するイベントや学習会の情報
 - 4 市民活動団体などによる環境活動の情報
 - 5 環境に関する調査の結果
 - 6 環境に関する補助金の情報
 - 7 国際的な環境の情報や交流の情報
 - 8 環境活動のアドバイザーや講師の派遣情報
 - 9 身近な地域の環境に関する情報
 - 10 その他 ※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。
-

問 15. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。(1つだけ)

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 きちんと守っている | 2 だいたい守っている | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり守っていない | 5 全然守っていない | |

問 16. スマートフォン・タブレット向けの「熊本市ごみ分別アプリ」を知っていますか。(1つだけ)

1 既に利用している	→ 問 16-1 へ
2 知っているが利用はしていない	
3 知らない	



問 16-1. 問 16 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

「熊本市ごみ分別アプリ」をどこで知りましたか。(いくつでも可)

- | | |
|-----------------------------------|---------------|
| 1 市の広報媒体（市政だより等） | 2 新聞、テレビ、ラジオ等 |
| 3 SNS（Facebook、Twitter 等） | 4 家族や友人、知人から |
| 5 その他 ※「5 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 | |

問 17. 海洋プラスチック問題を知っていますか。(1つだけ)

- | | | |
|---------|-------------|--------|
| 1 知っている | 2 ある程度知っている | 3 知らない |
|---------|-------------|--------|

問 18. プラスチックごみの削減に取り組んでいますか。(1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 取り組んでいる | 2 取り組んでいない |
|-----------|------------|

問 19. プラスチックの過剰な使用を抑制することを目的として、令和 2 年(2020 年)7 月 1 日からレジ袋有料化が始まりました。

スーパーやコンビニ等での買い物の際に袋を利用する場合、どの袋を使用していますか。(1つだけ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 毎回マイバッグやマイかごを使用している |
| 2 マイバッグやマイかごを使用しているが、レジ袋を買うこともある |
| 3 毎回レジ袋を買っている |

問 20. 熊本市ではレジ袋の削減を目的として、マイバッグを持っていない(忘れた)方に、熊本市の指定収集袋(ごみ袋)をレジ袋の代わりに販売する取組を行っていますが、レジ袋の代わりとして指定収集袋(ごみ袋)を購入したいと思いますか。(1つだけ)

指定収集袋(ごみ袋)の価格は小袋1枚12円です。

1 購入したい

2 購入したいと思わない

問 20-1 へ

問 20-1. 問 20 で 2 を選択された方にお尋ねします。

購入したいと思わない理由を教えてください。(いくつでも可)

1 レジ袋に比べて価格が高いから

2 指定収集袋(ごみ袋)に買った商品を入れることに抵抗があるから

3 指定収集袋(ごみ袋)に買った商品を入れて持ち歩くことに抵抗があるから

4 指定収集袋(ごみ袋)のサイズでは商品を入れにくいから

5 家に指定収集袋(ごみ袋)の買い置きがあるので買う必要がないから

6 ごみ箱の内袋などに使用するためレジ袋が必要だから

7 その他 ※「7 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。

問 21. 「食品ロス」について知っていますか。(1つだけ)

1 言葉も内容も知っている

2 言葉は知っているが、内容はよく知らない

3 知らない

問 21-1 へ

問 21-1. 問 21 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

「食品ロス」を知ったきっかけは何ですか。(いくつでも可)

1 テレビ

2 ラジオ

3 新聞

4 雑誌

5 ポスター

6 自治体からの広報

7 イベント

8 インターネット

9 友人、知人、家族

10 その他 ※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。

問 22. 食品ロス削減について、取り組んでいることはありますか。(いくつでも可)

1 残さずに食べる	2 食べきれ的分だけ作る
3 冷凍保存を活用する	4 残った料理を別の料理に作り替える
5 今ある食材を確認してから買い物に行く	6 使いきれ的分だけ買う
7 賞味期限が過ぎても、食べられるものは食べる	8 フードバンク活動等への協力
9 フードドライブへの提供	10 外食の際に食べきれる量を注文する
11 外食時、食べきれなかった分を持ち帰る	12 3010運動を実施する
13 「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店を利用する	14 特に取り組んでいない
15 その他 ※「15 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。	

問 23. この1年でごみステーションから資源物等を持ち去る行為を目撃しましたか。

(1つだけ)

1 11回以上目撃したことがある	→ 問 23-1 へ
2 1~10回程度目撃したことがある	
3 目撃したことはない	
4 分からない	

問 23-1. 問 23 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

この1年以内で、持ち去り行為を目撃する回数が増えたと感じますか。(1つだけ)

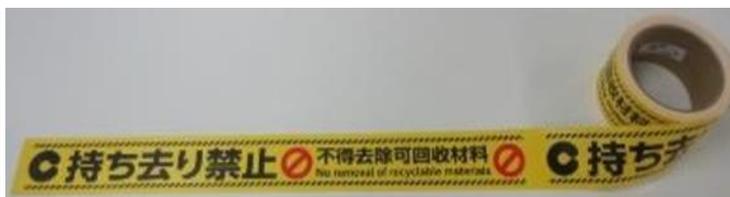
1 増えたと感じる	2 減ったと感じる
3 どちらともいえない	4 分からない

問 24. 持ち去り行為を防ぐために市が作成した「持ち去り禁止意思表示テープ・袋」を使用したいと思いませんか。(1つだけ)

持ち去り禁止意思表示テープ・袋とは

テープは以下の画像のとおりです。新聞紙などをこのテープで縛りごみステーションに出すほか、資源物を持ち去り禁止が記載されている袋に入れてごみステーションに出すことで、持ち去りの抑止効果を狙っています。

- 1 思う
- 2 思わない
- 3 分からない



問 25. 持ち去り行為を防ぐためにはどのような対策が有効であると思いませんか。ご提言、ご意見がございましたらお聞かせください。

問 26. 近年、熊本市の家庭ごみのリサイクル率は横ばい傾向にあります。リサイクルを推進するために、分別品目数を増やすことについてどう思われますか。(1つだけ)

- 1 賛成
- 2 どちらかと言えば賛成
- 3 どちらでもよい
- 4 どちらかと言えば反対
- 5 反対

問 27. 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ（加熱式）」は、従来のたばこ同様に規制する必要があると考えますか。(1つだけ)

- 1 規制する必要がある
- 2 規制する必要がない
- 3 従来のたばこは規制内容に区別が必要である
- 4 どちらでもよい

問 28. 地球温暖化対策に積極的に取り組むべきと考えていますか。(1つだけ)

- 1 考えている
- 2 あまり考えていない
- 3 考えていない

問 29. 地球温暖化対策として実際に取り組んでいるものはありますか。(いくつでも可)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1 電気自動車・プラグインハイブリット車を使用している | 2 移動には可能な限り公共交通機関を利用している |
| 3 家を ZEH 化している (ZEH: ゼロエネルギーハウス) | 4 二重窓にするなど、家を断熱化している |
| 5 省エネ家電を使用している | 6 LED 照明を使用している |
| 7 買い物際にはエコバックを使用している | |
| 8 その他 ※「8 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 | |

問 30. 熊本市では、近隣市町村 (※) とともに「2050 年温室効果ガス排出実質ゼロ」を目指すことを宣言していることを知っていますか。(1 つだけ)

近隣市町村は、以下の熊本連携中枢都市圏を構成する 18 市町村です。
熊本市、菊池市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、美里町、玉東町、大津町、菊陽町、高森町、西原村、南阿蘇村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町

- | | | |
|-----------|------------|--------|
| 1 よく知っている | 2 少しは知っている | 3 知らない |
|-----------|------------|--------|

問 31. 「COOL CHOICE」について知っていますか。(1 つだけ)

- | |
|-----------------------|
| 1 言葉も意味も知っている |
| 2 言葉は知っているが、意味はよく知らない |
| 3 知らない |

問 31-1、問 31-2 へ

問 31-1. 問 31 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

「COOL CHOICE」を知ったきっかけは何ですか。(いくつでも可)

- | | | |
|-------------------------------------|--------------|--------------|
| 1 テレビやラジオ | 2 新聞、雑誌、書籍など | 3 ポスター |
| 4 自治体からの広報 | 5 学校などの教育機関 | 6 店頭・売場 |
| 7 イベント | 8 インターネット | 9 友人、知人、家族の話 |
| 10 その他 ※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 | | |

問 31-2. 問 31 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

「COOL CHOICE」を実践している、または実践していない理由を教えてください。

(いくつでも可)

【実践している場合は以下からお選びください】

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1 環境改善に貢献するため | 2 費用の削減になるため |
| 3 教育の一環として | 4 職場・学校・家族など周囲がやっているため |

【実践していない場合は以下からお選びください】

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 5 手間がかかるため | 6 費用がかかるため |
| 7 実践する機会が無いため | 8 実践する必要性が分からないため |
| 9 具体的な取組内容が分からないため | |

【実践している、実践していない場合で、当てはまる項目がない場合】

- 10 その他 ※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。

問 32. 「ZEH」について知っていますか。(1つだけ)

- | |
|------------------------|
| 1 よく知っている |
| 2 少しは知っている |
| 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない |
| 4 言葉を聞いたこともなく、まったく知らない |

ゼロエネルギーで、
暮らそう。



ZEH（ゼッチ）・（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは

住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電等によってエネルギーを創り、年間に消費する正味のエネルギー量が概ねゼロ以下となる住宅です。

問 33. 「ZEH」について具体的にどのようなことが知りたいですか。(いくつでも可)

- | |
|---------------------------|
| 1 どれくらい費用（導入・維持コスト）がかかるのか |
| 2 どれくらい光熱費が下がるのか |
| 3 ZEH を建てるメリットは何か（光熱費以外） |
| 4 ZEH の情報を取得できる場所はどこか |
| 5 国や自治体の補助金に関する情報 |

問 34. ^{エスディー・ジーズ}「SDGs」について、知っていますか。(1つだけ)

※詳しくはお願い文（別紙）をご覧ください。

<p>1 よく知っている</p> <p>2 少しは知っている</p> <p>3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない</p> <p>4 言葉を聞いたことがなく、まったく知らない</p>	→ 問 34-1 へ
--	---

問 34-1. 問 34 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

言葉を知ったきっかけは何ですか。(いくつでも可)

1 国の広報	2 市の広報	3 企業の広報
4 NPOや市民団体の広報	5 学校での教育	6 勤務先での取組
7 新聞、テレビや雑誌	8 インターネット	
9 イベント・セミナー・講演会		
10 その他	※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。	

問 35. SDGs の 17 の目標のうち、大切だと思う項目は何ですか。(いくつでも可)

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに
3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に
17 パートナリシップで目標を達成しよう	

問 36. SDGs の 17 の目標のうち、あなたが貢献できると思う項目は何ですか。

(いくつでも可)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 貧困をなくそう | 2 飢餓をゼロに |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 4 質の高い教育をみんなに |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 6 安全な水とトイレを世界中に |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8 働きがいも経済成長も |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 11 住み続けられるまちづくりを | 12 つくる責任つかう責任 |
| 13 気候変動に具体的な対策を | 14 海の豊かさを守ろう |
| 15 陸の豊かさも守ろう | 16 平和と公正をすべての人に |
| 17 パートナーシップで目標を達成しよう | |

問 37. SDGs の 17 の目標のうち、熊本市として取り組むべきだと思う項目は何ですか。

(いくつでも可)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 貧困をなくそう | 2 飢餓をゼロに |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 4 質の高い教育をみんなに |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 6 安全な水とトイレを世界中に |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8 働きがいも経済成長も |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 11 住み続けられるまちづくりを | 12 つくる責任つかう責任 |
| 13 気候変動に具体的な対策を | 14 海の豊かさを守ろう |
| 15 陸の豊かさも守ろう | 16 平和と公正をすべての人に |
| 17 パートナーシップで目標を達成しよう | |

問 38. SDGs に関して、ご提言、ご意見がございましたらお聞かせください。

問 39. 「フェアトレード」について知っていますか。(1つだけ)

- | |
|------------------------|
| 1 よく知っている |
| 2 少しは知っている |
| 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない |
| 4 言葉を聞いたこともなく、まったく知らない |

フェアトレードとは
途上国で生産される農産物等を
正当な価格で取引することにより、
生産者の生活向上や人の権利を守る
ことを目的とする活動です。
熊本市はフェアトレードシティに
認定されています。

問 40. 「ラムサール条約」について知っていますか。(1つだけ)

(正式名称「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」)

- 1 よく知っている
- 2 少しは知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 4 言葉を聞いたこともなく、まったく知らない

問 41. 日本には 52 ヶ所 (2020 年 12 月時点) のラムサール条約の登録湿地があります。登録湿地について知っていますか。(1つだけ)

- 1 よく知っている
- 2 少しは知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない
- 4 言葉を聞いたこともなく、まったく知らない

問 42. 江津湖 (・上江津湖水系) は「日本の重要湿地」に選定されています。

「湿地」と聞いて江津湖が思い浮かびますか。(1つだけ)

- 1 思い浮かぶ
- 2 なんとなく思い浮かぶ (理解できる)
- 3 思い浮かばない

問 43. 江津湖をラムサール条約の登録湿地として申請することについて、どう思いますか。(1つだけ)

- 1 申請したほうがよい
- 2 申請しなくてよい
- 3 どちらでもよい

問 44. 2018 年からラムサール条約の湿地自治体認証制度[※]が始まっています。

熊本市が湿地自治体として認証申請することについて、どう思いますか。(1つだけ)

※ 湿地自治体認証とは

国際基準を満たす登録湿地もしくは重要湿地を有する「自治体を認証」する制度です。湖や干潟等の「湿地を登録」する制度とは異なります。(国内では新潟市と鹿児島県出水市が認証の審査中です。)

- 1 申請したほうがよい
- 2 申請しなくてよい
- 3 どちらでもよい

問 45. あなたは、熊本市の良好な環境が守られていると感じますか。(1つだけ)

1 とても感じる

2 やや感じる

3 どちらともいえない

4 あまり感じない

5 全く感じない

問 45-1 へ

問 45-1. 問 45 で 3、4、5 を選択された方にお尋ねします。

どちらともいえない、あまり感じない、全く感じないと思われる理由は何ですか。(いくつでも可)

1 騒音・振動・悪臭・大気といった生活環境の悪化

2 緑や水などの自然環境の悪化

3 歴史的・文化的遺産と調和したまちづくりの後退

4 身近な生きものの減少や外来種の増加

5 ごみ出しマナーの悪化といったごみに関する問題

6 地球温暖化の進行といった地球環境の悪化

7 環境教育の機会の減少

8 環境保全活動に市民が参加する機会の減少

9 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自然環境等に触れる機会の減少

10 その他 ※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。

問 46. 現在の熊本市内の環境の現状について、あなたが一番問題と思われることは何ですか。(1つだけ)

- 1 自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ
- 2 地下水の状況（水質や量など）
- 3 ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況
- 4 地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進
- 5 まちなみの景色の美しさや、公園や緑地の多さ
- 6 大気の状態
- 7 河川などの水辺の美しさ、清潔さ
- 8 生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭などがないか）
- 9 環境に配慮した道路、歩道などの整備
- 10 環境について学ぶ機会や情報を得る機会（環境保全イベント等の開催）

問 47. あなたが問 46 で回答されたことについて、どのような課題や問題があると思われますか。ご自身のお考えを具体的に記入してください。

最後に、回答者ご自身についてお聞きします。

1. ご年齢

1	20 歳代	2	30 歳代	3	40 歳代
4	50 歳代	5	60 歳代	6	70 歳代
7	80 歳代	8	90 歳以上		

2. ご職業

1	会社員（パート含む）	2	自営業	3	農林漁業
4	公務員	5	学生	6	無職
7	その他（ ）				

3. お住まいの地区

区	居住地区（小学校区） ※お住いの校区に○をつけてください。
中央区	出水、出水南、一新、大江、帯山、帯山西、黒髪、慶徳、向山、壺川、五福、白川、城東、砂取、碩台、託麻原、白山、春竹、本荘
東区	秋津、泉ヶ丘、画図、尾ノ上、健軍、健軍東、桜木、桜木東、託麻北、託麻西、託麻東、託麻南、月出、長嶺、西原、東町、山ノ内、若葉
西区	池田、池上、小島、春日、河内、城山、城西、白坪、高橋、中島、花園、古町、芳野
南区	飽田西、飽田東、飽田南、奥古閑、川口、川尻、隈庄、城南、杉上、銭塘、田迎、田迎西、田迎南、富合、豊田、中緑、日吉、日吉東、御幸、力合、力合西
北区	麻生田、植木、川上、楠、桜井、山東、清水、城北、高平台、田底、龍田、龍田西、田原、西里、榆木、菱形、北部東、武蔵、山本、弓削、吉松

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

「第3次熊本市環境総合計画」に関する
市民アンケート調査報告書
【令和2年度(2020年度)版】

発行 令和3年(2021年)6月
編集 熊本市環境局環境推進部環境政策課
熊本市中央区手取本町1番1号
TEL 096-328-2427
